

Hyogo University of Health Sciences



兵庫医療大学年報

平成26・27年度



学校法人 兵庫医科大学

兵庫医療大学

兵庫医療大学年報（平成26・27年度）の発刊に当たって

兵庫医療大学 学長 馬場 明道

「これまでの10年、これからの10年」

兵庫医療大学は、平成28年に創立10周年を迎えます。本学がこれまで、順調な歩みを続けてこれ来ましたことは、学校法人兵庫医科大学はもとより、行政、近隣大学、教育連携をお願いしている諸施設、本学保護者会、そして、地域の皆様の絶大なるご理解・ご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。この機会に、本学の「これまでの10年とこれからの10年」について触れてみたいと思います。

学校法人兵庫医科大学の建学の精神の更なる具現化を目指し、平成19年に開学して以来、医療専門職者の人材養成を目指す医療系総合大学として、今日まで順調に発展してきました。本学の特徴は、兵庫医科大学との密接な教育研究連携の下に、時代に先駆けて、「チーム医療教育」を教育方針のひとつに掲げ、学部間の壁を取り払ったボーダーレスな教育環境で、兵庫医科大学病院を中核とする医療現場に密着した医療人育成教育を行っていることにあります。兵庫医科大学医学部と本学の薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の異なる領域の学生が、グループを組み、医療現場に密着した課題の下に行われる、「チーム医療教育」は、これからのわが国の医療を支える医療専門職者の養成教育と言う視点からも高く評価されています。

松田初代学長の1stステージの6年間と、私が学長を拝命しての2ndステージの3年間で、大学としての教学基盤、経営基盤を整備することが出来ました。医療系総合大学としての特質を活かした独自の教育方針に基づく教学の実施により、毎年、医療人への夢を持つ多くの若者を受け入れ、そして、有為の人材としてそれぞれの分野に輩出しています。医療系学部を取り巻く環境は、今も過当競争の真只中にありますが、「チーム医療教育」に集約される本学独自の教育理念と学校法人兵庫医科大学がもつアドバンテージが、学生のみならず、広く社会の理解と共感を得ていることの証と考えています。

平成27年度には、「チーム医療教育」と云う開学からの教学方針に加え、「地域に生き、地域と共に学ぶ」ことを、本学のもうひとつの教学方針に定め、その実施プラットフォームとして、「社会学連携推進機構」を学内に設置しました。すでに、本機構の取り組みが、文科省の私立大学活性化事業の「地域連携」と「地域共同研究」に採択され、各々複数のプログラムがスタートしています。また、文科省の大学院研究科の新しい教育プログラム「職業実践力育成プログラム（BP）」に、本学大学院研究科の3プログラムが認定され、新しい文部科学大臣の認定コースも始まりました。

これまでの10年で、医療系大学としての独自の基盤を確立することが出来ました。これからの10年は、その内容を大きく発展させると共に、ベクトルを外に向け、名実共に、「地域に生き、地域と共に学ぶ」大学としての社会貢献を果たしていく所存です。

皆様の、ご指導、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

目 次

年報挨拶 年報第5巻発刊に当たって

学 長 馬場 明道

目 次

I 兵庫医療大学の学事と組織

1. 沿革	1
2. 兵庫医療大学の理念	
1) 学部	2
2) 大学院	4
3. 主要行事	
1) 学部	6
2) 大学院	9
4. 学校法人兵庫医科大学組織機構図	11
5. 兵庫医療大学組織機構図	12
6. 大学協議会	14
7. 学部・大学院の構成	
1) 学部・学科	16
2) 大学院・研究科	17
8. 役職者名簿	19
9. 校舎・施設設備の概要	
1) 兵庫医療大学の概要	20
2) 兵庫医療大学 施設配置図	22
10. 各委員会委員一覧	23
11. 委員会の取り組み	
1) FD委員会	31
2) 教育委員会	33
3) 自己点検・評価委員会	34
4) 学生委員会	36
5) 情報センター運営委員会	40
6) 将来構想委員会	41
7) 地域連携推進委員会	42
8) 入試運営委員会（入試センター運営会議）	43
9) 広報委員会	45
10) 図書館委員会	51
11) 遺伝子組換え実験安全委員会	52
12) 環境安全委員会	52
13) 倫理審査委員会	53
14) 病原体等安全管理委員会	58
15) 動物実験委員会	60
16) キャリアデザイン委員会	61
17) 国際交流委員会	62

18) 研究推進委員会	64
19) 紀要委員会	65
20) キャンパス有効利用委員会	67
21) 防火防災対策委員会	67
22) 共同研究の受け入れに関する審査専門委員会	68
23) ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理審査専門委員会	69
24) 利益相反マネジメント委員会	70
25) 先端医薬研究センター運営委員会	
先端医薬研究センター研究プロジェクト選考委員会	71
26) 社会学連携推進機構	72

Ⅱ 教育・研究活動

1. 教育の概要	76
2. 各部門の活動	
1) 薬学部	78
2) 看護学部	86
3) リハビリテーション学部	98
4) 共通教育センター	104
5) 医療人育成センター	109
6) 臨床薬学研修センター	110
7) 教育支援室	115
3. 大学院	
1) 薬学研究科	118
2) 看護学研究科	124
3) 医療科学研究科	130
4. 研究施設の活動状況	
1) 先端医薬研究センター	135
2) 共同機器室	136
3) 動物実験センター	137
4) RI実験センター	139
5) 薬用植物園	140
6) 学外研究費の取得一覧	141
7) 教育・研究・社会活動における報道	146
8) 学術講演会等（学術講演会、全学教職員集会）	149

Ⅲ 管理・運営活動

1. 学生の受け入れ	
1) 入学試験状況	152
2) 学生数の修学状況	158
3) 入学試験関連の広報活動	158
2. 学生の福利厚生	
1) 奨学金の貸与状況	174

2) 学生会活動	174
3) 保健管理センター	179
3. 学内広報	
1) 学内広報誌「HUHS NOW」の刊行	187
2) IB（インフォメーションボード）からの情報発信	188
4. 付属施設・活動状況	
1) 図書館	190
2) 情報センター	192
3) キャリアデザインセンター	193
4) 地域連携実践センター	196
5) 事務部門（神戸キャンパスオフィス）	206
5. 神戸ポートアイランド4大学連携事業	
1) ポーアイ健康・生活支援ステーション	208
2) 実務者会議	208
3) 部会活動	
(1) 入試広報部会	209
(2) 教務部会	210
(3) 学生部会	212
(4) 図書館部会	213
(5) キャリア部会	215
(6) 社会貢献部会	216

編集後記

I 兵庫医療大学の学事と組織

1. 沿革

- 昭和46年11月 学校法人兵庫医科大学寄附行為認可および兵庫医科大学設置認可
- 昭和47年 4 月 兵庫医科大学開学
- 4 月 兵庫医科大学病院開設
- 昭和53年 3 月 兵庫医科大学大学院医学研究科設置認可
- 10月 兵庫医科大学篠山病院開設
- 9 月 兵庫医科大学ささやま老人保健施設開設
- 平成18年11月 学校法人兵庫医科大学寄附行為変更認可および兵庫医療大学設置認可
- 平成19年 4 月 兵庫医療大学開学
- 4 月 保健管理センター開設
- 6 月 医療人育成センター（西宮キャンパス）開設（旧：医学・医療教育研修センター）
- 10月 地域連携実践センター開設
- 10月 兵庫医療大学先端医薬研究センター開設（旧：医薬共同創薬研究開発センター）
- 平成20年 1 月 神戸ポートアイランドキャンパス 4 大学連携協定締結
- 4 月 動物実験センター開設
- 9 月 薬用植物園開設
- 9 月 平成21年度看護学部看護学科三年次編入学試験開始
- 10月 第 1 回兵庫医療大学大学祭（海泉祭）開催
- 10月 臨床薬学研修センター開設
- 12月 神戸ポートアイランドキャンパス 4 大学連携における単位互換に関する協定締結
（兵庫医療大学、神戸学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学）
- 平成21年 3 月 兵庫医療大学体育館（アリーナ）完成
- 3 月 防災・減災およびボランティア活動に関する 5 大学連携支援協定を締結
（兵庫医療大学、工学院大学、大妻女子大学、神戸学院大学、神戸女子大学）
- 4 月 キャリアデザインセンター開設
- 7 月 神戸夙川学院大学 大学入試センター試験の共同実施に関する協定書調印
- 9 月 RI実験センター開設
- 平成22年 1 月 平成22年度大学入試センター試験利用入学試験（薬学部、看護学部）開始
- 12月 兵庫医療大学大学院看護学研究科・医療科学研究科設置認可
- 平成23年 4 月 兵庫医療大学大学院開設
- 6 月 フィンランド共和国トゥルク応用科学大学との学術交流に関する協定を締結
- 平成25年 3 月 大学基準協会認定評価において大学基準適合認定
- 3 月 第 1 期卒業生輩出（薬学部）
- 4 月 兵庫医療大学大学院薬学研究科設置
- 平成26年 3 月 オーストラリア連邦アデレード大学と学術交流に関する基本合意書を締結
- 平成27年 4 月 兵庫医療大学社会学連携推進機構設置
- 12月 兵庫医療大学職業実践力育成プログラム（BP）の文部科学大臣認定
- 平成28年 3 月 兵庫医療大学リハビリテーション学部教育評価認定
- 3 月 兵庫医療大学薬学部教育評価認定

2. 兵庫医療大学の理念

1) 学 部

兵庫医療大学教育理念

人間への深い愛と豊かな人間性を持ち、幅広い知識と優れた技術を備え、社会とともに医療を担う医療専門職者を育成する

兵庫医療大学教育目標

「幅広い教養と心豊かな人格の育成」、「関連分野とのボーダレスな教育環境のもと、専門性の高い知識と技術の修得」「優れたコミュニケーション能力を基礎としたチーム医療・地域医療を担える資質の育成」及び「次世代の医療科学を担う創造性と国際性の涵養」

〈薬学部〉

教育理念

基礎と臨床を融合させた薬学教育とともに、医学・医療の関連分野との横断的实践教育により、人と社会の健康と幸福に広く貢献できる薬剤師を育成する。

教育目的

薬学部では、「くすり」（医薬品、化学物質、手段）と「生体」（ヒト、生物／病原体、生体成分）に関する正しい知識とともに、生命の尊厳を畏敬し、人々の健康と幸福を真に願う医療専門職者としての適格な意識を備え、多様な分野で薬学的立場から全人的医療を支えることのできる薬剤師の養成を目指す。

教育目標

- i) 「くすり」と「生体」及びその相互作用に対する科学的理解を深め、幅広い教養とともに薬剤師として基盤となる正しい知識を身に付ける。
- ii) 生命の尊厳を尊重する高い倫理観とともに、人々の健康と幸福を願い、その治療とケアに携わることができる豊かな人間性を養う。
- iii) ボーダレスな教育環境のもと、様々な医療専門職者の役割を理解し、連携を保ち互いに協調し、患者の病態のみならず心理的・社会的背景をも理解し、適切な薬物治療を推進する総合的実践能力を身に付ける。
- iv) 医療の高度化・多様化及び科学技術の進展に適切に迅速に対応するため、高い創造性と生涯にわたり自ら学び続ける自己開発能力を身に付ける。
- v) 個人にとって安全かつ適正な薬の使用を促すため、くすりの有効性・安全性に関する正しい知識とともにリスク管理能力を身に付ける。
- vi) 優れたコミュニケーション能力を身に付けるとともに、医療・保健衛生分野における薬剤師のあり方について学び、社会的視野を広げる。

〈看護学部〉

教育理念

看護学における理論的知と臨床の知が融合した豊かな教育環境のなかで、倫理観に富んだ人間愛を育み、看護の専門的な知・技・心を培うとともに、他職種と協働し、様々な療養の場における人々のクオリティ・オブ・ライフを高め、同時に、地域で生活を営む人々の最適健康状態を導き、維持、

増進させる看護専門職者を育成する。

教育目的

看護学部は、人の生命や価値観を尊重し、基本的な看護の専門的知識・技術・態度を教授し、クオリティ・オブ・ライフの向上をめざし、最適健康状態を維持、増進させる実践力と、医療関連学部間の有機的連携をもとにしたチーム医療に必要な能力を育成するとともに、グローバルな視野で保健・医療・福祉の課題を総合的にとらえられる、感性豊かで倫理的・創造的な看護専門職者の養成を目指す。

教育目標

- i) 豊かな人間性を備え、人の痛み、苦しみや生命の尊厳を理解し、人がもつ権利や価値観を尊重して行動することができる。
- ii) 理論と実践から導き出された看護学に関する専門的知識と科学的根拠に基づく判断能力及び問題解決能力を身に付ける。
- iii) 対象者の安全・安楽と主体性を重視した科学に基づく専門的技術及び人の尊厳と権利を擁護するのに大切なコミュニケーション技法を身に付ける。
- iv) 医学、薬学、リハビリテーション学におけるそれぞれの専門性や役割について理解し、それぞれの職種の人々と有機的に連携協力するとともに調整できる能力を身に付ける。
- v) 地域的・国際的な視野で、保健・医療・福祉の課題を幅広くとらえ、看護職者の役割・機能を展望できる。
- vi) 自ら考え創造する態度を身に付け、生涯にわたって看護学を探究し続ける基盤をもつことができる。

〈リハビリテーション学部〉

教育理念

リハビリテーション学部は人の機能・活動・社会参加を心身の両面から支援し、幸福と共生に奉仕できることを目指す。そのために幅広い教養、高度な専門的知識と技術及び教育研究技術を育み、社会人として、またリハビリテーション専門職者として社会に貢献できる人材を育成する。

教育目的

リハビリテーション学部は人々の幸福と共生に奉仕する精神のもと、リハビリテーションに必要な人と社会の理解及び保健・医療・福祉に関する諸学問の知識を教授し、チーム医療実践の場においてリハビリテーション専門職者として力を発揮することができる総合的实践力、社会の多様なニーズに応え先駆的な教育・研究へ展開できる能力及び生涯にわたって自己を練成できる能力を持った人材の育成を目指します。

教育目標

- i) 多様な文化や価値観を受け容れる、地域的・国際的感覚及び豊かな人間性を備え、人々の幸福と共生に奉仕する精神をもって行動することができる。
- ii) 様々な医療専門職者の役割や専門性を理解し、チーム医療実践の場において他の医療専門職者と有機的に連携協力できる総合的实践力を身に付ける。
- iii) 地域での医療ケアや教育など社会の多様なニーズに応えることができ、さらに中核的な行動を担うことができるよう、生涯にわたって自己を練成できる能力を身に付ける。
- iv) リハビリテーションを実践するにあたり必要な基礎医学とともに、人の機能のみならず心理や行動をも深く理解し基礎学力として身に付ける。
- v) 効果的なリハビリテーションに必要な保健・医療・福祉の知識と確かな技術を有し、種々の課

題を柔軟に解決できる能力を身に付ける。

vi) 医療の高度化・多様化に対応した知識・技能を修得し、先駆的な教育・研究へ展開できる能力を身に付ける。

2) 大 学 院

兵庫医療大学大学院の教育理念・目的

社会の福祉への奉仕、人間への深い愛、人間への幅の広い科学的理解という学校法人兵庫医科大学の建学の精神のもと、人間への深い愛と豊かな人間性を持ち、幅広い知識と優れた技術を備え、社会とともに医療を担う医療専門職を育成する。

本学の大学修士課程の目的は、基盤とする医療関連の知識や経験をさらに発展させ、優れた科学的知識と実践的能力を培い、創造性、科学性、そして広い視野を持って医療やヘルスサイエンスの領域で社会に貢献し、さらに医療科学の新たな分野を開拓できる人材を育成することである。

〈看護学研究科〉

看護学専攻は、看護専門職者が保健・医療・福祉の場で行う看護実践の科学的根拠となる基礎理論及びその応用について体系的に授業・研究すると共に、地域社会における人々の健康生活の維持増進、疾病の予防と健康の回復に向けた看護援助・支援を創造的・科学的に実践できる高度な看護専門職者を育成することを目的とする。

教育・研究の理念・目標

兵庫医療大学看護学研究科の理念は、保健・医療・福祉及び社会の変動に対応して、生命と人権を尊重し、看護学の専門的知識と技術を立脚し、創造的かつ科学的に看護が実践できる人材ならびに看護の教育と研究に携わる人材を育成し、人々の健康とQOLの向上及び看護学の進歩・発展に寄与することである。そのために、以下の5つを目標とする。

- ① 専攻する看護学専門分野に関連する科学的根拠と理論を修得し、看護実践に応用することができる。
- ② 専攻する看護学専門分野において、専門性の高い知識・技術を持って看護を実践し、相談・教育・調整機能を高め、看護の質向上と変革を推進することができる。
- ③ 人間愛と高い倫理観を持ち、複雑な倫理的問題を的確に判断し調整することができる。
- ④ 先進医療における看護実践を先導的に行うことを通じて、地域医療の向上に資することができる。
- ⑤ 専攻する看護学専門分野に関する研究課題に取り組み、研究能力を高める。

〈医療科学研究科〉

多岐にわたる医療科学の研究を横断的かつ科学的に推進する研究科として医療科学研究科を置き、その中にリハビリテーション科学を中心とした専攻を構築し、リハビリテーション科学を推進していくための研究者養成を行う一方、多様化・複雑化してくる医療の問題に向き合い、質の高い臨床的思考によって効果的なリハビリテーション支援が展開できる高度専門職業人を養成することを目的とする。

教育・研究の理念・目標

医療科学研究科は、設置の目的を達成するため、2分野3コースにて構成し、入学対象者は、理学療法士・作業療法士を中心としながらも、研究科の目的に則して医療・保険・福祉分野で活躍する幅広い職種とする。各コースにおいて理学療法士・作業療法士を対象とした高度実践専門職志向の院生の教育を実践するとともに、幅広い職種を含めた研究志向の院生を対象とした教育を行う。

高度実践専門職者を志向する院生に対しては、臨床現場での臨床研修ならびに臨床的テーマに関する課題研究を課し、高度な専門的知識と臨床技能を身につけ、臨床現場のリーダーとなる人材を育成する。

研究志向の院生については、修士論文を課し、研究に必要な知識・技術を修得し研究者として研究を企画遂行できる人材を育成する。これらの人材養成を実現するため、以下の4つを目標とする。

- ① 医療科学における科学的根拠ならびに最新の専門的知識を修得し、幅広い医療人としての教養を培う。
- ② 専攻する分野におけるより高度な専門的知識ならびに技術を修得し、臨床現場において実践できるとともに更なる発展・向上に努めることができる素養を培う。
- ③ 専攻する分野における研究課題に取り組み、研究能力を高める。
- ④ 専攻する分野において、高度な臨床的推論に基づく臨床実践が展開できるとともに、後進の育成ができ、臨床現場での指導者としての素養を高める。

〈薬学研究科〉

近年、医療の急速な進歩に伴い、すべてのメディカルスタッフに要求される能力も高度化している。薬剤師にも薬学研究者にも、これまで以上に医療現場における薬に関する問題点に主体的に係ることが要求され、それにこたえるべく薬学部の6年制教育が開始された。本研究科は、6年制薬学部の上に立つ大学院として、入学者が将来高度な研究能力を有する薬剤師もしくは臨床経験を有する薬学研究者として自立して研究活動を継続していくのに必要な能力を獲得し、医療の質の向上に貢献していくことを目指す。

教育・研究の理念・目標

本学は、学校法人兵庫医科大学のもと兵庫医科大学の兄弟校として平成19年4月に薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の3学部体制で開学した。開学時よりチーム医療の中で活躍できる専門職者の育成を目指し、学部間の垣根をなくして教育を進めるボーダレスで学際的な教育環境を提供してきた。この精神を薬物療法の分野においてさらに発展させるべく薬学研究科は設立された。すなわち、薬学研究科の教育・研究の理念は、医療の現場における問題点を解決できる薬剤師・薬学研究者を育成し、薬物療法の進歩を通じてチーム医療の発展に貢献し、人々の健康増進に寄与することである。

薬学研究科の教育・研究の目標は以下の通りである。

- 1) 高度な研究能力、すなわち臨床現場において問題点を発見し、それを解決する適切な研究計画を立案し、さらにその成果を論文化することのできる能力を持って薬剤師業務の質向上と変革を推進することができる。
- 2) 医療薬学における問題点を基礎薬学の視点から眺め、それを解決しうる基礎的・実験的研究課題を自ら設定し、それを新しい薬剤・製剤・臨床適応の開発に発展させていくことができる。

3. 主 要 行 事

1) 学 部

〔平成26年度〕

【前 期】

入 学 式	4月5日（土）
オリエンテーション（第1学年次）	4月5日（土）午後～8日（火）
〃（薬学部第2・3・4・5・6学年次）	4月2日（水）
〃（看護学部第2・3・4学年次）	4月1日（火）
〃（リハビリテーション学部第2・3・4学年次）	4月1日（火）
前期授業開始（第1・2・3・4・6学年次）	4月9日（水）
〃（第5学年次）	4月7日（月）
アドバイザー懇談会	4月7日（月）
BLS講習会（第1学年次）	4月12日（土）
前期履修登録期間（第1・2・3・4・6学年次）	4月9日（水）～15日（火）
前期単位認定試験期間（第1学年次）	7月29日（火）～8月2日（土）
〃（第2学年次以上）	7月29日（火）～8月6日（水）
〃（薬学部第5学年次、看護学部第4学年次）	（別途通知）
Early Clinical Exposure（第1学年次）【※場所：兵庫医科大学病院】	8月4日（月）～9日（土）
秋季学位授与式〈予定〉	9月20日（土）

【後 期】

後期授業開始（第1学年次）	9月16日（火）
後期授業開始（第2・3・4・5・6学年次）	9月19日（金）
医学部との合同チュートリアル（第4学年次）【※場所：西宮キャンパス】	9月8日（月）～12日（金）
医学部との合同チュートリアル（第1学年次）	9月16日（火）～18日（木）
後期履修登録期間（第1・2・3・4・5・6学年次）	9月19日（金）～25日（木）
〃（リハビリテーション学部第3学年次）	10月20日（月）～24日（金）
大学祭（第7回海梟祭）	10月12日（日）・13日（月）
法人創立記念日	11月22日（土）
後期単位認定試験期間（下記以外）	1月20日（火）～27日（火）
〃（看護学部第3・4学年次）	（別途通知）
〃（リハビリテーション学部第3学年次）	12月9日（火）～19日（金）
	（※授業日含む）
薬学共用試験OSCE（薬学部第4学年次）	12月7日（日）
〃 CBT（薬学部第4学年次）	1月27日（火）
学位授与式	3月15日（日）

※健康診断日・抗体検査日・ワクチン接種説明会・4種ワクチン接種日

健康診断・抗体検査日（第1学年次）	4月12日（土）
健康診断日（薬学部第2・3・4・5・6学年次）	4月2日（水）
〃（看護学部第2・3・4学年次）	4月1日（火）
〃（リハビリテーション学部第2・3・4学年次）	4月1日（火）
ワクチン接種説明会（第1学年次）	5月16日（金）
4種ワクチン接種日（第1学年次）第1回目	5月22日（木）
〃第2回目	6月19日（木）
〃第3回目	7月17日（木）

※授業時間表

第1時限	9時30分	～	11時00分（90分間）
第2時限	11時10分	～	12時40分（90分間）
第3時限	13時40分	～	15時10分（90分間）
第4時限	15時20分	～	16時50分（90分間）
第5時限	17時00分	～	18時30分（90分間）
第6時限	18時40分	～	20時10分（90分間）

〔平成27年度〕

【前期】

入学式	4月5日（日）
オリエンテーション（第1学年次）	4月3日（金）、6日（月）、7日（火）
〃（薬学部第2・3・4・5・6学年次）	4月2日（木）
〃（看護学部第2・3・4学年次）	4月1日（水）
〃（リハビリテーション学部第2・3・4学年次）	4月1日（水）
アドバイザー懇談会	4月3日（金）
BLS講習会（第1学年次）	4月11日（土）
〈前期〉授業開始（第1学年次）	4月8日（水）
〃（第2・3・4・5・6学年次）	4月6日（月）
〈前期〉履修登録期間（第1学年次）	4月8日（水）～14日（火）
〈前期〉履修登録期間（第2・3・4・6学年次）	4月6日（月）～10日（金）
〈前期〉試験期間（第1学年次）	7月24日（金）、7月29日（水）～8月1日（土）
〃（第2学年次以上）	7月27日（月）～8月4日（火）
〃（薬学部5学年次）	※8月1日（土）除く （別途通知）
早期臨床体験実習（E.C.E./第1学年次）【※場所：兵庫医科大学病院】	8月3日（月）～8日（土）
チーム医療論演習（医学部との合同チュートリアル/第4学年次）【※場所：西宮キャンパス】	9月7日（月）～11日（金）
早期臨床体験実習（医学部との合同チュートリアル/第1学年次）	9月14日（月）～16日（水）
秋季学位授与式	9月19日（土）

【後 期】

〈後期〉授業開始（第1・2・3・4・5・6学年次）	9月24日（木）
〈後期〉履修登録期間（第1・2・3・4・5・6学年次）	9月24日（木）～30日（水）
〃 （リハビリテーション学部理学療法学科第3学年次）	10月13日（火）～16日（金）
〃 （リハビリテーション学部作業療法学科第3学年次）	10月19日（月）～23日（金）
大学祭（第8回海梟祭）	10月11日（日）・12日（月）
学校法人兵庫医科大学創立記念日	11月22日（日）
〈後期〉試験期間（看護学部第3学年次除く）	1月21日（木）・22日（金）・26日（火）・ 27日（水）、2月1日（月）～3日（水）
〃 （リハビリテーション学部第3学年次）	12月21日（月）～25日（金）
薬学共用試験OSCE（薬学部第4学年次）	12月6日（日）
〃 CBT（薬学部第4学年次）	12月17日（木）
学位授与式	3月15日（火）

※健康診断日・抗体検査日・ワクチン接種説明会・4種ワクチン接種日

健康診断・抗体検査日（第1学年次）	4月11日（土）
健康診断日（薬学部第2・3・4・5・6学年次）	4月2日（木）
〃 （看護学部第2・3・4学年次）	4月1日（水）
〃 （リハビリテーション学部第2・3・4学年次）	4月1日（水）
ワクチン接種説明会（第1学年次）	5月8日（金）
4種ワクチン接種日（第1学年次）第1回目	5月14日（木）
〃 第2回目	6月11日（木）
〃 第3回目	7月9日（木）

※授業時間表

第1時限	9時30分	～	11時00分（90分間）
第2時限	11時10分	～	12時40分（90分間）
第3時限	13時40分	～	15時10分（90分間）
第4時限	15時20分	～	16時50分（90分間）
第5時限	17時00分	～	18時30分（90分間）
第6時限	18時40分	～	20時10分（90分間）

2) 大 学 院

【平成26年度】

【前 期】

入学式	4 月 5 日 (土)
オリエンテーション	4 月 5 日 (土)
前期授業開始 (薬学研究科)	4 月12日 (土)
前期授業開始 (看護学研究科)	4 月12日 (土)
前期授業開始 (医療科学研究科)	4 月 6 日 (日)
前期授業終了 (薬学研究科)	7 月26日 (月)
前期授業終了 (看護学研究科)	8 月23日 (土)
前期授業終了 (医療科学研究科)	7 月13日 (日)

【後 期】

後期授業開始 (薬学研究科)	9 月13日 (土)
後期授業開始 (看護学研究科)	10月 3 日 (金)
後期授業開始 (医療科学研究科)	9 月28日 (日)
法人創立記念日	11月22日 (土)
後期授業終了 (薬学研究科)	2 月28日 (土)
後期授業終了 (看護学研究科)	12月19日 (金)
後期授業終了 (医療科学研究科)	1 月24日 (土)
学位授与式 (看護学研究科・医療科学研究科)	3 月15日 (日)

※健康診断日・ワクチン接種日

健康診断日 (第1学年次)	4 月12日 (土)
〃 (第2学年次)	4 月 1 日 (火)、2 日 (水)
4 種ワクチン接種日 第1回	5 月22日 (木)
〃 第2回	6 月19日 (木)
〃 第3回	7 月17日 (木)
接種後の抗体検査日	10月 7 日 (火)、16日 (木)、27日 (月)

※授業時間表

第1時限	9 時30分	～	11時00分 (90分間)
第2時限	11時10分	～	12時40分 (90分間)
第3時限	13時40分	～	15時10分 (90分間)
第4時限	15時20分	～	16時50分 (90分間)
第5時限	17時00分	～	18時30分 (90分間)
第6時限	18時40分	～	20時10分 (90分間)
第7時限	20時20分	～	21時50分 (90分間)

【平成27年度】

【前 期】

入学式	4月5日（日）
オリエンテーション	4月5日（日）
前期授業開始（薬学研究科）	4月11日（土）
前期授業開始（看護学研究科）	4月18日（土）
前期授業開始（医療科学研究科）	4月11日（土）
前期授業終了（薬学研究科）	7月25日（土）
前期授業終了（看護学研究科）	9月5日（土）
前期授業終了（医療科学研究科）	8月8日（土）

【後 期】

後期授業開始（薬学研究科）	9月12日（土）
後期授業開始（看護学研究科）	10月2日（金）
後期授業開始（医療科学研究科）	8月29日（土）
法人創立記念日	11月22日（日）
後期授業終了（薬学研究科）	2月27日（土）
後期授業終了（看護学研究科）	1月22日（金）
後期授業終了（医療科学研究科）	2月2日（火）
学位授与式（看護学研究科・医療科学研究科）	3月15日（火）

※健康診断日・ワクチン接種日

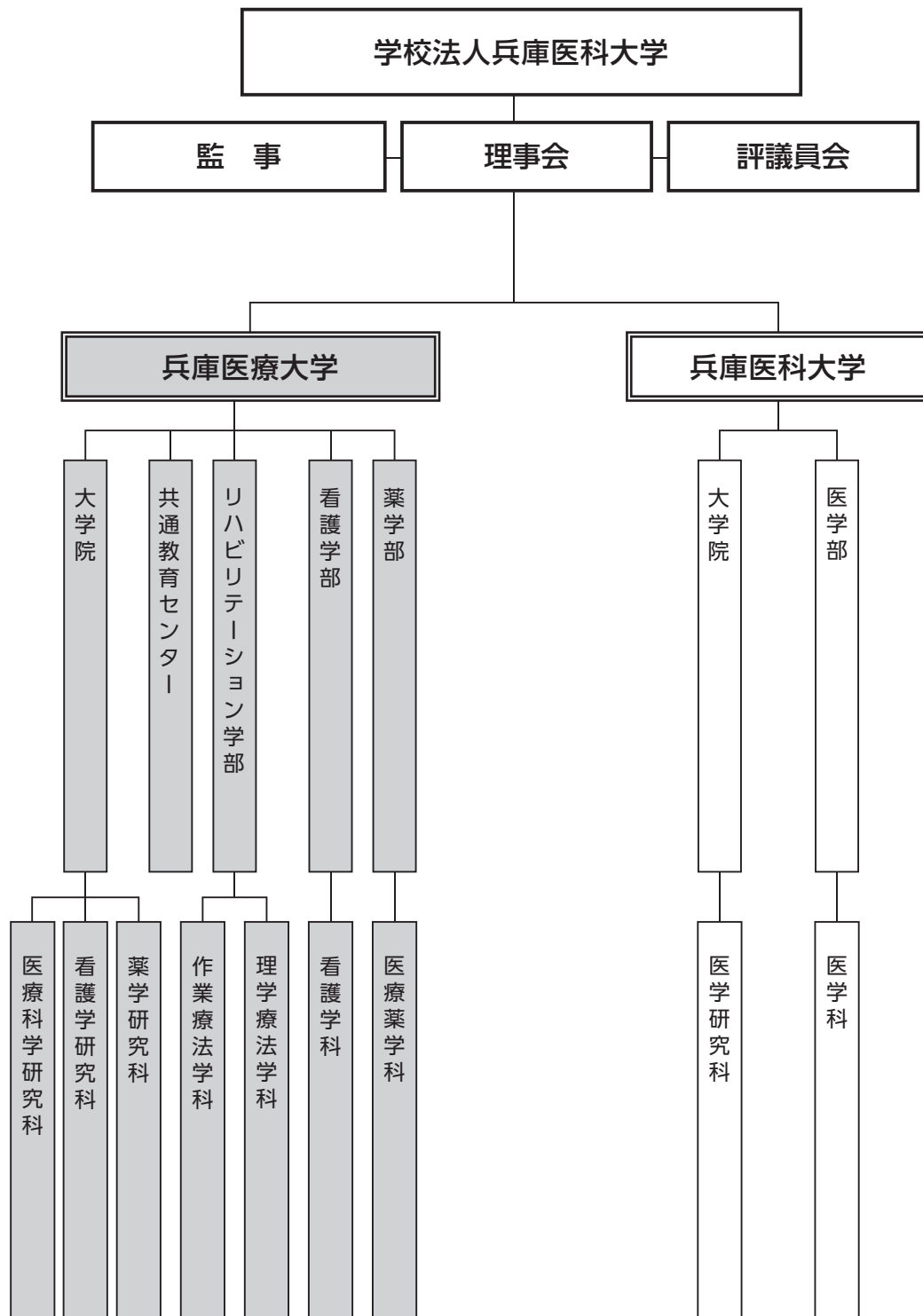
健康診断日（第1学年次）	4月11日（土）
〃（第2学年次）	4月1日（水）、2日（木）
4種ワクチン接種日 第1回	5月14日（木）
〃 第2回	6月11日（木）
〃 第3回	7月9日（木）
接種後の抗体検査日	10月6日（火）、15日（木）、28日（水）

※授業時間表

第1時限	9時30分	～	11時00分（90分間）
第2時限	11時10分	～	12時40分（90分間）
第3時限	13時40分	～	15時10分（90分間）
第4時限	15時20分	～	16時50分（90分間）
第5時限	17時00分	～	18時30分（90分間）
第6時限	18時40分	～	20時10分（90分間）
第7時限	20時20分	～	21時50分（90分間）

4. 学校法人兵庫医科大学組織機構図

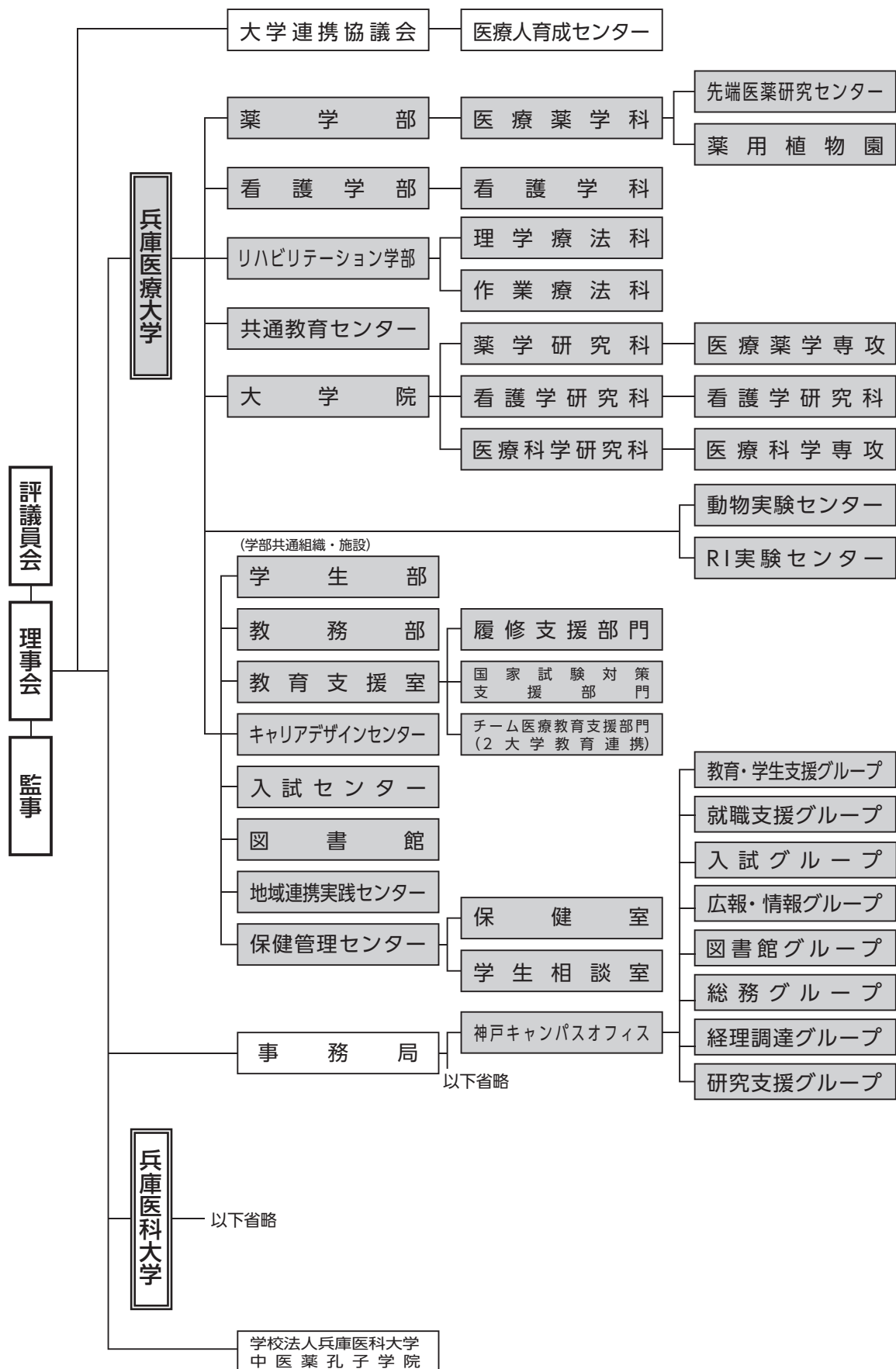
平成26・27年度



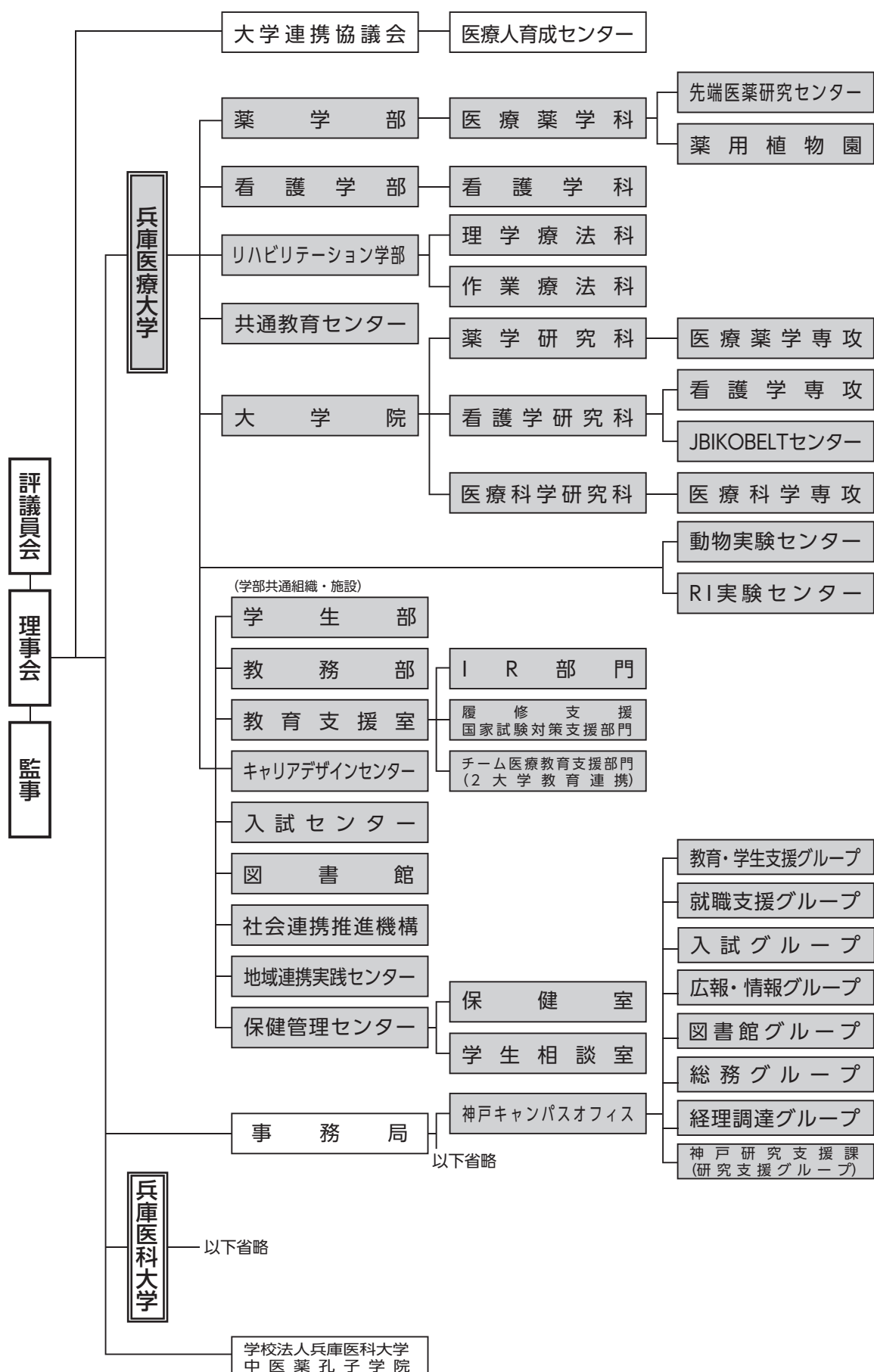
(: 神戸キャンパス : 西宮キャンパス)

5. 兵庫医療大学組織機構図

平成26年度



平成27年度



6. 大学協議会

i) 概要

大学協議会は、本学の最高意思決定機関であり、毎月1回、定期的に開催している。構成メンバーは学長、副学長、学部長、共通教育センター長、教務部長、学生部長、ゼネラルマネージャーである。平成26年度までは研究科長はオブザーバーとして出席していたが、平成27年度からは研究科長も大学協議会の構成メンバーとした。また、学長補佐（事務担当）、事務次長の陪席を認めている。

大学の教学、管理運営、社会活動、将来構想等、大学の全ての活動に係る重要事項を協議している。教授会や委員会などで十分に検討を加えた事項について、全学的立場から協議し、その意見を聴いたうえで、学長が最終意思決定を行っている。さらに、特定事項については、学校法人兵庫医科大学常務会、同理事会に付議し、承認を得る。

平成27年4月1日より施行された「学校教育法と国立大学法人法の一部改正」にしたがって、本学でも平成27年4月1日付で、学長のリーダーシップの下、戦略的に大学を運営できる体制を構築するために、学則を改正した。本学を代表し校務をつかさどる学長の裁量や権限と、学生の入学・卒業および課程の修了や学位の授与、教育課程編成など教学事項を協議し学長に意見を述べる教授会の立場を明確にした。

兵庫医療大学開学10周年に向けてのセカンドステージの戦略的取り組み事項の策定、大学ガバナンスの強化のための、管理運営体制の改善（3副学長による業務の分掌体制と学長補佐（事務担当）の設置）を行ってきた。平成27年度は、改正された学則の下で4副学長体制にして管理運営体制を強化した。学長・副学長会議および学長・学部長懇談会を定例の大学協議会の間に行い、管理運営が円滑に行うことができる体制を構築した。

学長・副学長会議

大学に係る諸案件の中で、特に、リスクマネジメントや大きな方向性の決定などの重要な案件について、論点と課題を抽出し、その基本方針を決定する。学長・学部長懇談会（後述）、大学協議会での協議・決定を効率的に、かつ、適切に行うための会議で毎月1回定期的に開催している。なお、緊急の案件がある場合には、定例会以外に適宜開催している。

学長・学部長懇談会（学学懇）

主に、大学協議会の協議案件について、学部間での共通認識を図り、事前の検証、意見交換を十分行うことにより、大学協議会での決定を効率的、かつ、適切に行うための懇談会である。毎月1回定例で開催している。

ii) 特記すべき活動状況

教務、学生生活、危機管理、人事、予算、社会貢献活動などにかかる通常の協議内容以外で、特記すべきものを次に抜粋して掲載する。

(1) 平成26年度

- ナレッジキャピタルでの「大学都市KOBE！発信プロジェクト」への参画
- 課題解決型高度医療人材養成プログラム
- 社会学連携推進機構の設置と運営規程の策定
- 文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」タイプ1（教育の質的転換）への申請
- アデレード大学看護学部 学術交換留学プロジェクト JBI（The Joanna Briggs Institute；ジョ

アンナ・ブリッグス研究所)との協働活動でJBI Kobe Linguistic Translation Center (JBI神戸日本語翻訳センター)を設置

- 学校教育法改正に伴う兵庫医療大学学則の一部改正ならびに諸規程の一部改正(学長裁量の強化)

(2) 平成27年度

- 課題解決型高度医療人材養成課程
- 北京中医薬大学との学術交流協定の締結
- GPA制度の導入
- 兵庫医療大学大学院発の職業実践力育成プログラム (BP: Brush up Program for professional) の設置
- 教育支援室の「IR 部門」の新設
- ベストレクチャー賞の選定
- 社会学連携ポリシーの策定とステーション設置
- 鳥取県およびふるさと鳥取県定住機構との就職支援に関する連携協定
- 薬草振興の連携活動に関する協定
- 文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」タイプ1 (教育の質的転換)、タイプ2 (地域発展)、タイプ3 (産業界・他大学等との連携) への申請、採択

7. 学部・大学院の構成

1) 学部・学科

i) 概要・教員構成

本学は、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部（理学療法学科および作業療法学科）、共通教育センターの3学部4学科、1センターより構成されている。

本学の特色ある教育の一つである共通教育センターは、これら3学部4学科の全学生に対して、医療人としての人格形成のための一般教養科目からチーム医療関連など、多彩な基礎科目と専門基礎科目を含めたボーダレスな教育を行っている。

表1. 学部等の概要

学 部	学 科	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位または称号
薬学部	医療薬学科	6	150	—	900	学士 (薬学)
看護学部	看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)
リハビリテーション学部	理学療法学科	4	40	—	160	学士 (理学療法学)
	作業療法学科	4	40	—	160	学士 (作業療法学)
合 計		—	330	—	1,620	

表2. 教育課程の授業科目数

平成26年度

学部等の名称	授業科目の総数	卒業要件単位数
薬学部医療薬学科	131科目	195.5単位
看護学部看護学科	117科目	130単位
リハビリテーション学部理学療法学科	95科目	129単位
リハビリテーション学部作業療法学科	102科目	132単位

平成27年度

学部等の名称	授業科目の総数	卒業要件単位数
薬学部医療薬学科	146科目	194.5単位
看護学部看護学科	117科目	130単位
リハビリテーション学部理学療法学科	95科目	129単位
リハビリテーション学部作業療法学科	102科目	132単位

表 3. 教員組織の概要

平成26年度

学部等の名称	専任教員等 (人数)					合 計
	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
薬学部医療薬学科	18	4	9	10	6	47
看護学部看護学科	8	8	9	12	2	39
リハビリテーション学部理学療法学科	4	1	5			10
リハビリテーション学部作業療法学科	4	2	5	1		12
共通教育センター	5	3	4			12
合 計	39	18	32	23	8	120

(平成26年 5 月 1 日現在)

平成27年度

学部等の名称	専任教員等 (人数)					合 計
	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
薬学部医療薬学科	18	3	10	10	4	45
看護学部看護学科	7	8	10	10	3	38
リハビリテーション学部理学療法学科	4	1	5			10
リハビリテーション学部作業療法学科	4	2	5	1		12
共通教育センター	6	2	4			12
合 計	39	16	34	21	7	117

(平成27年 5 月 1 日現在)

2) 大学院・研究科

i) 概要・教員構成

平成23年度から、大学の基本理念である次世代の医療を担う医療人の育成の趣旨を発展させることを目的として、社会の期待に対応すべく高度実践専門職を育てる大学院修士課程の看護学研究科と医療科学研究科を設置し、また、優れた科学的知識と高度な研究能力を培い、創造性、科学性、そして広い視野をもって医療科学の新たな分野を開拓できる人材の育成を目的とし、平成25年 4 月に薬学研究科を開設した。

学生募集においては、社会人に門戸を広げ現在医療現場で活躍している人達が入学しやすいよう配慮している。

表 1. 大学院・研究科等の概要

平成26年度

	学 科	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位または称号
看護学研究科	看護学専攻	2	8	—	16	修士 (看護学)
医療科学研究科	医療科学専攻	2	8	—	16	修士 (医療科学)
薬学研究科	医療薬学専攻	4	3	—	12	博士 (薬学)
合 計			19	—	44	

平成27年度

	学 科	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位または称号
看護学研究科	看護学専攻	2	8	—	16	修士 (看護学)
医療科学研究科	医療科学専攻	2	8	—	16	修士 (医療科学)
薬学研究科	医療薬学専攻	4	3	—	12	博士 (薬学)
合 計			19	—	44	

表 2. 教育課程の授業科目数

平成26年度

研究科等の名称	授業科目の総数	卒業要件単位数
看護学研究科看護学専攻	64科目	32単位
医療科学研究科医療科学専攻	27科目	32単位
薬学研究科医療薬学専攻	21科目	30単位

平成27年度

研究科等の名称	授業科目の総数	卒業要件単位数
看護学研究科看護学専攻	86科目	32単位
(課題研究・高度実践領域)	64科目	42単位
医療科学研究科医療科学専攻	39科目	32単位
薬学研究科医療薬学専攻	21科目	30単位

表 3. 教員組織の概要

平成26年度

研究科等の名称	専任教員等 (人数)				合 計
	教 授	准教授	講 師	助 教	
看護学研究科看護学専攻	8	8	4	1	21
医療科学研究科医療科学専攻	8	3	8	0	19
薬学研究科医療薬学専攻	18	4	9	9	40
合 計	34	15	21	10	80

平成27年度

研究科等の名称	専任教員等 (人数)				合 計
	教 授	准教授	講 師	助 教	
看護学研究科看護学専攻	7	8	5	0	20
医療科学研究科医療科学専攻	8	3	9	0	20
薬学研究科医療薬学専攻	18	4	9	8	39
合 計	33	15	23	8	79

8. 役職者名簿

表 1. 平成26年度

役 職 名	氏 名	所 属
学 長	馬 場 明 道	兵庫医療大学
副 学 長	前 田 初 男	薬学部
副 学 長	藤 田 幸 久	兵庫医療大学
副 学 長	末 廣 謙	共通教育センター
薬 学 部 長	西 山 信 好	薬学部
看 護 学 部 長	竹 田 千佐子	看護学部
リハビリテーション学部長	藤 岡 宏 幸	リハビリテーション学部
理 学 療 法 学 科 長	玉 木 彰	リハビリテーション学部
作 業 療 法 学 科 長	山 崎 せつ子	リハビリテーション学部
共 通 教 育 セ ン タ ー 長	伊 東 久 男	共通教育センター
薬 学 研 究 科 長	西 山 信 好	大学院薬学研究科
看 護 学 研 究 科 長	網 島 ひづる	大学院看護学研究科
医 療 科 学 研 究 科 長	藤 岡 宏 幸	大学院医療科学研究科
図 書 館 長	末 廣 謙	図書館
学 生 部 長	新 井 信 之	学生部
教 務 部 長	川 口 浩太郎	教務部
入 試 セ ン タ ー 長	日 高 正 巳	入試センター
保 健 管 理 セ ン タ ー 長	岩 崎 剛	保健管理センター
地 域 連 携 実 践 セ ン タ ー 長	清 宮 健 一	地域連携実践センター
キャリアデザインセンター長	田 中 明 人	キャリアデザインセンター

表 2. 平成27年度

役 職 名	氏 名	所 属
学 長	馬 場 明 道	兵庫医療大学
副 学 長	前 田 初 男	薬学部
副 学 長	藤 田 幸 久	兵庫医療大学
副 学 長	末 廣 謙	共通教育センター
副 学 長	藤 岡 宏 幸	リハビリテーション学部
薬 学 部 長	西 山 信 好	薬学部
看 護 学 部 長	網 島 ひづる	看護学部
リハビリテーション学部長	山 崎 せつ子	リハビリテーション学部
理 学 療 法 学 科 長	玉 木 彰	リハビリテーション学部
作 業 療 法 学 科 長	山 崎 せつ子	リハビリテーション学部
共 通 教 育 セ ン タ ー 長	伊 東 久 男	共通教育センター
薬 学 研 究 科 長	西 山 信 好	大学院薬学研究科
看 護 学 研 究 科 長	竹 田 千佐子	大学院看護学研究科
医 療 科 学 研 究 科 長	玉 木 彰	大学院医療科学研究科
図 書 館 長	末 廣 謙	図書館
学 生 部 長	新 井 信 之	学生部
教 務 部 長	川 口 浩太郎	教務部
入 試 セ ン タ ー 長	日 高 正 巳	入試センター
保 健 管 理 セ ン タ ー 長	岩 崎 剛	保健管理センター
地 域 連 携 実 践 セ ン タ ー 長	神 崎 初 美	地域連携実践センター
キャリアデザインセンター長	田 中 明 人	キャリアデザインセンター

9. 校舎・施設設備の概要

1) 兵庫医療大学の概要

i) 施設設備の概要

(1) 校舎面積と使用区分

校舎全体の面積および使用区分は下表のとおり。

表1. 校舎面積および使用区分

(平成28年3月31日現在)

建物区分	規模・構造	延床面積 m ²	使用区分	敷地面積 m ²
P棟	SRC造3階	8,753.86	管理部門、講堂、図書館、食堂、売店、グループ学習室、保健室、地域連携実践センター 大学院生室	49,138
M棟	SRC造4階	17,025.71	講義室、学生実習室、教員研究室、カンファレンス室、臨床薬学研修センター キャリアデザインセンター	
G棟	SRC造4階	9,296.26	研究室、動物実験室、RI実験室、先端医薬研究センター、リハビリテーションラボ 教員研究室、カンファレンス室	
G棟アリーナ (体育館)	SRC造2階	2,792.26	アリーナ、部室、多目的室	
附属棟	RC造平屋建	125.06	薬用植物園・温室、倉庫	
守衛所	RC造平屋建	4.20	警備員詰所	
合 計		37,997.35		49,138

(2) 用途変更・追加

[平成26年度]

・JBI KOBELT CENTERの設置

M467看護教員研究室に助産学・看護学領域のEBM研究の拠点となる、JBI KOBELT CENTERを設置した。

・G451～453カンファレンスの用途変更

講義室としての運用のみであったが、有効利用のため、その他の用途での利用を開始した。

・社会学連携推進機構の設置

P204地域連携実践センターに社会学連携推進機構を設置した。

[平成27年度]

・PBLラボラトリーの設置

G212（共同機器室4）にPBLラボラトリーを設置した。

ii) 設備設置工事関係

[平成26年度]

・食堂2階へのカウンター席の設置

昼食時の混雑緩和のため、席を30席増設した。

[平成27年度]

・M305、309実習室への災害備蓄品用棚の設置

非常食・水のスムーズな配布のために、広いスペースのある実習室に備蓄品用の棚を設置した。

- ・案内板「附属施設」の設置

特色ある施設・組織を全学的にPRするために、各棟の入口に「附属施設」と題した案内板を設置した。

iii) 建物・設備等の主な改修および更新

[平成26年度]

- ・なし

[平成27年度]

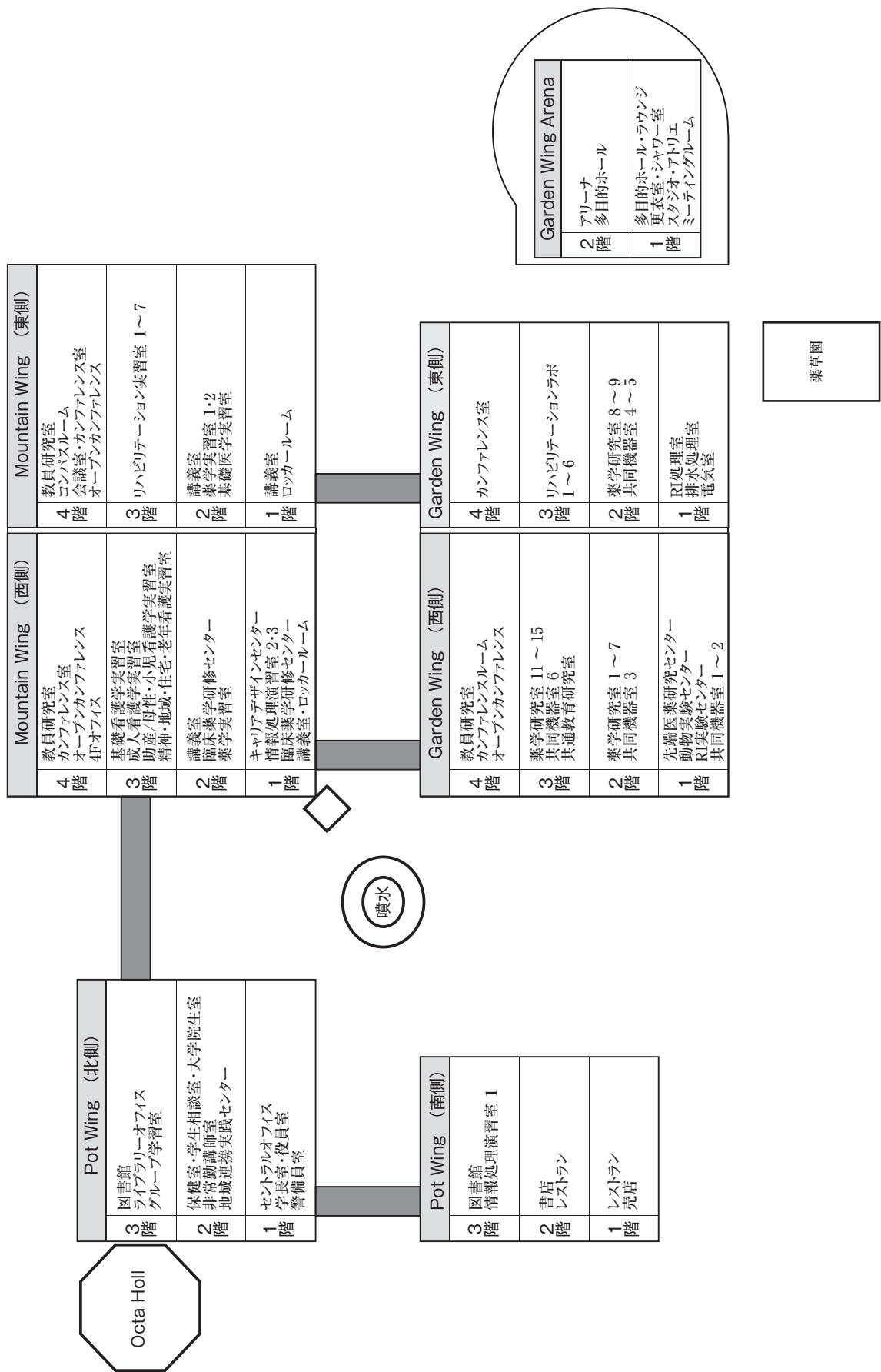
- ・食堂フロアサインの改修

利用者がわかりやすいサインに改良した。

- ・G棟裏ミニグラウンドの改修

新たに土を入れ、周囲をフェンスで囲み、球技等の練習で活用できるようになった。

2) 兵庫医療大学 施設配置図



10. 各委員会委員一覧

【平成26年度】

(太字：委員長)

自己点検・評価委員会		学生委員会	
馬場 明道	学長	新井 信之	学生部長
末廣 謙	副学長・図書館長	大河原知水	薬学部教授
藤田 幸久	副学長	九川 文彦	薬学部教授
前田 初男	副学長	森山 雅弘	薬学部教授
西山 信好	薬学部長・薬学部研究科長	齋藤 雅子	看護学部准教授
竹田千佐子	看護学部長	山田 千春	看護学部講師
藤岡 宏幸	リハビリテーション学部長・医療科学研究科長	山田 大豪	リハビリテーション学部教授
伊東 久男	共通教育センター長	坂口 顕	リハビリテーション学部准教授
網島ひづる	看護学研究科長	塚越 累	リハビリテーション学部講師
新井 信之	学生部長	柏村信一郎	共通教育センター教授
川口浩太郎	教務部長	賀屋 光晴	共通教育センター准教授
田中 明人	キャリアデザインセンター長	岩崎 剛	学校医
日高 正巳	入試センター長	岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM
清宮 健一	地域連携実践センター長	岡田 成弘	教育・学生支援グループM
安屋敷和秀	薬学部教授		
辻野 健	薬学部教授		
神崎 初美	看護学部教授		
山崎せつ子	リハビリテーション学部教授		
秦 正哲	共通教育センター教授		
岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM		

ファカルティ・ディベロップメント委員会		教育委員会	
紀平 知樹	共通教育センター准教授	川口浩太郎	教務部長
辻野 健	薬学部教授	清宮 健一	薬学部教授
戴 毅	薬学部准教授	上田 晴康	薬学部教授
神崎 初美	看護学部教授	土田 敏恵	看護学部教授
山田 千春	看護学部講師	細見 明代	看護学部教授
山田 大豪	リハビリテーション学部教授	松井 徳造	リハビリテーション学部教授
坂口 顕	リハビリテーション学部准教授	森沢 知之	リハビリテーション学部講師
賀屋 光晴	共通教育センター准教授	伊藤 斉子	リハビリテーション学部准教授
西田喜平次	共通教育センター講師	伊東 久男	共通教育センター教授
		紀平 知樹	共通教育センター准教授
		岡田 成弘	教育・学生支援グループM

入試運営委員会		広報委員会	
日高 正巳	入試センター長	青木 俊二	薬学部教授
甲谷 繁	薬学部准教授	上田 晴康	薬学部教授
南畝 晋平	薬学部講師	藤野 秀樹	薬学部講師
土井有羽子	看護学部教授	石原 あや	看護学部准教授
松本 麻里	看護学部准教授	岸 あゆみ	看護学部講師
佐野 恭子	リハビリテーション学部准教授	有吉 正則	リハビリテーション学部講師
森 明子	リハビリテーション学部講師	宮本 俊朗	リハビリテーション学部講師
加藤 精一	共通教育センター教授	賀屋 光晴	共通教育センター准教授
赤井 一之	入試グループM	赤井 一之	広報・情報グループM

地域連携推進委員会	
清宮 健一 桂木 聡子 工藤 里香 坂本 浩 常見 幸 高田 泰彦	地域連携実践センター長 薬学部講師 看護学部講師 リハビリテーション学部講師 共通教育センター講師 総務グループM

倫理審査委員会	
藤岡 宏幸 岩崎 剛 網島ひづる 松井 徳造 紀平 知樹 福島 敏明 式 実 岩佐 義久	リハビリテーション学部教授 薬学部教授 看護学部教授 リハビリテーション学部教授 共通教育センター准教授 学外学識経験者 一般学外者 神戸キャンパスオフィスGM

図書館委員会	
末廣 謙 上田 寛樹 岡野 明美 野崎 園子 坂本 利恵 福田 範子 松原 良知	図書館長 薬学部講師 看護学部講師 リハビリテーション学部教授 リハビリテーション学部講師 共通教育センター講師 図書館グループM

動物実験委員会	
辻野 健 戴 毅 伊藤 崇志 岡田 公江 坂本 浩 伊東 久男 紀平 知樹 山本 悟史 関 真 木原 淳彦	薬学部教授 薬学部准教授 薬学部助教 看護学部講師 リハビリテーション学部講師 共通教育センター教授 共通教育センター准教授 動物実験センター長 学外学識経験者 研究支援グループM

情報倫理委員会	
田中 明人 藤田 優一 山田 大豪 加藤 精一 岩佐 義久 高田 泰彦 赤井 一之	薬学部教授 看護学部講師 リハビリテーション学部教授 共通教育センター教授 神戸キャンパスオフィスGM 総務グループM 広報・情報グループM

遺伝子組換え実験安全委員会	
田中 稔之 大河原知水 三浦 大作 小西美ゆき 柏村信一郎 岩崎 剛 木原 淳彦	遺伝子組換え実験安全主任者 薬学部教授 薬学部講師 看護学部講師 共通教育センター教授 保健管理センター長 研究支援グループM

動物実験センター運営委員会	
山本 悟史 長野 基子 三浦 大作 岡田 公江 坂本 浩 土江 伸誉 伊東 久男 木原 淳彦	動物実験センター長 薬学部講師 薬学部講師 看護学部講師 リハビリテーション学部講師 共通教育センター教授 共通教育センター教授 研究支援グループM

環境安全委員会	
西山 信好 宮部 豪人 斎藤あつ子 岡野 明美 野崎 園子 芝崎 誠司 木原 淳彦	薬学部長 薬学部教授 薬学部教授 看護学部講師 リハビリテーション学部教授 共通教育センター准教授 研究支援グループM

病原体等安全管理委員会	
斎藤あつ子 前田 拓也 野崎 園子 岩崎 剛 木原 淳彦	薬学部教授 薬学部准教授 リハビリテーション学部教授 保健管理センター長 研究支援グループM

RI実験センター運営委員会	
藤野 秀樹 長野 基子 府川 晃子 松井 徳造 伊東 久男 前田 拓也 上田 寛樹 田中 昭二 木原 淳彦	放射線取扱主任者 薬学部講師 看護学部講師 リハビリテーション学部教授 共通教育センター教授 管理区域責任者 安全管理責任者 施設管理責任者 研究支援グループM

キャリアデザイン委員会		国際交流委員会	
田中 明人	キャリアデザインセンター長	辻野 健	薬学部教授
天野 学	薬学部教授	戴 毅	薬学部准教授
桂木 聡子	薬学部講師	鈴井江三子	看護学部教授
笹川 寿美	看護学部准教授	山崎せつ子	リハビリテーション学部教授
府川 晃子	看護学部講師	秦 正哲	共通教育センター教授
玉木 彰	リハビリテーション学部教授		
櫛邊 勇	リハビリテーション学部講師		
芝崎 誠司	共通教育センター准教授		
後藤 伸光	就職支援グループM		

キャンパス有効利用委員会		研究推進委員会	
藤岡 宏幸	リハビリテーション学部教授	前田 初男	副学長（研究担当）
前田 初男	薬学部教授	田中 明人	薬学部教授
藤井眞理子	看護学部教授	西村 明子	看護学部准教授
野崎 園子	リハビリテーション学部教授	森 明子	リハビリテーション学部講師
福田 範子	共通教育センター講師	加藤 精一	共通教育センター教授
岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM	田中 稔之	共同機器室長
高田 泰彦	総務グループM	山本 悟史	動物実験センター長
		藤野 秀樹	RI実験センター長
		岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM

将来構想委員会		先端医薬研究センター運営委員会	
山本 悟史	薬学部教授	西山 信好	先端医薬センター長
上田 晴康	薬学部教授	前田 初男	副学長
田中 稔之	薬学部教授	田中 稔之	薬学部教授
宮部 豪人	薬学部教授	辻野 健	薬学部教授
神崎 初美	看護学部教授	木原 淳彦	研究支援グループM
藤井眞理子	看護学部教授		
西村 明子	看護学部准教授		
玉木 彰	リハビリテーション学部教授		
山崎せつ子	リハビリテーション学部教授		
加藤 精一	共通教育センター教授		

先端医薬研究センター研究プロジェクト選考委員会		共同研究の受け入れに関する審査専門委員会	
西山 信好	センター長	馬場 明道	学長
前田 初男	副学長	前田 初男	副学長（研究担当）
田中 稔之	薬学部教授	田中 稔之	薬学部教授
山本 悟史	薬学部教授	山本 悟史	薬学部教授
柏村信一郎	共通教育センター教授	藤野 秀樹	薬学部講師
		森 明子	リハビリテーション学部講師
		岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理審査専門委員会	
大河原知水	薬学部教授
大野 雅子	薬学部講師
南畝 晋平	薬学部講師
田中 登美	看護学部准教授
松井 徳造	リハビリテーション学部教授
紀平 知樹	共通教育センター准教授
岩江 莊介	学外有識者
竹内 勝一	学外有識者

利益相反マネジメント委員会	
田中 稔之	薬学部教授
鈴井江三子	看護学部教授
野崎 園子	リハビリテーション学部教授
秦 正哲	共通教育センター教授
森田 泰夫	財務担当理事
坂元 譲次	事務局長
岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM
元岡 城作	法務・知的財産室長
塩野 悟	学外有識者

紀要委員会	
末廣 謙	図書館長
安屋敷和秀	薬学部教授
伊藤 壮一	薬学部准教授
藤井眞理子	看護学部教授
貞永千佳生	看護学部講師
野崎 園子	リハビリテーション学部教授
松井 徳造	リハビリテーション学部教授
秦 正哲	共通教育センター教授
松原 良知	図書館グループM

情報センター運営委員会	
馬場 明道	学長
前田 拓也	薬学部准教授
藤田 優一	看護学部講師
櫛邊 勇	リハビリテーション学部講師
西田喜平次	共通教育センター講師
加藤 精一	情報センター長

衛生委員会	
末廣 謙	共通教育センター教授
上田 寛樹	薬学部講師
増田富美子	看護学部助教
奥谷 研	リハビリテーション学部助教
岩崎 剛	衛生管理者・産業医
岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM
江端 弘樹	教育・学生支援グループL

防火防災対策委員会	
馬場 明道	学長
末廣 謙	副学長
藤田 幸久	副学長
前田 初男	副学長
西山 信好	薬学部長
竹田千佐子	看護学部長
藤岡 宏幸	リハビリテーション学部長
伊東 久男	共通教育センター長
新井 信之	学生部長
岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM

放射線障害予防委員会	
藤野 秀樹	放射線取扱主任者
前田 拓也	薬学部准教授
上田 寛樹	薬学部講師
堀口 和子	看護学部准教授
松井 徳造	リハビリテーション学部教授
末廣 謙	共通教育センター教授
木原 淳彦	研究支援グループM

共同機器室運営委員会	
田中 稔之	共同機器室長
清宮 健一	薬学部教授
田中 明人	薬学部教授
坂口 顕	リハビリテーション学部准教授
木原 淳彦	研究支援グループM

(平成26年5月9日現在)

【平成27年度】

(太字：委員長)

自己点検・評価委員会		学生委員会	
馬場 明道	学長	新井 信之	学生部長
末廣 謙	副学長	大河原知水	薬学部教授
藤田 幸久	副学長	九川 文彦	薬学部教授
前田 初男	副学長	中野 博明	薬学部教授
藤岡 宏幸	副学長	岡田 公江	看護学部准教授
西山 信好	薬学部長	山田 千春	看護学部講師
網島ひづる	看護学部長	坂口 顕	リハビリテーション学部准教授
山崎せつ子	リハビリテーション学部長	有吉 正則	リハビリテーション学部講師
伊東 久男	共通教育センター長	塚越 累	リハビリテーション学部講師
岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM	柏村信一郎	共通教育センター教授
		賀屋 光晴	共通教育センター准教授
		岩崎 剛	学校医
		岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM
		岡田 成弘	教育・学生支援グループM

ファカルティ・ディベロップメント委員会		教育委員会	
紀平 知樹	共通教育センター教授	川口浩太郎	教務部長
田中 稔之	薬学部教授	清宮 健一	薬学部教授
伊藤 崇志	薬学部講師	上田 晴康	薬学部教授
神崎 初美	看護学部教授	土田 敏恵	看護学部教授
堀口 和子	看護学部准教授	細見 明代	看護学部教授
山田 大豪	リハビリテーション学部教授	伊藤 斉子	リハビリテーション学部准教授
坂口 顕	リハビリテーション学部准教授	森沢 知之	リハビリテーション学部講師
土江 伸誉	共通教育センター講師	加藤 精一	共通教育センター教授
西田喜平次	共通教育センター講師	紀平 知樹	共通教育センター教授
		岡田 成弘	教育・学生支援グループM

入試運営委員会		広報委員会	
日高 正巳	入試センター長	青木 俊二	薬学部教授
甲谷 繁	薬学部准教授	上田 晴康	薬学部教授
南畝 晋平	薬学部講師	藤野 秀樹	薬学部講師
土井有羽子	看護学部准教授	石原 あや	看護学部准教授
松本 麻里	看護学部准教授	岸 あゆみ	看護学部講師
佐野 恭子	リハビリテーション学部准教授	櫛邊 勇	リハビリテーション学部講師
森 明子	リハビリテーション学部講師	宮本 俊朗	リハビリテーション学部講師
芝崎 誠司	共通教育センター准教授	賀屋 光晴	共通教育センター准教授
加藤 慎司	入試グループM	赤井 一之	広報・情報グループM

地域連携推進委員会		倫理審査委員会	
神崎 初美	地域連携実践センター長	藤岡 宏幸	リハビリテーション学部教授
桂木 聡子	薬学部講師	岩崎 剛	薬学部教授
魚崎 須美	看護学部講師	竹田千佐子	看護学部教授
永井 宏達	リハビリテーション学部講師	松井 徳造	リハビリテーション学部教授
常見 幸	共通教育センター講師	紀平 知樹	共通教育センター教授
上田 晴之	総務グループM	福嶋 敏明	学外学識経験者
		山本恵美子	一般学外者
		岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM

図書館委員会	
末廣 謙 上田 寛樹 立垣 祐子 野崎 園子 坂本 利恵 福田 範子 梶 勝博	図書館長 薬学部講師 看護学部講師 リハビリテーション学部教授 リハビリテーション学部講師 共通教育センター講師 図書館グループM

動物実験委員会	
辻野 健 戴 毅 大野 喜也 三浦 大作 藤井加那子 坂本 浩 紀平 知樹 山本 悟史 廣田 誠一 木原 淳彦	薬学部教授 薬学部教授 薬学部助教 薬学部講師 看護学部講師 リハビリテーション学部講師 共通教育センター准教授 動物実験センター長 学外学識経験者 研究支援グループM

情報倫理委員会	
田中 明人 飯尾 祐加 山田 大豪 加藤 精一 岩佐 義久 上田 晴之 赤井 一之	薬学部教授 看護学部講師 リハビリテーション学部教授 共通教育センター教授 神戸キャンパスオフィスGM 総務グループM 広報・情報グループM

遺伝子組換え実験安全委員会	
田中 稔之 大河原知水 三浦 大作 鈴木みゆき 柏村信一郎 岩崎 剛 木原 淳彦	遺伝子組換え実験安全主任者 薬学部教授 薬学部講師 看護学部講師 共通教育センター教授 保健管理センター長 研究支援グループM

動物実験センター運営委員会	
山本 悟史 長野 基子 三浦 大作 藤井加那子 坂本 浩 土江 伸誉 伊東 久男 木原 淳彦	動物実験センター長 薬学部講師 薬学部講師 看護学部講師 リハビリテーション学部講師 共通教育センター教授 共通教育センター教授 研究支援グループM

環境安全委員会	
西山 信好 宮部 豪人 斎藤あつ子 鈴木 千枝 野崎 園子 芝崎 誠司 木原 淳彦	薬学部長 薬学部教授 薬学部教授 看護学部講師 リハビリテーション学部教授 共通教育センター准教授 研究支援グループM

病原体等安全管理委員会	
斎藤あつ子 前田 拓也 野崎 園子 岩崎 剛 木原 淳彦	薬学部教授 薬学部准教授 リハビリテーション学部教授 保健管理センター長 研究支援グループM

RI実験センター運営委員会	
藤野 秀樹 長野 基子 魚崎 須美 坂本 浩 伊東 久男 前田 拓也 上田 寛樹 木原 淳彦	放射線取扱主任者 薬学部講師 看護学部講師 リハビリテーション学部講師 共通教育センター教授 管理区域責任者 安全管理責任者 研究支援グループM

キャリアデザイン委員会	
田中 明人 天野 学 上田 寛樹 笹川 寿美 府川 晃子 森 明子 奥谷 研 芝崎 誠司 後藤 伸光	キャリアデザインセンター長 薬学部教授 薬学部講師 看護学部准教授 看護学部講師 リハビリテーション学部講師 リハビリテーション学部講師 共通教育センター准教授 就職支援グループM

国際交流委員会	
辻野 健 戴 毅 鈴井江三子 山崎せつ子 秦 正哲	薬学部教授 薬学部教授 看護学部教授 リハビリテーション学部教授 共通教育センター教授

キャンパス有効利用委員会		研究推進委員会	
藤岡 宏幸 前田 初男 竹田千佐子 野崎 園子 福田 範子 岩佐 義久 上田 晴之	リハビリテーション学部教授 薬学部教授 看護学部教授 リハビリテーション学部教授 共通教育センター講師 神戸キャンパスオフィスGM 総務グループM	前田 初男 田中 明人 西村 明子 森 明子 加藤 精一 田中 稔之 山本 悟史 藤野 秀樹 岩佐 義久	副学長（研究担当） 薬学部教授 看護学部准教授 リハビリテーション学部講師 共通教育センター教授 共同機器室長 動物実験センター長 RI実験センター長 神戸キャンパスオフィスGM
将来構想委員会		先端医薬研究センター運営委員会	
山本 悟史 森山 雅弘 青木 俊二 伊藤 崇志 神崎 初美 網島ひづる 西村 明子 日高 正巳 山田 大豪 加藤 精一	薬学部教授 薬学部教授 薬学部教授 薬学部講師 看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 リハビリテーション学部教授 リハビリテーション学部教授 共通教育センター教授	西山 信好 前田 初男 田中 稔之 辻野 健 木原 淳彦	先端医薬センター長 副学長 薬学部教授 薬学部教授 研究支援グループM
先端医薬研究センター研究プロジェクト選考委員会		共同研究の受け入れに関する審査専門委員会	
西山 信好 前田 初男 田中 稔之 山本 悟史 柏村信一郎	センター長 副学長 薬学部教授 薬学部教授 共通教育センター教授	馬場 明道 前田 初男 田中 稔之 山本 悟史 藤野 秀樹 森 明子 岩佐 義久	学長 副学長（研究担当） 薬学部教授 薬学部教授 薬学部講師 リハビリテーション学部講師 神戸キャンパスオフィスGM
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理審査専門委員会		利益相反マネジメント委員会	
大河原知水 大野 雅子 南畝 晋平 田中 登美 松井 徳造 紀平 知樹 岩江 莊介 竹内 勝一	薬学部教授 薬学部講師 薬学部講師 看護学部准教授 リハビリテーション学部教授 共通教育センター教授 学外有識者 学外有識者	田中 稔之 鈴井江三子 野崎 園子 秦 正哲 坂元 譲二 多田 宏幸 岩佐 義久 佐々木周一 塩野 悟	薬学部教授 看護学部教授 リハビリテーション学部教授 共通教育センター教授 財務担当理事 事務局長 神戸キャンパスオフィスGM 学術研究支援部長 学外有識者

紀要委員会	
末廣 謙	図書館長
安屋敷和秀	薬学部教授
伊藤 壮一	薬学部准教授
鈴井江三子	看護学部教授
貞永千佳生	看護学部講師
野崎 園子	リハビリテーション学部教授
松井 徳造	リハビリテーション学部教授
秦 正哲	共通教育センター教授
梶 勝博	図書館グループM

情報センター運営委員会	
末廣 謙	副学長（情報担当）
藤野 秀樹	情報センター教員
中野 博明	薬学部講師
飯尾 祐加	看護学部講師・情報センター教員
坂本 浩	情報センター教員
宮本 俊朗	リハビリテーション学部講師
西田喜平次	共通教育センター講師・情報センター教員
加藤 精一	情報センター長
赤井 一之	広報・情報グループM

衛生委員会	
末廣 謙	共通教育センター教授
上田 寛樹	薬学部講師
増田富美子	看護学部助教
奥谷 研	リハビリテーション学部講師
岩崎 剛	衛生管理者・産業医
岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM
江端 弘樹	教育・学生支援グループL

防火防災対策委員会	
馬場 明道	学長
末廣 謙	副学長
藤田 幸久	副学長
前田 初男	副学長
藤岡 宏幸	副学長
西山 信好	薬学部長
網島ひづる	看護学部長
山崎せつ子	リハビリテーション学部長
伊東 久男	共通教育センター長
新井 信之	学生部長
岩佐 義久	神戸キャンパスオフィスGM

放射線障害予防委員会	
藤野 秀樹	放射線取扱主任者
前田 拓也	薬学部准教授
上田 寛樹	薬学部講師
堀口 和子	看護学部准教授
松井 徳造	リハビリテーション学部教授
末廣 謙	共通教育センター教授
木原 淳彦	研究支援グループM

共同機器室運営委員会	
田中 稔之	共同機器室長
清宮 健一	薬学部教授
田中 明人	薬学部教授
坂本 利恵	リハビリテーション学部講師
木原 淳彦	研究支援グループM

社会学連携推進機構運営委員会	
前田 初男	社会学連携推進機構長
神崎 初美	副機構長・地域連携実践センター長
桂木 聡子	薬学部講師
土井有羽子	看護学部准教授
日高 正巳	リハビリテーション学部教授
常見 幸	共通教育センター教授
上田 晴之	総務グループM

（平成27年 5 月25日現在）

11. 委員会の取り組み

1) FD委員会

i) 概要

兵庫医療大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会の目的は、教員個人および教員組織としての教育能力を開発・改善し、兵庫医療大学の教育研究機能の向上を図ることであり、以下を具体的目標としている。①教員個々の教育力の向上、②集団・組織としての教育力の向上、③学部間の相互理解力の向上、④教員の研究力の向上および相互協力体制による研究力の向上、⑤本学としての教育および研究の質の向上、⑥教員と協働する職員の資質の向上である。

ii) 委員会の構成

3学部・共通教育センターから選出された教員各2名ずつと委員長の計9名により組織され、全学FD活動の企画・運営に当たっている。また、学部・センターから選出された教員は、3学部および共通教育センターがそれぞれ独自に企画・運営するFD・SD活動との連携を責務としている。

iii) 委員会の活動実績

(1) 全学FDワークショップ開催

○平成26年度

日 時：平成27年3月11日（水）9:30～16:00

テーマ：「学習評価の基本」と「ループリック作成」

馬場学長挨拶

昨年度のワークショップを受けての実践報告

- | | |
|--------------|-----------|
| ・看護学部 | 土井有羽子 准教授 |
| ・リハビリテーション学部 | 坂口 顕 准教授 |
| ・共通教育センター | 常見 幸 講師 |
| ・薬学部 | 山本 悟史 教授 |

講 演：佐藤 浩章 講師（大阪大学 全学教育推進機構・准教授）

講演前半「学習評価の基本」

講演後半「ループリック作成入門」

ワークショップA ループリックの作成

ワークショップB ループリックの活用

振り返りと今後・アンケート

○平成27年度

日 時：平成28年3月9日（水）9:30～18:00

テーマ：「主体性を育むには」

馬場学長挨拶

実践報告

- | | |
|--------------|----------|
| ・薬学部 | 南畝 晋平 講師 |
| ・看護学部 | 荻野 待子 助教 |
| ・リハビリテーション学部 | 平上 尚吾 講師 |
| ・共通教育センター | 柏村信一郎 教授 |

講 演：畑 喜美夫 講師

(一般社団法人ボトムアップパーソンズ協会 代表理事 広島県立安芸南高等学校教諭)

「主体的な人間の育成～ボトムアップ理論～」

グループワーク：「学生の学習動機を高める工夫」

振り返りと今後・アンケート

懇親会

(2) FD委員会

○平成26年度委員会協議内容

前年度の全学FDワークショップの「学習動機を高める」というテーマから出てきた問題として、実際の授業を行って学生の評価をする時に、客観的な評価をするためにどのような手法があるかを知ることが必要であるという共通認識を得た。そして前年度の全学FDワークショップに引き続き佐藤浩章先生をお招きして学習評価の基本について講演をしていただいた。午後佐藤先生に指導していただき、ループリックを実際に作成したり、ループリックにもとづく評価の実践を学んだ。また平成26年度より、全学FDワークショップの最初に、前年度の全学FDワークショップを受けて、どのような実践を行ったか情報共有する機会を設けることとし、各学部・共通教育センター教員から実践報告をしていただいた。

○平成27年度委員会協議内容

前年度まで、主に講義における具体的なスキルや学生評価の基本的な考え方、客観的な評価方法について講演を聴き、全学的にディスカッションを行ってきた。そうした議論の中で、講義の実施以前の問題として、学生の学習動機を高めていく必要があるのではないかという認識が委員会の中で共有された。そうした認識をもとに、ボトムアップ理論を提唱し、学生の主体性を育む教育を実践されている畑喜美夫先生（一般社団法人ボトムアップパーソンズ協会代表理事）をお招きして、主体的な人間育成の実践について講演をしていただいた。また午後は、午前中の講演を聴いて、個々の教職員が具体的に何をすることができるか、何をすべきかについて意見交換を行った。

なお平成27年度のワークショップより「全学FD/SDワークショップ」と改称されることとなった。

2) 教育委員会

i) 概要

教育委員会では、教務に関する基本方針や3学部共通課題案を作成し、大学協議会に上申（答申）している。本学におけるカリキュラム、兵庫医科大学との連携カリキュラム、教育実習、試験などの具体的・詳細事項については、教授会と連動して本学における学部教育に関する企画立案ならびに調整を行っている。平成27年度には、薬学教育モデル・コアカリキュラムの改定に伴い薬学部カリキュラムの変更を行った。また、教育委員会では、教務運営、教務システムについて課題を明確にし、具体的な解決法について検討しながら、PDCAサイクルが機能するように務めている。

一方、本学の教育の特徴であるチーム医療を担う人材の育成を実践するため、医療関連分野の講義科目・内容および臨床実習に関する企画を検討するなど、学校法人兵庫医科大学に設置されている医療人育成センターとの連携を担う役割も果たしている。本学と兵庫医科大学との教育連携に係る事項については、本委員会において協議のうえ医療人育成センター運営委員会へ上程する流れとしている。

ii) 委員の構成

委員会は、教務部長、共通教育センター2名、薬学部2名、看護学部2名、リハビリテーション学部2名、教育・学生支援グループマネージャーで構成している。教務部長が委員長に当たっている。

iii) 活動状況

(1) 教育委員会

教育委員会の開催については、平成26年度は21回（臨時3回、持ち回り7回を含む）、平成27年度では23回（臨時6回、持ち回り6回を含む）開催した。授業日カレンダー、履修登録に関すること、試験に関すること、共通教育に関すること、成績認定に関することを中心に、本学の教務運営に関わること全般について検討を行った。教育委員会で検討した内容については、各部局教授会で審議、または報告され、その後、大学協議会での審議、報告を行った。

(2) 教務に関する課題の検討

平成25年度より教育委員会では、教務に関する課題を挙げ、それらをまとめ改善に取り組んでいる。これらの課題は、教育委員を通してそれぞれの部局の教員、事務職員から集められたものであり、年度初めに前年度の教育委員会の活動により、課題がどの程度解決しているかどうかを検証している。また、残された課題、新たな課題に対して、具体的な対策を検討しながら、PDCAサイクルを機能させ、大学教務運営の改善に取り組んでいる。

(3) 大学教育導入科目（アカデミックリテラシー）とブリッジ教育

平成25年度の基礎科目の改編に伴い、大学教育への導入科目として「アカデミックリテラシー」を導入した。平成25・26年度の実績を基に、平成27年度中に共通教育センターを中心に「アカデミックリテラシー」の授業内容・授業形態の見直しを行い、教育委員会でも検討した。平成28年度からは、アカデミックリテラシーの授業を先行させることで、よりスムーズな大学教育への導入ができるよう改善案が検討された。

ブリッジ教育に関しては、基礎教育科目を担当する共通教育センター教員と薬学部の専門基礎科目を担当する教員間で情報交換が行われ、専門基礎科目の履修に必要な学力を身につけられるよう、共通教育センター教員、薬学部教員が履修支援を必要としている学生に対応した。

(4) 学生カルテ、ポートフォリオシステムの活用

平成25年度に採択された「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」で学生カルテ、ポートフォリオシステムを導入し、学習指導・学習支援に積極的に活用した。学生を指導する際、学生の履修状況、単位取得状況を確認でき、指導内容を学生カルテに残すことで、学生の学習進捗状況を把握することができるようになった。また、学習支援を必要としている学生に対しては、双方向のコミュニケーションツールとしてポートフォリオシステムを用いて、教育支援室の学習支援員による指導・相談が行われた。

(5) Webシラバスシステム導入

平成26年度より印刷物としてのシラバスは新生のみに配布し、在学生に対しては本学Web上でPDFとして提供することとした。PDF版シラバスでも授業内容の確認等は可能であるものの、授業科目の検索等を行うには、若干の不便があった。そこで、平成27年度「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」でWebシラバスシステムを申請し、採択された。Webシラバスが導入されたことにより、学生が履修計画を立てる際に必要な情報を取り出すことができるようになった。

(6) 授業評価とベストレクチャー賞

教育委員会と教育支援室合同で授業評価内容の見直しを行い、平成25年度後期から「新たな授業評価用紙」を用いた授業評価を試行的に導入し、平成26年度から本格導入した。授業評価の結果が思わしくなかった教員に対しては、教育支援室長を通して各部局長から授業内容改善について指導がなされた。

また、平成26年度末から教育委員会と教育支援室合同の「ベストレクチャー賞に関するワーキング・グループ」を立ち上げ、授業評価に基づく教員表彰について検討を行った。その内容を大学協議会で報告し、平成27年度中にベストレクチャー賞を創設した。

(7) GPA制度導入

平成26年度より教育委員会と学生委員会合同でGPAに関するワーキング・グループを立ち上げ、「兵庫医療大学GPA制度に関する要項」を作成し、大学協議会で審議の後、平成27年7月より施行した。平成28年度の本格的な導入に際し、オリエンテーションでの説明やインフォメーションボードを用いた学生への周知を行った。

平成28年度から、本学が独自に有する奨学生制度の選考や学習指導にGPAが活用される。

3) 自己点検・評価委員会

本学は、平成23年度の自己点検・評価報告書について、財団法人大学基準協会の平成24年度大学評価を受審し、平成25年4月1日より7年間の適合認定を受けた。以降、各評価・点検項目を主に、PDCAサイクルを回しながら、改善すべき課題等に取り組んでいる。

平成26・27年度では、各年度の本学事業計画について、自己点検・評価委員会の所管部会長が当該事業の各取組みの実施、進捗状況を確認する等で、当該事業の推進を図った。

平成27年度には、自己点検・評価委員会規程を一部改正し、同委員会組織について、4名の副学長の各々の職務分掌に応じた部会（管理運営、教育、研究・地域連携、学生）を設置し、大学全般の

PDCAサイクルがより円滑に実施できるようにした。また、各部会では、所管事項に関連する大学ポートレートの取組についても点検対象とすることとした。

表 1. 平成26年度 各部会構成と業務分担

部 会	部会長	構成メンバー	事務担当者	点検・評価対象事業計画	点検・評価対象基準
自己点検・評価委員会 (親委員会)	馬場学長	学長、副学長、学部長、共通教育センター長、学生部長、教務部長、図書館長、キャリアデザインセンター長、入試センター長、地域連携実践センター長、教授若干名、ゼネラルマネージャー	高田次長	建学の精神に基づく社会性・倫理観、社会活動への積極性を高める教育の充実(2大学共通)	基準 1 理念・目的 基準10 内部質保証
教育部会	末廣副学長	末廣副学長・図書館長 新井学生部長 川口教務部長 西山薬学部長 田中キャリアデザインセンター長 鈴木看護学部教授	梶次長 後藤就職支援Gマネージャー 江端教育・学生支援Gリーダー	薬学部における教育力の向上と国家試験対策の強化等、教育支援体制の確立	基準 3 教員・教員組織 基準 4 教育内容・方法・成果 基準 6 学生支援
研究部会	前田副学長	前田副学長 安屋敷薬学部教授 網島看護学研究科長 山崎リハ学部教授	高田次長 木原研究支援Gマネージャー		基準 7 教育研究等環境
管理運営部会	馬場学長	馬場学長 藤岡リハ学部長 磯共通教育センター長 日高入試センター長 岩佐ゼネラルマネージャー	赤井次長 金岡経理調達Gリーダー		基準 2 教育研究組織 基準 5 学生の受け入れ 基準 9 管理運営・財務
地域貢献部会	藤田副学長	藤田副学長 竹田看護学部長 清宮地域連携実践センター長 辻野薬学部教授 秦共通教育センター教授	小川総務Gリーダー 計総務G		基準 8 社会連携・社会貢献

表 2. 平成27年度 各部会構成と業務分担

部会	部会長	構成メンバー	事務担当者	大学ポートレート 対象取組	点検・評価対象 事業計画	点検・評価対象基準
自己点検・評価委員会 (親委員会)	委員長	各担当副学長 各学部長、共通教育センター長 ゼネラルマネージャー	岩佐ゼネラルマネージャー	・ 本学の特徴・建学の精神 ・ 本学の特徴・本学の目的 ・ 法人情報・自己点検・認証評価		基準 1 理念・目的 基準10 内部質保証
管理運営部会	総務・入試担当副学長	担当副学長 国際交流委員長 入試センター長 ゼネラルマネージャー	加藤入試Gマネージャー	・ 学籍情報・収容定員 ・ 入試情報 入学者・在籍者 ・ 施設設備・施設トピックス ・ 国際交流・外国人教員 ・ 留学支援		基準 2 教育研究組織 基準 3 教員・教員組織(人事) 基準 5 学生の受け入れ 基準 8 国際交流 基準 9 管理運営・財務

部会	部会長	構成メンバー	事務担当者	大学ポートレート 対象取組	点検・評価対象 事業計画	点検・評価対象基準
教育部会	教育担当 副学長	担当副学長 教務部長 図書館長 情報センター長	岡田教育・学 生支援Gマ ネージャー	・カリキュラム・ 教育方法 ・学びの支援 ・学修について の評価 ・教員組織・教員 情報	履修支援を主 とした学生へ のフォローアッ プ体制および 次代に向けた 教学ビジョン の策定(HUHS vision10)	基準3 教員・教員組織 基準4 教育内容・方法・ 成果
研究・地域 連携部会	研究・広報 担当副学長	担当副学長 社会学連携推進機構長 地域連携実践センター長 広報委員会	上田次長	・研究活動 ・連携活動 ・大学間・高大・ 産官学・地域連 携)	「兵庫医療大 学社会学連携推 進機構」の設 置による地域 社会との連携 推進	基準7 教育研究等環境 基準8 社会連携・社会 貢献
学生部会	学生生活 キャリア支援 担当副学長	担当副学長 学生部長 キャリアデザインセンター長	赤井次長	・学生生活支援・ 課外活動 ・進路・就職情報 ・経済的支援・奨 学金制度 ・ボランティア 活動 ・生涯教育		基準6 学生支援

4) 学生委員会

i) 概要

学生委員会は、人間形成を目的として行われる課程外教育活動および大学教育に対する適応を図り学習効果を高めることを目的とし活動を行っており、学生委員会規程に基づいて学生の修学に係る指導・助言や学生の生活相談、学生の健康管理、奨学金、学生会活動や課外活動に関すること、その他学生生活における諸問題について協議し、問題の解決に当たっている。

ii) 委員会の構成

委員は、平成25年4月1日の学生委員会規程の改正に伴い14名の構成員で構成されている。また、兵庫医療大学貸与奨学金の選考や、学生会、課外活動団体への対応など、継続的な調整や、詳細な検討が必要な事項については、担当委員を当て対応を行うとともに、必要に応じてワーキンググループを設置し対応している。

iii) 委員会の活動実績

(1) 委員会の開催および委員の活動

委員会の開催は、平成26年度、平成27年度ともに夏季期間を除き年13回開催した（臨時委員会2回を含む）。また、健康診断、ワクチン接種での学生誘導や、アドバイザーシステムにおけるサポート、奨学金担当委員による奨学生への面談、学生団体担当委員によるキャップ会への出席、学生会との打ち合わせへの出席、顧問懇談会での顧問に対する説明および課外活動団体ヒアリングへの参加、課外活動リーダーズキャンプへの参加、交通信号無視学生への指導立哨、喫煙マナー指導巡回等、会議以外でも積極的に活動を行った。

(2) 主たる活動状況

① アドバイザーシステムについて

[平成26年度]

- a. ECEの実施に合わせて40グループで実施した。
- b. 学生相談室より、アドバイザー教員に対して、コンサルテーション制度について説明、周知を行った。
- c. 各グループに2名の学生アドバイザーを加えてアドバイザー懇談会を実施した。

[平成27年度]

- a. ECEの実施に合わせて40グループで実施した。
- b. 運用については、従来、グループ担当教員および学生アドバイザーで実施していたが、例年、学生が主体となって懇談会を実施していることから、学生アドバイザー（80名）のみで運用することになった。
- c. 学生間でトラブルが生じた場合は、学生委員が窓口となり、クラス担任、学生相談室・保健室、教育・学生支援グループと連携を取りながら、対応することになった。

② 新入生・在学生に対するオリエンテーションについて

[平成26年度]

- a. 在学生オリエンテーションを次のとおり実施した。
 - ・ 4月1日（火）…看護学部、リハビリテーション学部在学生オリエンテーション
 - ・ 4月2日（水）…薬学部在学生オリエンテーション
- b. 新入生オリエンテーションを次のとおり実施した。
 - ・ 4月5日（土）…学生生活に関するオリエンテーション
 - ・ 4月7日（月）…危機管理に関するオリエンテーション①（悪徳商法）
アドバイザー懇談会
 - ・ 4月8日（火）…危機管理に関するオリエンテーション②（カルト集団、薬物乱用防止、
飲酒）
マナー・モラルに関するオリエンテーション
 - ・ 4月12日（土）…健康診断・抗体検査、BLS講習会
- c. 大学行事実行委員会主催による新入生歓迎会が、4月7日（月）午後に開催され、各課外活動団体による勧誘が活発に行われた。

[平成27年度]

- a. 在学生オリエンテーションを次のとおり実施した。
 - ・ 4月1日（水）…看護学部、リハビリテーション学部在学生オリエンテーション
 - ・ 4月2日（木）…薬学部在学生オリエンテーション
- b. 新入生オリエンテーションを次のとおり実施した。
 - ・ 4月3日（金）…学生生活に関するオリエンテーション①
危機管理に関するオリエンテーション①（薬物乱用防止）
マナー・モラルに関するオリエンテーション
アドバイザー懇談会
 - ・ 4月7日（火）…学生生活に関するオリエンテーション②
危機管理に関するオリエンテーション②③（ハラスメント・カルト集団、悪徳商法、飲酒）
 - ・ 4月11日（土）…健康診断・抗体検査、BLS講習会

- c. 大学行事实行委員会主催による新入生歓迎会が、4月5日（日）午後に開催され、各課外活動団体による勧誘が活発に行われた。

③ワーキンググループの設置について

- a. 兵庫医療大学貸与奨学金ワーキンググループを設置し、現行奨学金制度見直しおよび新たな奨学金制度の導入等について検討を行った。
- b. 教育委員会と合同で、GPA制度導入に伴うワーキンググループを設置し、GPA制度について検討を行った。
- c. 教育委員会と合同で、在学年限の取扱に関するワーキンググループを設置し、在学年限の取扱について検討を行った。

(3) 健康管理とワクチン接種について

[平成26年度]

- a. 健康診断については、在學生は学部別に実施されるオリエンテーションと同日に2日間実施し、新入生も全新生対象のBLS講習会にあわせて実施した。未受診者の個別受診対応については、学生委員が協力し受診勧奨をした。
- b. 在學生の健康診断は、身長・体重測定、血圧測定、視力測定、内科健診、胸部X線デジタル撮影を健康診断実施機関に委託して学内で実施した。
- c. 新入生の健康診断については、大学生活を始めるに際し、健康状態を把握して運動許容を決める安全配慮目的と生活習慣を見直し健康増進を支援するため、在學生の検査項目に心電図検査、血液検査、尿検査、聴力検査、腹囲測定を追加して学内で実施した。
- d. 学生が健康診断時に提出した「健康調査票」は、学生生活での健康管理に役立つように、学校医、保健師が指導、助言した。救急時等で必要な場合は情報を開示し対応した。
- e. 抗体検査、ワクチン接種については、新入生の健康診断時に抗体検査を実施し、ワクチン接種対象者を選定した。ワクチン接種は、授業の空き時間等を利用し学内で実施することができた。ワクチン接種後も抗体検査を実施し、免疫状態を確認した。
- f. 保健室イベントとして、7月に性と自分のからだについて鈴木教授（看護学部）が講演した。11月に保健管理センター長が飲酒について講演し、アルコールパッチテストを実施した。

[平成27年度]

- a. 健康診断については、前年度と同様に在學生は学部別オリエンテーションに実施し、新入生はBLS講習会にあわせて実施したため、受診率は高く、円滑に進めることができた。
- b. 「健康調査票」を前年度と同様に学生は健康診断時に提出し、学校医、保健師が必要な対応をした。
- c. 抗体検査、ワクチン接種については、前年度と同様に健康診断実施機関に委託して学内で実施した。
- d. ワクチン接種については、麻疹と風疹において、ワクチン接種基準が本学より高い実習機関から要望があり、平成28年度から「医療関係者のためのワクチンガイドライン第2版」に沿って実施することになった。実習で追加接種が必要となる学生に対し、学生委員や実習担当教員から接種を勧奨した。
- e. アルコールパッチテストは、平成26年度の飲酒に関する講演会開催後から保健室で希望者に実施した。
- f. インボディ（高機能体組成計測器）による体組成測定と結果説明を保健室で希望者に実施した。

(4) メンタルヘルスと学生相談室の活動について

[平成26年度]

- a. 学生と相談員との交流を行い、学生相談室の存在を身近に感じてもらえるよう、次のとおり学生相談室イベントを実施した。
 - ・ 6月24日（火）…「自分を知ろう～仲間作りのヒント発見～」
 - ・ 11月18日（火）…「手話でコミュニケーションを楽しもう」
 - ・ 1月13日（火）…「アロマキャンドル作りとフルーツティーのお茶会」
 - ・ 2月3日（火）…「デコチョコ作り」
- b. 教職員を対象とした自殺・自傷行為予防講演会を、FD委員会と共催の形で、9月3日（水）に実施した。

[平成27年度]

- a. 学生と相談員との交流を行い、学生相談室の存在を身近に感じてもらえるよう、次のとおり学生相談室イベントを実施した。
 - ・ 5月26日（火）…「自分を知ろう～仲間作りのヒント発見～」
 - ・ 11月17日（火）…「コミュニケーションを楽しもう～手話でティーパーティー～」
 - ・ 12月22日（火）…「クリスマスアロマキャンドル作り In2015」
 - ・ 2月2日（火）…「デコチョコ作り」

(5) 学生団体への支援について

[平成26年度]

- a. 熱中症予防講習会を、保健管理センター主催で賀屋准教授（共通教育センター）を講師として、5月23日（金）に実施した。
- b. 平成26年度課外活動リーダーズキャンプを、学生会、大学行事实行委員会、公認課外活動団体の幹部学生に対し、各学生団体の役割やあり方について理解を深め、学生会を中心とした組織作りを行うことを目的として、6月14日（土）～15日（日）、1泊2日にてグリーンピア三木において実施した。
- e. 在学期間中に学生会活動、クラブ活動、人道活動等の諸活動を通じて兵庫医療大学の発展に功労のあった学生に対し、課外活動功労賞を設け、当該年度卒業生2名を学位授与式にて表彰した。

[平成27年度]

- a. 熱中症予防講習会を、保健管理センター主催で賀屋准教授（共通教育センター）を講師として、5月22日（金）に実施した。
- b. 平成27年度課外活動リーダーズキャンプを、学生会、大学行事实行委員会、公認課外活動団体の幹部学生に対し、各学生団体の役割やあり方について理解を深め、学生会を中心とした組織作りを行うことを目的として、6月27日（土）～28日（日）、1泊2日にてコープこうべ協同学苑（三木市内）において実施した。
- c. ミニグラウンドを整備し、折り畳み式バッティングゲージ、サッカーゴールを購入した。
- d. デートDV防止講座を、若年層において交際相手からの暴力（デートDV）が問題となっていることから、12月9日（水）に実施した。
- e. 在学期間中に学生会活動、クラブ活動、人道活動等の諸活動を通じて兵庫医療大学の発展に功労のあった学生に対し、課外活動功労賞として、当該年度卒業生1名を学位授与式にて表彰した。

(6) 学生団体の活動について

[平成26年度]

- a. 第7回海梟祭を10月12日（日）、13日（月）に開催した。
- b. 第8回クリスマスイルミネーション点灯式を12月12日（金）に行った。
- c. 卒業生により卒業アルバムの作成および卒業記念パーティーを開催した。

[平成27年度]

- a. 第8回海梟祭を10月11日（日）、12日（月）に開催した。
- b. 第9回クリスマスイルミネーション点灯式を12月14日（月）に行った。
- c. 第6回スポーツ大会を実施した。
- d. 卒業生により卒業アルバムの作成および卒業記念パーティーを開催した。

(7) 奨学金について

[平成26年度]

- a. 教育委員会と合同で在学生特別奨学生候補者の選考を行い、平成26年度在学生特別奨学生として薬学部6学年次3名、平成27年度在学生特別奨学生として薬学部40名、看護学部12名、リハビリテーション学部理学療法学科6名、同作業療法学科6名を選出した。

[平成27年度]

- a. 教育委員会と合同で在学生特別奨学生候補者の選考を行い、平成27年度在学生特別奨学生として薬学部6学年次3名、平成28年度在学生特別奨学生として薬学部40名、看護学部12名、リハビリテーション学部理学療法学科6名、同作業療法学科6名を選出した。

(8) 学生生活の調査について

- a. 平成26・27年度において、例年どおり学生生活実態調査を実施した。
- b. 平成26・27年度において、卒業生に対するアンケートを実施した。

5) 情報センター運営委員会

i) 概要

情報センター運営委員会は、情報センターの適正な運営について審議するために置かれた委員会であり、情報担当副学長を委員長とし、各学部・共通教育センターより選出されている情報センター教員、情報センター長、その他若干名によって組織されている。平成26年度7月に、それまで委員長を学長としていた規程を改正し、他の委員会と同様学長を構成員としない形で運営されることとなった。

ii) 活動状況

平成26、27年度は、開学後に行った初のリプレイス案件の残件（ネットワーク、AV、電話等）があり、これについての予算、更新部分、リプレイススケジュール、手続きについて議論を行った。常務会等に提出する調達の方針、選定方法、契約方法、スケジュールについて確認を行い、常務会での決定後、本委員会を通して各社へ仕様書の送付が行われた。また、以下の案件の実施についても審議した。

平成26・27年度に審議した内容

- ・グループウェアの法人との統合
- ・moodleの世代管理について
- ・英語E-learningシステムの廃止
- ・ウイルス対策ソフトの変更
- ・グループウェアの情報保存期間について
- ・プリンタポイントの購入制度導入について
- ・Microsoft Officeのライセンスについて

6) 将来構想委員会

i) 概要

将来構想委員会は、学長の諮問に応じ、兵庫医療大学の将来構想および事業計画について検討し、答申することを目的としている。平成26・27年度は、学長からの諮問「HUHS Vision10の策定」について全学から意見を収集したのち、全学共通部分と各部局部分に分けて取り纏めたものを答申した。

ii) 活動実績

HUHS Vision10- 全学共通部分
<p>(1) 医療総合大学としての安定的教学基盤の確立にむけて</p> <ul style="list-style-type: none">① 大学体制の整備と充実：キャンパスクリニック、キャンパス・グラウンド・ラーニングコモンズ、法人における本学の位置づけ② 地域・世界にみる本学のプレゼンスの向上：地域における本学のプレゼンスの向上、国際関係にみる本学のプレゼンスの向上③ 優れた総合医療教育を提供する教学体制の充実：教務制度の確立、事務組織改革と教育支援体制強化、柔軟性をもつ教員体制確立、教育支援室の充実④ 優秀な受験生確保の方策と入学者選抜法の改革：広報と入試制度の改革⑤ 就職・卒後支援：医療プロフェッショナルとしてのキャリア形成支援、卒後キャリアアップ体制強化 <p>(2) 医療総合大学としての地歩を高める教学の実践にむけて</p> <ul style="list-style-type: none">① 教育目標の明確化：「チーム医療プロフェッショナルズ」を輩出するために② 教育機能強化をめざす教育体制の改革③ 次世代の医療科学を開拓する研究体制の整備④ 大学院博士課程の設置

HUHS Vision10- 各学部・共通教育センター部分

【共通教育センター】

医療にとらわれない新たな教養科目、アクティブラーニング、教育効果の評価手法、ICTの活用、カリキュラムマップ作成支援、卒業生を含む医療従事者や地域への教育コンテンツの還元など

【薬学部】

「東洋医薬分野（部門）（仮称）」による漢方教育・研究・地域貢献活動、体制の再考、試験の分散化と集中講義化、薬学教育センターの新設、教育の強化と改善、共同・連携研究の充実、研究支援、高大連携の充実、卒後教育の充実、薬剤師会・病院薬剤師会との連携など

【看護学部】

教学基本コンセプト：「ヒューマニティ」と「創造性」にあふれる保健師・助産師・看護師の育成等、教学実施における基本姿勢：学士力の確実な修得など、看護学部の中長期のポジショニングとアクションプラン策定のための課題：学生の将来設計が具体的にイメージできる枠組みの構築など

【リハビリテーション学部】

関西地方でのリーディングポジション維持、全国での認知度を向上、リハビリテーション医学・科学・医療を通じて社会に貢献できる人材の輩出、入学志願者、国家試験合格率、教員の研究およびキャリア形成関連、卒後教育・キャリア支援関連など

7) 地域連携推進委員会

i) 概要

本学では、地域との連携を推進するために地域連携推進委員会を設置している。本委員会は地域連携実践センター長と薬学部、看護学部、リハビリテーション学部、共通教育センターからそれぞれ1名ずつ選出された教員（計4名）と事務職員1名で構成し、地域連携実践センターの運営および本学の地域連携に関する企画立案を行っている。本委員会を中心に各学部、共通教育センターの教員による市民健康公開講座の開催、および個別の健康相談事業、地域交流プロジェクト等を実施している。

ii) 活動状況

公開講座・個別健康相談は、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部、共通教育センターが各々企画し、地域連携推進委員会が中心となって「神戸ポートアイランド・キャンパス4大学連携事業」によって本学に設置された「ボーアイ健康・生活支援ステーション」と連動して開催している。各公開講座の様子は、写真撮影してホームページで公開している。

地域交流プロジェクトは、地域の方々の健康の維持・増進・回復のために本学教員が主体的に企画し、平成20年度から開始した。平成21年度までは、「ボーアイ健康・生活支援ステーション」と連動して開催してきたが、平成22年度から、本委員会が独自で実施している。本プロジェクトは、学内教員を対象に公募して、地域連携推進委員会で審査し、採択している。平成26年度および27年度は、各プロジェクトに10万円の予算を配分した。

平成26年度および27年度の事業としては、本委員会として独自に開催した「全国同時七夕記念講演会」、「ボーアイ健康・生活支援ステーション」と連動して開催した。

「HIV講演会」、「ボーアイ健康・生活支援ステーション」が企画申請書ならびにヒアリングに基づき厳選したボーアイ健康推進プロジェクトが挙げられる。その他にも、コミスタこうべ 神戸市生涯学習支援センターが開催する「こうべ生涯学習カレッジ」に参画し、セミナーを実施した。

また、神戸の大学と神戸市が共同で「大学都市KOBE！ 発信プロジェクト」として、平成26年度にナレッジキャピタルがスタートし、研究や教育内容について展示および講演会などに参画している。

平成27年度には、私立大学等改革総合支援事業として採択され、新たに導入した測定機器等で地域住民へ健康相談を行うなど、学生の地域におけるアクティブラーニングに活用し始めている。

iii) 活動内容

公開講座・個別健康相談、講演会、地域交流プロジェクト、ボーアイ健康推進プロジェクト、ナレッジキャピタル等の活動内容については、Ⅲ．管理・運営活動 3．附属施設・活動状況 4) 地域連携実践センターの項（198～206頁を参照）および 5．神戸ポートアイランド 4 大学連携事業 1) 実務者会議 i) ボーアイ健康・生活支援ステーション（ボーアイ健康推進プロジェクト）（208～209頁を参照）に掲載する。

8) 入試運営委員会（入試センター運営会議）

i) 概要

入試運営委員会は、入学者選抜要領の作成および入学試験実施に関する業務等について協議するとともに、志願者数および入学者数の確保を図るための最善な入試制度について協議している。さらに、今後の高大接続改革への対応ならびに入学試験関連業務の充実を図るため、入試運営のみならず入試センターとしての機能の充実を図るため、入試センター規程を平成27年10月に制定し、平成27年10月の第6回の会議より、入試センター運営会議として開催することとなった。

ii) 委員会の構成

当委員会は、入試運営委員会規程に基づき、入試センター長、薬学部教員2名、看護学部教員2名、リハビリテーション学部教員2名、共通教育センター教員1名および入試グループマネージャーの9名の委員をもって構成され、委員長は入試センター長が務めている。入試センター運営会議への移行後も同様の体制で運営を継続している。また、平成27年12月から平成28年3月までの3ヵ月間は、リハビリテーション学部の委員である森委員が産休育休となったため、永井講師を学長が特に必要と認めた委員として加えて、平成28年度入学者選抜業務に従事した。

なお、委員長（入試センター長）は、引き続き、リハビリテーション学部 日高正巳教授が務めている。

iii) 委員会の活動状況

平成26年度は全7回の入試運営委員会を開催し、平成27年度は全9回の入試センター運営会議（前半5回は入試運営委員会として）を開催した。

当委員会では、各学部において、入試区分毎の受験者見込み数を検討し、試験室割当、試験監督者数、入試問題印刷部数の効率化を図るとともに、今後の入試改革の資料作りを開始した。

加えて、入試問題の出題ミスを防ぐため、出題責任者および出題委員のほかに、検証委員による検証および入試担当副学長と入試センター長による検証を導入し、入学試験実施体制の強化を図った。

(1) 入試種別の追加と廃止について

①平成27年度入学試験

リハビリテーション学部的一般入試（後期日程）を廃止した。

また、高等学校の学習指導要領改訂に基づき、「数学」「理科」の2教科について、新課程に対応した出題範囲にて実施した。

②平成28年度入学試験

高等学校の学習指導要領改訂に基づき、「国語」「外国語」の2教科について新課程に対応した出題範囲にて実施した。

(2) 学外会場

平成27年度入試より学外会場を岡山市と大阪市の2地区に設けて実施運営を行った。

大阪会場

平成27年度・平成28年度ともに河合塾天王寺学舎

岡山会場

平成27年度：岡山国際交流センター

平成28年度：おかやま西川原プラザ

(3) 入学試験監督者説明会の開催

平成26年度：平成26年10月23日に新任教員のみを対象として実施した。

(4) 委員会での検討事項

平成26年度第1回委員会にてアドミッションポリシーの見直しに向けた点検作業を開始し、その後、文科省から出される3つのポリシー作成のガイドライン等、高大接続システム改革会議の動向・資料を適宜確認しながら継続的に検討を行った。平成28年3月末にガイドラインが公表されることを受け、活動は点検にとどめ、アドミッションポリシー等の見直しは、平成29年度に対応する事とした。

平成28年度入試において、障がい学生からの問い合わせ、留学に関する問い合わせ、在外施設在学者からの出願等の問い合わせがあったことより、出願資格ならびに入学資格の確認ならびに出願後の対応策について検討を実施した。

平成29年度入試に向けた検討として、以下の3点を行った。

1) Web出願の導入に向けた検討を行った。

2) 平成29年度の入試日程について、推薦入試の出願期間を11月1日以降とし、一般入試の入試日程を2月1日以降とするため、競合大学との入試日程の動向を含め、情報収集するとともに、検討を行った。

3) 入試にかかる論点整理

前期B日程（薬、リハ）、前期日程（看護）の際に、鉄道の遅延があり、試験開始時間の繰り下げ対応を行ったことを受け、入試日程当日の時間繰り下げ対応や感染症の罹患学生への対応など入試に係る課題を「入試に係る論点整理」としてとりまとめ、対応方法を検討した。また、検討の結果を受け募集要項への記載を必要とするものについては、その記載方法についても併せて検討を行った。

9) 広報委員会

i) 委員会の目的

広報委員会は、下記事項に関して協議し、課題解決に当ることを目的として、活動するものである。

1. 本学の大学広報の企画・立案に関すること
2. 入試広報施策の企画・立案および実施に関すること
3. 大学のホームページの運用方針および内容の企画・立案に関すること
4. 法人の広報関連部署および広報戦略との連携、強調、情報の共有等に関すること
5. その他本学の広報全般に関すること

ii) 委員会の構成

当委員会は、委員長、薬学部教員2名、看護学部教員2名、リハビリテーション学部教員2名、共通教育センター教員1名および広報・情報グループマネージャーの9名の委員をもって構成されている。

委員長は平成21年度から薬学部 青木俊二教授が務めている。

iii) 委員会の活動状況

当委員会は、オープンキャンパス等イベントの企画・運営、大学案内やWebサイト等各種広報媒体の企画・編集・制作、高等学校へ出張講義・ガイダンスやキャンパス見学会・体験実習の企画調整・実施等を行っており、各委員は日常的にこれらの業務に携わっている。

(1) オープンキャンパス等学生募集イベント

① 平成26年度

a オープンキャンパス

8月9日(土)・10日(日)、23日(土)・24日(日)の計4日間開催を予定していたが、台風11号が接近したことにより、前半の9日は大雨の中での開催、翌10日は中止となった。

開催時間帯を今回見直し、従来午後からの開催であったところを10時30分から16時までとして変更した。

〔プログラム内容〕

- ・大学全体ガイダンス
- ・学部学科ガイダンス／在学生・教員交流コーナー／キャンパスツアー
- ・学部学科／共通教育センター体験プログラム／入試個別相談
- ・特別プログラム

■ 8月9日(土)：クラブサークル「HUHS Stage」

■ 8月10日(日)：卒業生企画「キャリアと医療大」(台風のため中止)

■ 8月23日(土)：チーム医療特別講義

■ 8月24日(日)：在学生企画「Campus Life in HUHS」

来場者数は表1のとおり。全3日間開催となったため、総来場者数は受験生・高校生ベースで前年度より少なく、1,693名であった。

b 本学薬学部・兵庫医科大学病院薬剤部合同イベント(第5回目)

6月8日(日)、大学病院で職業を知り、大学で学びを体感する「薬剤師への道」高校生限定イベントを実施。従来は兵庫医科大学病院の薬剤部見学や職業紹介など半日のメニュー

としていたが、今回から新たな取り組みとして、午前中は兵庫医科大学病院で薬剤部見学や職業紹介、午後からは参加者全員バスで神戸へ移動して、兵庫医療大学で体験講義・実習を行う丸1日のイベントとして企画した。兵庫医科大学病院だけで終わらず、兵庫医療大学のキャンパスや学びの雰囲気を実際に体感してもらうことを念頭に、少しでも受験に繋がるプログラム構成とした。

事前申込制の定員50名のところ、64名の応募があり、当日は48名の高校生が参加。

〔プログラム内容〕

➤ 午前（西宮キャンパス）

- ・薬剤師の仕事について知ろう！

兵庫医科大学病院薬剤部で勤務する本学薬学部卒業生と、薬学部の青木教授によるパネルトーク形式

- ・薬剤部の職場見学

小グループに分かれて薬剤部の内部を見学

（2台のバスに分乗し、神戸キャンパスへ。到着後、教員や在学生と一緒にレストランでランチ）

➤ 午後（神戸キャンパス）

- ・体験講義

青木教授：薬学部での学びや研究内容、チーム医療教育等

天野教授：薬局薬剤師の仕事内容や卒業後の進路等

- ・体験実習

生薬当てクイズ、分包体験、軟膏作り体験

c 看護職イベント

6月22日（日）、競合校の看護学部新設が相次ぐ中、他大学との差別化を鑑み、夏休み前の早期に志願者を獲得する必要があるため、兵庫医療大学にしかできない教育やキャリア像を卒業生・在学生、教職員を通して高校生に見せて伝えるという目的で初めて企画・実施。

事前申込制で定員枠は設けず、148名が応募し、当日は135名が参加。

〔プログラム内容〕

- ・大学概要紹介

- ・在学生による学部紹介・アデレード大学看護学部との学術交流・欧州研修報告

- ・卒業生によるパネルトーク（仕事紹介）

- ・体験講義「専門職としてのキャリア形成と国際看護」

- ・兵庫医科大学病院 看護部長による病院紹介

d 入試対策講座&大学見学会

11月16日（日）、受験生に出願を促すとともに、オープンキャンパスに参加できなかった低学年高校生に対し、来学機会を設けることも開催目的のひとつとして実施。入試ガイダンスの後、英語、化学、生物の入試対策講座、併せてキャンパスツアーを実施し、333名の参加があった。

e 3学部合同1日体験入学イベント

3月22日（日）、医療系に興味のある新高校2年生・3年生を対象に、実際の大学生活に近い講義と実習を受けることができるイベントとして、3学部合同プログラムを開催。定員185名に対して278名の申し込みがあり、抽選により166名が参加した。

午前中は全学部合同プログラムとして大学概要説明やキャンパスツアー、チーム医療特別

講義を行い、午後からは各学部独自のメニューを実施。

f 日本医学会総会開催に伴うアカデミーツアー実施

3月29日（日）、日本医学会総会2015の開催に伴い、ポーアイ4大学も参画し、アカデミーツアーとして、以下の体験実習ツアーを実施。

〔ツアーコース〕

- ・医療いっしき見コース（薬・看護・リハの各実習室を順番に回り、各所で簡単な実習を実施）
- ・薬学じっくりコース（軟膏作り、分包体験）
- ・看護じっくりコース（妊婦さんの触診体験、赤ちゃん人形の抱っこ体験）
- ・リハビリじっくりコース（ストレッチや自助具使用体験）

②平成27年度

a オープンキャンパス

8月8日（土）・9日（日）、22日（土）・23日（日）の計4日間開催。高校生だけで合計2,158人となり、開学以来過去最高の来場者数を記録した。（表1参照）

〔プログラム内容〕

- ・大学全体ガイダンス
- ・学部学科ガイダンス／在学生・教員交流コーナー／キャンパスツアー
- ・学部学科／共通教育センター体験プログラム／入試個別相談
- ・特別プログラム
 - 8月8日（土）：クラブサークル紹介
 - 8月9日（日）：卒業生トークイベント
 - 8月22日（土）：チーム医療特別講義
 - 8月23日（日）：入試対策講座（英語）

b 本学薬学部・兵庫医科大学病院薬剤部合同イベント（第6回目）

6月7日（日）、大学病院で職業を知り、大学で学びを体感する「薬剤師への道」高校生限定イベントを実施。昨年度から西宮と神戸両キャンパスで実施した形態が好評であり、本学の意図する広報展開とも合致することから今回も踏襲。

事前申込制の定員50名のところ、51名の応募があり、当日は42名の高校生が参加。

〔プログラム内容〕

➤ 午前（西宮キャンパス）

- ・薬剤師の仕事について知ろう！
兵庫医科大学病院薬剤部で勤務する本学薬学部卒業生と、薬学部の青木教授によるパネルトーク形式
- ・薬剤部の職場見学
小グループに分かれて新しくなった薬剤部の内部を見学
（2台のバスに分乗し、神戸キャンパスへ。到着後、教員や在学生と一緒にレストランでランチ）

➤ 午後（神戸キャンパス）

- ・体験講義
青木教授：薬学部での学びや研究内容、チーム医療教育等
天野教授：薬局薬剤師の仕事内容や卒業後の進路
- ・体験実習
漢方茶の試飲、分包体験、軟膏作り体験

c 看護職イベント

6月14日（日）、看護職を目指す高校生や受験生を対象としたイベント「看護職への道」を開催。

事前申込制で定員枠は設けず、167名が応募し、当日は144名が参加した。

〔プログラム内容〕

- ・大学概要紹介
- ・在学生による学部紹介 / 国際看護への取り組み紹介
- ・体験講義『“じぶん”を理解し、将来の看護職に活かそう』
- ・卒業生によるパネルトーク（仕事紹介）
- ・兵庫医科大学病院 病院、教育制度紹介

d 兵庫医科大学病院見学会

8月15日（土）、看護職をめざす高校生を対象とした兵庫医療大学看護学部主催の「兵庫医科大学病院見学会」を午後からの半日プログラムとして初めて開催。

看護分野に対して興味を抱く高校生に対し、看護師の仕事・職業および大学病院での仕事を紹介し、看護職を目指すに当たって参考となるようなイベントを実施する。その看護職を実現のものとするには、兵庫医療大学の看護学部で学びたいと思ってもらえるよう志望度アップにつなげることが目的。

事前申込制で定員枠は50名。76名が応募し、抽選により51名が参加した。

〔プログラム内容〕

- ・大学概要、看護学部紹介
- ・現職看護師（卒業生）による仕事紹介
- ・各施設見学（救命救急センター、手術センター、GCU、病棟等）

e 入試対策講座&大学見学会

11月22日（日）、本学受験を考えている高校生を対象に、入試対策講座を開講し、高校生・受験生320名が参加。受験生に出願を促すとともに、オープンキャンパスに参加できなかった低学年高校生に対し、来学機会を設けることも開催目的のひとつ。入試ガイダンスの後、英語、化学、生物の入試対策講座、併せてキャンパスツアーを実施した。

f 3学部合同1日体験入学イベント

3月21日（月・振休）、医療系に興味のある新高校2年生・3年生を対象に、実際の大学生活に近い講義と実習を受けることができるイベントとして、3学部合同プログラムを開催。定員185名に対して379名の申し込みがあり、抽選により169名が参加した。

午前中は全学部合同プログラムとして大学概要説明やキャンパスツアー、チーム医療特別講義を行い、午後からは各学部独自のメニューを実施。

表1. 平成26年度オープンキャンパス参加者数
(8月9日)

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	57	46	103
看 護 学 科	130	81	211
理学療法学科	54	26	80
作業療法学科	19	14	33
合 計	260	167	427

表2. 平成27年度オープンキャンパス参加者数
(8月8日)

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	137	76	213
看 護 学 科	272	122	394
理学療法学科	143	51	194
作業療法学科	39	16	55
合 計	591	265	856

(8月10日)

志望学科	受験生数	同伴者数	合計
医療薬学科	台風のため中止		
看護学科			
理学療法学科			
作業療法学科			
合計			

(8月9日)

志望学科	受験生数	同伴者数	合計
医療薬学科	89	74	163
看護学科	245	157	402
理学療法学科	114	54	168
作業療法学科	49	30	79
合計	497	315	812

(8月23日)

志望学科	受験生数	同伴者数	合計
医療薬学科	120	86	206
看護学科	349	188	537
理学療法学科	189	128	317
作業療法学科	48	36	84
合計	706	438	1,144

(8月22日)

志望学科	受験生数	同伴者数	合計
医療薬学科	87	48	135
看護学科	226	108	334
理学療法学科	86	47	133
作業療法学科	27	27	54
合計	426	230	656

(8月24日)

志望学科	受験生数	同伴者数	合計
医療薬学科	132	111	243
看護学科	352	283	635
理学療法学科	182	142	324
作業療法学科	61	47	108
合計	727	583	1,310

(8月23日)

志望学科	受験生数	同伴者数	合計
医療薬学科	133	71	204
看護学科	332	169	501
理学療法学科	133	79	212
作業療法学科	46	44	90
合計	644	363	1,007

表 3. 平成26年度 (3日間合計)

志望学科	受験生数	同伴者数	合計
医療薬学科	309	243	552
看護学科	831	552	1,383
理学療法学科	425	296	721
作業療法学科	128	97	225
合計	1,693	1,188	2,881

表 4. 平成27年度 (4日間合計)

志望学科	受験生数	同伴者数	合計
医療薬学科	446	269	715
看護学科	1,075	556	1,631
理学療法学科	476	231	707
作業療法学科	161	117	278
合計	2,158	1,173	3,331

(2) 大学案内等の制作

学生募集に係る年間広報媒体として、主に以下を制作し、高校生向けに広報展開を行った。

- ・ Campus guide (大学案内)
- ・ 学部リーフレット (3学部別冊子)
- ・ HUHS BOOK (平成26年度) ⇒ HUHS TALKS (平成27年度)
- ・ TEAM医療コンセプトブック

(3) ホームページ (大学公式Webサイト) のスマホサイトの公開

スマートフォンの利用率が年々増加している状況において、パソコンと同じ閲覧形態では不便な場合も多いため、より利便性を高めることを念頭に、スマホサイト用のトップページを新たに制作した。コンテンツをある程度厳選し、アクセスした際に見やすくタッチが容易にできるようユーザビリティも考慮した。全てのページについてスマホサイト用ページを制作することは、そのページ

数的にも膨大になるため、自動的にスマートフォン仕様にパソコン閲覧サイズから変換できる仕組みを採用し、運用している。

(4) 大学合同進学相談会等への参加

大学進学情報業者等主催による大学合同進学相談会に参加し、オープンキャンパス等イベントへの誘導、入試相談等による出願促進を行った。また、高等学校内ガイダンスや模擬授業にも精力的に参加した。平成26・27年度における大学合同進学相談会への参加等の広報活動件数を表5に示す。

(5) 一般認知度向上のための広報施策

これまで高校生や高校教員をメインターゲットとし、直接的に関係する受験媒体等を中心に広報展開を図ってきたが、今後は一般認知度を高めながら高校生への相乗的な効果も求めていく必要がある段階に入ったと判断し、これまでにほとんど実施していなかったマスメディア等への露出展開を以下の通り行った。(実施時期は、主にオープンキャンパス来場促進のための7～8月と、一般入試出願促進のための12～1月)

- ・15秒スポットCM（近畿地区および岡山・香川地区）
- ・お天気フィラー（画面背景での本学PR掲出）
- ・車内広告、各駅貼ポスター
- ・デジタルサイネージ掲出（15秒CMを流用）

(6) 高校訪問の実施

平成26・27年度ともに、教員および職員による近畿、中国・四国地区の高等学校への訪問を実施し、当該年度の入試説明、オープンキャンパス告知とともに大学のPRを行った。平成26・27年度における高校訪問件数を表5に示す。

(7) 地方入試説明会

平成27年度入試より、岡山県にて入試の学外会場を設けるに当たり、岡山県と広島県において本学主催の入試説明会を開催した。

(8) 高大連携への取組み

高等学校内での出張講義・進学ガイダンス、大学キャンパスでのキャンパス見学とあわせた模擬講義、体験実習等を実施した。多くは大学進学情報業者主催のものではあるが、高等学校との積極的な交流・連携を図りながら教員と高校の良好な関係性の構築により、高等学校からの直接依頼によるものも増えつつある。

表 5. 平成26・27年度 受験生への出願促進および興味喚起関連の広報活動

項 目	平成26年度	平成27年度
大学合同進学相談会	84 件	100 件
高等学校校内ガイダンス・模擬授業等（薬学部）	23 件	20 件
高等学校校内ガイダンス・模擬授業等（看護学部）	9 件	9 件
高等学校校内ガイダンス・模擬授業等（理学療法学科）	8 件	7 件
高等学校校内ガイダンス・模擬授業等（作業療法学科）	34 件	36 件
高等学校校内ガイダンス（広報、入試グループ）	55 件	65 件
高大連携出張講義・進学ガイダンス	24 件	25 件
キャンパス見学会	25 件	41 件
高校訪問	455件	458 件
地方入試説明会	2 件	3 件

10) 図書館委員会

i) 概要

図書館委員会は、学習支援・研究支援のためにより良い図書館運営を図ることについて協議するとともに、図書館資料や学術情報の選定・収集・管理に関することについて協議している。

ii) 委員会の構成

当委員会は、図書館長、薬学部教員 1 名、看護学部教員 1 名、リハビリテーション学部教員 2 名（うち 1 名オブザーバー）、共通教育センター教員 1 名および図書館グループマネージャーの 7 名の委員をもって構成され、委員長は図書館長が務めている。

iii) 委員会の協議事項

年間を通じて、以下の事項について協議を行っている。

- ・図書館経費、図書購入費についての予算
- ・年間開館予定
- ・教員選書依頼と選書図書購入について
- ・シラバス掲載の教科書・参考書の購入について
- ・学生からの希望図書購入について
- ・購読雑誌（電子ジャーナル含む）契約・データベース契約
- ・寄贈図書・寄贈雑誌の受入について
- ・除籍
- ・ポアイ 4 大学合同巡回展示の展示内容について

iv) 特記すべき協議事項

- ・私立大学図書館協会への加盟が承認された。
- ・兵庫医科大学図書館所蔵製本雑誌の管理換えが承認された。
- ・予め設定されている休館日に対し、開館を希望したい場合の申請方法が承認された。

- ・高大連携の一環として、高校生の図書館利用が承認された。

11) 遺伝子組換え実験安全委員会

i) 概要

遺伝子組換え実験安全委員会は、遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（平成15年6月18日法律第97号）および関係する政令・省令・告示等に定められる遺伝子組換え実験の安全な実施を確保することを目的とし、兵庫医療大学遺伝子組換え実験安全管理規程に基づいて設置されている。本委員会は、本学における遺伝子組換え実験の安全確保を総括する学長の諮問に応じ、実験計画の法令等に対する適合性、実験従事者の教育訓練と健康管理などにつき調査審議し、学長に対して答申または勧告を行っている。

ii) 委員会の構成

本委員会には遺伝子組換え実験安全主任者を置き、委員として遺伝子組換え実験研究者である教員および遺伝子組換え実験研究者ではない自然科学系の教員とともに保健管理センター長と研究支援グループマネージャーを構成員としている。

iii) 活動状況

平成26年度は、委員会を3回開催し、新規研究課題8件および軽微な変更申請9件を審査し承認した。平成27年度は、委員会を4回開催し、新規研究課題1件および軽微な変更申請10件を審査し承認した。また本委員会は、新たに遺伝子組換え実験を開始する学生・教職員を対象に遺伝子組換え実験に関わる法令や拡散防止措置および遺伝子組換え生物等の使用等に関する遺伝子組換え実験講習会を年度ごとに開催している。

12) 環境安全委員会

i) 概要

環境安全委員会は、兵庫医療大学の教育・実験や研究活動における安全確保ならびに環境保全を図ることを目的としている。

委員会は、次の事項について協議し、かつ具体的問題の処理をしている。

1. 廃液処理に関する必要事項および運用
2. 毒物および劇物管理に関する必要事項および運用
3. 廃棄物（感染性含）処理に関する必要事項および運用
4. その他環境安全に関する必要な事項

ii) 活動実績

○平成26年度第1回環境安全委員会

平成26年度10月7日（火）17時00分～17時50分

議題 1, 4 ジオキサンに関する報告について

○実験室排水に係る講習会

平成27年2月13日（金）15時～17時

「研究室等からの排水の規制と日常管理における注意点」 講師:神戸市職員

○平成27度第1回環境安全委員会

平成27年4月22日（水）午後4時00分～午後4時30分

議題 兵庫医療大学毒物および劇物の管理マニュアルにおける「使用責任者」および「補助管理責任者」について

○環境安全委員会委員長 注意喚起発出 「1, 4-ジオキサン等の取扱いについて」

平成27年10月13日（火）

○平成27度第2回環境安全委員会

平成28年3月7日（月）持ち回り

議題 環境安全委員会「危険物管理ワーキング」（仮称）の立ち上げについて

13) 倫理審査委員会

i) 概要

倫理審査委員会は、本学および本学と連携した施設において行われる臨床研究、疫学研究、観察研究などが、ヘルシンキ宣言の趣旨にそって倫理的配慮の下に行われるように、研究実施計画の内容を学長の諮問に基づいて倫理的および社会的審査を行ってきた。

平成27年4月1日に施行された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省公示第3号）による指針を遵守して、研究が遂行されるように平成27年度からは新しい規程および申請書を作成して倫理審査を行っている。

ii) 委員会構成

平成27年度以降、委員会構成は、副学長、学部長、研究科長から1名、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部、共通教育センター教員または倫理を専門とする教員から1名、人文社会科学の学外学識経験者1名、一般の立場を代表する学外者1名、事務局の者1名の8名で、委員長は学長指名で選出される。委員会の構成も「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して行っている。

iii) 倫理教育等に対する取り組み

兵庫医科大学倫理審査委員会・臨床研究支援センター主催にて、平成27年3月20日に臨床研究・研究者倫理合同講習会が開催された。講演内容は、「先端医療制度について（厚生労働省医政局研究開発振興課先進医療係長 小笠原 大介講師）」および「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針について（厚生労働省医政局研究開発振興課治験推進室主査 吉岡 恭子講師）」であった。この講習会ならびに講習会のDVD講習会を表4の通り開催し、合計90名が参加した。

また、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（文部科学省 平成26年 8月26日文部科学大臣決定）により、不正行為を抑止する環境整備の主たる取り組みとして個々の研究機関における研究者倫理教育の実施が義務付けられたことを受けて、CITI Japan e-learning（研究者倫理教育）プログラムの導入・受講を研究者に義務付け、研究者の倫理教育を行っている。

表 1. 倫理審査委員（太文字は委員長）

	平成26年度	平成27年度
副学長あるいは学部長	藤岡 宏幸	藤岡 宏幸
薬学部	岩崎 剛	岩崎 剛
看護学部	網島ひづる	竹田千佐子
リハビリテーション学部	松井 徳造	松井 徳造
共通教育センター	紀平 知樹	紀平 知樹
学外学識経験者（神戸学院大学）	福島 敏明	福島 敏明
一般学外者	山本恵美子	山本恵美子
神戸キャンパスオフィス GM	岩佐 義久	岩佐 義久

iii) 活動状況

平成26年度47件（薬学部 6 件、看護学部19件、リハビリテーション学部18件、共通教育センター 4 件）、平成27年度41件（薬学部 4 件、看護学部12件、リハビリテーション学部23件、共通教育センター 2 件）の研究を承認した（表 2、3）。

表 2. 平成26年度承認課題一覧

承認番号	所 属	職 名	氏 名	研究課題名	実施期間
14001	リハビリテーション学部	講師	森 明子	地域女性の尿失禁予防のための骨盤底筋体操習得に関する研究	H26.5.23～ H29.3.31
14002	看護学研究科	教授	網島ひづる	クリティカルケアを実践する看護師がケアリングの経験を通して自覚する自己成長感	H27.6.18～ H27.3.31
14003	看護学部	助教	増田富美子	車椅子移乗技術習得におけるコーチングアプリを用いた自学自習法の有効性の検証	H26.5.23～ H27.4.30
14004	看護学研究科	教授	網島ひづる	頸椎手術を受ける患者の術前期待と術後・退院後の生活への影響	H27.6.18～ H27.3.31
14005	看護学研究科	教授	鈴井江三子	初産婦の妊娠末期と産後1ヶ月における出産観と子育て観との関連	H26.5.23～ H27.3.31
14006	看護学研究科	教授	竹田千佐子	臨地実習における看護学生の教員および実習指導者に対する信頼感と実習適応感との関係	H26.5.23～ H27.3.31
14007	看護学研究科	教授	竹田千佐子	臨地実習指導者の困難への対処の動機づけを起こす要因は何か	H26.5.23～ H27.3.31
14008	薬学部	教授	天野 学	薬局における外用薬・注射薬の使用性に関する調査	H26.8.4～ H28.3.31
14009	薬学部	教授	辻野 健	循環器内科外来受診患者を対象とした残薬の発生要因に関する研究	H26.5.19～ H27.3.31
14010	医療科学研究科	教授	野崎 園子	嚥下障害患者における最大舌圧値と嚥下動態との関連	H26.8.4～ H28.3.31
14011	リハビリテーション学部	講師	平上 尚吾	脳卒中患者のトイレにおける下衣上げ下げ動作の再獲得過程の解明	H26.8.4～ H28.3.31
14012	リハビリテーション学部	講師	宮本 俊朗	高速度レジスタンス運動の筋収縮特性の解析および循環器へ与える影響	H26.8.4～ H27.3.31

承認番号	所 属	職 名	氏 名	研究課題名	実施期間
14013	共通教育センター	講師	常見 幸	チーム医療を担う医療人育成教育のための基礎研究	H26.8.4～ H29.3.31
14014	リハビリテーション学部	准教授	佐野 恭子	モニター調査から得られた高次脳機能障がい者向けライフサポートブック「あらた」の効果と課題に関する検討	H26.8.4～ H26.12.31
14015	看護学部	教授	土田 敏恵	集団感染予防のための環境を汚染しない陰部洗浄とおむつ交換技術の開発—新しい陰部ケア法の臨床評価—	H26.8.4～ H28.3.31
14016	看護学部	准教授	堀口 和子	独居高齢者の在宅エンド・オブ・ライフを可能にする要因に関する研究—別居家族と地域住民に注目して—	H26.8.4～ H27.12.31
14017	看護学部	講師	岡田 公江	正常妊婦における血圧と睡眠の関連—妊娠高血圧症候群予防に向けた健康教育の基盤構築—	H26.8.4～ H28.4.30
14018	看護学研究科	教授	鈴井江三子	高齢者がもつ高齢者自身のイメージと性意識および看護師がもつ高齢者に対するイメージと高齢者の性意識に関する研究	H26.8.4～ H27.3.31
14019	看護学部	助教	飯尾 祐加	呼吸トレーニングによる若年女性の冷え改善効果	H26.10.8～ H29.3.31
14020	リハビリテーション学部	講師	森沢 知之	回復期リハビリテーション病院における継続した心臓リハビリテーションの効果検証	H26.10.8～ H28.3.31
14021	リハビリテーション学部	教授	山田 大豪	精神に障害を持つ者の主観的な精神活動評価と客観的な社会生活評価の検討～入院患者とデイケア通所者および就労支援利用者との比較～	H26.10.8～ H29.3.31
14022	医療科学研究科	講師	森 明子	早期脳卒中患者の身体不活動とその要因	H27.9.16～ H28.3.31
14023	看護学部	准教授	堀口 和子	訪問看護師が認識した独居高齢者の在宅エンド・オブ・ライフを可能にする要因に関する研究—公的サービス利用に着目して—	H26.10.8～ H28.3.31
14024	リハビリテーション学部	教授	玉木 彰	回復期リハビリテーション病棟患者における骨格筋量の変化	H26.10.8～ H28.3.31
14025	リハビリテーション学部	教授	玉木 彰	骨格筋電気刺激が筋機能に及ぼす影響～刺激頻度による差異の検討～	H26.10.8～ H28.3.31
14026	医療科学研究科	教授	日高 正巳	理学療法実習生における臨床実習中のストレスに関する研究	H26.11.28～ H28.3.31
14027	看護学部	助教	梶 喜子	臨地実習前後のケアリング相互作用と社会人基礎力との関連	H26.10.8～ H28.3.30
14028	共通教育センター	准教授	賀屋 光晴	加圧トレーニング時の上肢基部への圧迫（血流制限）がベンチプレスおよびサイドレイズおよびレッグエクステンション動作時の筋活動に及ぼす影響	H26.10.8～ H28.3.31
14029	リハビリテーション学部	講師	永井 宏達	身体機能レベル別の転倒様式実態の解明と転倒予防に向けたテラーメード型介入の開発のための調査	H26.11.28～ H28.3.31
14030	リハビリテーション学部	講師	森沢 知之	回復期リハビリテーション病院における心臓リハビリテーション実施に関する全国アンケート調査	H26.11.28～ H27.3.31
14031	看護学部	助教	片田 千尋	カップルが妊婦検診の超音波検査を受けるか否かを意思決定する際の心理プロセス	H26.11.28～ H27.7.31
14032	薬学部	教授	九川 文彦	処方箋データから見た兵庫医療大学病院とは・多変量解析の手法を用いて	H26.11.28～ H29.3.31
14033	リハビリテーション学部	教授	玉木 彰	高齢者の腹横筋活動と身体能力の関係性	H26.11.28～ H28.3.31
14034	薬学部	教授	天野 学	抗がん剤経管投与時の介護者・医療者の薬剤暴露に対する検討	H27.2.2～ H28.3.31

承認番号	所 属	職 名	氏 名	研究課題名	実施期間
14035	リハビリ テーション学部	教授	山田 大豪	統合失調症患者の主観的ウェルビーイングに対する社会生活技能訓練の影響について	H27.2.2～ H28.3.31
14036	看護学部	講師	府川 晃子	外来化学療法を受けるがん患者への外来・在宅連携看護支援の現状と課題～外来化学療法室看護師・訪問看護師を対象としたインタビュー調査～	H27.2.2～ H27.12.31
14037	リハビリ テーション学部	講師	塚越 果	動作解析・筋活動分析を用いた変形性膝関節症の進行要因の解明	H27.2.2～ H31.3.31
14038	看護学部	教授	神崎 初美	「リウマチ看護師の専門性の可視化のケアの構造化」に面接シートを活用した効果の検証	H27.2.2～ H30.3.31
14039	薬学部	教授	天野 学	自己注射に必要な力と手指の形状の関連性における調査およびインスリン注射における補助器具を用いた場合の使用性の評価	H27.2.2～ H28.3.31
14040	看護学部	助教	足立 安正	兵庫医療大学での保健師教育における教育方法および内容の検討	H27.2.2～ H27.3.31
14041	共通教育 センター	准教授	賀屋 光晴	サーカディアンリズムが高温環境下での瞬発系および持久系運動能力に及ぼす影響	H27.2.2～ H28.3.31
14042	リハビリ テーション学部	講師	森沢 知之	地域高齢者を対象とした身体活動量増加プロジェクトの実践	H27.3.31～ H29.3.31
14043	看護学部	教授	竹田千佐子	学士課程入門を履修した看護学部学生の学習状況に関する調査—学生の能動的な学習を目指す教育の現状と課題—	H27.3.31～ H28.3.31
14044	看護学部	准教授	堀口 和子	認知症高齢者の独居生活の限界要因に関する研究—認知症者と非認知症者の比較から—	H27.3.31～ H28.3.31
14045	リハビリ テーション学部	准教授	佐野 恭子	看護師・理学療法士・作業療法士の職種間情報交換における内容の特色—回復期脳卒中患者のADLについて—	H27.3.31～ H28.3.31
14046	共通教育 センター	准教授	賀屋 光晴	暑熱環境下の持久性運動能力に及ぼす輻射熱の影響	H27.3.31～ H29.3.31
14047	薬学部	講師	中野 博明	表面筋電図を用いた嚥下補助食品の定量的評価法の開発	H27.3.31～ H28.3.31

表 3. 平成27年度承認課題一覧

承認番号	所 属	職 名	氏 名	研究課題名	実施期間
15001	リハビリ テーション学部	教授	野崎 園子	要介護高齢者の嚥下障害と服薬方法に関する研究「服薬困難者の服薬方法」冊子（パンフレット）に関するアンケート調査	H27.6.2～ H28.3.31
15002	看護学部	准教授	堀口 和子	要介護高齢者の主介護者の介護と仕事の両立に関連する要因—両立群と離職群の比較から—	H27.6.2～ H28.3.31
15003	看護学部	准教授	石原 あや	気管切開を行っている在宅重症児（者）の母親にとっての看護師の存在	H27.6.2～ H28.3.31
15004	リハビリ テーション学部	講師	永井 宏達	身体機能レベル別の転倒様式の解明と転倒未遂の実態調査	H27.6.2～ H29.3.31
15005	リハビリ テーション学部	講師	永井 宏達	包括的運動継続支援システムの開発による新たな介護予防運動介入プログラムの構築	H27.6.2～ H29.3.31
15006-3	リハビリ テーション学部	教授	山崎せつ子	高次脳機能障害のある人とその家族が地域生活で必要としている支援—高次脳機能障害のある夫と10年間ともに暮らした妻の語りから—	H28.2.19～ H29.3.31
15007	共通教育 センター	講師	西田喜平次	医療サービス施設の立地に関する空間計量分析	H27.6.2～ H28.3.31
15008	薬学部	教授	辻野 健	循環器外来通院中患者の好中球/リンパ球比に対する治療薬の影響に関する研究	H27.6.2～ H30.3.31
15009	薬学部	教授	辻野 健	循環器内科外来受診患者におけるポリファーマシーの要因探索	H27.6.2～ H30.3.31

承認番号	所 属	職 名	氏 名	研究課題名	実施期間
15010	リハビリ テーション学部	助教	奥谷 研	自律神経機能の定量的評価を用いた作業療法プログラムの有用性に関する研究	H27.8.6～ H28.3.31
15011	リハビリ テーション学部	教授	川口浩太郎	前十字靭帯再建術後症例の下肢機能が片脚立ち上がり能力、パフォーマンス能力に及ぼす影響について	H27.8.6～ H29.3.31
15012	看護学部	教授	土田 敏恵	高齢女性尿失禁患者への快適で尿が漏れないおむつ装着技術の開発—言語化したおむつ装着技術の臨床評価—	H27.8.6～ H28.3.31
15013	共通教育 センター	講師	常見 幸	チーム医療を担う医療人育成教育のための基礎研究	H27.8.6～ H29.3.31
15014	看護学部	教授	竹田千佐子	副看護師長の役割遂行を支える基軸	H27.8.20～ H28.3.31
15015-2	リハビリ テーション学部	講師	宮本 俊朗	運動様式の違いが血液中の脳由来性神経栄養因子に及ぼす影響	H28.3.1～ H29.3.31
15016	リハビリ テーション学部	講師	宮本 俊朗	イップスに悩む野球選手の投球動作時における身体的特徴	H28.10.2～ H29.3.31
15017	リハビリ テーション学部	講師	宮本 俊朗	レジスタンス運動時における筋血流量が神経・筋活動量に与える影響	H27.8.6～ H29.3.31
15018	リハビリ テーション学部	教授	山崎せつ子	運動負荷が注意機能に与える効果	H27.10.2～ H29.3.31
15019	リハビリ テーション学部	教授	川口浩太郎	エクササイズの筋収縮形態・筋発揮角度の違いが筋発揮能力の即時効果に及ぼす影響について	H27.10.2～ H29.3.31
15020	リハビリ テーション学部	講師	森 明子	脳卒中片麻痺患者の歩行開始にDual-taskであるCognitive-taskとManual-taskが与える影響	H27.9.18～ H29.3.31
15021	リハビリ テーション学部	講師	宮本 俊朗	静脈血栓塞栓症予防に対する新たな理学的手法の開発	H27.10.2～ H29.3.31
15022	リハビリ テーション学部	教授	玉木 彰	運動器疾患患者の身体活動量増加を目指した目標設定の検討～歩数が身体機能に及ぼす影響～	H27.10.2～ H29.3.31
15023-2	リハビリ テーション学部	教授	玉木 彰	慢性期脳卒中片麻痺患者における局所運動筋酸素動態と6分間歩行テストとの関連性～近赤外分光法を用いた解析～	H28.3.11～ H29.3.31
15024	看護学部	准教授	堀口 和子	配偶者と死別した独居高齢者のソーシャルサポートに基づいた悲嘆の適応過程	H27.10.2～ H29.3.31
15025	看護学部	講師	鈴木 千枝	介護家族の生活と介護のバランス保持に向けた対処行動	H27.10.2～ H28.3.31
15026	看護学部	教授	神崎 初美	リウマチ看護師の看護実践能力を測定する尺度の開発	H27.10.2～ H30.3.31
15027	看護学部	教授	新井 信之	長期入院を経て地域生活へ移行した統合失調症者が語る退院意欲を高め・支えた体験	H27.12.9～ H29.3.31
15028	リハビリ テーション学部	講師	森 明子	妊婦体験ジャケット装着時の障害物跨ぎ動作の足部クリアランスについて	H27.12.9～ H29.3.31
15029	リハビリ テーション学部	教授	玉木 彰	健常者における胸腹部の動きと横隔膜の活動性の関係	H27.12.9～ H29.3.31
15030	リハビリ テーション学部	教授	玉木 彰	在宅COPD患者の身体活動量と骨格筋機能の関係	H27.12.9～ H29.3.31
15031	リハビリ テーション学部	講師	有吉 正則	子育てにおいて母親が抱く想いに関する調査研究	H27.12.9～ H29.3.31
15032	薬学部	講師	桂木 聡子	一般用医薬品を使用したセルフメディケーションに関する意識調査	H27.12.9～ H28.12.31

承認番号	所 属	職 名	氏 名	研究課題名	実施期間
15033	リハビリ テーション学部	講師	塚越 累	足趾・足関節背屈機能靴下の開発	H27.12.9～ H29.3.31
15034	看護学部	教授	西村 明子	看護の基本的なケアは臨床経験を経ること失われるのか—国際比較による分析—	H28.1.27～ H29.3.31
15035	看護学部	教授	西村 明子	初めて親になった父親と母親の産後4か月までの体験	H28.1.27～ H29.3.31
15036	リハビリ テーション学部	教授	玉木 彰	在宅呼吸不全患者に対する身体活動量を高めるための新戦略	H28.1.27～ H29.3.31
15037	看護学部	教授	新井 信之	精神科訪問看護師の暴力についての認識と対処の現状	H28.1.27～ H29.3.31
15038	薬学部	助教	村上 雅裕	インスリン注入器用補助器具の使用性および安全性に関する評価	H28.3.31～ H29.3.31
15039	看護学部	教授	土田 敏恵	乳がん放射線照射部位における皮膚バリア機能の経時的変化に基づくスキンケアの提案	H28.3.31～ H29.3.31
15040	リハビリ テーション学部	講師	坂本 利恵	生活行為向上マネジメントを用いた作業療法事例研究	H28.3.31～ H29.3.31
15041	リハビリ テーション学部	講師	塚越 累	イップス症状を呈する野球選手の投球動作および筋活動の分析	H28.3.31～ H29.3.31

表 4. 臨床研究・研究者倫理合同講習会

開催日時	名 称	参加人数
H27.3.20	兵庫医科大学開催 「臨床研究・研究者倫理合同講習会」	15名
H27.6.25	兵庫医療大学開催 第1回DVD講習会（H27.3.20講演分）	18名
H27.7.21	兵庫医療大学開催 第2回DVD講習会（H27.3.20講演分）	29名
H27.9.18	兵庫医療大学開催 第3回DVD講習会（H27.3.20講演分）	28名

14) 病原体等安全管理委員会

i) 概要

病原体等安全管理委員会は、兵庫医療大学における研究および教育に利用する病原体等の実験、受入、保管、廃棄および分与／譲渡の安全管理を目的とし、置かれている。

委員会は、次の事項について協議し、かつ具体的問題の処理をしている。

1. 病原体等の管理体制に関する事項
2. 病原体等の管理基準に関する事項
3. 病原体等の取扱い等の教育に関する事項
4. 病原体等による感染症の発生の予防に関する事項
5. 病原体等を使用する実験計画の審議に関する事項
6. その他病原体等の取扱いに関し必要な事項

ii) 委員会の構成

本委員会の平成26年度・27年度の構成は表1・2のとおりである。

表 1. 平成26年度「病原体等安全管理委員会」

	所 属	職 名	氏 名	区 分	任 期 等
委員長	薬学部	教授	斎藤あつ子	第3条第1項第1号	職指定（薬学部教員で衛生薬学を専攻する教授）
委員 1	薬学部	准教授	前田 拓也	第3条第1項第1号	薬学部教員
委員 2	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	第3条第1項第2号	リハビリテーション学部教員
委員 3	保健管理センター長	教授	岩崎 剛	第3条第1項第3号	職指定（保健管理センター長）
委員 4	研究支援G	マネージャー	木原 淳彦	第3条第1項第4号	職指定（研究支援グループマネージャー）

表 2. 平成27年度「病原体等安全管理委員会」

	所 属	職 名	氏 名	区 分	任 期 等
委員長	薬学部	教授	斎藤あつ子	第3条第1項第1号	職指定（薬学部教員で衛生薬学を専攻する教授）
委員 1	薬学部	准教授	前田 拓也	第3条第1項第1号	薬学部教員
委員 2	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	第3条第1項第2号	リハビリテーション学部教員
委員 3	保健管理センター長	教授	岩崎 剛	第3条第1項第3号	職指定（保健管理センター長）
委員 4	研究支援G	マネージャー	木原 淳彦	第3条第1項第4号	職指定（研究支援グループマネージャー）

iii) 活動状況

平成21年8月21日に「病原体等安全管理委員会」を設置し、「兵庫医療大学における病原体等の安全管理に関する内規」を作成し、平成22年9月16日より運用を開始し、現在に至っている。

研究および教育に利用する病原体等の実験、受入、保管、廃棄および分与／譲渡が安全に行われるよう、病原体等実験申請／届出、病原体等実験終了／届出、病原体等受入・保管申請、病原体等保管終了届出、病原体等分与／譲渡申請／届出、未知病原体等分離実験届出（平成27年度より追加）、感染動物実験申請について、安全面の審査を行っている。

表 1. 平成26年度審査

審査内容	審査件数	承認件数
病原体等実験 申請／届出	5	5
病原体等受入・保管 申請	0	0
病原体等分与・譲渡／届出	0	0
感染動物実験 申請	2	2

表 2. 平成27年度審査

審査内容	審査件数	承認件数
病原体等実験 申請／届出	9	9
病原体等受入・保管 申請	1	1
病原体等分与・譲渡／届出	0	0
感染動物実験 申請	0	0
未知病原体等分離実験届出書	1	1

15) 動物実験委員会

i) 概要

本委員会は、兵庫医療大学における動物実験に関する事項を審議し、科学的にはもとより、動物福祉、環境保全、ならびに動物実験に携わる者の安全確保等の観点から、適正な動物実験の実施を図ることを目的とする。

ii) 委員会の構成

委員は、動物実験等に関して優れた識見を有する者として、各学部および共通教育センターの教員よりそれぞれ3名以内、学識経験を有する教員1名、実験動物管理者、兵庫医療大学動物実験センター長および研究支援グループ マネージャーで構成する。

iii) 委員会の活動実績

動物実験の在り方を倫理面から審議する機関として、平成20年7月に「動物実験委員会」を設置し現在に至っている。

平成18年6月に告示された「研究機関等における動物実験に関する基本指針」（文部科学省）に基づき Refinement（苦痛の軽減）、Replacement（代替法の利用）、Reduction（必要最少数利用）、「3R」に配慮しながら、適切に審査を行っている。平成26・27年度に実施した審査を表1・2に示す。

表1. 平成26年度審査

審査内容	審査件数	承認件数
動物実験責任者	2	2
動物実験実施者	37	37
実験室設置許可	0	0
動物実験計画書	16	16
動物実験計画変更	16	16
実習室動物実験一時許可	2	2

表2. 平成27年度審査

審査内容	審査件数	承認件数
動物実験責任者	4	4
動物実験実施者	80	79
実験室設置許可	0	0
動物実験計画書	28	27
動物実験計画変更	39	39
実習室動物実験一時許可	3	3

iv) 実験動物慰霊祭の実施

全教職員・学生を対象に下記の実験動物慰霊祭を举行し、本学における研究および教育のために犠牲となり、生命科学の研究に貢献された諸霊に対し心から慰霊の言葉を捧げた。

- ・平成26年12月26日 第7回実験動物慰霊祭 181名
- ・平成27年12月18日 第8回実験動物慰霊祭 235名

16) キャリアデザイン委員会

i) 概要

本学は、キャリアデザイン教育を支援し、社会に有為な人材を送り出すことを目的に、キャリアデザインセンター（以下「センター」という。）を設置し、その目的を達成するため、キャリアデザイン委員会（以下「委員会」という。）を置いている。委員会は、キャリアデザイン教育支援を達成するための企画・調整・運営方針に関すること、センターが推進する就職活動支援、社会人教育支援、生涯学習支援等のキャリアデザイン業務に関すること、他センターの活動に関することを協議し、センターの活動の推進と遂行を行うため、毎月開催している。

ii) 委員会の構成

委員会は、センター長、副センター長、共通教育センター教員 1 名、薬学部教員 2 名、看護学部教員 2 名、リハビリテーション学部教員 2 名、就職支援グループマネージャー、その他委員長が必要と認めた者をもって委員会を組織している。

iii) 活動内容

詳細は、3. 附属施設・活動状況 3) キャリアデザインセンターに示す。

＜平成26年度＞

開 催 日	議 題
4月21日（月）	平成26年度「連携病院の会」合同病院説明会、(看護学部) 東京医科歯科大学病院 指定校推薦、(リハビリテーション学部) 仕事研究セミナー実施
5月19日（月）	(看護学部) 仕事研究セミナー実施、(薬学部) 仕事研究セミナー実施
6月16日（月）	平成27年度兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会の日程、(リハビリテーション学部) 社会人スキル対策講座の実施、(薬学部) 兵庫医科大学病院（学内推薦）の安定的な誘導
7月17日（木）	(看護学部) 社会人スキル対策講座(接遇マナー)の実施、(看護学部) 保健師ガイダンスの実施、(リハビリテーション学部) 兵庫医科大学病院レジデント説明会実施、(薬学部) 2014年度 合同企業説明会の開催、(看護学部) グループディスカッション講座実施、(薬学部) 6年生向け進路状況等調査の結果
9月10日（水）	キャリア教育科目「キャリア入門」開講（提案）、(卒業生) 国家試験不合格者支援
10月27日（月）	(リハビリテーション学部) 仕事研究セミナーの実施、(リハビリテーション学部) 社会人スキル対策講座（接遇マナー）実施、(看護学部) 仕事研究セミナーの実施
11月18日（火）	(全学部) 公務員試験対策講座の実施、(薬学部) 仕事研究セミナーの「私の仕事」実施、社会人スキル対策講座（マナー講座）統一開催
12月16日（月）	病院への求人依頼DM出状対象先、(薬学部) 卒業生(国家試験断念者)への支援対策、(看護学部) 社会人スキルガイダンスの実施、(看護学部) キャリア開発委員会のアンケート結果と今後
1月26日（火）	(薬学部) 就職・実務実習説明会、(薬学部) 仕事研究セミナー開催
2月18日（水）	平成27年度 キャリア・就職支援行事日程、(看護学部) 兵庫医科大学病院・ささやま医療センター看護師の採用、(看護学部) 社会人スキル対策講座、(薬学部) 平成27年度 薬学部企業説明会スケジュール、(薬学部) 国家試験後（3月）の就職支援、研究室配属学生の就職活動支援指針
3月26日（木）	平成27年度前期オリエンテーション、(看護学部) 兵庫医科大学連携病院の会合同病院説明会への動員、(薬学部) 研究室配属学生の就職活動支援指針

＜平成27年度＞

開 催 日	議 題
4月23日（木）	（全学部）連携病院の会 合同病院説明会実施、（リハビリテーション学部）仕事研究セミナー実施
5月18日（月）	（看護学部）仕事研究セミナー実施
6月23日（火）	平成28年度兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会の日程、（薬学部）6年生向け進路状況等調査の結果、夏季休暇中のキャリアデザインセンター開室、（看護学部）保健師ガイダンスの実施、（全学部）公務員試験対策講座の実施、（リハビリテーション学部）社会人スキル対策講座の実施、（薬学部）登録販売者資格支援、鳥取県およびふるさと鳥取県定住機構との就職支援に関する連携、（看護学部）平成27年度採用 兵庫医科大学病院就職説明会の開催
7月21日（火）	（全学部）グループディスカッション対策講座の実施、（薬学部）第5回 薬学部 合同企業説明会の開催、（看護学部）社会人スキルガイダンス（接遇マナー）の実施、（リハビリテーション学部）仕事研究セミナーの実施
9月15日（火）	（全学部）卒業生・国家試験不合格者支援
10月23日（金）	（リハビリテーション学部 作業療法学科）仕事研究セミナーの実施、（リハビリテーション学部）社会人スキルガイダンス（接遇マナー）の実施、（薬学部）仕事研究セミナーの実施、（薬学部）登録販売者資格取得支援制度に向けた具体的施策、（全学部）文科省からの平成27年度就職・採用活動時期の変更に関する調査、（看護学部）兵庫医科大学病院奨学金に係わる対応
11月18日（水）	（看護学部）平成28年度 兵庫医科大学病院 看護師採用活動、（看護学部）社会人スキルガイダンスの実施、（薬学部）仕事研究セミナーの実施
12月16日（水）	（全学部）病院への求人依頼DMの出状対象先、（リハビリテーション学部）兵庫医科大学病院・ささやま医療センター説明会実施
1月19日（火）	（薬学部）平成28年度就職・実務実習説明会の実施、（薬学部）第5回 平成28年度就職ガイダンス実施・企業説明会参加
2月16日（火）	（全学部）平成28年度 キャリア・就職支援行事日程（案）、（薬学部）登録販売者試験 受験ガイダンス実施、（看護学部）社会人スキル対策講座実施、（薬学部・看護学部）連携病院の会合同病院説明会事前セミナーの実施、（全学部）遠隔地でのUターン就職活動の支援（案）
3月18日（金）	（全学部）平成28年度オリエンテーション（案）、（薬学部）仕事研究セミナーの実施

17) 国際交流委員会

i) 概要

国際交流委員会は、平成22年2月8日の大学協議会で制定された「兵庫医療大学国際交流委員会規程」に則り、外国の大学および教育研究機関との連携の下に、国際学術研究・国際教育および国際協力を推進することを目的とする。

ii) 委員会の活動実績

平成26・27年度は各部署の国際交流活動に支援を行った。

(1) アデレード大学との学生相互派遣プログラムと学術交流

平成26年8月18日～9月5日および平成27年度8月17日～9月3日に、本学看護学部の学生を対象にしたアデレード大学看護学部における学術交流プログラムを実施した。平成26年には10名（1年生3名、2年生3名、4年生4名）、平成27年には12名の学生（1年生6名、4年生6名）が参加した。その間、3週間にわたり語学研修や看護学の講義・演習、およびアデレード大学病院等における見学研修を行い、異文化での看護を学ぶことができた。平成27年2月16日～3月5日および平成28年2月15日～3月3日にアデレード大学看護学部3年生の学生を対象にした学術交流プログラムを本学において実施した。平成27年には10名、平成28年には12名を受け入れて、3週間の学術交流プログラムを実施した。その間、日本語レッスン、看護学の講義・演習に加えて、毛利助産院での見学研修や兵庫医科大学病院等における看護研修を行った。

(2) 北京中医薬大学との学術交流協定締結と短期留学プログラムの実施

学校法人兵庫医科大学と北京中医薬大学との中医薬の教育研究における交流協定に基づき、本学は薬学部を中心に北京中医薬大学と教職員の学術交流や学生短期留学などを行っている。平成26年8月27日～9月5日（薬学部2年生4名、3年生4名、5年生3名とリハ学部2年生4名）、平成27年3月22日～3月29日（薬学部1年生2名、4年生5名、5年生5名）、平成28年3月22日～30日（薬学部2年生4名、3年生2名、4年生4名）の3回にわたって北京中医薬大学への学生短期留学（計37名）を実施した。平成26年9月25日～29日と平成27年5月14日～17日には、北京中医薬大学副学長をはじめとする教授陣を招き、本学にて学術シンポジウムを開催し、両大学間の今後の国際交流について協議した。こうした活動をベースに、平成27年12月6日、兵庫医療大学と北京中医薬大学の学術交流に関する協定書が調印された。現在、北京中医薬大学修士課程の留学生の受入や共同研究の実施を目指し具体的な調整を進めている。

(3) トウルク応用科学大学との学術交流

平成26年5月には、同大とJSPSストックホルムセンター共催のFuture Diagnosesセミナーに共通教育センターの芝崎准教授が参加し、講演を行った。平成28年2月には同大にて、研究関連の交流として、感染症学領域における共同研究の可能性について打ち合わせた。教育関連の交流として、卒業生の一人にインタビューを行い、同大学生の進路の傾向について聴取したところ、多くの学生が日本への留学に関心を寄せていることが明らかとなった。これらの動向について、同大の国際交流部門のスタッフとも意見交換を行った。今後、双方の学生を対象とした教育面での交流についての検討ができるよう、情報交換を継続することとした。

(4) その他

各部署で実施される国際交流に関連する講演会に支援を行った。

18) 研究推進委員会

i) 概要

当委員会は、学術講演会、研究セミナーなどを企画開催するとともに、研究公正と競争的外部資金獲得の推進などを通して、本学の研究推進に取り組んでいる。

ii) 委員会の構成

当委員会は、研究推進委員会規程に基づき、副学長（研究担当）、共同機器室長、動物実験センター長、RI実験センター長と、看護学部、リハビリテーション学部および共通教育センターから各1名、ゼネラルマネージャーの8名の委員により構成され、委員長は副学長（研究担当）が務めている。

iii) 委員会の活動状況

(1) 若手研究助成事業

若手教員の研究を支援するため、平成24年度から研究助成事業を実施している。平成26、27年度も、平成25年度と同様に、要学習支援学生の支援に取り組むこと、つまり履修支援教員として活動することを助成採択の条件として、応募研究課題を募った。その結果、平成26年度には継続採択者14名と新規採択者5名の合計19名に、平成27年度は継続採択者16名と新規採択者3名の合計19名に、各20万円を助成した。

(2) 競争的外部資金獲得支援と研究公正推進

科学研究費助成事業の公募説明会ならびに公的研究費執行に関する説明会を開催するだけでなく、平成24年度から本学ホームページ (<http://www.huhs.ac.jp/index.php/kenkyu-shien/assistance.html>) にて民間団体からの助成公募情報を提供し、教員の研究者倫理の啓発と研究支援に務めている。

さらに、平成27年度からは研究公正をより一層推進するため、コンプライアンス研究会を開催しただけでなく、e-Radシステムに研究者または事務担当者として登録している全教職員にCITI Japan e-learningプログラムの受講・修了を義務付け、137名が修了した。また、大学院生および平成28年度に5年次配当科目「研究実習」を受講予定の薬学部4年生についても本プログラムの修了を必須とし、全大学院生36名と全薬学部4年生139名が修了した。

表1. 平成26～27年度に開催した研究倫理啓蒙・研究支援説明会

開催日	実施説明会
平成26年7月8日	公的研究費執行に関する説明会（参加者52名）
平成26年9月29日	科学研究費助成事業公募説明会（参加者35名）
平成27年8月20日	公的研究費執行に関する説明会（参加者77名）
平成27年10月1日	科学研究費助成事業公募説明会（参加者66名）
平成28年1月20日	研究に関するコンプライアンス研修会（参加者105名）

(3) 学術講演会、セミナーの開催

平成26年度は、例年通り、本学主催の学術講演会2回、学内セミナー2回を開催した。平成27年度は、社会学連携推進機構が開設されたこともあり、地域住民の健康づくりを支援できる講演会を3回開催するとともに、学内セミナーおよびポアイ四大学合同FD・SD講演会を開催した。

表 2. 平成26～27年度に開催した研究倫理啓蒙・研究支援説明会

開催日	講演者と演題
平成26年10月2日	京都大学防災研究所 准教授 西村 卓也 先生 「大地の動きから探る南海トラフ巨大地震」(参加者120名)
平成26年10月9日	看護学部 教授 神崎 初美 先生 「産学連携による「ふきん絞り器」開発の過程と性能評価」(参加者34名)
平成26年12月25日	リハビリテーション学部 教授 野崎 園子 先生 「薬と嚥下障害 ～医師と薬学・看護・リハビリの連携～」(参加者40名)
平成27年2月27日	アデレード大学 看護学部長・教授 Alison Lydia Kitson, PhD 先生 「基礎となる看護ケアの再生と再定義 ～患者と看護師とのケアリング形成に与える影響因子」(参加者210名)
平成27年10月22日	医療法人共和会 第二共立病院 病院長 福田 能啓 先生 「サルコペニアと生活習慣病 ～健やかな100歳を迎えるためには…～」(参加者271名)
平成27年11月8日	神戸大学医学部付属病院 薬剤部長 平井 みどり 先生 毎日放送アナウンサー 高井 美紀 氏 「これからの『薬剤師 活用法』～かかりつけ薬剤師の見つけ方～」(参加者105名)
平成27年11月16日	理化学研究所基盤研究所 部門長 吉田 稔 氏 「天然物ケミカルバイオロジーによる高騰生物遺伝子発現機構の解明」(参加者40名)
平成28年3月5日	大阪樟蔭女子大学 栄養健康学部 教授 石蔵 文信 先生 「熟年夫婦の体調不良“夫源病”～こんな私にだれがした～」(参加者150名)
平成28年3月18日	共愛学園前橋国際大学 副学長 大森 昭生 先生 「ポーアイ4大学合同FD・SD講演会 地方・小規模大学の教職／地学一体の大学・教育改革 ～共愛学園前橋国際大学が取り組むGGJ・AP・COC・COC+～」(参加者139名)

19) 紀要委員会

i) 概要

本委員会は、本学の学術研究の成果を発表する目的として兵庫医療大学紀要の発行を行う。

ii) 委員会の活動実績

平成26年度

第2巻第1号(平成26年9月発行)

原稿種類	タ イ ト ル	著 者 名
原著	がん患者が考える自己のがん罹患原因と罹患時期に対する評価	小西美ゆき、佐藤禮子
研究報告	ペグインターフェロン・リバビリン療法を受けているC型肝炎患者のセルフマネジメントを促すグループ介入プログラムの開発と評価	鈴木久美、片岡優実、松本麻里、 峯瀬美千代、清水玲子、酒井謙、 山田明美、佐藤禮子
	転倒・転落防止オリエンテーションDVD「入院されるお子様の転倒・転落事故防止に関するお願い」を視聴した家族の意見および転倒・転落防止に関する理解度の変化	藤田優一、湯浅真裕美、二星淳吾、 藤原千恵子
	看護学生の車椅子移乗と水平移動習得課程における困難要因と看護技術の「可視化」の試み	増田富美子、吉岡なつき、 土屋智洋、竹田千佐子
	新卒看護師の大学時代の学習状況と看護実践能力の関連	荻野待子、鈴木みゆき、土居洋子、 新井信之
症例報告	維持脳卒中患者の随意的咳嗽力に関する検討	垣内優芳、藤原麻子、河原由梨香、 森明子
資料	神経障害性疼痛のあるがん患者の症状体験 ―文献分析より―	山中政子、佐藤禮子

第2巻第2号（平成26年12月発行）

原稿種類	タ イ ト ル	著 者 名
総説	医薬品・化粧品および食品に含まれるナノマテリアルの安全性評価の現状	三浦大作、清宮健一
原著	物語としての全人的苦痛	紀平知樹
	幼児用の転倒・転落リスクアセスメントルーツ：C-FRAT第1版の危険因子と転倒・転落との関連およびカットオフポイントの妥当性の検証	藤田優一、二星淳吾、湯浅真裕美、藤原千恵子
研究報告	関節リウマチ用自助具の情報提供と使用状況に関するアンケート調査	佐野恭子、坂本利恵、坂本浩

平成27年度

第3巻第1号（平成27年6月発行）

原稿種類	タ イ ト ル	著 者 名
総説	性成熟期女性の冷えに関する文献検討	飯尾祐加、水野（松本）由子、鈴木江三子
原著	Web上に記述された女性在宅リウマチ患者の「ひとつ乗り越えた」認知と評価プロセスの分析	神崎初美
	成人用ベットを使用する小児用の転倒リスクアセスメントツール：C-FRAT第2版および第3版の妥当性の検証	藤田優一
実践報告	学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設合同セミナー実践報告	森沢知之、藤岡宏幸、川口浩太郎、坂本浩、森下慎一郎、曾田幸一朗、荻野智之、福田能啓、道免和久

第3巻第2号（平成27年12月発行）

原稿種類	タ イ ト ル	著 者 名
総説	呼吸エクササイズの末梢皮膚温および自律神経活動への影響に関する文献検討	飯尾祐加、水野（松本）由子、鈴木江三子
原著	Measurement of visceral fat area using bioelectric impedance analysis for the diagnosis of metabolic syndrome	賀屋光晴、常見幸、柏村信一郎、末廣謙
	車椅子移乗技術習得におけるコーチングソフトウェアを用いたビデオフィードバックの有効性の検証	増田富美子、山田哲、吉岡なつき
研究報告	肺がん患者の退院後の病気の受け止めとセルフケア	田中真弓、網島ひづる、大西英雄
実践報告	学生の自己学習をすすめる ～カンニングペーパーの効用～	坂口顕
	第17回アジア競技大学（2014/仁川大会）におけるホッケー男子日本代表フィジオ帯同報告	坂口顕、川口浩太郎、藤岡宏幸
資料	高齢者自身がつ性意識および高齢者の性に対する看護師の意識に関する文献検討	西原かおり、鈴木江三子
平成26年度 全学FDワーク ショップの 実践報告	学生の学習能力を向上させる ～物理療法学実習におけるアクティブラーニング～	坂口顕、日高正巳
	知識獲得とその定着を目指した授業改善の取り組み	常見幸
	授業方法改善の実践報告 —薬学部第1学年次科目「生理化学Ⅰ」の場合—	山本悟史
	平成25年度 兵庫医療大学FDワークショップ全体テーマ 「学習動機を高める」を受けての実践報告 —知識獲得のメカニズムを意識した講義—	土井有羽子

20) キャンパス有効利用委員会

キャンパス有効利用委員会は、限りあるキャンパスを効率よく活用するために、学長の諮問機関として平成22年度より活動を行ってきた。本委員会では適宜召集されてさまざまな案件の検討を行ってきた。

平成26年度には、学長および本委員会メンバーが協議を行い、各部署にて学内の有効利用アイデアを募集することとなり、様々なアイデアが集まった。

その後、意見を反映する形で、平成27年度にはレストランの混雑緩和のための席の増設やG棟4階の居室等の再編成が実施された。

本委員会の構成は表1のとおりである。

表1. キャンパス有効利用委員会

委 員	平成26年度	平成27年度
学長が定める担当責任者（委員長）	藤岡 宏幸	藤岡 宏幸
薬学部教員	前田 初男	前田 初男
看護学部教員	藤井真理子	竹田千佐子
リハビリテーション学部教員	野崎 園子	野崎 園子
共通教育センター教員	福田 範子	福田 範子
総務課長	高田 泰彦	上田 晴之
学長が必要と認めたもの	岩佐 義久	岩佐 義久

21) 防火防災対策委員会

本委員会の構成は表1のとおりである。

開学年度より防火訓練（自衛消防訓練）を毎年1回実施している（表2）。

地震・津波防災訓練は平成24年度から毎年1回実施している（表3）。阪神・淡路大震災のような都市直下型地震や今後起こるかもしれない地震による津波災害に対する啓発と教育、訓練を行っている。

地震・津波防災訓練の際には、学生の意識啓発のために、訓練当日の1週間前から備蓄品や救助工具の実物、および、神戸市・ポートアイランドの防災情報のパネルなどを学内に展示している。平成27年度には防災備蓄品の保管場所としてM305、M309に棚を設置し、それ以降、M棟4階倉庫、M305およびM309に、毛布900枚、飲料水2L×2,700本（900人×3日分）、食料5,400食（900人×2日分）、簡易トイレ6,000回分を保管している。

また、大規模災害時の通信手段の確保として、平成27年度から衛星電話を導入した。

防火訓練および地震・津波防災訓練の約1ヶ月前に委員会を招集し、訓練内容を決定している。

表 1. 防火防災対策委員会

委 員	平成26年度	平成27年度
学長（委員長）	馬場 明道	馬場 明道
副学長	前田 初男	前田 初男
副学長	末廣 謙	末廣 謙
副学長	藤田 幸久	藤田 幸久
副学長		藤岡 宏幸
薬学部長	西山 信好	西山 信好
看護学部長	竹田千佐子	網島ひづる
リハビリテーション学部長	藤岡 宏幸	山崎せつ子
共通教育センター長	伊東 久男	伊東 久男
学生部長	新井 信之	新井 信之
事務部長	岩佐 義久	岩佐 義久

表 2. 防火訓練（自衛消防訓練）

実 施 日	対 象 学 生	参加人数
平成26年10月22日	看護学部4年生 作業療法学科2年生	77人
平成27年10月21日	看護学部1年生 リハ学部1年生	200人

表 3. 地震・津波防災訓練

実 施 日	対 象 学 生	参加人数
平成26年7月25日	全学部1年生	350人
平成27年11月20日	薬学部1年生 看護学部2年生	250人

22) 共同研究の受入れに関する審査委員会

i) 概要

共同研究の受入れに関する審査委員会は、平成24年5月15日に施行された「学校法人兵庫医科大学共同研究規程」に基づき、平成24年7月に発足した。本委員会は、企業、国、地方公共団体またはその他の機関との共同研究を対象に共同研究の受入れ事項について審議することを目的とする。

ii) 委員会の構成

委員会は、学長、研究担当副学長、大学協議会において選出された者5名で構成される。委員長は、学長がこれに当る。委員会の構成については、表1に示す。

表1. 共同研究の受入れに関する審査委員会の構成

区 分	委 員 名
学長	馬場明道 学長（委員長）
研究担当副学長	前田初男 副学長
大学協議会において選出された者（5名）	田中稔之 教授（薬学部）、山本悟史 教授（薬学部）、藤野秀樹 講師（薬学部） 森明子 講師（リハビリテーション学部）、岩佐義久 ゼネラルマネージャー（神戸キャンパスオフィス）

iii) 活動状況

申請のあった共同研究課題について平成26・27年度に審議し、受入れたものを表2に示す。

表2. 平成26・27年度に受入れた共同研究課題

年 度	共同研究課題名	共同研究機関名	研究期間	本学研究者
平成26年度	PCA-1を分子標的とするfirst-in-classのがん治療創薬	国立大学法人大阪大学、独立行政法人医薬基盤研究所	H26/7/1～ H28/3/31	田中 明人（薬学部）
	タウリントランスポーター欠損マウスの寿命短縮のメカニズム解析	大正製薬(株)	H26/7/22～ H27/1/30	東 純一（薬学部）
	加圧トレーニング時の上肢基部への圧迫（血流制限）がベンチプレスおよびサイドレイズ動作時の筋活動に及ぼす影響	PCP（フィジカルコンディショニングプロダクション合同会社）	H26/11/28～ H28/3/31	賀屋 光晴 （共通教育センター）
平成27年度	内臓痛の脳内認知機構の解明	国立研究法人理化学研究所	H27/10/1～ H30/3/31	戴 毅（薬学部）
	先発医薬品と後発医薬品の同等性に関する研究	（公）田附興風会医学研究所 北野病院	H27/4/1～ H32/3/31	中野 博明（薬学部）
	質量顕微鏡による、徐放性製剤の溶出メカニズムの観察と固体・溶液物質の解析	国立大学法人浜松医科大学	H27/4/1～ H32/3/31	中野 博明（薬学部）
	先発医薬品と後発医薬品の同等性に関する研究	国立大学法人浜松医科大学	H27/4/1～ H32/3/31	中野 博明（薬学部）
	精神的ストレス緩和効果の評価法の開発	サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社	H28/1/1～ H28/12/31	土江 伸誉 （共通教育センター）

23) ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理審査専門委員会

i) 概要

本委員会では、兵庫医療大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理審査専門委員会規程に基づき、本学において行われるヒトゲノム・遺伝子解析研究が、兵庫医療大学におけるヒトゲノム/遺伝子解析研究に関する規程に合致し、文部科学省、厚生労働省の定める倫理指針、およびヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的配慮の下に行われるよう、実験計画書を審査し、計画の適否について学長に報告すること、および、承認された実験計画について適切に実施されているかどうかを調査し、報告を受けることにより本学におけるヒトゲノム・遺伝子解析研究が円滑かつ適切に実施されることに資することを目的として設置されている。

ii) 委員会の構成

当委員会は、兵庫医療大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理審査専門委員会規程に基づき、下記委員をもって構成されている。

①薬学部教員（3名）

②科学面から研究を総合的に審査するに必要な優れた知識と経験を有する者（2名）

③倫理面、法律面および社会面から研究を総合的に審査するに必要な優れた知識と経験を有する者（2名）

④一般の立場の者（1名）

②として看護学部、リハビリテーション学部の教員各1名、③として共通教育センター教員2名が指名され、任に就いている。

iii) 委員会の活動

当委員会は平成23年に発足した。まず、申請書式および審査手続きを整え、その後、年4回を原則に申請課題の締め切りを設定し、申請があれば委員会を招集し課題審査を実施している。今までに、5つの新規課題の審査申請があり、審査の結果、当該研究の実施が適当である旨を学長に報告し、課題は承認された。課題審査に加えて、年度ごとに実施課題の報告書を受け取り、研究が適切に実施されていることを担保している。

表1. 承認済み課題一覧

(平成28年3月31日)

課題番号	課 題 名	申請者	研究期間
15-001	ワルファリンの個別化適正投与に関する研究（新規）	南畝 晋平	承認日～2017/3/31
15-002	遺伝子多型情報に基づくワルファリンの適正投与量設定へ向けた前向き臨床試験（新規）	南畝 晋平	承認日～2017/9/30
15-003	統合失調症患者に対する個別化適正薬物投与のための薬物感受性遺伝子に関する研究（新規）	南畝 晋平	承認日～2018/3/31
15-004	うつ病患者に対する個別化適正薬物投与のための薬物感受性遺伝子に関する研究（新規）	南畝 晋平	承認日～2017/3/31
15-005-02	プリン代謝拮抗薬の臨床効果の個人差に関する研究	大野 雅子	承認日～2018/3/31

24) 利益相反マネジメント委員会

i) 概要

利益相反マネジメント委員会は、本学の教職員等の産学連携活動に関わる利益相反を適切に管理することを目的とし、学校法人兵庫医科大学利益相反ポリシーの下、学校法人兵庫医科大学利益相反マネジメント規程に基づいて設置されている。本委員会は教職員等の利益相反を未然に防止するために、利益相反に関する個々の案件の審査と必要な勧告や利益相反マネジメントのための調査や関連する情報公開に関する事項について審議する。

ii) 委員会の構成

本委員会は各学部および共通教育センター教授会において選出された教授各1名、財務担当理事、事務局長、ゼネラルマネージャー、法務・知的財産室長、学外有識者からなる委員で構成されている。

iii) 活動状況

平成26年度は、委員会を7回開催した（持ち回り委員会を含む）。委員会では128件の自己申告書を審査し、いずれも機関の許容の範囲内であり問題なしと判断した。平成27年度は、委員会を7回開催した（持ち回り委員会を含む）。委員会では145件の自己申告書を審査し、いずれも機関の許容の範囲内であり問題なしと判断した。詳細な状況については、表1に示す。

表1. 利益相反マネジメント委員会 審査件数

審査年月	申告件数	うち助言を実施した件数	審査結果
平成26年 5 月	12	0	問題なし
7 月	19	1	問題なし
9 月	23	0	問題なし
11月	25	0	問題なし
1 月	23	0	問題なし
3 月	26	0	問題なし
平成26年度 計	128	1	問題なし
平成27年 5 月	33	13	問題なし
7 月	4	0	問題なし
9 月	34	0	問題なし
11月	27	5	問題なし
1 月	33	7	問題なし
3 月	14	0	問題なし
平成27年度 計	145	25	問題なし

25) 先端医薬研究センター運営委員会 先端医薬研究センター研究プロジェクト選考委員会

i) 概要

先端医薬研究センター運営委員会は、兵庫医療大学先端医薬研究センター規程第7条第2項の規定に基づき、先端医薬研究センターの運営に関する必要な事項を定める目的で設置されている。

先端医薬研究センター研究プロジェクト選考委員会は兵庫医療大学先端医薬研究センター規程第10条第2項の規定に基づき、研究プロジェクトの募集、選考等に関する事項について審議するために設置されている。

ii) 活動実績

○平成26年度 第1回先端医薬研究センター運営委員会

平成26年 5 月30日（金）午前10時00分～午前11時15分

議題1 現行プロジェクト（先端医薬研究室1）の取扱について

議題2 先端医薬研究室3（G-103）の運用について

議題3 その他

○平成26年度 第2回先端医薬研究センター運営委員会

平成26年8月19日（火）午後1時40分～午後2時15分

議題1 先端医薬研究室3の整備について

議題2 現行プロジェクト（先端医薬研究室1）の取扱に関する通知について

議題3 先端医薬研究センター内規について

○平成26年度 第1回先端医薬研究センター研究プロジェクト選考委員会

平成27年3月12日（木曜日）午後4時～午後4時45分

議題1 プロジェクトの募集について

議題2 G-103の整備状況について

○平成27年度 第1回先端医薬研究センター運営委員会議事録

平成27年5月25日（月）午後1時30分～午後2時15分

議題1 プロジェクトの募集について

○平成27年度 第1回先端医薬研究センター研究プロジェクト選考委員会

平成27年6月8日（月）午後2時～午後2時30分

議題1 プロジェクトの募集について

○平成27年度 第2回先端医薬研究センター研究プロジェクト選考委員会

平成27年10月2日（金）午後2時～午後2時30分

議題1 応募プロジェクト（1件）の選考について

○平成27年度 第2回先端医薬研究センター運営委員会

平成28年1月26日（火）午後1時40分～午後2時00分

議題1 現行プロジェクト（先端医薬研究室1）の取扱いについて

議題2 新規プロジェクトの募集について

○平成27年度 第3回先端医薬研究センター研究プロジェクト選考委員会

平成28年3月15日（火）午後1時30分～午後1時45分

議題1 応募プロジェクト（1件）の選考について

26) 社会学連携推進機構

i) 概要

本機構は、医療、福祉、介護、健康づくり、未病などの観点から、地域の住民、地方自治体、公共団体、医療福祉施設、各種企業など、つまり、地域の社会と医療総合大学である本学との連携活動において、異なる分野の人たちをつなぐプラットフォームとしての役割を担うとともに、社会学連携に関するノウハウの蓄積、新しい社会学連携形態の企画立案にも取り組むために平成27年4月1日に発足した。本機構の目的は、以下に記した地域社会と本学の連携活動に関わる方針「社会学連携ポリシー」に基づ

き、本学の教育・研究成果を広く社会に還元し、大学の重要な使命の一つである「社会貢献」を精力的に実践することである。

【兵庫医療大学 社会学連携ポリシー】

① 地方創生をめざして

兵庫県は、他の地方自治体と同様に、少子高齢化、転出超過などの問題に直面しています。これらの問題点を解決するため、兵庫医療大学は、兵庫県ならびに県内の市町村と協働し、本学の知と経験を地方創生のために積極的に活用していきます。

② 地域医療を担う人材の育成

超高齢社会に突入した日本では、今後さらに、地域医療の充実が求められます。兵庫医療大学は、地域社会から地域社会とともに学ぶ双方向型教育研究を実践し、高度医療専門職者として地域に根ざして地域医療を担う人材の育成に取り組めます。

③ 共同研究・受託研究の推進

科学技術創造立国を目指す日本において、大学の研究活動に大きな期待が寄せられています。兵庫医療大学は、本学の知的財産などの様々な研究成果を活用する共同研究・受託研究を推進し、大学の知と経験の社会還元積極的に取り組んでいます。

④ 「ひとづくり」支援

「21世紀兵庫長期ビジョン」において兵庫県は、県民主役・地域主導による一人一人が元気な成熟社会を目指しています。兵庫医療大学は、この兵庫県の取組を支援するため、高大連携、生涯学習、リカレント教育などの学びの場を積極的に提供し、地域社会における「ひとづくり」に、持続的に取り組んでいます。

⑤ 「ものづくり」支援

医療や健康づくりをキーワードとして「ものづくり」に取り組んでいる在兵庫企業は、独自技術の未活用、科学的根拠の不足など、様々な課題を抱えています。兵庫医療大学は、本学の知と経験を活用することにより、それらの企業が直面する課題の解決を目指して協働し、地域社会における産業イノベーションを積極的に支援します。

⑥ 「まちづくり」支援

「ひとづくり」と「ものづくり」だけでなく、「まちづくり」も大学に求められている社会貢献の一つです。兵庫医療大学は、兵庫県、県下の市町村、そして地域社会と協働しつつ、教職員だけでなく、学生達の地域活動への参加を促進し、大学の知と経験を活用した「まちづくり」に取り組んでいます。

ii) 機構の組織体制

本機構は、社会学連携推進機構運営規程に基づき、機構長、副機構長、地域連携実践センター長、各教育研究部門長（ステーション責任者）3名と事務職員若干名（専従者1名）から構成される委員会により運営され、機構長は副学長（研究担当）が務めている。また、本機構は、開学時から設立されている地域連携実践センターだけでなく、三教育部門「臨床薬剤師生涯教育ステーション」、「シームレス看護教育ステーション」および「リハスタッフ臨床教育ステーション」の活動を統括しつつ、地域社会と連携した本学の教育研究活動を推進している。

iii) 機構の活動状況

本機構が社会学連携ポリシーに沿って平成27年度に取り組んだ活動を以下に報告する。

(1) ポリシー①に基づいた活動

平成26年度から兵庫県が取り組んでいる「丹波薬草産地再生事業」に対する本学の支援活動が評価され、丹波市、兵庫県丹波県民局と本学は「薬草振興の連携活動に関する協定書」を平成27年10月21日に締結し、兵庫県における薬草振興事業が抱える課題の解決に継続的に取り組んでいくことになった。なお、この支援活動は、新しい学生の学びの場「プロジェクト・ベイスド・ラーニング」として活用している。

鳥取県、公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構と本学は「鳥取県、公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構および兵庫医療大学の就職支援に関わる連携協定書」を平成27年10月1日に締結し、鳥取県が抱える課題「医療を支える人材の不足」の解決を目指して、本学に在籍する鳥取県出身者をはじめとする学生のUターン・Iターン就職を継続的に推進することになった。

(2) ポリシー②に基づく活動

平成27年度私立大学等改革総合支援事業タイプ2に採択されたことにより、神戸市中央区および兵庫県篠山市との連携の下、学生がアクティブ・ラーニングを実践する場として、兵庫医療大学ポータアイコモンズおよび兵庫医療大学ささやまコモンズを整備した。平成28年3月21日（月・祝）には、兵庫医療大学「1日体験入学」および篠山市「健康セミナー」にて、両コモンズによる健康チェックをポータアイ多職種連携学生ネットワークに所属する学生たちが取り組んだ。なお、「1日体験入学」での健康チェックでは8名の学生が、述べ62名の一般市民の血圧、ヘモグロビン、踵骨密度、および体成分の測定を実践した。また、「健康セミナー」での健康チェックでは、6名の学生が篠山市民15名の体成分測定を実施するだけでなく、同セミナーにおける体力測定なども支援した。

(3) ポリシー③に基づく活動

本機構は、発足以来、企業、他大学との共同研究に積極的に取り組むようにと学内に周知してきた。その結果、平成27年度には表1に示す共同研究が機関承認を受け、実施されることになった。なお、これらの共同研究は現在進行中であるため、共同研究の課題名、テーマ等の公表を控えた。

表1. 平成27年度に協定書を交わした共同研究機関と学内担当者

共同研究機関	共同研究テーマ（学内担当者）
国立研究開発法人 理化学研究所	薬学部・教授・戴 毅
サントリーグローバルイノベーションセンター	共通教育センター・講師・土江 伸誉
国立大学法人 浜松医科大学（課題1）	薬学部・講師・中野 博明
国立大学法人 浜松医科大学（課題2）	薬学部・講師・中野 博明

(4) ポリシー④に基づく活動

「臨床薬剤師生涯教育ステーション」は、薬剤師生涯学習セミナーとして「薬のカタチを楽しもう」（薬学部・講師・清水 忠）を平成27年10月2日にグランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル ザ・ラボ2F アクティブスタジオにて開催した。参加者は50名だった。

また、平成28年度からの開講を目指して以下の履修証明科目を「シームレス看護教育ステーション」と「リハスタッフ臨床教育ステーション」が企画し、それらのプログラムは文部科学省から「職業実践力育成プログラム」（BP）として認定された。なお、平成28年度受講者としてプログラム①

には18名を、プログラム②には14名を受け入れた。

看護学研究科

① 在宅看護実践力育成プログラム

医療科学研究科

② PT・OT 臨床力ステップアッププログラム

③ リハビリテーション科学課題研究プログラム

本機構が主催した講演会、セミナー等については、それらを企画した地域連携実践センターや研究推進委員会の項に取りまとめて報告している。

(5) ポリシー⑤に基づく活動

社学連携推進機構がプラットフォームとなり、農イノベーションひょうご推進機構加盟企業・株式会社 寺尾製粉所の平成27年度ひょうご農商工連携ファンド事業「兵庫県産穀物（黒大豆・紫黒米等）を使用した機能性飲料の商品開発」を本学は支援した。

Ⅱ 教育・研究活動

1. 教育の概要

i) 概要

兵庫医療大学では、学校法人兵庫医科大学の建学の精神に基づき、学校法人兵庫医科大学に設置される大学連携協議会、医療人育成センターを通じて、兵庫医科大学、本学の教育のあり方、大学間連携、臨床教育等について検討を行っている。また、開学以来、「チーム医療」を教育の一つの柱として前面に打ち出し、本学を巣立った卒業生が臨床の場で活躍している。平成24年に設置された教育支援室の各部門の見直しを図り、平成27年には「IR部門」を新設し、「履修支援・国試対策支援部門」「チーム医療教育支援部門」に再編した。

平成27年度には、私立大学等改革総合支援事業タイプ1、私立大学等教育研究活性化設備整備事業が採択され、Webシラバスシステムを導入することができた。

また、平成25年度から始まった北京中医薬大学への短期留学に引き続き、平成26年度からはアデレード大学看護学部と本学看護学部の学術交流に関する基本合意に基づき、本学看護学部学生のアデレード大学への短期留学、アデレード大学看護学部学生の短期留学受け入れを行った。このことにより本学の教育目標の一つである「国際性の涵養」も現実のものとなりつつある。

ii) 教育機能の強化

平成25年度に基礎科目の大幅な改変を行った。大学教育への導入科目として「アカデミックリテラシー」を新規に開講し、大学生としてのstudy skillを身につけることを目的とし、3学部合同での講義、グループディスカッション、プレゼンテーションを行った。平成25・26年の教育実績を基に、「アカデミックリテラシー」の授業方法、授業内容の見直しを平成27年に行い、平成28年度からは入学直後に「アカデミックリテラシー」を集中的に開講し、よりスムーズな大学教育への導入ができるよう改善案が検討された。

通常の授業内で授業の到達目標に達することができなかった学生に対しては、教育支援室の「履修支援・国試対策支援部門」が窓口となって、学習支援員と面談を行い、今までの履修の課題を明確にするとともに、課題を解決の方向へ導くよう指導を行った。学生への履修指導では、平成25年度に導入された、学生カルテシステム、ポートフォリオを積極的に活用した。

平成26年度の「私立大学等改革総合支援事業タイプ1」は残念ながら採択には至らなかった。このことを契機に、本学の教務運営、授業評価、GPA制度等、オフィスアワーの見直し、シラバスの記載内容の見直し等を行った。この甲斐があつてか、平成27年度には、「私立大学等改革総合支援事業タイプ1」「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」が採択され、Webシラバスシステムの導入に至った。

iii) 薬学部、リハビリテーション学部の認証評価

薬学部では、平成27年度に薬学教育評価機構の審査を受け、「薬学教育評価 評価基準」に適合していると認定された（認定期間：平成28年4月～平成35年3月）。また、リハビリテーション学部では、平成27年に一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の審査を受け、理学療法学科、作業療法学科ともに「リハビリテーション教育に必要な施設基準およびカリキュラムを提供、実施できる養成施設」として認定された（認定機関：平成28年4月～平成33年3月）。

iv) 国際交流

平成25年度末にオーストラリア連邦アデレード大学と学術交流に関する基本合意書を締結した。この締結の基に、本学看護学部学生のアデレード大学への短期留学、アデレード大学看護学部学生の短期留学の受け入れ、JBI KOBE linguistic Translation Centerの設置が実現した。

平成25年度から行われている北京中医薬大学への短期留学も継続されており、本学の教育目標の一つである「国際性の涵養」の一助となっている。

北京中医薬大学短期留学

日 程：平成26年 8月27日～ 9月 5日

参 加 者：薬学部第2学年次 4名、第3学年次 4名、第5学年次 3名
リハビリテーション学部第2学年次 4名

日 程：平成27年 3月22日～29日

参 加 者：薬学部第1学年次 1名、第4学年次 5名、第5学年次 5名

日 程：平成28年 3月22日～30日

参 加 者：薬学部第2学年次 4名、第3学年次 2名、第4学年次 4名

アデレード大学短期留学

日 程：平成26年 8月16日～ 9月 6日

参 加 者：10名

日 程：平成27年 8月15日～ 9月 5日

参 加 者：12名

アデレード大学短期留学生受け入れ

日 程：平成27年 2月14日～ 3月 8日

受け入れ数：10名

日 程：平成28年度 2月13日～ 3月 4日

受け入れ数：12名

2. 各部門の活動

1) 薬 学 部

i) 学部の概要

平成19年の開学以来9ヵ年が経過し、薬学部では平成27年度末に第四期の卒業生を社会に輩出した。薬学部においては、医療薬学教育に重きを置き、兵庫医科大学における永年にわたる医学教育を通じて培った臨床教育資源を有効に活用しながら、臨床現場に根ざした教育研究を行うことを主眼に教員組織を構成している。その特徴的な例は薬剤師としての実務経験を持つ8名の教員の他、臨床医として医療機関を兼務する教員を5名配することで医療の現場に即した教育をも可能にすることを方策としている。

教育研究組織においては、講座制ではなく、科目毎に教員を配置する科目分野制を敷いている。この体制では、個々の教員が連動して柔軟に教育研究活動に取り組むことができ、また、個々の教員では対応しきれない新しい必修科目についても全教員の協力ならびに経験に基づき、より良い形で実施できるといえる。平成26年度には、新たに「東洋医薬部門」を設置し教授職1名を増員し、医療薬学教育担当部門に専任教員1名を配置することで、教育研究組織を強化した。

薬学部の特徴的な教育研究のための施設としては、薬学部の付属施設である薬用植物園、臨床薬学研修センターおよび先端医薬研究センターがある。先端医薬研究センターは、医薬・医療に関する最先端の研究開発を行い、その成果を疾病の治療および予防に反映させることを目的として、医学および薬学等の関連分野の研究推進を図るために設置されたもので、現在、本学薬学部と兵庫医科大学との共同研究プロジェクトが稼働している。

ii) 概要

薬学部では、下記のような教育理念、教育目的、教育目標およびこれに基いた学生受け入れ方針、教育課程の編成・実施方針、学位授与方針の3つのポリシーを掲げている。

【教育理念】

基礎と臨床を融合させた薬学教育とともに、医学・医療の関連分野との横断的実践教育により、人と社会の健康と幸福に広く貢献できる薬剤師を育成する。

【教育目的】

薬学部では、「くすり」（医薬品・化学物質・手段）と「生体」（ヒト、生物／病原体、生体成分）に関する正しい知識とともに、生命の尊厳を畏敬し、人々の健康と幸福を真に願う医療専門識者としての適格な意識を備え、多様な分野で薬学的立場から全人的医療を支えることのできる薬剤師の養成を目指します。

【教育目標】

1. 「くすり」と「生体」及びその相互作用に対する科学的理解を深め、幅広い教養とともに薬剤師としての基盤となる正しい知識を身に付ける。
2. 生命の尊厳を尊重する高い倫理観とともに、人々の健康と幸福を願い、その治療とケアに携わることができる豊かな人間性を養う。
3. ボーダレスな教育環境のもと、様々な医療専門職者の役割を理解し、連携を保ち互いに協調し、

患者の病態のみならず心理的・社会的背景を理解し、適切な薬物治療を推進する総合的実践能力を身に付ける。

4. 医療の高度化・多様化及び科学技術の進展に適切に迅速に対応するため、高い創造性と生涯にわたり自ら学び続ける自己開発能力を身につける。
5. 個人にとって安全かつ適切な薬の使用を促すため、くすりの有効性・安全性に関する正しい知識とともにリスク管理能力を身に付ける。
6. 優れたコミュニケーション能力を身に付けるとともに、医療・保健衛生分野における薬剤師のあり方について学び、社会的視野を広げる。

【アドミッションポリシー（学生受け入れ方針）】

薬学部では、クスリの構造や効力・副作用などについてのエビデンスに基いた「専門的な知識」と日々進歩し続けるあらゆる薬処方に正確に対処できる「高度な技術」とを持ち、チーム医療や地域医療の現場において優れたコミュニケーション能力に基づき「自ら考え、行動できる」薬剤師・薬学人を育成する。

したがって、以下のような学生を求めている。

- 1) 患者さんや高齢者だけではなく、周りの人達の気持ちを理解できる豊かな人間性をもつ人。
- 2) 将来、「自ら考え、行動できる」薬剤師としてチーム医療や地域医療を支え、薬のプロフェッショナルとして医療現場で活躍したい人。
- 3) 感性豊かな創造力と合理的な思考力とに基づき、薬学を科学するチャレンジ精神旺盛な人。

【カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）】

- 1) 基礎分野・専門基礎分野・専門分野に関する授業科目と実習科目を有機的に連携させ、薬学部教育課程で修得すべき知識・技能および態度を網羅するとともに、人と社会の健康と幸福に広く貢献できる力を育むための教育課程を編成し提供する。
- 2) 人と社会とのつながりを理解し、コミュニケーションの技法や科学的な思考法を身につけるための基礎的な教育の機会を提供し、教育課程全般を支える学修基盤を作る。
- 3) 医療職者としての倫理的な判断力や問題を発見し解決する能力を養い、専門分野科目への円滑な導入を支援する専門基礎教育を実施し、専門分野を習得する意義を理解する教育機会を提供する。
- 4) 高度な専門性の習得を目的とし、医薬品と生体の働きおよびその相互作用を理解する幅広い生命科学に関する体系的な専門教育の機会を提供する。
- 5) 疾病に対する臨床医学的な理解に基づき、薬物治療を実践するために必要な医療薬学に関する能力を身につける専門教育の機会を効果的に提供する。
- 6) 薬剤師が他の専門職者と協調してチーム医療や地域医療を推進するために必要な知識・技能および態度を習得する実践的な専門教育の機会を提供する。
- 7) 薬剤師としての研究的視野を育み、医療や科学技術の発展に貢献する研究に関する基礎的な知識・技能および態度を習得するための実践的な教育機会を提供する。
- 8) 臨床現場における医学・薬学を基盤とした実務的活動への参加を通じて、医療職者としてより専門性の高い知識・技能および態度を習得するための実践的な教育機会を提供する。

【ディプロマポリシー（学位授与方針）】

- 1) 医療専門職者に相応しい普遍的な教養と倫理的な判断力を身につける。
- 2) 優れたコミュニケーション能力と人々の健康と幸福に貢献できる豊かな人間性を身につける。

- 3) 医薬品と生体の働きを理解するために必要な基礎薬学に関する幅広い知識と技能を身につける。
- 4) 病態の理解に基づく薬物療法の実践に必要な医療薬学に関する専門知識と技能を身につける。
- 5) 医薬品を中心とする化学物質の安全性や環境衛生の保全に必要な基礎知識と技能を身につける。
- 6) チーム医療や地域医療における薬剤師の役割を理解し、これに必要な技能と態度を身につける。
- 7) 医療や科学技術に対する探求心とその発展に貢献するための基礎となる実践力を身につける。

iii) 学部の教員組織

表 1. 平成27年度薬学部教員一覧

領 域	職 位	氏 名	専 門 分 野	着任年月日
基礎薬学 (化学系) 7名	教 授	青木 俊二	天然薬物学	H19. 4. 1
	教 授	前田 初男	生体分析化学	H19. 4. 1
	教 授	宮部 豪人	有機化学	H19. 4. 1
	准 教 授	甲谷 繁	物理化学	H19. 4. 1
	助 教	塚本 効司	生体分析化学	H19. 4. 1
	助 教	吉岡 英斗	有機化学	H20. 4. 1
	助 教	岩岡恵実子	天然薬物学	H19. 4. 1
基礎薬学 (生物系) 8名	教 授	田中 稔之	免疫学	H19. 4. 1
	教 授	山本 悟史	生理学	H19. 10. 1
	教 授	大河原知水	生化学	H20. 4. 1
	教 授	上田 晴康	免疫学	H20. 4. 1
	講 師	三浦 大作	生化学	H20. 4. 1
	助 教	大野 喜也	免疫学	H20. 4. 1
	助 教	是金 敦子	生化学	H19. 4. 1
	助 手	小暮 洋子	生理学	H21. 4. 1
衛生薬学 6名	教 授	清宮 健一	毒性学	H20. 4. 1
	教 授	斎藤あつ子	微生物学	H21. 4. 1
	准 教 授	前田 拓也	微生物学	H19. 4. 1
	講 師	長野 基子	微生物学	H20. 4. 1
	助 教	佐藤江利子	衛生化学	H19. 4. 1
	助 教	大森 志保	微生物学	H21. 4. 1
医療薬学 11名	教 授	安屋敷和秀	薬理学	H21. 4. 1
	教 授	岩崎 剛	薬物治療学	H20. 4. 1
	教 授	九川 文彦	薬物動態学	H20. 4. 1
	教 授	西山 信好	薬理学	H19. 4. 1
	教 授	辻野 健	薬物治療学	H21.10. 1
	准 教 授	伊藤 壮一	薬剤学、製剤科学	H20. 4. 1
	講 師	中野 博明	薬剤学、製剤科学	H20. 4. 1
	助 教	田中 康一	薬理学	H19.10. 1
	助 手	小淵 修平	薬理学	H21. 4. 1
	助 手	芝田 宏美	薬物治療学	H19. 4. 1
	助 手	森家 望	薬物動態学	H20. 4. 1

領 域	職 位	氏 名	専 門 分 野	着任年月日
臨床薬剤学 5 名	教 授	森山 雅弘	臨床薬剤学	H22.10. 1
	教 授	天野 学	臨床薬学	H25. 4. 1
	講 師	大野 雅子	臨床薬理学	H22. 4. 1
	講 師	桂木 聡子	社会薬学	H22. 4. 1
	助 教	村上 雅裕	臨床薬学	H26. 7. 1
未来医療薬学 5 名	教 授	田中 明人	創薬化学	H19. 4. 1
	講 師	上田 寛樹	先端医療薬剤学	H20. 4. 1
	講 師	藤野 秀樹	薬物動態学	H20. 4. 1
	講 師	南畝 晋平	薬物動態学	H21.10. 1
	助 教	清水 忠	創薬化学	H20. 4. 1
東洋医薬 4 名	教 授	戴 毅	漢方医学	H20. 4. 1
	教授(兼)	青木 俊二	天然薬物学	H19. 4. 1
	助教(兼)	岩岡恵実子	天然薬物学	H19. 4. 1
	助 教	王 勝蘭	漢方医学	H25. 4. 1
医療薬学教育 2 名	教授(兼)	上田 晴康	免疫学	H20. 4. 1
	講 師	伊藤 崇志	医療薬学教育学	H21. 4. 1

iv) 学生の受け入れ（学生数、学生進級定数）

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
平成26年度在籍者数	168	202	162	133	101	174
平成26年度進級／卒業数	148	137	137	119	101	135
平成27年度在籍者数	161	185	150	150	119	139
平成27年度進級／卒業数	149	149	137	139	118	138

v) 教育活動（教育課程、授業内容は除く）

病院・薬局実務実習については「臨床薬学研修センター」の項を参照

CBT、OSCE 結果

	CBT			OSCE		
	受験者数	合格者数	合格率%	受験者数	合格者数	合格率%
平成26年度	133	119	89.5	133	133	100
平成27年度	145	139	95.9	145	145	100

薬剤師国家試験結果

	6 年制（新卒）			6 年制（既卒）		
	受験者数	合格者数	合格率%	受験者数	合格者数	合格率%
平成26年度	96	60	62.5	125	70	56.0
平成27年度	102	44	43.1	119	85	71.4

就職状況

平成26年度は卒業生のうち、就職した学生は79人で進学した学生は1名（大阪大学大学院）であっ

た。平成27年度は卒業生のうち、就職した学生は71名であった。

それぞれの年度の就職先は下表のとおり。

平成26年度

病院薬剤師 就職先	人数
兵庫医科大学病院	3
医療法人伯鳳会 おおくまセントラル病院	1
医療法人医誠会 医誠会病院	1
医療法人財団済美会 昭和病院	1
医療法人晋真会 ベリタス病院	1
医療法人人生登会 寺元記念病院	1
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	1
医療法人協和会 協和会病院	1
兵庫県立尼崎病院	1
医療法人いずみ会 阪堺病院	1
医療法人清水会 京都伏見しみず病院	1
医療法人清仁会 洛西シミズ病院	1
社会医療法人誠光会 草津総合病院	1
医療法人協和会 協立温泉病院	1
医療法人徳洲会 岸和田徳州会病院	1
医療法人仁済会 高石病院	1
医療法人寿会 富永病院	1
医療法人社団董会 伊川谷病院	1
計	20

平成27年度

病院薬剤師 就職先	人数
兵庫医科大学病院	1
日本赤十字社 姫路赤十字病院	1
医療法人良秀会 高石藤井病院	1
医療法人医誠会 医誠会病院	1
医療法人社団甲友会 西宮協立脳神経外科病院	1
医療法人社団東光会 西東京中央総合病院	1
鹿児島県立大島病院（公務員）	1
京都大学医学部附属病院（レジデント）	1
医療法人同仁会（社団） 京都九条病院	1
医療法人山紀会 山本第三病院	1
特定医療法人三栄会 ツカザキ病院	1
医療法人同友会 共和病院	1
医療法人相愛会 相原第二病院	1
医療法人蒼生会 楠本病院	1
医療法人ダイワ会 大和病院	1
兵庫県立柏原病院	1
計	16

調剤薬局・ドラッグストア 就職先	人数
株式会社キリン堂	2
株式会社サンドラッグ	2
株式会社スギ薬局	8
株式会社ココカラファインヘルスケア	2
株式会社ミック	1
たんぽぽ薬局株式会社	1
株式会社ザグザグ	2
株式会社ぼうしや薬局	3
イオンリテール株式会社	2
株式会社マツモトキヨシ	3
株式会社サエラ	2
クラフト株式会社	1
ウエルシア薬局株式会社	4
株式会社アインファーマシーズ	3
法円坂メディカル株式会社	1
イング株式会社	1
株式会社ペガサスメディカル	1
株式会社阪神調剤薬局	1

調剤薬局・ドラッグストア 就職先	決定
株式会社クリエイトエスディー	1
株式会社ココカラファインヘルスケア	1
株式会社アルカ アルカ調剤薬局	2
クラフト株式会社	2
ウエルシア薬局株式会社	2
アメニティプランニング	2
株式会社大新堂 フタツカ薬局	1
株式会社サエラ サエラ薬局	3
株式会社クオール	6
株式会社アインファーマシーズ	2
総合メディカル株式会社	1
株式会社ファーマホールディング（なの花薬局）	1
株式会社スギ薬局	6
株式会社コクミン	2
株式会社サンドラッグ	2
株式会社マツモトキヨシホールディングス	1
株式会社プチファーマシスト	1
株式会社祥漢堂	1

調剤薬局・ドラッグストア 就職先	人数
株式会社大新堂	1
有限会社ティエスプラン	2
株式会社ファーマホールディング	1
株式会社サンニシイチ	1
セイコーメディカルブレーン株式会社	1
株式会社Jみらいメディカル	1
有限会社アルバ	1
株式会社グッドプランニング	1
株式会社西神薬局	1
株式会社薬正堂	1
計	51

調剤薬局・ドラッグストア 就職先	決定
株式会社アカカベ	2
株式会社キリン堂	3
株式会社CFSコーポレーション ハックドラッグ	1
イオンリテール株式会社	1
株式会社ザグザグ	1
株式会社ニチホス	1
有限会社サカエファーマシー宮前薬局	1
株式会社ウィーズ	1
株式会社ティエスプラン	1
計	49

企業・その他 就職先	人数
株式会社マイクロン	1
アストラゼネカ株式会社	1
日本イーライリリー株式会社	1
株式会社ヤクルト	1
アルフレッサ日建産業株式会社	1
株式会社エバルス	1
学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール	1
学校法人兵庫医科大学兵庫医療大学	1
計	8

企業・その他 就職先	決定
ノボルディスクファーマ株式会社	1
株式会社三和化学研究所	1
鳥居薬品株式会社	1
サイトサポート・インスティテュート株式会社	1
バレクセル・インターナショナル株式会社	1
ナミキ商事株式会社	1
計	6

vi) 研究活動（研究費の取得状況）

(1) 研究費の取得状況

1) 科学研究費（科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金）

薬学部における科学研究費は、平成26年度では21件、総額19,900,000円、平成27年度には18件、総額24,600,000円が採択された。

2) その他学外からの資金（研究助成金・受託研究費・共同研究費）

学外からの資金は、平成26年度では4件、総額15,695,700円、平成27年度は4件、総額39,213,571円であった。

vii) 社会活動（高大連携活動）

平成26年度は、39件、平成27年度は41件の出張講義（高大連携、校内ガイダンス、見学会時講義・実習等）を実施。

対象は、主に兵庫県下と大阪府下の高校。

〔各種協定関係高校〕

- ・六甲アイランド高等学校（兵庫県）：SSH（スーパーサイエンスハイスクール：文部科学省指定）
- ・帝塚山学院高等学校（大阪府）

対象となる受講学生によって反応は様々であり、薬学人気傾向も背景にあるが、薬学に対する興味喚起にも寄与していると考えられる。実際に出張講義をきっかけに薬学部に興味を持ち、最終的に本

学への受験、入学に至った学生も増えてきている。

viii) その他の活動 薬学部FD委員会

(1) 薬学部FDセミナー

薬学部教員の教育能力の向上を目的として、下記の薬学部FDセミナーを開催した。

日 時：平成27年3月19日（木）午後1時30分より

場 所：M487A会議室

特別講演

講 師：平田 収正先生（大阪大学大学院薬学研究科・教授）

演 題：「改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習のあり方―薬学実務実習に関するガイドラインにおいて果たすべき大学の役割について―」

参加者33名

平成27年度からの新モデル・コアカリキュラム施行に伴い、実務実習のカリキュラムも変更される。現在、薬学実務実習に関するガイドライン（案）が策定され、大学教員に今まで以上の関与が求められている。そこでこのガイドラインの策定や平成26年度文部科学省医療人養成推進委託事業など、新モデル・コアカリキュラムに関連する多くの事柄に係わっておられる平田収正先生をお招きし、その後講演を聴くことにより、新しい実務実習の在り方について考える基礎となる知識を学んだ。

日 時：平成28年1月14日（木）午後5時より

場 所：M106講義室

講 師：伊藤崇志（兵庫医療大学薬学部・講師）

演 題：学習支援員の活動報告、薬学教育学会シンポジウムの報告

参加者：40名

教育支援活動としての学習支援員の活動報告および薬学教育学会シンポジウムに関する報告が行われ、関連するテーマについて討論した。また、薬学教育学会シンポジウムにおいてTBLに関するワークショップがあり、同様のワークショップを実施した。

(2) 北京中医薬大学への短期留学

本学と学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院の共催事業として、平成25年度より毎年選抜された10～12名の薬学部学生が北京中医薬大学への短期留学を実施している。平成26年8月27日～9月5日（薬学部2年生4名、3年生4名、5年生3名）、平成27年3月22日～3月29日（薬学部1年生2名、4年生5名と5年生5名）と平成28年3月22日～30日（薬学部2年生4名、3年生2名と4年生4名）、3回にわたって本学薬学部学生が（計37名）北京中医薬大学で東洋医学について包括的なカリキュラムに基づき学習してきた。留学した学生諸君は受入先である北京中医薬大学の先生方からも高い評価を頂き、学生達自身からも実りのある留学であったとの振り返りがあった（毎年、帰国後、短期留学報告会開催）。

(3) 模擬患者養成事業

本学では近隣の住民の皆様のご協力を仰ぎ、模擬患者（Simulated Patients; 以下SP）になって頂いている。薬学部第4学年次生は「実務実習事前学習」の授業内で、学生はこれらのSPさんを

相手に、患者接遇の実習を行っている。また、SPさんには薬学共用試験OSCE課題である患者接遇、情報提供の領域において標準SPとして参加して頂いた（平成26年度：53名、平成27年度：56名）。SPさんは平成20年度から毎年募集し、現在（平成27年3月）60名が登録している。平成26年度は12名、平成27年度は11名の薬学教員がタスクフォースとして実習、OSCEのためのSPおよび標準SP養成講習会を実施した。

2) 看護学部

i) 学部の概要

看護学部は、教育目標とともに卒業時到達目標の到達を目指して教育を実施している。

平成24年度より重点課題として取り組んできた看護学部教育目標5「地域的・国際的な視野で、保健・医療・福祉の課題を幅広く捉え、看護職者の役割・機能を展望できる。」、看護学部教育目標6「自ら考え創造する態度を身に付け、生涯にわたって看護学を探究しつづける基盤をもつことができる。」は、平成26・27年と国際看護を必修科目とし、アデレード大学看護学部との学術交流などにより充実化は図られている。また、平成24年度カリキュラム改正に伴い、保健師国家試験受験資格の取得は選択制（30名）とし、保健師育成のための教育の充実化を図っている。その成果は国家試験の合格率からも窺える。

また、教育全体のさらなる教育の質担保に向け、看護の専門的知識・技術、問題解決能力、コミュニケーション能力、倫理的配慮・態度を万遍なく身につけることができ、それらを統合して看護実践ができる能力を育成することを考慮した科目編成に一部変更した。平成27年度はそれから4年目を迎えることから、今後、看護学部カリキュラム検討委員会で評価を実施予定である。

ii) 看護学部の教育理念・教育目的・教育目標

学校法人兵庫医科大学の建学の精神、兵庫医療大学の教育理念のもとに、次のような看護学部の教育理念、教育目的、教育目標を定めている。

【教育理念】

看護学における理論的知と臨床の知が融合した豊かな教育環境のなかで、倫理観に富んだ人間愛を育み、看護の専門的な知・技・心を培うとともに、他職種と協働し、様々な療養の場における人々のクオリティ・オブ・ライフを高め、同時に、地域で生活を営む人々の最適健康状態を導き、維持、増進させる看護専門職者を育成する。

【教育目的】

看護学部は、倫理観に富んだ人間愛を基盤とし、高度化・複雑化する医療現場に対応できる「確かな看護実践能力」を育み、他職種との連携のもとに、人々が地域社会で自律し最適な生活を営むことを支援できる看護専門職者を育成する。

【教育目標】

1. 豊かな人間性を備え、人の痛み、苦しみや生命の尊厳を理解し、人がもつ権利や価値観を尊重して行動することができる。
2. 理論と実践から導き出された看護学に関する専門的知識と、科学的根拠に基づく判断能力及び題解決能力を身に付ける。
3. 対象者の安全・安楽と主体性を重視した科学に基づく専門的技術及び人の尊厳と権利を擁護するのに大切なコミュニケーション技法を身に付ける。
4. 医学、薬学、リハビリテーション学におけるそれぞれの専門性や役割について理解し、それぞれの職種の人々と有機的に連携協力するとともに調整できる能力を身に付ける。
5. 地域的・国際的な視野で、保健・医療・福祉の課題を幅広くとらえ、看護職者の役割・機能を展望できる。
6. 自ら考え創造する態度を身に付け、生涯にわたって看護学を探究しつづける基盤をもつことがで

きる。

〈看護学部卒業時到達目標〉

- ・人間および生命の尊厳に対して真摯に向き合うことができる。
- ・対象者がもつ価値観・信条、権利を理解し、それを受けとめて権利を擁護できる。
- ・看護を提供する上で必要な専門的知識を身につけることができる。
- ・看護を提供する上で必要な論理的思考に基づく判断能力を身につけることができる。
- ・看護を提供するための問題解決に向けての方略を選択し実践できる。
- ・看護の基本技術を的確に実施できる。
- ・対象者と信頼関係が築けるコミュニケーション技法を用いることができる。
- ・保健・医療・福祉チームにおける各専門職種と看護の専門性および役割を理解できる。
- ・チームの中で他職種と有効かつ協力的にコミュニケーションをとり、専門職としての自分の意見を述べるができる。
- ・チームにおける自己の役割を認識し、責任ある行動をとることができる。
- ・人々の健康生活に関わる文化に多様性があることを理解し、それに対応できる柔軟な姿勢を身につけることができる。
- ・保健・医療・福祉の課題をそれぞれの国や地域の文化を通して把握でき、看護職者の役割を理解することができる。
- ・保健・医療・福祉の地域的・国際的動向に関心をもつことができる。
- ・自己の知識・行動・態度を客観的に評価し、その評価に基づき課題を見出し主体的に取り組むことができる。
- ・自ら学習課題を見出し、課題に創造的に取り組む姿勢を身につけることができる。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）】

看護学部は学位授与方針として、兵庫医療大学看護学部では、本学部の所定のカリキュラムを修了するとともに、以下の資質を身に付けた学生に卒業を認定し、学士（看護学）を授与する。修得すべき所定の単位は、基礎分野26単位以上、専門基礎分野31単位以上、専門分野73単位以上の計130単位である。

- 1) 人間および生命の尊厳に対して真摯に向き合うことができる。
- 2) 対象者がもつ価値観、信条、文化的背景、権利を理解し、権利を擁護する姿勢を身に付ける。
- 3) 看護に必要な専門的知識および論理的思考を身に付ける。
- 4) 看護を提供するための問題解決に向けての方略を選択し実践できる。
- 5) 看護の基本技術を的確に実施できる。
- 6) コミュニケーション技法を用いて、対象者と信頼関係を築くことができる。
- 7) 保健・医療・福祉チームにおける各専門職種の専門性および役割を理解できる。
- 8) 医療チームの中で他職種と有効かつ協力的にコミュニケーションをとり、専門職としての責任ある行動をとることができる。
- 9) 保健・医療・福祉に関わる地域的・国際的動向に関心をもち、それぞれの地域や国の文化を通して、保健・医療・福祉の課題と看護職者の役割を展望することができる。
- 10) 自己の知識・行動・態度の客観的な評価に基づき、課題を見出し、主体的・創造的に取り組むことができる。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）】

看護学部は、看護学の「人間」「健康」「環境」「看護」のメタパラダイム概念および人間の成長・発達、療養環境に応じた看護をもとに効果的かつ体系的に編成している。教育目標を達成するために、「基礎分野」と「専門基礎分野」、「専門分野」の3分野から構成し、学年進行にともなって基礎分野から専門基礎分野、専門基礎分野から専門分野へと積み上がるように科目を配置し、講義・演習・実習を織り交ぜた教育方法を用いて実施している。

また、基礎分野・専門基礎分野と専門分野との卒業要件単位数の比率を3:4として専門分野に偏らない工夫や、130単位の卒業要件単位数に対して必修科目は110単位(85%)、選択科目は20単位(15%)として過密な教育課程とならないように編成している。

【アドミSSION・ポリシー（学生受け入れ方針）】

看護学部は、生命の尊厳や個人の権利・価値観を尊重できる「倫理観に富んだ人間愛」と、高度化・複雑化する医療現場に対応できる「確かな看護実践能力」を育み、地域的・国際的な視野で保健・医療・福祉の課題を統合的に捉え、他職種と協働して人々のクオリティ・オブ・ライフ（生命の質、生活の質）の向上に寄与できる感性豊かで倫理的・創造的な看護専門職者を育成する。

したがって、以下のような学生を求める。

- ・看護専門職者になる強い意志を持ち、人間や健康に関心を持ち続けることができる。
- ・他者の気持ちや立場を理解し関わるができる。
- ・将来医療チームの一員となる自覚を持ち、他者と協力して行動できる。
- ・自ら問題を見出し解決しようとする意欲と行動力を持っている。
- ・常に探究心を持ち、自ら学びを深めきわめようと努力できる。

iii) 看護学部の教育組織

開学当初より本学の教育・研究、大学運営に尽力された教員が定年や転出に伴い退職し、新たな教員を迎えて教育・研究活動を行っている。人事に際しては、教員選考基準と選考手順を看護学部教授会・大学協議会での審議を経て明確にししながら人事選考を行った。なお学部長および教員の一覧は、表1. 平成26年度・27年度看護学部教員一覧に示すとおりである。

また、学生の臨地における教育の充実を図ることを目的とし、学生実習の教育指導等に関与する兵庫医科大学病院の指導的な医療専門職者5名に兵庫医療大学臨床実習教授・准教授の称号を付与した(表2. 看護学部における臨床実習教授等の委嘱)。この申請および付与手続きは、学部長が学部教授会の議を経て、候補者を学長に付議し、大学協議会の議を経て臨床実習教授等を決定し、協力機関の長の承認を得たうえで称号を付与している。

表1. 平成26年度・平成27年度看護学部教員一覧

平成26年度学部長 竹田千佐子		
平成27年度学部長 網島ひづる		
【基盤看護学】		
竹田千佐子	教 授	基礎看護学（理論・技術）
土田 敏恵	准教授	基礎看護学（技術・感染）
岸 あゆみ	講 師	基礎看護学（技術）
鈴木みゆき	助 教	基礎看護学（理論・技術）

荻野 待子	助 教	基礎看護学（技術・看護マネジメント）	
増田富美子	助 教	基礎看護学（技術）	
龔 恵芳	助 教	基礎看護学（技術）	平成27年10月採用
松久 智美	助 手	基礎看護学（技術）	平成26年10月採用
【療養支援看護学】			
網島ひづる	教 授	成人看護学（急性）	
神崎 初美	教 授	成人看護学（がん・慢性）	平成26年 4 月採用
新井 信之	教 授	精神看護学	
笹川 寿美	准教授	成人看護学（急性）	平成26年 4 月採用
田中 登美	准教授	成人看護学（がん・慢性）	平成26年 4 月採用
松本 麻里	准教授	成人看護学（がん・慢性）	
府川 晃子	講 師	成人看護学（がん・慢性）	
貞永千佳生	講 師	成人看護学（急性）	平成26年 4 月採用
立垣 祐子	講 師	精神看護学	平成27年 4 月採用
梶 喜子	助 教	成人看護学（急性）	平成28年 3 月退職
田中 真弓	助 教	成人看護学（急性）	平成28年 3 月退職
森島千都子	助 教	成人看護学（がん・慢性）	平成26年 4 月採用
市川由希子	助 手	精神看護学	平成26年 4 月採用
【療養支援看護学】			
鈴井江三子	教 授	助産学	
西村 明子	教 授	母性看護学	
石原 あや	准教授	小児看護学	
齋藤 雅子	准教授	助産学	平成27年 3 月退職
岡田 公江	准教授	助産学・母性看護学	
工藤 里香	講 師	母性看護学	平成27年 3 月退職
飯尾 祐加	講 師	助産学・母性看護学	
藤井加那子	講 師	小児看護学	平成27年 4 月採用
藤田 優一	助 教	小児看護学	平成27年 3 月退職
片田 千尋	助 教	母性看護学	
高谷 知史	助 教	小児看護学	平成27年 4 月採用
能勢 圭子	助 教	助産学	平成27年12月退職
【生活支援看護学】			
細見 明代	教 授	老年看護学	
堀口 和子	准教授	在宅看護学	
青木菜穂子	准教授	在宅看護学	平成26年 3 月退職
土井有羽子	准教授	公衆衛生看護学	
山田 千春	講 師	老年看護学	
鈴木 千枝	講 師	在宅看護学	平成27年 4 月採用
魚崎 須美	講 師	公衆衛生看護学	平成27年 4 月採用
足立 安正	助 教	公衆衛生看護学	
衣斐 響子	助 教	在宅看護学	平成27年 3 月退職
中澤 仁美	助 教	老年看護学	平成28年 3 月退職
末安 明美	助 手	老年看護学	平成28年 3 月退職

表 2. 看護学部における臨床実習教授等の委嘱（称号付与）

称 号	氏 名	役 職
臨床実習教授	山田 明美	兵庫医科大学病院 看護部長（副院長）
臨床実習教授	平川 弘美	兵庫医科大学病院 看護次長（平成27年4月1日兵庫医科大学ささやま医療センター看護部長）
臨床実習教授	丸山美津子	兵庫医科大学病院 看護次長
臨床実習教授	加地 靖子	兵庫医科大学病院 看護次長
臨床実習教授	笠松 由利	兵庫医科大学病院 看護次長（教育担当）
臨床実習准教授	藤井 利江	兵庫医科大学病院 看護師長

iv) 看護学部における学生の受け入れ

看護学部の入試志願者数が増加せず、やや横ばい状態であることや、現在もなお関西圏で看護学部が増設されていることから、今後、本学部の志願者数が減少する可能性がある現状を鑑みて、本学部のアドミッションポリシーに適合したよりよい学生を獲得し、志願者数を増加させること（目標：偏差値を1～2ポイントあげて、全体の志願者数を1,000人以上とする）を目的に、平成26年度入試より表3. 入試制度に示すように入試回数を5回から6回に変更し、推薦入試公募制A日程（試験科目：外国語・調査書）を追加した。

表 3. 入試制度

平成27・28年度入試		
入試制度・方式		人 数
1	推薦入学試験（専願公募制）	25
2	推薦入学試験（公募制A日程）	10
3	一般入学試験（前期）	50
4	一般入学試験（後期）	7
5	大学センター試験利用入試（前期）	5
6	大学センター試験利用入試（後期）	3
合 計		100

平成27年度入学試験（平成26年実施）・平成28年度入学試験（平成27年実施）の受験者数・合格者数・入学者数は、表4. 平成27年度入学試験、表5. 平成28年度入学試験に示すとおりである。高校進路指導教員説明会、高校訪問による高校生へのガイダンスやオープンキャンパス、兵庫医科大学病院看護部との連携した病院見学会などを通じて看護学部の実習を含めた教育の充実について広く周知することにより、本学への受験者数の維持に繋がっている。また、推薦入試公募制Aの導入も功を奏し、受験者数の減少には至っていないが、看護系大学の増加は必至の情勢であり、安閑としてはおられない状況にある。今後も社会・経済情勢を視野に入れながら、受験生の確保を図っていくために入試制度、広報活動について、検討を継続する。

表 4. 平成27年度入学試験（平成26年実施）

	推薦入試		一般入学試験	一般入試試験	大学入試センター利用試験	
	専願公募制	公募制 A	前 期	後 期	前期	後期
募集人員	25	10	50	7	5	3
志願者数	184	319	425	75	63	11
受験者数	184	318	416	73	62	11
合格者数	26	37	118	8	11	5
入学者数	26	20	51	6	0	1
試験科目	外国語・小論文・ 調査書	外国語・調査書	外国語・国語・ 理科	外国語・国語・ 理科	外国語・国語・ 理科	外国語・国語・ 理科

表 5. 平成28年度入学試験（平成27年実施）

	推薦入試		一般入学試験	一般入試試験	大学入試センター利用試験	
	専願公募制	公募制 A	前 期	後 期	前期	後期
募集人員	25	10	50	7	5	3
志願者数	173	315	430	73	59	10
受験者数	172	314	425	70	59	10
合格者数	26	42	126	8	13	3
入学者数	26	22	59	6	2	1
試験科目	外国語・小論文・ 調査書	外国語・調査書	外国語・国語・ 理科	外国語・国語・ 理科	外国語・国語・ 理科	外国語・国語・ 理科

v) 看護学部 of 教育活動

(1) 学生指導および支援

看護学部では、開学以来、学生が学修に励み、安全で充実した学生生活を送ることができるよう、学生個々の学習・生活相談に応じるためのクラス担任（学年アドバイザー）制度を設けており、1クラス4名の教員が担当し、学生25名前後に一人のクラス担任（学年アドバイザー）を配置してきた。さらに、平成27年度からは、早期に大学生活に慣れ、学生各自が学習習慣を形成できるようにするために、初年次に手厚い学生支援が必要であるとの考えから1年次クラス担任を4名から8名に増加した。学年アドバイザーは、その年の目標を設定、それを学生と共有し、学年度末にはその評価を行いながら、生活面・学習面の相談に応じている。もし、学生の生活面・学習面に問題が生じた場合には速やかに学年アドバイザー主任に報告する。学年アドバイザー主任は学生委員、教育委員との連携に対応し、必要時には学部長に報告するというシステムに則って役割を遂行している。

また、学生支援の一環として看護学部では保護者会を設立しており、看護学部内保護者会担当委員を中心に保護者会の企画運営を行っている。年1回の「定期総会および保護者懇談会」においては、保護者間や保護者と教員との交流を深め、大学側への要望等を汲み取るとともに「保護者・学生」とともに大学を運営する意識を高めている。

教育活動においては、平成24年度入学生より保健師国家試験受験資格の取得を選択制（30名）とし、新たに「ケアマネジメント論」「国際医療福祉論」「看護研究セミナー」を新設、「国際看護」をこれまでの選択科目から必修科目へと変更し、地域的・国際的視野で看護学を探究する姿勢を養うとともに、保健師教育の充実を図った。また、特色ある授業として、対等な話し合いを通して参加者一人ひとりの学習と理解を深め、記憶中心から思考中心の学習へと促す学習法である“LTD（Learning Through Discussion）話し合い学習法”を低学年次（第1年次の基礎看護方法論演習リ

フレクション等) から取り入れ、第4年次の臨地実習後のリフレクションなども実施することで「主体的に学ぶために必要な態度や能力」「他者を尊敬し信頼できる力」「良好な人間関係をたもつ力」を育成している。

平成26・27年度の各学年の学生数と進級認定数については、表6．平成26年度進級認定数等、表7．平成27年度進級認定数等に示す。

表6．平成26年度進級認定数等

	学生数	進級者	留年者	退学者	除籍者
1年生	108	101	4	3	0
2年生	106	95	8	3	0
3年生	102	97	3	2	0
4年生	103	99	2	2	0

表7．平成27年度進級認定数等

	学生数	進級者	留年者	退学者	除籍者
1年生	108	105	1	2	0
2年生	109	95	5	9	0
3年生	98	93	2	2	1
4年生	99	99	0	0	0

(2) 国家試験

平成26・27年度の国家試験合格率は、表8．看護学部国家試験結果に示すとおりである。看護師国家試験については、ほぼ100%の合格率を達成している。

看護学部では学生部会と教員部会からなる国家試験研究会を設けており、学生と教員が協働して国家試験対策を行っている。学生が主体的に国家試験対策を行うことが合格率を高める鍵であると考え、4年生の学生部会が年間の目標設定や具体的な学習方法について考え、学生全員で共有し、教員部会は学生部会のサポートと学習方法に不安のある学生や模試の結果などで個別対応が必要な学生のサポートを行い、高い国家試験合格率を維持している。

表8．看護学部国家試験結果

看護師国家試験 区分	新 卒			既卒(前年度卒業生の希望者が一括出願の対象)		
	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%)
平成26年度 本 学	98	98	100			
全 国	55,015	52,547	95.5	5,932	2,324	39.1
平成27年度 本 学	98	97	98.9			
全 国	56,414	53,547	94.9	5,740	2,038	35.5

保健師国家試験 区分	新卒			既卒(前年度卒業生の希望者が一括出願の対象)		
	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%)
平成26年度 本 学	98	98	100	2	2	100
全 国	15,440	15,381	99.6	1,182	1,136	96.1
平成27年度 本 学	36	36	100			
全 国	8,295	7,684	92.6	504	217	43.1

助産師国家試験 区分	新卒			既卒(前年度卒業生の希望者が一括出願の対象)		
	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%)
平成26年度 本 学	8	8	100			
全 国	1,976	1,975	99.9	61	59	96.7
平成27年度 本 学	9	9	100			
全 国	2,000	1,995	99.8	8	8	100

(3) 学生の進路

平成26年度卒業生・平成27年度卒業生の就職状況については、表9.就職状況に示すとおりである。

表9. 就職状況

年 度		平成26年度	平成27年度
卒業生数		99名	99名
内 訳	就職者数	97名	97名
	大学病院	73名	64名
	民間病院	17名	20名
	公立病院	7名	11名
	その他	0名	2名
	進学者数	2名	0名
	その他	2名	2名

vi) 看護学部の研究活動

(1) 研究費の取得状況

看護学部における科学研究費助成事業は、平成26年度では13件、交付額：総額17,700,000円、27年度では7件、総額9,900,000円が採択された。詳細は、141～146頁に掲載する。

表10. 平成26年度科学研究費補助金交付一覧

研究種目	研 究 課 題 名	職名	研究代表者	交付額 (円)
基盤研究 (B)	集団感染予防のための環境を汚染しない陰部洗浄とおむつ交換技術の開発	教授	土田 敏恵	2,400,000
基盤研究 (B)	病院・在宅療養を支援するリウマチ看護の質を担保するアプローチ方略の開発と促進	教授	神崎 初美	2,500,000

研究種目	研 究 課 題 名	職名	研究代表者	交付額 (円)
基盤研究 (C)	慢性閉塞性肺疾患患者の急性増悪の予防・対処行動に関する測定尺度の開発	准教授	松本 麻里	900,000
基盤研究 (C)	父親・母親に対する産後うつ病予防統合プログラムの開発	教授	西村 明子	1,400,000
基盤研究 (C)	学童保育における「学童保育版児童虐待対応マニュアル」の開発に関する研究	教授	鈴井江三子	1,300,000
基盤研究 (C)	JNCASTで評価した産後1ヵ月の「不妊治療後母子相互作用促進プログラム」開発	准教授	齋藤 雅子	1,300,000
基盤研究 (C)	中重度要介護者の在宅療養継続に向けた家族支援プログラムパッケージの開発と実用化	准教授	堀口 和子	1,400,000
挑戦的萌芽研究	まちの保健室ナースの看護力で形成する急病や災害に備えられるまちづくりと効果の検証	教授	神崎 初美	1,000,000
挑戦的萌芽研究	コーチングソフトウェアを用いた「見て、気づき、考える」車椅子移乗技術指導への挑戦	助教	増田富美子	700,000
挑戦的萌芽研究	高齢女性尿失禁患者への快適で漏れないおむつ装着技術の開発	教授	土田 敏恵	1,300,000
挑戦的萌芽研究	視線運動分析に基づく難易度の高い看護技術のトレーニングシステムの開発と評価	教授	網島ひづる	1,900,000
若手研究 (B)	入院している小児の転倒・転落防止プログラム改訂版の作成とその効果の検証	講師	藤田 優一	600,000
研究活動 スタート支援	新型出生前診断に直面した女性の自己決定を支える看護：一般女性のニーズからの検討	助教	片田 千尋	1,000,000

表11. 平成26年度科学研究費補助金交付一覧

研究種目	研 究 課 題 名	職名	研究代表者	交付額 (円)
基盤研究 (B)	病院・在宅療養を支援するリウマチ看護の質を担保するアプローチ方略の開発と促進	教授	神崎 初美	3,400,000
基盤研究 (C)	学童保育における「学童保育版児童虐待対応マニュアル」の開発に関する研究	教授	鈴井江三子	500,000
基盤研究 (C)	中重度要介護者の在宅療養継続に向けた家族支援プログラムパッケージの開発と実用化	准教授	堀口 和子	1,000,000
基盤研究 (C)	妊娠高血圧症候群予防のための妊娠期における睡眠教育が血圧に与える効果の検証	准教授	岡田 公江	900,000
挑戦的萌芽研究	高齢女性尿失禁患者への快適で漏れないおむつ装着技術の開発	教授	土田 敏恵	1,200,000
挑戦的萌芽研究	視線運動分析に基づく難易度の高い看護技術のトレーニングシステムの開発と評価	教授	網島ひづる	800,000
若手研究 (B)	呼吸トレーニングによる妊婦の冷え改善および異常分娩予防効果	講師	飯尾 祐加	2,100,000

(2) 研究活動

①International Learning Collaborative (ILC) における研究活動

活動内容は世界の看護研究者が実施している看護理論再構築に向けた研究の実施である。研究活動のメンバーは看護学部内教員で構成し、その他兵庫医科大学病院看護部次長（教育担当）もメンバーの一員である。26年度から積極的な活動を展開している。

vii) 看護学部活動

(1) 学内活動

看護学部では、平成23年度より「看護学内委員会」を発足し、全教員がそれぞれの役割をもち看護学部運営に関わるように組織している（看護学部運営会議、FD委員会、教務関係教務部会・臨地実習部会、学生関係：学年アドバイザー・国家試験研究会・保護者懇談会・キャリア開発委員会、倫理審査学内申請書チェックグループ、広報、国際交流など）。そのうちFD委員会と国際交流委員会の活動について述べる。

①看護学部FD委員会

教員の教育・研究能力の向上を目的とし、下記の内容で看護学部FD委員会が独自に実施している。

表12. 平成26年度・平成27年度看護学部FD委員会活動報告

年度	開催月	テ ー マ	講 師 他
平成26年度	4月	新採用教員オリエンテーション	学部長・FD委員
	6月	競争的資金の獲得の方法（講義）	神崎教授
	3月	各領域の科目が学生の進級とともに活かされ、統合されていくための効果的な教育方法	グループワーク
平成27年度	4月	新採用教員オリエンテーション	学部長・FD委員
	6月	看護過程の展開を学生が学ぶ上で臨床に期待すること グループワーク：「効果的な実習指導を行うための大学教員としての方略」	グループワーク
	3月	個別に支援が必要な学生への教育的支援の仕組みづくり グループワーク：「個別に支援が必要な学生に対する教育的支援の仕組みづくり」	グループワーク

②国際交流委員会

本学における国際交流委員会活動は、「アデレード大学学術交流」「欧州研修」などの活動を行っている。

〈アデレード大学学術交流〉

兵庫医療大学看護学部はアデレード大学看護学部（豪州）と学術交流を締結し、相互の学生の短期留学（3週間）を実施している。第2回：平成26年8月10名（対象学年1・2・4年）、第3回：平成27年8月13名（対象学年1・4年）（引率教員2名）がアデレード大学看護学部へ短期留学した。また、アデレード大学看護学部の学生を第2回：平成27年2月10名、第3回：平成28年2月13名（引率教員1名）の留学を受け入れた。双方の看護学部において、毎年、語学学習とともに看護学の講義・演習、病院見学・実習などを組み込んだ魅力的なプログラムを企画・運営している。

〈欧州研修〉

デンマーク王国における医療・福祉・教育の実態を知り、日本の医療・福祉の現状を見つめ直すとともに、グローバルな視野を養うことを目的として毎年実施している。

研修先については、日欧文化交流学院を拠点に重度身体障害者入居施設や高齢者施設、Middelfart病院精神病棟認知症対策班、州立病院、保育園、看護大学等の施設を主としている。

今後は、「アデレード大学学術交流」「欧州研修」とともに北京中医薬大学看護学部（中国）、チェンマイ大学看護学部（タイ）との留学生派遣や教員との共同研究などの国際交流についても検討

する。

(2) 社会貢献等の活動

看護学部教員が行った校内ガイダンス・模擬授業数は、表11. 平成26年度校内ガイダンス・模擬授業等一覧、表12. 平成27年度校内ガイダンス・模擬授業等一覧に示すとおり、平成26年度は26校・平成27年度は24校であり、高等学校の依頼や対象学年に合わせ、看護専門職とその役割、看護専門職への道のり、看護学の基礎的な内容について講義・演習および体験実習などを行った。

表13. 平成26年度（2012年度）校内ガイダンス・模擬授業等一覧

	ガイダンス名称	種 別	開催日	都道府県	担当スタッフ
1	(高大連携) 兵庫県立東灘高等学校	高校内ガイダンス	2014-05-28	兵庫県	岸 あゆみ
2	(高大連携) 兵庫県立伊丹西高等学校	高校内ガイダンス	2014-06-03	兵庫県	岡田 公江
3	(高大連携) 帝塚山学院高等学校	高校内ガイダンス	2014-06-14	大阪府	土田 敏恵
4	兵庫県立加古川南高等学校	高校内ガイダンス	2014-06-19	兵庫県	山田 千春
5	兵庫県立北須磨高等学校	高校内ガイダンス	2014-06-24	兵庫県	西村 明子
6	兵庫県立宝塚西高等学校	高校内ガイダンス	2014-06-25	兵庫県	鈴木みゆき
7	兵庫県立北須磨高等学校	高校内ガイダンス	2014-06-26	兵庫県	西村 明子
8	大阪府立池田高等学校	高校内ガイダンス	2014-07-10	大阪府	田中 登美
9	(見学会) 大阪府立桜塚高等学校	大学見学会	2014-07-11	兵庫県	土田 敏恵
10	兵庫県立猪名川高等学校	高校内ガイダンス	2014-07-14	兵庫県	細見 明代
11	(見学会) 兵庫県立鳴尾高等学校	大学見学会	2014-07-14	兵庫県	斎藤 雅子
12	兵庫県立神戸高塚高等学校	高校内ガイダンス	2014-07-15	兵庫県	府川 晃子
13	(見学会) 兵庫県立西宮北高等学校	大学見学会	2014-07-16	兵庫県	岡田 公江 工藤 里香
14	(見学会) 兵庫県立加古川北高等学校	大学見学会	2014-10-03	兵庫県	石原 あや
15	(見学会) 大阪府立堺東高等学校	大学見学会	2014-10-10	兵庫県	工藤 里香
16	兵庫県立相生高等学校	高校内ガイダンス	2014-10-17	兵庫県	岡野 明美
17	(見学会) 夙川学院高等学校	大学見学会	2014-10-20	兵庫県	藤井真理子
18	(見学会) 兵庫県立伊丹北高等学校	大学見学会	2014-10-23	兵庫県	鈴井江三子
19	(見学会) 兵庫県立高砂高等学校	大学見学会	2014-10-23	兵庫県	松本 麻里
20	(高大連携) 兵庫県立伊丹西高等学校	大学見学会	2014-10-23	兵庫県	岸 あゆみ
21	(見学会) 兵庫県立西宮高等学校	大学見学会	2014-10-24	兵庫県	土井有羽子
22	(見学会) 和歌山信愛高等学校	大学見学会	2014-11-14	兵庫県	府川 晃子
23	(高大連携) 帝塚山学院高等学校	高校内ガイダンス	2014-11-22	大阪府	石原 あや
24	兵庫県立尼崎稲園高等学校	高校内ガイダンス	2014-11-27	兵庫県	山田 千春
25	(見学会) 兵庫県立鳴尾高校見学会	大学見学会	2014-12-15	兵庫県	藤田 優一
26	(見学会) 神戸市立神港高校見学会	大学見学会	2014-12-15	兵庫県	藤田 優一

表14. 平成27年度（2012年度）校内ガイダンス・模擬授業等一覧

	ガイダンス名称	種 別	開催日	都道府県	担当スタッフ
1	兵庫県立北須磨高等学校	高校内ガイダンス	2015-05-15	兵庫県	細見 明代
2	（見学会）神戸市立 六甲アイランド高等学校	大学見学会	2015-05-22	兵庫県	松本 麻里
3	（高大連携）兵庫県立伊丹西高等学校	高校内ガイダンス	2015-05-26	兵庫県	土井有羽子
4	兵庫県立北須磨高等学校	高校内ガイダンス	2015-06-05	兵庫県	鈴木 千枝
5	（高大連携）帝塚山学院高等学校	高校内ガイダンス	2015-06-06	大阪府	笹川 寿美
6	夢ナビライブ2015	進学相談会	2015-06-20	大阪府	田中 登美
7	兵庫県立西宮今津高等学校	高校内ガイダンス	2015-06-23	兵庫県	岡田 公江
8	（見学会）兵庫県立高砂南高等学校	大学見学会	2015-06-23	兵庫県	飯尾 祐加
9	看護・医療系大学タイムズセミナー	進学相談会	2015-07-08	大阪府	竹田千佐子
10	（見学会）兵庫県立西宮今津高等学校	大学見学会	2015-07-08	兵庫県	土田 敏恵
11	（見学会）兵庫県立北条高等学校	大学見学会	2015-07-10	兵庫県	山田 千春
12	兵庫県立明石清水高等学校	高校内ガイダンス	2015-09-07	兵庫県	貞永千佳生
13	西宮市立西宮東高等学校	高校内ガイダンス	2015-10-05	兵庫県	鈴井江三子
14	（見学会）兵庫県立北条高等学校	大学見学会	2015-10-06	兵庫県	鈴木みゆき
15	（高大連携）兵庫県立伊丹西高等学校	大学見学会	2015-10-22	兵庫県	西村 明子
16	（見学会）仁川学院高等学校	大学見学会	2015-10-27	兵庫県	石原 あや
17	（見学会）和歌山信愛高等学校	大学見学会	2015-11-06	兵庫県	立垣 祐子
18	（見学会）兵庫県立高砂高等学校	大学見学会	2015-11-17	兵庫県	藤井加那子
19	（高大連携）帝塚山学院高等学校	高校内ガイダンス	2015-11-28	大阪府	神崎 初美
20	兵庫県立猪名川高等学校	高校内ガイダンス	2015-12-01	兵庫県	細見 明代
21	（見学会）神戸市立神港高等学校	大学見学会	2015-12-15	兵庫県	岸 あゆみ
22	兵庫県立高砂高等学校	高校内ガイダンス	2015-12-17	兵庫県	田中 登美
23	兵庫県立西宮南高等学校	高校内ガイダンス	2016-03-03	兵庫県	府川 晃子
24	兵庫県立鳴尾高等学校	高校内ガイダンス	2016-03-08	兵庫県	堀口 和子

3) リハビリテーション学部

i) リハビリテーション学部の概要

本学リハビリテーション学部は、リハビリテーション専門職のうち、理学療法士を育成する理学療法学科と作業療法士を育成する作業療法学科を設置し、本学部学位授与方針（本学ホームページ、リハビリテーション学部教育理念とポリシー参照）に則り教育している。平成25・26年度は第5期・第6期の卒業生を社会に輩出したが、毎年リハビリテーション学部の求人数は大幅に増加している。その大きな原因として、卒業生が臨床現場にてその実力を発揮し、本学の教育に対する社会からの信頼が確立されてきていることが推察される。卒業生の多くは近隣施設に就職している。

本学部は開学以来、学生の受け入れ、学生教育、国家試験合格、就職などの重要な課題に教職員一同で取り組み、成果を上げてきた。学生教育に関しては、全学的に実施されている、薬学部生・看護学部生、また、兵庫医科大学の学生とのボーダレスな環境にてのチーム医療教育、学部・学科単位での専門教育に加えて、学校法人兵庫医科大学の関連施設をはじめとする近隣施設におけるさまざまな見学実習・臨床実習を通し、実践に役立つ医療人の育成を行っている。また、開学後第1回目のカリキュラム改訂により、平成25年度の第4学年次から「卒業研究」を必修科目とし、研究面に関する教育体制を強化している。

平成27年度、両学科ともリハビリテーション教育評価機構による教育評価認定審査を受け、認定された。その際、理学療法学科はきめ細やかな個別対応とチームアプローチの教育を、作業療法学科は教員の真摯な取り組み姿勢と教育設備・学内生活環境の充実を、特に評価された。作業療法学科は、同時に世界作業療法連盟の認可も受けた。

リハビリテーション医学・医療・研究をリードする魅力ある大学を目指して、平成22年度から毎年度「学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設合同セミナー」を、関連施設のリハビリテーション部門スタッフとともに開催している。

ii) リハビリテーション学部の教育組織

リハビリテーション学部の教育組織は、理学療法学科教員と作業療法学科教員からなり、学部長に加えて理学療法学科長・作業療法学科長を置いている。教員一覧を表1、2、3に示す。理学療法学科教員は医師2名と理学療法士9名、作業療法学科教員は医師1名と作業療法士10名から成る。

表1. 学部長・学科長

	平成26年度	平成27年度
リハビリテーション学部長	藤岡 宏幸	山崎せつ子
理 学 療 法 学 科 長	玉木 彰	玉木 彰
作 業 療 法 学 科 長	山崎せつ子	山崎せつ子

表2. 理学療法学科教員一覧

職 位	氏 名	主な専門分野	在任期間
教 授	川口浩太郎	運動器理学療法学・スポーツ理学療法学	平成19年4月1日～現在
教 授	玉木 彰	内部障害理学療法学	平成23年4月1日～現在
教 授	野崎 園子	神経内科学	平成20年4月1日～平成28年3月31日退職
教 授	日高 正巳	地域理学療法学	平成19年4月1日～現在
教 授	藤岡 宏幸	整形外科	平成23年1月1日～現在

職 位	氏 名	主な専門分野	在任期間
准教授	坂口 顕	物理療法学	平成19年4月1日～現在
講 師	塚越 累	バイオメカニクス	平成25年10月1日～現在
講 師	永井 宏達	神経系理学療法学・予防理学療法学	平成26年4月1日～現在
講 師	宮本 俊朗	運動学	平成25年4月1日～現在
講 師	森 明子	臨床運動学・神経系理学療法学	平成21年4月1日～現在
講 師	森沢 知之	内部障害理学療法学	平成21年4月1日～現在

表 3. 作業療法学科教員一覧

職 位	氏 名	主な専門分野	在任期間
教 授	松井 徳造	精神医学	平成23年10月1日～現在
教 授	山崎せつ子	身体障害作業療法学	平成20年4月1日～現在
教 授	山田 大豪	精神障害作業療法学	平成19年4月1日～現在
准教授	伊藤 斉子	発達障害作業療法学	平成19年4月1日～現在
准教授	佐野 恭子	身体障害作業療法学	平成20年4月1日～現在
講 師	有吉 正則	発達障害作業療法学	平成19年4月1日～現在
講 師	櫛邊 勇	身体障害作業療法学	平成19年4月1日～現在
講 師	坂本 浩	精神障害作業療法学	平成21年4月1日～現在
講 師	坂本 利恵	老年期障害作業療法学・地域作業療法学	平成21年4月1日～現在
講 師	平上 尚吾	身体障害作業療法学	平成25年10月1日～現在
助 教	奥谷 研	精神障害作業療法学	平成21年4月1日～現在

iii) リハビリテーション学部の学生受け入れ

リハビリテーション学部では、入学者受け入れ方針（本学ホームページ、リハビリテーション学部教育理念とポリシー参照）に則り入学生を受け入れるため、推薦入学試験（専願公募制）、一般入学試験（前期A日程）、一般入学試験（前期B日程）、センター試験利用入学試験（前期日程）、および一般入学試験（後期日程）を、平成25年度まで実施してきたが、平成26年度入試から、それまでの状況を鑑み、一般入学試験（後期日程）を廃止した。また、平成27年度からは、高等学校科目構成の変更に伴い、理科の試験科目を変更するとともに、理学療法学科一般入学試験（前期A日程）の数学Ⅰに数学Ⅱ・数学Aを加え、より充実した基礎学力を求めている。リハビリテーション学部の学生受け入れ状況を表4に示す。両学科ともいずれの年度においても定員40名を超える入学者数を確保できている。

受験者数は、理学療法学科・作業療法学科ともほぼ横ばい状態であるが、受験者数増加に向けてさらなる努力が必要とされている。そのためには、今後も引き続き、高等学校進路指導教諭説明会、高等学校訪問による高校生へのガイダンス、オープンキャンパス等の広報活動を発展させることも重要であるが、教育の質を追求し続け、常に社会の需要に応える質の高い卒業生を輩出することにより、本学部への入学を希望する高校生が増えることを重要視している。

表 4. リハビリテーション学部 学生受け入れ状況

年度	入 試 区 分	入 学 生 数	
		理学療法学科	作業療法学科
27	推薦入学試験（専願公募制）	12	13
	一般入学試験（前期 A 日程）	25	19
	一般入学試験（前期 B 日程）	9	11
	センター試験利用入学試験（前期日程）	0	1
	計	46	44
28	推薦入学試験（専願公募制）	13	13
	一般入学試験（前期 A 日程）	21	18
	一般入学試験（前期 B 日程）	13	10
	センター試験利用入学試験（前期日程）	1	1
	計	48	42

iv) リハビリテーション学部の教育活動

(1) 学生指導および支援

リハビリテーション学部では理学療法学科・作業療法学科とも、原則として各学年 2 名の担任を置くとともに、学科会議を毎週行い、学業や生活に問題のある学生情報を教員間で共有し、教員同士連携して適宜学生の支援・指導を行っている。

また、各教員はオフィスアワーを設け、その時間帯を授業概要にて公表しているが、学生はオフィスアワーに限らず、学業に関する質問やキャリア・学生生活その他に関する相談など、自由に教員の研究室を訪ねており、教員は個別に適切な対応を行っている。

学生の進級および卒業状況を表 5 に示す。

表 5. リハビリテーション学部 進級および卒業状況

年度	学 年	理学療法学科					作業療法学科				
		学生数*	進級・ 卒業者数	留年者数	退学者数	除籍者数	学生数*	進級・ 卒業者数	留年者数	退学者数	除籍者数
26	1	46	45	1	0	0	49	47	2	0	0
	2	44	41	0	3	0	51	51	0	0	0
	3	42	40	1	1	0	48	44	3	1	0
	4	47	46	1	0	0	47	43	3	1	0
27	1	47	45	0	2	0	46	46	0	0	0
	2	45	43	1	1	0	47	44	3	0	0
	3	42	41	0	1	0	54	53	0	1	0
	4	41	41	0	0	0	47	47	0	0	0

* 学生数：当該年度 4 月現在の学生数を示す

(2) 国家試験

リハビリテーション学部の国家試験に対する対策は、低学年時から卒業に至るまで、次のように行われている。

基礎科目の学習がほぼ終了する第 2 学年次後期、および国家試験勉強開始時期に当たる第 3 学年次後期後半の 2 回、主要基礎科目の全国模試を実施している。この模試の結果を得ることで、学生

は学習に対して動機付けされ、教員は学生の学習状況に関する全国的な指標を得て、その後の指導に活かすことができる。

本格的な国家試験に関する指導は第4学年次の後期に実施される。その内容は、少人数ゼミ形式での教員の密な指導、学部教員による特別講義、定期的なミニ模擬試験、全国模試（4回）などである。学習成果があがりにくい学生に対しては、教員が各学生に合わせて個別指導を実施している。また、国家試験直前の年末年始には、特に不安を抱える若干名の学生に対して集中的な指導を行っている。

既卒者で国家試験を受験するものに関しては、本人が希望すれば、在校生と同様の指導その他を行っているが、これは全学的方針である。

リハビリテーション学部の国家試験合格率についての詳細は表6に示すが、両学科とも開学以来高い合格率を維持することができている。

これからも、各年の教育・指導体験を丁寧に省察しつつ、100%の合格を目指し、教員一同努力を重ねていく。

表6. リハビリテーション学部 国家試験合格率

年度	学 科	全 体				新 卒 者			既 卒 者		
		受験者数	合格者数	合格率 (%)	参考: 全国data	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%)
26	理学療法学	46	45	97.8	82.7	46	45	97.8	—	—	—
	作業療法学	44	40	90.9	77.5	43	40	93	1	0	0
27	理学療法学	42	41	97.6	74.1	41	40	97.6	1	1	100
	作業療法学	51	49	96.1	87.6	47	46	97.9	4	3	75

(3) 学生の進路

リハビリテーション学部の国家試験合格者は、理学療法学科、作業療法学科とも全員、卒業と同時に理学療法士・作業療法士として就職した。また、理学療法学科の卒業生のうち平成26年度は2名、平成27年度は1名、就職と同時に兵庫医療大学大学院医療科学研究科に進学した。詳細は表7に示す。

就職施設の所在地は、関西地域、特に兵庫県に集中している。これは、自宅から通っている学生が多く、それらの学生は就職地を自宅から通える範囲、またはその近隣にて選択することが多いためである。詳細は表8に示す。

表7. リハビリテーション学部 学生の進路

年度	学 科	国家試験合格者数	就職者数※※	進学者数
26	理学療法学科	45	45※	2※
	作業療法学科	40	40	0
27	理学療法学科	40	40※	1※
	作業療法学科	46	46	0

※進学者は同時に就職しているため、両方に計上している

※※理学療法士・作業療法士としての就職者数を示す

表 8. リハビリテーション学部 地域別就職件数

年度	学 科	兵庫県	大阪府	京都府	その他近畿圏	その他
26	理学療法学科	27	9	1	4	4
	作業療法学科	24	12	0	0	4
27	理学療法学科	22	9	2	2	5
	作業療法学科	30	8	4	1	3

v) リハビリテーション学部の研究活動

(1) 科学研究費（科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金）

リハビリテーション学部が獲得した科学研究費は、平成26年度には理学療法学科 5 件、総額 7,100,000円、作業療法学科 2 件、総額3,300,000円、平成27年度には理学療法学科 6 件、総額 4,500,000円、作業療法学科 2 件、総額700,000円である。詳細は、141～146頁に記載されている。

(2) 科学研究費以外の学外からの研究助成金

リハビリテーション学部が獲得した科学研究費以外の学外からの研究助成金は、平成26年度には理学療法学科 6 件、総額6,420,000円、平成27年度には理学療法学科 4 件、総額3,540,000円、作業療法学科 1 件、総額300,000円である。詳細は、141～146頁に記載されている。

(3) 学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設合同セミナー

学校法人兵庫医科大学のリハビリテーション医学・医療にかかわる医師、理学療法士、作業療法士、言語療法士などを中心に、平成22年度から毎年度、「学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設合同セミナー」を開催している。毎回、法人内外からの医療専門職者の参加を得て、有用な情報交換と活発な意見交換が行われている（参加者数：平成26年度 217名、平成27年度 246名）。

平成26年度は、特別講演には永生病院名誉院長・慶応義塾大学名誉教授 千野直一先生をお招きし、「リハビリテーション医学研究の勧め－物理医学とリハビリテーション－」というテーマでご講演いただいた。一般講演では、リハビリテーション学部から、「2 型糖尿病患者の筋持久力を神経・筋機能から解析する」（宮本俊朗講師）が発表された。また、シンポジウム「学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設でのリハビリテーション医療職者教育と研究」では、医師・療法士・教育現場それぞれの立場からの発表をもとに、活発な意見交換が行われた。

平成27年度は、特別講演には川崎医療福祉大学学長 椿原彰夫先生をお招きし、「療法士の卒前・卒後教育の問題点」というテーマでご講演いただいた。また、一般講演では、リハビリテーション学部から、「股関節アシストロボットが歩行動作に与える影響」（塚越累講師）、「脳卒中片麻痺患者の上肢機能に対するミラーセラピーの効果」（平上尚吾講師）の 2 演題が発表された。

vi) リハビリテーション学部の社会貢献（高大連携活動）

リハビリテーション学部教員は、理学療法士および作業療法士などの医療人の職業理解、および、模擬講義を通しての大学での学修紹介を目的として、高等学校の生徒に対して、平成26年度、合同説明会 1 回、出張講義42回、本学における体験授業・施設紹介など 9 回実施した。平成27年度には、合同説明会1回、出張講義43回、本学における体験授業・施設紹介など 6 回実施した。次年度以降も、内容の充実を図りながら、継続して実施する予定である。

出張講義、本学における体験授業・施設紹介の対象学年を表 9 に示す。

表9. リハビリテーション学部 高大連携活動の対象学年

年度	活動内容	対象学年別件数					計
		1年生	2年生	3年生	1、2年生	1—3年生	
26	高等学校での講義	14	18	3	6	1	42
	本学における体験授業等	3	6	0	0	0	9
27	高等学校での講義	13	19	5	4	2	43
	本学における体験授業等	5	1	0	0	0	6

vii) リハビリテーション学部FD活動

リハビリテーション学部教員の教育能力・研究能力の向上を目的として、FDセミナーを実施した(表10)。ほとんどの回で90%以上の参加を得ることができた。

今後も教員一同、FD活動等を通し、教育・研究の両面における自己啓発に努めていく。

表10. リハビリテーション学部 FD活動

年度	開催日	講師所属	講 師	演 題
26	06-05	本学講師	塚越 累	歩行アシスト装置による歩行動作の変化
	07-03	本学講師	山本 英幸	転写活性化因子Ets-2を破壊したマウスの作製と解析
	10-02	本学講師	永井 宏達	高齢者の健康増進に向けた近年の取り組み
	12-04	本学助教	奥谷 研	北京中医薬大学短期留学についての報告
	03-19	株式会社リハステージ 事業本部 副本部長	吉川 法生	今なぜクリニカル・クラークシップなのか？ —実施までに考えるべきこと
27	05-07	本学教授	日高 正巳	クリニカル・クラークシップによる臨床実習の必然性
	06-04	本学教授	日高 正巳	クリニカル・クラークシップによる臨床実習の指導法
	07-02	本学教授	日高 正巳	クリニカル・クラークシップ導入において、よく聞かれる質問について
	11-05	本学教授	山崎せつ子	やる気と脳 —価値と動機づけの脳機能イメージング—
	01-07	本学教授	川口浩太郎	オリンピックにおける理学療法士のかかわり
	02-18	国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター医学 倫理研究室上級研究員	會澤久仁子	臨床研究倫理の基礎：被験者保護と出版倫理
	03-17	本学講師	有吉 正則	ポーアイ4大学連携事業 ポーアイ65歳大学の報告

4) 共通教育センター

i) 共通教育センターの概要

共通教育センターは、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の基礎教育および一部の専門基礎教育を担当し、また兵庫医科大学医学部との教育連携を図る目的で、本学の教育の中心的理念であるボーダレス教育を支える部署として開学時に設けられた。平成26～27年度は伊東久男がセンター長を務めた。

本学の卒業生が将来、医療チームの一員として心の通った医療を提供するためには、それぞれの患者を理解できる人間性、社会人としての常識が必要である。また、高度化する医療技術と複雑化する各種疾病に対処するために、医療専門職者は自分の担当領域のみならず、幅広い知識を備えることが求められている。こうした素養を身につけるため、自然科学、人文科学、語学、スポーツ健康科学など多彩な基礎科目とともに、いくつかの専門基礎科目を修得する必要がある。これらの学びを支えるのが「共通教育センター」である。

本学では、開学以来、各学部での専門教育に加えて、学部の垣根を超えた連携教育を行っている。また、兵庫医科大学およびその関連施設と連携して、病態や治療に関する知識を教育するとともに、実習を通じて実践に役立つ医療人の育成を行っている。すなわち3学部合同、さらには兵庫医科大学医学部をも交えた4学部合同で学ぶチーム医療関連科目のコーディネートも共通教育センターの重要な役割である。

ii) 教員組織

平成26年度4月より、平成25年度末に定年退官された教員の後任として1名の教員が着任した。平成27年度末の時点で共通教育センターは12名の専任教員より構成されている。

平成27年度末の専任教員の一覧は下表のとおりである。

職 位	氏 名	専門分野	センター専任教員としての着任日
教 授	末廣 謙	内 科 学	平成19年4月1日～
教 授	伊東 久男	解 剖 学	平成19年4月1日～
教 授	秦 正哲	英 語 教 育 学	平成19年4月1日～
教 授	加藤 精一	物 理 学	平成19年4月1日～
教 授	紀平 知樹	哲 学	平成21年4月1日～(平成27年4月准教授から教授に昇任)
教 授	柏村信一郎	生 物 学	平成24年9月1日～
准教授	賀屋 光晴	スポーツ健康科学	平成19年4月1日～
准教授	芝崎 誠司	化 学	平成25年4月1日～
講 師	福田 範子	英 文 学	平成19年4月1日～
講 師	常見 幸	内 科 学	平成24年7月1日～
講 師	西田喜平次	統 計 学	平成25年4月1日～
講 師	土江 伸誉	心 理 学	平成26年4月1日～

iii) 教育活動

共通教育センターとして、前表に示した12名の専任教員および多数の非常勤講師および兼任教員が全学部の基礎教育科目と一部の専門基礎教育科目を担当している。共通教育センターの教育の特徴は、授業体系で可能なものについては、ボーダレスな環境で実施する、つまり3学部合同で教育を行う点である。センターが主として対象とする学生は第1学年次の学生であるが、後記のように一部は高学

年次の学生も対象としている。

共通教育センターが中心となって行ってきた教育科目は、以下の通りである。

- (1) アカデミックリテラシー
- (2) 高等学校教育から大学教育につなげるためのリメディアル教育
- (3) チーム医療教育
- (4) 早期臨床体験実習 (ECE)
- (5) 各教員の専門とする基礎教養科目

以下、(1) ～ (4) の概要を記載する。

(1) アカデミックリテラシーの企画と実施

アカデミックリテラシーは平成25年度より新たに開設された科目であり、科目責任者である紀平教授を中心として、共通教育センター教員全員と一部の学内の学部教員および非常勤講師などの協力を得て、第1学年次前期金曜日の午後に全学部合同で実施された。その教育目標は、①将来の医療人としての勉学への動機づけ、②社会生活に必要なマナーの理解、③情報検索の方法の理解、④作文とレポートの違いの理解、⑤情報機器による情報伝達手段・表現手法の基礎の習得、⑥情報機器やインターネットのしくみの理解、⑦他人との議論を通じた問題探究の手法の習得等である。

(2) 高等学校教育から大学教育につなげるためのリメディアル教育の強化

平成24年度までは、高等学校で理系科目の未履修者への支援科目として薬学部においてのみ、「物理学入門」と「生物学入門」が開講されてきた。平成25年度のカリキュラム改訂において、導入教育科目を全学部提供し、科目の種類も「数理科学入門」「生物学入門」「化学入門」「計算演習」と自然科学の学びの基礎学力涵養のために、全分野をカバーするように整備した。さらに、平成27年度より、薬学部の導入科目の「生物学入門」・「化学入門」をそれぞれ「基礎生物学」「基礎化学」に科目名変更し、薬学教育の基礎のボトムアップの工夫を行った。

また、薬学部新入生を対象に、入学直後「プレースメントテスト」を課し、学力が一定の水準に達していない履修支援対象学生を早期に抽出し、「生物学」と「数学」の専任教員が中心となって補習を実施し、また学習指導・相談を行う等のリメディアル教育に取り組んだ。

(3) PBL方式およびTBL方式を導入したチーム医療教育の実施

全学部混成の合同教育は、本学のモットーである「チーム医療」教育を支える中心となっている。チーム医療に関する教育は、共通教育センターが主として対象とする初年次においてのみならず、第2学年次および第4学年次においても実施しており、第1学年次と第4学年次においては、3学部に加えて兄妹校である兵庫医科大学医学部生も加えた4学部合同で行われている。将来の薬剤師・看護師・理学療法士・作業療法士・医師が一同に会し、同一の課題症例について、それぞれの視点から調査・討論・発表するという、他職種候補生との交流を含めてチーム医療の学びを様々な段階でレベルにあわせて経験できる、日本でも類を見ない教育を展開している。

平成27年度の本学と兵庫医科大学の4学部の1年生を対象とした「合同チュートリアル」では、あらかじめ課題に関係した予習を課し、事前学習の成果をI-RAT（個人テスト）およびG-RAT（グループテスト）を実施、目的意識の向上を図った。G-RATの実施に際しては、クリッカー（リアルタイムレスポンス・アナライザー）システムを導入した。以下、平成27年度に実施した第1学年次の「合同チュートリアル」の概要を示す。

平成27年度第1学年次対象の「4学部合同チュートリアル」の概要

平成27年度9月14日～16日に、本学において、兵庫医科大学第1学年次と本学の第1学年次を対象に合同チュートリアルを行った。この年度より、前記したようなTBL（Team-based learning）方式を導入した。両大学の約480名の学生を初日の10時にオクタホールに集合させ、4学部混成の60グループに分け、ガイダンス後、レストランに移動し、アイスブレイキングから開始した。午後にマークカード方式の個人試験およびクリッカーを使用したグループ試験を実施した後、オクタホールにて、ある研修医の患者・その家族と医局教授や先輩医師との間に挟まれた医療現場でのドキュメントDVDを視聴し、課題が提示された。その後、各カンファレンスに分かれてグループ討議に入った。第2日目はグループ試験、症例解説、グループ討議と発表準備が行われた。第3日目午前中は、15グループずつ4教室に分かれて発表会が開催され、活発な議論が交わされた。午後には筆記試験、試験解説、総括がなされ、最後に優秀グループの表彰が行われた。学生にとっては、医療従事者としての行動・考えについて、学部・大学の垣根を越えた意見交換を行える充実した3日間の教育企画であった。全体スケジュールの詳細を下表に示す。

9月14日（月）		
10:00	集合・受付 ガイダンス 資料配付	オクタホール（2F）学部別に受付する ※オクタホール内はグループごとに指定された席に着席すること
10:45	休憩、移動	
11:00	グループ別プログラム （アイスブレイキング）	レストラン ※グループごとに指定されたテーブルに着席すること
12:00	グループごとの昼食	レストラン
13:00	個人試験	・ 1～15グループ：M201講義室 ・ 16～30グループ：M202講義室 ・ 31～45グループ：M203講義室 ・ 46～60グループ：M204講義室
13:30	グループ試験	レストラン ※それぞれの試験はあらかじめ配布した予習資料の範囲から出題する
14:00	休憩、移動	
14:15	試験問題解説 シナリオ提示	オクタホール ※オクタホール内はグループごとに指定された席に着席すること
15:30	グループ討議	M棟、G棟カンファレンス、グループ学習室 ※グループごと指定された場所を使用すること
17:00	解散	※18:30まで、カンファレンス、グループ学習室、情報処理演習室1の使用可
9月15日（火）		
10:00	集合、出席確認	レストラン ※第一日目と同じ席にグループごとで着席すること ※出席確認はテーブルごとに行う
10:15	グループ試験 症例の解説	レストラン ※出席確認終了後、第一日目のグループ試験と同様の手順で行う
12:00	グループごとの昼食	レストラン
13:00	グループ発表準備	M棟、G棟カンファレンス、グループ学習室 ※グループごと指定された場所を使用すること
17:00	解散	※18:30まで、カンファレンス、グループ学習室、情報処理演習室1の使用可

9月16日（水）			
10:00	グループ発表	・ 1～15グループ：M201講義室 ・ 31～45グループ：M203講義室	・ 16～30グループ：M202講義室 ・ 46～60グループ：M204講義室
12:00	グループごとの昼食	レストラン	
13:30	筆記試験室 アンケート回答室	・ 1～15グループ：M204講義室 ・ 31～45グループ：M202講義室	・ 16～30グループ：M203講義室 ・ 46～60グループ：M201講義室
14:30	試験解説・総括	オクタホール ※グループ毎の指定席に着席すること	
16:00	解散		

（4）早期臨床体験実習の企画・実施

医療専門職としての知識や技術を習得するに当たり、医療の実際に直接触れることによって、入院患者の生活や看護業務の現状、病院各部署の機能を知り、医療者としての自覚を培い、勉学のモチベーションを高揚させることを目指し、3学部4学科の学生の混成グループを編成し、夏期休暇前の1週間（平成26年度は8月4日から9日の6日間、平成27年度は8月3日から8日の6日間）、兵庫医科大学病院（各病棟・薬剤部・リハビリテーション部）において早期臨床体験実習を実施した。なお、平成26年度より、第1日目の実習内容を医科大学の講義室での「病院説明・ガイダンス」（午後のみ半日、薬剤部とリハビリテーション部の見学なし）、第2日目の実習内容を「病棟見学実習（20病棟）」（終日）に変更した。

iv）研究活動（研究費の取得状況）

（1）研究費の取得状況

共通教育センターにおける文部科学省科学研究費補助金の採択状況は、平成26年度が3件、総額3,600,000円、平成27年度が2件、総額2,200,000円であった。詳細は、141～146頁に掲載する。

v）社会貢献などの活動状況

公開講座・地域交流プロジェクト・特別講演会・出前授業など

平成26年度および平成27年度、公開講座、地域交流プロジェクト、特別講演会および出前授業等を以下の通り担当した。

平成26年度

開催日	講演テーマ・活動テーマ	担当者	会場等
平成26年6月23日（月）	看護医療・健康類型 スポーツ総合演習	賀屋 光晴	尼崎小田高校
平成26年6月26日（木）	熱中症予防	賀屋 光晴	加古川東高等学校
平成26年7月9日（水）	子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業「身近な天体の話」	加藤 精一	京田辺市立桃園小学校
平成26年7月11日（金）	七夕講演会「宇宙と生命」	加藤 精一	兵庫医療大学
平成26年7月16日（水）	子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業「身近な天体の話」	加藤 精一	京田辺市立田辺東小学校
平成26年7月30日（水）	子どもの発達と運動	賀屋 光晴	氷丘小学校
平成26年8月8日（日）	望ましい運動部活動の在り方について～効果的なトレーニングと安全対策～	賀屋 光晴	芦屋市立体育館・青少年センター
平成26年8月8日（金）	運動部活動におけるケガの予防と応急処置について	賀屋 光晴	芦屋市立体育館・青少年センター

開 催 日	講演テーマ・活動テーマ	担当者	会 場 等
平成26年 8 月18日(月)	運動部活動における事故防止について	賀屋 光晴	兵庫県民会館
平成27年 1 月31日(土)	レクリエーションスポーツで健康づくり！	賀屋 光晴	ふれあいプラザあかし西
平成27年 2 月21日(土)	兵庫医療大学公開講座 「やさしいライフサイエンス－健康・遺伝子・食品のはなし」	芝崎 誠司	兵庫医療大学
平成26年 4 月24日(木) 平成26年 6 月19日(木) 平成26年11月20日(木) 平成26年12月18日(木) 平成27年 1 月15日(木)	4 大学連携事業「禁煙キャンパス地区」を 目指した禁煙支援活動	賀屋 光晴	兵庫医療大学

平成27年度

開 催 日	講演テーマ・活動テーマ	担当者	会 場 等
平成27年 7 月 1 日(水)	子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業 「身近な天体の話」	加藤 精一	井手町立井手小学校
平成27年 7 月10日(金)	七夕講演会「宇宙からの光」	加藤 精一	兵庫医療大学
平成27年 7 月24日(金)	子どもの体格と運動能力	賀屋 光晴	氷丘南小学校
平成27年 9 月15日(火)	スポーツ医・科学等を取り入れた運動部活動 について	賀屋 光晴	兵庫県中央労働センター
平成27年 4 月23日(木) 平成27年 5 月21日(木) 平成27年 6 月18日(木) 平成27年 7 月16日(木) 平成27年 9 月24日(木)	4 大学連携事業「禁煙キャンパス地区」を 目指した禁煙支援活動	賀屋 光晴	兵庫医療大学
平成27年 7 月25日(土) 平成27年10月31日(土) 平成28年12月12日(土) 平成28年 2 月13日(土)	クリニカルカフェー対話の中で考える生老病死	紀平 知樹	兵庫医療大学

5) 医療人育成センター

i) 概要

医療人育成センターは、兵庫医療大学3学部学生、兵庫医科大学病院での実習の活動拠点としての機能を果たすとともに、医学部学生の実習支援、臨床研修医・新人看護師の実践能力向上研修および学外からの看護実習生を受入れ支援を行うなど、学校法人兵庫医科大学における医療人育成への幅広い取り組みを実施している。また、他大学薬学部学生の実習支援に加え、兵庫医療大学大学院生への講義支援も実施している。

ii) 活動支援の内容

① 兵庫医療大学・兵庫医科大学連携教育および学生教育への支援

- ・早期臨床体験実習、チーム医療演習（チュートリアル教育）、エスコート実習、レベル選択科目アップ、プレクリニカル教育等の指導等を一部担当

② 学生実習の支援・調整

③ 兵庫医科大学病院における臨床研修医、看護師の研修受入れ

④ 研修等の支援およびセンター見学

平成26年度

- ・シミュレータ貸出：4,267件

- ・見学：159人(看護師募集に係る病院見学者等への施設紹介、オープンキャンパス等)

平成27年度

- ・シミュレータ貸出：4,167件

- ・見学：152人(看護師募集に係る病院見学者等への施設紹介、オープンキャンパス等)

iii) 活動実績

表1. 平成26年度学生実習等の支援受入者数

(単位：人)

兵庫医療大学		兵庫医療大学大学院		兵庫医科大学		他大学等	
学部等	延人数	研究科	延人数	学部	延人数	学部等	延人数
薬学部	2,422	看護学研究科	56	医学部	1,573	神戸学院大学薬学部等	632
看護学部	6,022	—	—	—	—	—	—
リハビリテーション学部理学療法学科	6,877	—	—	—	—	—	—
リハビリテーション学部作業療法学科	306	—	—	—	—	—	—

表2. 平成27年度学生実習等の支援受入者数

(単位：人)

兵庫医療大学		兵庫医療大学大学院		兵庫医科大学		他大学等	
学部等	延人数	研究科	延人数	学部	延人数	学部等	延人数
薬学部	1,478	看護学研究科	55	医学部	1,550	神戸学院大学薬学部等	358
看護学部	3,917	医療科学研究科	18	—	—	—	—
リハビリテーション学部理学療法学科	619	—	—	—	—	—	—
リハビリテーション学部作業療法学科	215	—	—	—	—	—	—

6) 臨床薬学研修センター

i) 概要

臨床薬学研修センターは、M棟の1階（M-105）と2階（M-205）に位置しており、保険薬局や病院薬局における薬剤師業務を模擬的に演習・実習できるように設置された施設である。

施設の構成は、学生が臨場感をもって臨床現場での薬剤師業務の実習ができるように、室内デザイン、設置機器およびシステムなどに工夫が施されており、調剤はもちろんのこと服薬指導やバイタルチェックなどの実習も可能になっている。

本センターは、実務実習事前学習の実習室として中心的な役割を果たしているほか、第4学年次に受験する全国統一薬学共用試験（OSCE）の試験会場の一部に充てている。さらに、学内のゼミナールや地域の薬剤師関連研修施設としても活用している。施設の主な構成と機能を表1・2に示す。

表1. M-105臨床薬学研修センター（311㎡）

室 名	主な設備機器・システム等	機 能
服薬指導室 （薬局カウンター）	一般用医薬品陳列棚、薬歴・調剤報酬算定システム 他、	薬局カウンターでの患者対応の実習
調剤実習室	散剤調剤台（監査システム付）、水剤調剤台、錠剤・外用剤調剤台、薬剤監査台、処方オーダーリングシステム、薬剤一包化システム 他、	計数・計量調剤実習
クリニカルトレーニング室	血圧・採血シミュレーター、バイタルシミュレーター、がん化学療法シミュレーター（リクライニングチェア・輸液ポンプ）、視聴覚教育コーナー 他、	薬剤監査・交付実習、バイタルサイン実習、視聴覚教育
無菌調製室 （前室、手洗い設備付属）	更衣ロッカー、パスボックス、エアシャワー、クリーンベンチ、安全キャビネット 他、	手洗い実習、無菌薬剤（注射薬）調製実習

表2. M-205臨床薬学研修センター（311㎡）

室 名	主な設備機器・システム等	機 能
医薬品情報演習室	パソコン8台（外部アクセス可能）、液晶プロジェクター 他、	薬剤情報検索実習
模擬薬局・病室	患者面談デスク16台、病室ベッド3台 他、	服薬指導実習 （薬剤管理指導）
TDM・製剤実習室	高速液体クロマトグラフ、蛍光分光光度計、蒸留水製造装置、リーンベンチ、崩壊試験器、人工気象器、アンプル熔閉機 他、	薬物血中濃度測定実習、院内製剤・薬局製剤調製実習、品質試験実習
実習準備室	薬品庫、保冷库、実習材料 他、	実習準備

実務実習支援室は、近畿地区調整機構での近畿地区の薬学部・薬科大学生の実務実習である病院や薬局の振り分け作業の準備・補助、実習施設との契約業務等を主業務としつつ、（標準）模擬患者SPの養成に係る事務、OSCE試験における事務作業や謝金処理等も担当する組織である。

ii) 薬学共用試験・OSCE

平成26年度OSCEは、平成26年12月7日（日）に実施した。OSCE委員会を9月12日に立ち上げ、SP（標準模擬患者）委員会とも連携を取りながら準備に当たった。試験当日まで3回のOSCE委員会を開催し、前年度までの運用方式を継承しつつ、効率的な運営ができるように検討を加えた。本年度の大きな変更点としては、試験のインターバルを10分間隔から9分間隔に変更したことであるが、試験間隔の変

更による大きな混乱も無く本試験は実施された。しかしながら、無菌操作の実践でアンプルによる怪我をした学生への処置が遅れた事案が発生した。受験生：薬学部4年次生133名、評価者：97名（学内評価者18名、学外評価者79名）、標準模擬患者：28名、補助者：教員29名、事務職員24名、学生補助者100名で実施した。薬学共用試験センターからモニター員として神戸学院大学薬学部・徳山尚吾教授が派遣され終了した。終了後の講評では大きな問題点の指摘は無く、公正な試験が実施できているとの総評であったが、その後、他大学から参加したOSCE評価者から無菌操作の実践でアンプルによる怪我をした学生への処置の遅れがあったとの指摘があった。そこで、本件について共用試験センターに報告し、その裁定により該当学生1名の特例再試験の実施が決定した。

受験生133名は、本試験当日において欠席・遅刻なく無事に全員受験した。判定基準は薬学共用試験センター基準に準拠して行った。その基準は、課題単位で判定し、次の2項目を満足した受験生を合格と判断し、不合格者はその課題の再試験を受けることとした。1) 細目評価：各課題の評価項目について、評価者が「1：はい」と評価した項目数につき、評価者2名の合計平均70%以上、2) 概略評価：各課題の概略評価について、評価者2名の合計値が「5」以上。試験結果は、12月11日薬学部OSCE判定会議にて受験者1名が領域4無菌操作の実践で特例再試験、1名が領域5情報の提供で不合格と判定され、その他の学生は全員合格と判定された。

アンプルのガラスや針による怪我などが発生した場合の対応について、共用試験センターから特例再試験以降の厳格な対応を求められた。怪我などのトラブルが発生した場合の対応・処置について、学生への処置を優先することなど、実施マニュアルに明記した実施計画書を策定すると共に、評価者、補助教員にも事前に説明を行い公正な試験が実施できるように対応した。この特例再試験実施計画書は、共用試験センターに提出して承認を得て、平成27年1月28日（水）に特例再試験は実施された。その結果、怪我などもなく無事に終了し、受験した学生1名は合格基準を満たしており合格と判定された。

1名の領域5情報の提供における不合格に伴って、再試験実施計画を策定し、共用試験センターに提出して承認を得た。平成26年2月23日に再試験を実施し、領域5情報の提供を再受験した1名は、本試験と同様の合格基準を満たして合格となった。

平成27年度OSCEは、平成25年12月6日（日）に実施した。OSCE委員会は9月17日に薬学部教授会で承認を得て立ち上げ、SP（標準模擬患者）委員会とも連携を取りながら準備に当った。試験当日まで3回のOSCE委員会を開催し、前年度までの運用方式を継承しつつ、効率的な運営ができるように検討を加えた。本年度の大きな変更点としては、2グループに分けて試験を実施したことは同じであるが、各グループの人数の増加により小グループ（5人1組）を14グループから15グループに増やしたことである。この変更により、学生待機室の増室が必要になり、OSCE委員会でシミュレーションを行い、動線上の問題点把握を行った。その結果、大きな混乱も無く無事に本試験が実施された。受験生：薬学部4年次生145名、評価者：97名（学内評価者25名、学外評価者72名）、標準模擬患者：21名、補助者：教員32名、事務職員24名、学生補助者120名で実施した。薬学共用試験センターからモニター員として神戸薬科大学・波多江 崇 教授が派遣され無事に終了した。終了後の講評でも大きな問題点の指摘は無く、公正な試験が実施できているとの総評であった。受験生145名は、本試験当日において欠席・遅刻なく無事に全員受験した。判定基準は、上記平成26年度OSCEと同様に薬学共用試験センター基準に準拠して行った。試験結果は、12月10日薬学部OSCE判定会議にて受験者145名全員、合格基準を満足して合格となった。

iii) 病院・薬局実務実習

平成26年度は、薬学部5年生101名を対象に行った。実習先の選定は、一般社団法人薬学協議会病院・薬局実務実習近畿地区調整機構（以下 近畿地区調整機構）の実習施設調整担当者会議に参画し行った。実習内容は実務実習モデル・コアカリキュラムに従い、病院実習11週間ならびに薬局実習11週間を実施することとし、原則として年間を3期制（1部の病院では4期制）で、地域・通学時間等を考慮して実習生の割り振りを実施することとした。対象学生には、実務実習調整に関して居住地や希望施設等の調査を行い、ふるさと実習の希望については、病院実習についてのみ可能な限り対応した。その結果、ふるさと実習を実施する学生は中四国地区、東海地区、九州地区で合計4名であった。また、関連施設である兵庫医科大学病院ならびに兵庫医大ささやま医療センターを実習施設の核として調整を進めた結果、対象学生100名の実習施設が決定し、平成26年2月21日（金）に学生に実習施設の説明等を行った。近畿地区内では、本年度も実習生数に対して実習受入施設数・受入人数が不足しており、調整に難航した。また、薬剤師不足の影響等により、本年度も実習直前に実習施設の変更等が発生した。平成26年度病院・薬局実務実習の地域ごとの実習施設は下表のとおりである。

平成26年度 病院・薬局実務実習の地域別実習施設数および学生数

	病院実習施設数	実習生数	薬局実習施設数	実習生数
兵 庫 県	24	77	60	64
大 阪 府	14	16	28	28
京 都 府	1	1	3	3
滋 賀 県	1	1	1	1
奈 良 県	1	1	2	2
和 歌 山 県	1	1	2	2
ふるさと病院実習	3	3	1	1
合 計	82	155	97	101

平成26年度、5年次生101名の病院・薬局実務実習は4月14日（月）から順次開始され、翌年3月24日（火）までの間において、病院および薬局での実務実習は全員無事終了した。実習施設と大学間の連携については近畿地区調整機構の指針に従った。実務実習記録は、実務実習指導・管理システム（FUJI XEROX Webシステム）を本年度も導入し、実習の進捗状況の把握や実習生の日報、週報等の授受ならびにメールによる連絡や指導を行ったが、一部の施設では引き続き手書き方式の実習記録を使用する必要があった。また、本年度も全教員で地域ごとの実習施設を分担し、実習施設への訪問指導を原則3回実施するとともに、実務実習のセンター的機能を果たす実務実習支援室を設置して実習の円滑化を図った。実習の評価は、指導薬剤師の形成的評価を参考に、学生ごとの担当教員が出席状況、実習態度、実習報告書などを評価資料として作成した評価総括評価表を実務実習委員会が判定し、教授会の承認により行った。病院・薬局実務実習に関する報告会（公開）として、学生個々のポスター発表（示説付）を平成27年4月11日（土）に開催された。

今後の課題として、近畿地区調整機構において実習施設への訪問指導を原則3回実施の緩和、学生の履歴書の統一化などが議論されており、議論が集約されれば本学も追従することになると考えられる。

平成27年度は、薬学部5年生119名を対象に行った。実習先の選定は、本年度も近畿地区調整機構の実習施設調整担当者会議に参画し行った。実習内容は実務実習モデル・コアカリキュラムに従い、

病院実習11週間ならびに薬局実習11週間を実施することとし、原則として年間を3期制（1部の病院では4期制）で、地域・通学時間等を考慮して実習生の割り振りを実施することとした。対象学生には、実務実習調整に関して居住地や希望施設等の調査を行い、ふるさと実習の希望については、病院実習についてのみ可能な限り対応した。その結果、ふるさと実習を実施する学生は中四国地区、東海地区、九州地区で合計7名であった。また、関連施設である兵庫医科大学病院ならびに兵庫医大ささやま医療センターを実習施設の核として調整を進めた結果、対象学生119名の実習施設が決定し、平成27年2月24日に学生に実習施設の説明等を行った。近畿地区内では、本年度も実習生数に対して実習受入施設数・受入人数が不足しており、調整に難航した。近畿地区調整機構での協議において学生の履歴書などの書式が変更となり、本学も新書式を利用した。また、薬剤師不足の影響等により、本年度も実習直前に実習施設の変更等が発生した。平成27年度病院・薬局実務実習の地域ごとの実習施設は下表のとおりである。

平成27年度 病院・薬局実務実習の地域別実習施設数および学生数

	病院実習施設数	実習生数	薬局実習施設数	実習生数
兵 庫 県	31	75	69	80
大 阪 府	29	31	32	32
京 都 府	3	3	3	3
滋 賀 県	2	2	3	3
奈 良 県	1	1	1	1
和 歌 山 県	0	0	0	0
ふるさと病院実習	7	7	0	0
合 計	73	119	108	119

平成27年度、5年次生119名の病院・薬局実務実習は4月13日（月）から順次開始され、翌年3月23日（水）までの間において、病院および薬局での実務実習は終了した。この間、3人の学生の薬局実務実習において指導薬剤師と良好な関係を築くことができなくなってしまい、そのうち2件については、実習途中で受入施設を変更することによって、無事に実習を終了することができた。残り1件については、実習の期間延長により無事実習を終了した。一方、1人の学生の薬局実務実習において、11日間（55日間の実習期間；教務規程で求められている4/5以上の出席を満たせなくなる）を超える過度な欠席・遅刻をする事案が発生した。当該学生に対しては、受入施設の協力により追加の実習をしていただいたが、総合的な評価で60点を満たせなくなり、その結果、単位不認定となり留年が確定した。この薬局実務実習の単位未修得については、近畿地区調整機構との協議により、次年度での配属により受入施設を確保する予定である。実習施設と大学間の連携については近畿地区調整機構の指針に従った。実務実習記録は、実務実習指導・管理システム（FUJI XEROX Webシステム）を本年度も導入し、実習の進捗状況の把握や実習生の日報、週報等の授受ならびにメールによる連絡や指導を行ったが、一部の施設では引き続き手書き方式の実習記録を使用する必要があった。また、本年度も全教員で地域ごとの実習施設を分担し、実習施設への訪問指導を原則3回実施するとともに、実務実習のセンター的機能を果たす実務実習支援室を設置して実習の円滑化を図った。実習の評価は、指導薬剤師の形成的評価を参考に、学生ごとの担当教員が出席状況、実習態度、実習報告書などを評価資料として作成した評価総括評価表を実務実習委員会が判定し、教授会の承認により行った。病院・薬局実務実習に関する報告会（公開）として、学生個々のポスター発表（示説付）を平成28年4月21日（木）に開催の予定である。

今後の課題として、実務実習施設の問題点の把握とその情報共有が挙げられる。このことについては、実務実習を終了した時点で、学生と指導薬剤師に実習振返りのアンケートを実施し、状況を確認・把握しながら情報収集することとなった。

また、実務実習時の欠席については、「実務実習のしおり」に欠席時の対応などを明示した。加えて、オリエンテーション・実務実習概説時に学生に口頭でも説明しながら注意喚起して、正当な理由のない欠席をしないように指導している。

iv) その他

兵庫医科大学病院薬剤部との交流

兵庫医科大学の兄妹校である本学は、教育連携、共同研究、人的交流、実習支援など多方面な連携・交流を行っている。薬学部では、特に関係の深い兵庫医科大学病院薬剤部との交流を学部創設時から継続してきた。5年次・病院実務実習ならびに1年次・病院早期体験学習の受入施設として薬剤部の存在が非常に大きいことはもちろんのこと、薬剤部職員に「みなし専任教員」を委嘱し、実務実習事前学習、病院・薬局実務実習教育の分担、医療現場における医療人としての知識・技能・態度についても指導していただいている。また、兵庫医科大学病院における各種実習を実施する際には、「医療人育成センター」から協力をいただいております。教育面のみならず実習の運営面においても、スムーズな実習の実施が可能となっている。さらに、定期的に薬剤部職員との懇談会などを開催して相互理解と情報交換を行っている。

7) 教育支援室

i) 概要

教育支援室は、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部および共通教育センターにおける教育体制を支援することを目的に、平成24年度から稼働を始めた。平成25年10月に「兵庫医療大学教育支援室規程」および「兵庫医療大学教育支援室部門内規」の一部改正が施行され、さらに平成27年4月には部門の再編を行い、学生の教育・履修支援を行っている。

平成25年10月以降の教育支援室の業務は、

1. 学部等における教育の質の向上に関する事
2. 履修支援対象者対策および成績優秀者へのアドバンスト教育に関する事
3. 国家試験対策支援に関する事
4. 兵庫医科大学との教育連携に関する事
5. 教育評価（教員評価を含む。）に関する事

であったが、平成27年度の改正で、教育支援室の業務は、

1. 学部等における教育の質の向上に関する事
2. 教学改善に係るIR（Institutional Research）活動に関する事
3. 履修支援対象者対策および成績優秀者へのアドバンスト教育に関する事
4. 国家試験対策支援に関する事
5. 兵庫医科大学との教育連携に関する事
6. 教育評価（教員評価を含む。）に関する事

となった。これに伴い、教育委員会、教育支援室で扱う学生の成績情報等の分析を行い、教学改善につなげPDCAサイクルを有機化させる部門としてIR部門が新たに設置された。

ii) 教育支援室の運営体制

平成26年度の教育支援室運営体制は、平成25年10月21日付に改正された「兵庫医療大学教育支援室規程」および「兵庫医療大学教育支援室部門内規」に基づき、教育支援室に「履修支援部門」「国家試験対策支援部門」および「チーム医療教育支援部門」の3部門を設置した。学習支援室の組織は以下の通りである。

〔履修支援部門〕

- 1 部門長
- 2 学習支援員

〔国家試験対策支援部門〕

- 1 部門長
- 2 薬学部、看護学部およびリハビリテーション学部の国家試験担当教員 若干名
- 3 客員教授

〔チーム医療教育支援部門〕

- 1 部門長
- 2 教育支援室兼務教員

平成27年度の「兵庫医療大学教育支援室規程」および「兵庫医療大学教育支援室部門内規」に基づき、「IR部門」「履修支援・国試対策支援部門」および「チーム医療教育支援部門」が改組された。平成

27年度以降の学習支援室の組織は以下の通りである。

[IR 部門]

- 1 部門長
- 2 情報センター構成教員
- 3 教育支援室兼務教員
- 4 事務職員 若干名

[履修支援・国試対策支援部門]

- 1 部門長
- 2 学習支援員
- 3 薬学部、看護学部およびリハビリテーション学部の国家試験担当教員 若干名
- 4 客員教授

[チーム医療教育支援部門]

- 1 部門長
- 2 教育支援室兼務教員

iii) 各部門の活動

[IR 部門]

平成27年に新設されたIR 部門では、ブリッジ講座の受講対象となった薬学部第1学年次の定期試験の成績変動を解析し、教育効果の判定を行った。さらに、薬学部学生の成績データを基に主成分分析を行い、ドロップアウトする学生の学力傾向の分析を行った。

[国家試験対策支援部門]

- ・ブリッジ教育：プレイスメントテスト成績に基づき抽出した要学習支援対象者に化学、数学、生物の補講を行った。
- ・留 年 生 対 応：薬 学 部：2 年次留年生に対して学習指導を行った。
看護学部：学年アドバイザー（クラス担任）が面接し対応した。
理学療法学科：各学年ごとに学習課題を与える等の対応をした。
作業療法学科：クラス担任、科目担当等が個別に対応した。
- ・その他、薬学部6 年次学生に対しては対象を抽出し夏・冬の1 週間合宿を行っている。

[チーム医療教育]

開学以来、チーム医療教育の一部として1 年次の早期臨床体験実習（ECE）、4 学部合同チュートリアル（第1 学年次対象）、4 学部合同チーム医療論演習（本学第4 学年次対象）に取り組んでおり、平成26年度、27年度は以下の日程で開催された。

- ・早期臨床体験実習（ECE）の実施

平成26年8月6～11日の6日間

平成27年8月5～9日の5日間

兵庫医科大学病院における20病棟、薬剤部および、リハビリテーション部において実施した。

- ・4 学部合同チュートリアル教育の実施（第1 学年次対象）

平成26年度

9月20日・21日本学において兵庫医科大学第1 学年次と本学の第1 学年次を対象に合同チュートリアルを行った。4 学部混成の60グループをA：午前、B：午後に分け、両大学の計480名が「終末期医療」

について小グループで討議し、様々な問題点毎にグループ単位でレポート提出する形式で行った。延命治療の可否などの理論的問題も含めた、他学部学生と意見交換の機会となった。

平成27年度

9月17・18日に開催した。平成26年度と同様に両大学の計490名が30台のディスカッションボードを用い、授業でまだ扱っていない臨床症例について自分たちで調査し検討することを通して、他学部学生と意見交換する機会となった。

- ・4学部合同チーム医療演習の実施（兵庫医科大学第3年次、兵庫医療大学4学年次対象）

平成26年9月10日～14日の5日間

平成27年9月9日～13日の5日間

西宮キャンパスにおいて兵庫医科大学第3学年次生と兵庫医療大学第4学年次生を対象に合同チーム医療演習を実施した。医学部生と薬学部・看護学部・リハビリテーション学部の学生が一堂に会して、チーム医療の立場で医療を考え、様々な問題を解決することを目的に行われた。この教育を通じて、短時間ではあるが将来一緒に働く医療人としてお互いを意識し、チーム医療について更に考える機会となった。

3. 大学院の活動

1) 薬学研究科

i) 研究科の方針

本学は、学校法人兵庫医科大学のもと兵庫医科大学の姉妹大学として平成19年4月に薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の3学部体制で開学し、これまで学生募集、学部教育、学生進路指導等において順調に経過してきた。看護学部、リハビリテーション学部は、平成22年度に完成年度を迎え、両分野において研究者並びに高度実践専門職者の育成のため、平成23年4月にそれぞれの学部を基礎とした大学院修士課程、すなわち看護学研究科と医療科学研究科とを開設した。薬学部も平成25年3月に最初の卒業生を社会に送り出すことになるため、同年4月、大学院博士課程を開設することを計画し、平成24年度に文部科学省に設置申請を行い、認可された。

近年の医療技術の高度化、医薬分業の進展等に伴い、医薬品の適正使用という社会ニーズに応え、医療人として質の高い薬剤師を養成するため、平成18年度から6年制の学部教育が開始された。しかしその目標は学部教育だけで完結するものではない。質の高い薬剤師は臨床の場で新たな問題点を見つけ出し、自らそれを研究し解決する能力を持つことが必要である。また、高度治療の開発には臨床経験を有する医師による基礎医学の分野での貢献が著しい。新たな薬物療法の開発には薬剤師資格を有し、高度な研究能力を併せ持つ研究者の養成が必要である。基礎薬学の研究においても、臨床経験を有する薬剤師が純粋な基礎科学者とは異なる視点から関与することにより、新たな展開が期待される。かかる社会的状況を踏まえ、兵庫医療大学では大学院博士課程を置いて次世代の薬学研究者並びに高度な研究能力を持つ薬剤師の育成を推進することが時代の要請であり本学の使命と考えている。

本学は開学時より将来の医療現場におけるチーム医療の中で活躍できる専門職者の育成を目指し、学部間の垣根をなくして教育を進めるボーダレスで学際的な教育環境を提供してきた。かかる背景のもと、大学院博士課程の設置においてもその精神を継続し、同一学校法人に属する兵庫医科大学との協力関係を最大限に活用し、横断的かつ学際的な研究教育体制を構築する。医療の分野で薬物治療は大きな役割を担うが、その安全性と有効性とを担保することが薬剤師に与えられた重要な任務である。本大学院では、兵庫医科大学との協働を通じ、薬物治療の安全性と有効性とを向上させる能力を持つ人材を育成する。以上、本学の基本理念である次世代の医療を担う医療人の育成の趣旨を発展させるべく薬学分野において、新たな展開を目指す研究を推進するとともに、社会の期待に対応すべく高度な研究能力を持つ薬剤師、薬学研究者を育成する大学院博士課程を設置した。

なお、学生募集において社会人にも門戸を広げ、現在医療現場で活躍している薬剤師のアカデミック志向キャリアパスにも配慮している。

ii) 概要

【教育理念・目的、教育目標】

兵庫医療大学大学院薬学研究科の理念は、高度な研究能力を有する薬剤師、そして臨床経験を有する薬学研究者を養成することにより、人々の健康の増進及び薬学の進歩・発展に寄与することである。そのために、以下の2つを目標とする。

- ① 高度な研究能力、すなわち臨床現場において問題点を発見し、それを解決する適切な研究計画を立案し、さらにその成果を論文化することのできる能力を持って薬剤師業務の質向上と変革を推進することができる。

- ② 医療薬学における問題点を基礎薬学の視点から眺め、それを解決しうる基礎的・実験的研究課題を自ら設定し、それを新しい薬剤・製剤・臨床適応の開発に発展させていくことができる。

【アドミッションポリシー】

兵庫医療大学は、学校法人兵庫医科大学のもと兵庫医科大学の姉妹大学として平成19年4月に薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の3学部体制で開学した。開学時よりチーム医療の中で活躍できる専門職者の育成を目指し、学部間の垣根をなくして教育を進めるボーダレスで学際的な教育環境を提供してきた。かかる背景のもと、大学院博士課程の設置においてもその精神を継承し、同一学校法人に属する兵庫医科大学との協力関係を最大限に活用して、高度な研究能力を有する薬剤師と臨床経験を有する薬学研究者とを養成することにより、人々の健康の増進及び薬学の進歩・発展に寄与することを目標としている。この理念に共感し、目標とともに達成しようとする薬学部卒業者（旧課程4年制又は6年制に限る）のうち次のような人材を求めている。

- ① 臨床現場における問題点を明確化し、それを解決する研究能力を身につけることにより、将来薬剤師業務の質向上と変革を推進する意欲を持つ人物
- ② 医療薬学における問題点を基礎薬学の研究手法を用いて解決することにより、薬物治療の進歩に貢献しようという志を持つ人物

【カリキュラムポリシー】

薬学研究科博士課程は高度な研究能力の養成を通じて、薬学の世界に新しい展開をもたらすことのできる人材を養成することがその目的であることから、その教育課程は研究能力を養成するためのものが中心となる。そのために、我々は以下の3つの科目で教育課程を編成する。

- A. 専門基礎科目：先端医薬学特論Ⅰ～Ⅳ（各1単位、計4単位）
- B. 専門演習科目：各専門演習Ⅰ・Ⅱ（各4単位、計8単位）
- C. 研究指導科目：医療薬学特別研究（18単位）

なお本大学院では薬学部卒業者以外は受け入れていない。

【ディプロマポリシー】

我々が養成したい人材の第一は、医療の質の向上に貢献する医療薬学研究マインドを持つ研究者／薬剤師である。第二は、臨床経験を有する薬学研究者である。すなわち、医療の現場を体験した事があり、医療薬学における問題点を基礎薬学の視点から眺め、それを解決しうる基礎的・実験的研究課題を自ら設定し、それを新しい薬剤・製剤・臨床適応の開発に発展させていくことができる人材を育てたいと考える。

上記の目的を達成するために、本研究科においては、以下の基準を満たした者に対して、博士の学位が授与される。

1. 修了に必要な科目を履修し、博士論文を完成させ、博士論文審査および最終試験に合格すること。
2. 医療薬学研究者・基礎薬学研究者として、修得した研究能力と専門的知識を医療・研究開発・教育の場で提供・実践し、組織の発展と変革に指導的役割を担う薬剤師・研究者・教育者として、グローバルな視点で社会に貢献できること。

なお本大学院では薬学部卒業者以外は受け入れていない。

iii) 大学院教員一覧（研究科教員一覧）

【薬学研究科】

研究科長：西 山 信 好

平成26年度

役 職	氏 名	専 門
教 授	東 純 一	臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学
教 授	九 川 文 彦	臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学
教 授	岩 崎 剛	分子病態解析学
教 授	安屋敷 和 秀	循環薬理学・分子毒性学
教 授	清 宮 健 一	循環薬理学・分子毒性学
教 授	西 山 信 好	中枢神経薬理学
教 授	青 木 俊 二	天然薬物学
教 授	森 山 雅 弘	臨床薬剤学
教 授	天 野 学	臨床薬剤学
教 授	田 中 稔 之	免疫制御学
教 授	上 田 晴 康	免疫制御学
教 授	大河原 知 水	レドックス生物学
教 授	山 本 悟 史	神経病態制御学
教 授	戴 毅	神経病態制御学
教 授	宮 部 豪 人	医薬品化学
教 授	前 田 初 男	分子イメージング科学（可視化計測学） 医療ユニバーサルデザイン学
教 授	辻 野 健	分子循環器病治療学
教 授	田 中 明 人	創薬化学
教 授	斎 藤 あつ子	微生物・寄生体学
准 教 授	芝 崎 誠 司	分子病態解析学
准 教 授	伊 藤 壮 一	臨床薬剤学
准 教 授	甲 谷 繁	医薬品化学
准 教 授	前 田 拓 也	微生物制御学
講 師	長 野 基 子	微生物・寄生体学
講 師	上 田 寛 樹	
講 師	大 野 雅 子	
講 師	桂 木 聡 子	
講 師	清 水 忠	
講 師	中 野 博 明	
講 師	南 畝 晋 平	
講 師	藤 野 秀 樹	
講 師	三 浦 大 作	
助 教	田 中 康 一	
助 教	是 金 敦 子	
助 教	佐 藤 江利子	
助 教	塚 本 効 司	
助 教	吉 岡 英 斗	

役 職	氏 名	専 門
助 教	大 野 喜 也	
助 教	大 森 志 保	
助 教	岩 岡 恵実子	

平成27年度

役 職	氏 名	専 門
教 授	九 川 文 彦	臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学
教 授	岩 崎 剛	分子病態解析学
教 授	安屋敷 和 秀	循環薬理学・分子毒性学
教 授	清 宮 健 一	循環薬理学・分子毒性学
教 授	西 山 信 好	中枢神経薬理学
教 授	青 木 俊 二	天然薬物学
教 授	森 山 雅 弘	臨床薬剤学
教 授	天 野 学	臨床薬剤学
教 授	田 中 稔 之	免疫制御学
教 授	上 田 晴 康	免疫制御学
教 授	大河原 知 水	レドックス生物学
教 授	山 本 悟 史	神経病態制御学
教 授	戴 毅	神経病態制御学
教 授	宮 部 豪 人	医薬品化学
教 授	前 田 初 男	分子イメージング科学（可視化計測学） 医療ユニバーサルデザイン学
教 授	辻 野 健	分子循環器病治療学
教 授	田 中 明 人	創薬化学
教 授	斎 藤 あつ子	微生物・寄生体学
准 教 授	芝 崎 誠 司	分子病態解析学
准 教 授	伊 藤 壮 一	臨床薬剤学
准 教 授	甲 谷 繁	医薬品化学
准 教 授	前 田 拓 也	微生物制御学
講 師	長 野 基 子	微生物・寄生体学
講 師	上 田 寛 樹	
講 師	大 野 雅 子	
講 師	桂 木 聡 子	
講 師	清 水 忠	
講 師	中 野 博 明	
講 師	南 畝 晋 平	
講 師	藤 野 秀 樹	
講 師	三 浦 大 作	
助 教	田 中 康 一	
助 教	是 金 敦 子	
助 教	佐 藤 江利子	
助 教	塚 本 効 司	

役 職	氏 名	専 門
助 教	吉 岡 英 斗	
助 教	大 野 喜 也	
助 教	大 森 志 保	
助 教	岩 岡 恵実子	

iv) 学生の受け入れ（募集人員、院生数）

	募集人員	入学者数	在籍者数D1年—3年
平成27年度	3名	3名	8名
平成26年度	3名	2名	5名
平成25年度	3名	3名	3名

v) 教育活動（含む研究指導内容）

薬学研究科 受講科目一覧（平成25－平成27年度）

			専門基礎				専門演習								研究指導 必修	研究指導科目取得単位数		
			必修				選択											
			先端医薬学特論Ⅰ	先端医薬学特論Ⅱ	先端医薬学特論Ⅲ	先端医薬学特論Ⅳ	医薬品創製科学演習Ⅰ	医薬品創製科学演習Ⅱ	循環器病学演習Ⅰ	循環器病学演習Ⅱ	医薬品適正治療科学演習Ⅰ（分子薬物動態演習）	医薬品適正治療科学演習Ⅱ（臨床ゲノム薬理学演習）	臨床薬剤学演習Ⅰ	臨床薬剤学演習Ⅱ				
科目責任者			前田初	田中聡	清宮	辻野	前田初	前田初	辻野	辻野	九川	九川	森山	森山	専門演習科目取得単位数			
配 当 期			1前	1前	1後	1後	1通	2通	1通	2通	1通	2通	1通	2通		1～4通		
単 位 数			1	1	1	1	4	4	4	4	4	4	4	4			18	
院生 # 1	辻野	分子循環器病治療学	■	■	■	■	4			■	■				8	□	0	
院生 # 2	九川	臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学	■	■	■	■	4					■	■		8	□	0	
院生 # 3	田中明	創薬化学	■	■	■	■	4	■	■						8	□	0	
院生 # 4	田中明	創薬化学	■	■	■	■	4			■	■				8	□	0	
院生 # 5	森山	臨床薬剤学	■	■	■	■	4							■	■	8	□	0
院生 # 6	辻野	分子循環器病治療学	■	■	■	■	4			■	□				4	□	0	
院生 # 7	前田初塚本	分子イメージング科学	■	■	■	■	4	■	□						4	□	0	
院生 # 8	森山天野	臨床薬剤学	■	■	■	□	3							□	□	0	□	0
			4 単位				16科目のうち 2 科目以上選択 計 8 単位以上								18単位			

□：履修登録 ■：単位取得済

（注1）■平成25－27年度 単位取得済み科目

□平成25－30年度 履修中科目

（注2）大学院生が平成25－27年度に受講した研究指導科目内容の概略

【分子循環器病治療学】

本研究指導科目においては、循環器疾患における鉄代謝と血管新生の異常に注目して研究指導を行う。鉄の過剰は酸化ストレスの原因となり、高血圧や糖尿病による臓器障害を進展させる一方、心不全においては鉄の欠乏が貧血や運動耐容能の低下をきたしている。さらに鉄は低酸素応答の重要な調節因子であり、血管新生とも深く係る。鉄は循環器疾患における「両刃の剣」であり、その代謝異常の機序を解明することにより、新しい治療薬の開発につながる。

①高血圧、糖尿病の臓器障害における鉄代謝異常の機序に関する研究

- ②心不全における貧血と鉄代謝異常の機序に関する研究
 - ③大動脈弁狭窄症の発症・進展における弁尖内出血に関する研究
- 上記のテーマに関して、基礎・臨床の両面からアプローチする。

【臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学】

医薬品の個別化適正投与を目指し、臨床ゲノム薬理学と分子薬物動態学を基盤とした以下のテーマに関する研究指導を行う。

- ①薬物代謝酵素群および薬物標的分子をターゲットとする臨床ゲノム薬理学の確立および診断ツールの開発
 - ②アポトーシス誘導型抗がん剤の分子薬物動態を基盤にした、テーラーメイドがん治療への挑戦
 - ③疾病等による薬物代謝酵素活性変動の分子メカニズム解明と臨床現場への還元
- これらの研究テーマの主題は「個の医療の確立」で、ゲノム薬理学、分子薬理学、分子薬物動態学、数理解析学を駆使した研究が主体となる。

【創薬化学】

製薬企業での創薬研究活動を基本とし、ADME等も考慮した試薬開発ではない“薬”の探索合成を行う。また、独自に開拓してきたアフィニティ樹脂を用いた生理活性物質のターゲット探索に関する基盤技術を活用し、新規創薬ターゲット探索および生理活性物質のターゲット探索を行う。

- ①新規抗認知症や抗がん剤などの探索合成に関する研究
- 国内外研究機関・企業と連携し創薬化学を実践する
- ②生理活性物質のターゲット探索に関する研究
- ターゲット未知の開発（候補）品のターゲット探索等を行う
- ③その他創薬開発に関する研究

【臨床薬剤学】

臨床現場での種々の問題点について、医療現場との連携を取りながら多角的に研究を進めて行きます。具体的には、以下に示すような医療ニーズに沿った研究を行います。

- ①注射薬など種々の医薬品について薬剤混合時に問題となる、配合変化の解析と予防・防止策に関する研究
- ②リスクマネジメントや医薬品適正使用の観点から見た、薬剤情報提供のあり方に関する研究
- ③テーラーメイド薬物療法を視野に入れた、各種副作用を予防・改善しうる新規剤型の開発に関する研究
- ④チーム医療を中心とした、他の医療職との連携の方策に関する研究

【分子イメージング科学（可視化計測学）】

生命現象に関わる物質や金属イオンなどの生体内ダイナミクス解析や、超微量分析などに有用な可視化計測（イメージング）を実現できる蛍光プローブや蛍光色素を設計開発します。この目的を達成するために、ターゲットとする分子の化学的・物理化学的特色について様々な観点から検討し、それらの特色に基づいたモデル化合物の設計合成およびプローブ特性の分光学的評価を実施します。具体的には、以下に示す研究課題に取り組み、高度な研究能力を養います。

- ①高感度DNA/RNA 蛍光プローブの設計・開発研究
- ②有害金属イオンに高特異的・高感度蛍光プローブの設計・開発研究

③高感度タンパク質蛍光プローブの設計・開発研究

④診断薬に資する近赤外蛍光色素の設計・開発研究

vi) 大学院生の研究テーマ

【大学院生 1】

循環器内科外来を受診された高齢患者におけるポリファーマシーの要因探索

【大学院生 2】

臨床ゲノム薬理学を基盤とした抗うつ薬の個別化適正医療の実現に向けた研究

【大学院生 3】

新規疼痛治療薬を目指したTRPA1阻害剤探索

【大学院生 4】

臨床を目指した創薬探索研究（PCA-1阻害剤）

【大学院生 5】

癌化学療法における薬剤管理指導の質的向上についての研究

【大学院生 6】

循環器外来通院中患者の好中球/リンパ球比に対する治療薬の影響に関する研究

【大学院生 7】

高選択性水銀イオン蛍光プローブの開発

2) 看護学研究科

i) 研究科の方針

看護学は実践科学として、その価値を高め進歩発展してきた。同時に、医療が高度化し複雑化する中で、安全安心を第一として質の向上が問われる今日、看護現場のさらなる発展のために科学的根拠に基づく看護学の教育・研究並びに高度な実践力が必要である。看護学研究科は、建学の精神に則り、真に人々にとって必要とされる看護学の専門的知識・技術を修得し、看護実践能力を強化して、社会の求めに応じた役割・機能を果たすことができる看護専門職者を育成する。特に「個性を引き出し自律を伸ばす大学院教育」を目指して、学生と教員が学修の目標を共有し、学生の自律を導き、常に相互交流を通して互いに成長するという特色のある教育の取り組みを進めている。

また、アデレード大学と兵庫医科大学看護学部との学術交流協定締結（平成26年3月31日）を機に、JBI Kobe Linguistic Translation Center（JBI神戸日本語翻訳センター：助産学領域）を開設し、地域の医療従事者にも還元できる情報を発信する役割を担い、日本における国際学術交流活動の推進にも寄与することを方針としている。

ii) 概要

(1) 教育理念・目的

看護学研究科の理念は、保健・医療・福祉及び社会の変動に対応して、生命と人権を尊重し、看護学の専門的知識と技術に立脚し、創造的かつ科学的に看護が実践できる人材ならびに看護学の教育と研究に携わる人材を育成し、人々の健康とQOLの向上及び看護学の進歩・発展に寄与することにある。

さらに、保健・医療・福祉の場で行う看護実践の科学的根拠となる基礎理論及びその応用について体系的に学修し、人々の尊厳を護り人間性豊かな看護専門職者として、看護学の専門的知識と技術に立脚し、先駆的・創造的に高度看護実践できる能力、並びに看護現象を科学的に解明する看護学の教育・研究能力を育成することを目的とする。

(2) 教育目標

- ① 専攻する看護学専門分野に関連する科学的根拠と理論を修得し、看護実践に応用することができる。
- ② 専攻する看護学専門分野において、専門性の高い知識・技術を持って看護を実践し、相談・教育・調整機能を高め、看護の質向上と変革を推進することができる。
- ③ 人間愛と高い倫理観を持ち、複雑な倫理的問題を的確に判断し調整することができる。
- ④ 先進医療における看護実践を先導的に行うことを通じて、地域医療の向上に資することができる。
- ⑤ 専攻する看護学専門分野に関する研究課題に取り組み、研究能力を高める。

(3) アドミッションポリシー

看護学研究科は、生命と人権の尊重を基盤とし、保健・医療・福祉及び社会の動向に先駆的・創造的に対応できる看護実践能力をもち、人々のQuality of Lifeの向上及び看護学の発展に寄与できる人材を育成している。そのために、以下のような学生を求めた。

- ① 主体的に学び、目標に向かって邁進できる。
- ② 看護専門職者として高度看護実践・看護学の発展に貢献する意欲にあふれている。
- ③ 志望する専門分野に必要な基礎知識と技術を修得している。
- ④ 国際的視野に立ち、柔軟な発想ならびに理論的思考を探究する姿勢をもっている。

(4) ディプロマポリシー

看護学研究科の学位授与方針は、教育目標に基づき、修了時に身につけておく能力を以下のように設定し、修士課程の修了をもって修士（看護学）を授与した。

- ① 看護学およびその関連学問領域において、幅広く深く専門知識と理論、技術を備え応用できる。
- ② 専門分野における研究能力を身につけ、看護学の発展に寄与する課題を追求できる。
- ③ 専門分野における高度な専門知識と技術に基づき医療の質向上を推進する看護実践能力を発揮できる。
- ④ 高い倫理観に裏打ちされた批判的判断力に基づき倫理的課題に的確に対応できる。
- ⑤ グローバルな視点を持ち保健医療福祉チームにおける連携・協働を促進する役割を果たすことができる。
- ⑥ 看護学を主体的・創造的に考究し続ける専門職者としての態度を身につける。

iii) 大学教員一覧

看護学研究科の教育・研究組織は、看護学の専門性に応じて基盤看護学、療養支援看護学、家族支援看護学、生活支援看護学の4分野で構成し、合わせて看護学基礎研究と看護課題研究・高度実践の

2 領域を担う構成である。研究科の理念・目的である看護学の科学的・専門的探求および看護学教育・研究者と高度専門職者の両者の達成に適した組織構成としている。また、大学院学則に基づき研究科委員会を設置し、研究科長と大学院担当教員の教授および准教授で構成し、研究科長が学事を統括し、研究科委員会を開催することで運営している。

表 1. 平成26・27年度看護学研究科教員一覧

分 野	看護学基礎 研究領域	看護学課題研究・ 高度実践領域(CNS)	専 任 教 員			
			平成26年度		平成27年度	
基盤看護学分野	基礎看護学		教授	土田敏恵	教授	土田敏恵
	看護教育学		教授	竹田千佐子	教授	竹田千佐子
療養支援看護学 分野	急性看護学	急性・重症患者看護	教授	網島ひづる	教授	網島ひづる
			准教授	笹川寿美	准教授	笹川寿美
	がん看護学	がん看護学	准教授	田中登美	准教授	田中登美
	慢性看護学		教授	神崎初美	教授	神崎初美
			准教授	松本麻里	准教授	松本麻里
	精神看護学		教授	新井信之	教授	新井信之
家族支援看護学 分野	小児看護学		教授	藤井真理子	准教授	石原あや
			准教授	石原あや		
	母性看護学	母性看護学	教授	鈴井江三子	教授	鈴井江三子
			准教授	西村明子	准教授	西村明子
					准教授	岡田公江
	助産学		教授	鈴井江三子	教授	鈴井江三子
准教授			斎藤雅子			
生活支援看護学 分野	老年看護学		教授	細見明代	教授	細見明代
	地域看護学		准教授	土井有羽子	准教授	土井有羽子
	在宅看護学		准教授	堀口和子	准教授	堀口和子

iv) 学生の受け入れ

(1) 入学者選抜の概要

看護学研究科入学者の受け入れ方針は、本研究科の目的にある高度専門看護職者を志向し、熱意をもって就学・研究に取り組み、将来、地域の保健医療福祉および看護の発展に貢献することができる学生を求めている。看護師および保健師・助産師の免許を有すること、学士の学位を取得（取得見込み含む）していることが必要である。しかし、現在就業している看護職者の多くは専修学校等修了者である。大学院進学への要求に応えるために、看護学研究科において個別の出願資格認定審査を実施し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者に出願を認めている。

(2) 社会人受け入れのための具体策

本大学院では、キャリアアップ支援の一環として、就業しながら大学院で学べる長期履修制度（3年制：平成25年9月施行）や、大学院進学への準備として「科目等履修制度（平成27年度4月施行）」を設け1年間10単位以内の履修を目途に開講している。さらに、次年度開講する文部科学大臣認定の「職業実践力育成プログラム：地域在宅看護実践力育成プログラム」を開設し、“要介護度が高く、医療的なケアを必要とする人でも、最期まで住み慣れた地域で安心して暮らせるような社会の中で、複雑で多様な状況を見極められる看護専門職を育成するとともに、一般住民の地域力を向上させることができる人材の育成”を目指した社会的活動も展開する方策も作成している。

(3) 入学者選抜

看護学4領域特定分野において個々の学生に緻密な研究・論文指導を行うために、また、専門看護師を目指す看護学高度実践領域では、学生の実習等の指導が臨地の場合で必要であり、指導できる学生数が限られることから、適切な入学定員を8名と決定した。

入学者選抜は、学力検査（外国語、専門科目）と面接、調査書の内容を総合して判定している。受験者の看護学の共通する学力を判定することが必要と判断されたため、平成26年度大学院入試から専門科目の問題は「看護学共通問題」と「専門科目問題」とで構成している。

平成26年度・平成27年度入学試験は、Ⅰ期試験とⅡ期試験を実施している。

表2. 大学院看護学研究科入学試験

	Ⅰ期試験	Ⅱ期試験
試 験 日	平成27年度：平成26年9月27日（土）	平成27年度：平成27年1月24日（土）
	平成28年度：平成27年9月26日（土）	平成28年度：平成28年1月23日（土）
合格者発表	平成27年度：平成26年10月8日15時	平成27年度：平成27年2月4日15時
	平成28年度：平成27年10月7日15時	平成28年度：平成28年2月3日15時
選 抜 方 法	外国語（英語）辞書持ち込み可 60分	外国語（英語）辞書持ち込み可 60分
	専門科目（共通問題・専門問題）90分	専門科目（共通問題・専門問題）90分
	面接	面接
	※外国語：辞書持ち込み可（電子辞書は除く）	

表3. 大学院看護学研究科入学試験結果

区 分	平成26年度		平成27年度	
	一期試験	二期試験	一期試験	二期試験
募 集 人 員	8名	若干名	8名	若干名
出 願 者 数	1	7	8	4
受 験 者 数	1	7	8	3
合 格 者 数	1	7	6	3
入 学 者 数	8名		8名	

v) 教育方法

(1) 教育体制

科学的根拠に基づく高い専門知識と看護実践への応用を教授する研究科共通科目については、本学3学部と共通教育センター、さらに兵庫医科大学医学部・兵庫医科大学病院の協力を得て、本学の教育環境の特色を反映し、連携・協働を促進する教育体制をとっている。また、看護倫理、看護教育論、看護研究、看護管理、看護政策論、コンサルテーション等については、学外の看護実践者・教育者の協力を得て教育の充実を図っている。

「科目等履修」の開講科目に関しては、看護学研究科のホームページ上に掲載し、学外者にも情報を発信している。

(2) 教育活動

①教育体制

各専門分野の理論的基盤となる講義科目および研究科目は、専門分野の豊富な教育・研究業績を有する教授・准教授を中心に担当している。専門的看護実践能力を高める演習・実習科目について

は臨床経験や研究業績に合致した講師・助教が加わる等、手厚い教育・指導体制をとってきている。また、看護学課題研究・高度実践領域における専門看護師（CNS）養成は専門分野の臨床経験および教育経験豊富な教授・准教授が担当している。特に卓越した看護実践と専門看護師の相談・教育・調整等の役割を果たす能力の育成は、各分野の資格を取得し活躍中の専門看護師が非常勤として教育にあたる体制を整えている。特に、看護学課題研究・高度実践領域：急性・重症患者看護専門看護師分野は、日本看護系協議会の専門看護師教育課程認定委員会において平成26年度専門看護師教育課程審査を受け、クリティカルケア教育課程（38単位）として課程認定を受けた。

平成26年度からは、研究全体を吟味する機会として、複数教員からの指導・助言を受けることで研究計画の完成度を高める事を目的として、第1年次後期に「中間報告会」を3回にわたり開催している。

②修了要件

看護学研究科に2年以上在学し、32単位を修得し、かつ修士論文または課題研究報告書の審査および最終試験に合格することを修了要件としている。「看護学基礎研究領域」は、研究共通2単位以上、看護学共通科目4単位以上、専門分野専門科目10単位以上、特別研究10単位を含み総計32単位以上を修得する。「看護学課題研究・高度実践領域」は、研究共通科目2単位以上、看護学共通科目8単位以上、専門分野専門科目14単位以上、実習10単位、課題研究2単位の総計42単位以上を履修する。このような履修要件を満たし、研究科委員会で修士（看護学）の学位を授与すべきと決定し学位を授与された学生数を分野別に表4に示した。

③修士論文・課題研究報告書

提出された修士論文・課題研究報告書は、学位規程第6条に基づき研究科委員会から学位論文ごとに審査委員3名（主査1名・副査2名）から成る審査委員会を設け、主査・副査による審査・最終試験を実施し、研究科委員会で可否を決定している。平成26年度・平成27年度に学位論文として認められた論文一覧を表5に示した。

修士論文報告会は修士論文・課題研究報告書審査および最終試験合格後の3月初旬に開催した。看護学研究科院生は協力して報告会を運営するとともに、発表方法とそのプロセスを学ぶことが出来ている。

表4. 看護学研究科分野別大学院修了生数

領 域	分 野		平成26年度修了 (第3期生)	平成27年度修了 (第4期生)
看護学基礎研究領域	基盤看護学	基礎看護学	1	
		看護教育	2	
	療養支援看護学	急性看護学	1	
		がん看護学		
		慢性看護学		
		精神看護学		
	家族支援看護学	母性看護学		
		助産看護学	1	
		小児看護学		1
	生活支援看護学	老年看護学	1	
		地域看護学		
		在宅看護学		2
看護学課題研究・高度実践領域(CNS)	急性・重症患者看護専門看護師分野		1	

表 5. 兵庫医療大学看護学研究科 修士論文題目一覧

年度	分野	学位論文種別	論文タイトル	指導教員
平成26年度	基礎看護学	修士論文	女性高齢者モデルにおける看護師が行う快適で尿が漏れないおむつ装着技術の言語化—準実験デザインによるおむつ装着動作の工学的分析—	土田 敏恵
	看護教育学	修士論文	看護学生の看護学臨地実習における教員および実習指導者に対する信頼感と実習適応感との関係	竹田千佐子
	看護教育学	修士論文	臨地実習指導者の役割遂行における動機づけ	竹田千佐子
	急性看護学	修士論文	頸椎手術を受ける患者の術前期待と術後・退院後の生活への影響	網島ひづる
	急性看護学	課題研究報告書	クリティカルケアを実践する看護師がケアリングの経験を通して自覚する自己成長間	網島ひづる
	助産学	修士論文	初産婦の妊娠末期と産後1カ月における出産観と子育て観との関連	鈴井江三子
	老年看護学	修士論文	高齢者と看護師がもつ高齢者のイメージと高齢者の性意識に関する研究	鈴井江三子 (細見 明代)

年度	分野	学位論文種別	論文タイトル	指導教員
平成27年度	小児看護学	修士論文	気管切開を行っている在宅重症児（者）の母親にとっての看護師の存在	石原 あや (鈴井江三子)
	在宅看護学	修士論文	要介護高齢者の主介護者の介護と仕事の両立に関する要因—両立群と離職群比較から—	堀口 和子 (細見 明代)
	在宅看護学	修士論文	訪問看護師が認識した独居高齢者の在宅エンド・オブ・ライフを可能にする要因に関する研究—公的サービス利用注目して—	堀口 和子 (細見 明代)

(3) 学生による授業評価・教育課程評価

看護学研究科において、学生への教育・研究指導および環境の充実を図るため、1年生に各授業評価、教育・研究支援に関する内容を、2年生には修了前にディプロマポリシーに沿った到達度の自己評価を自己記入式調査で、さらにカリキュラムに関する評価を面接にて毎年調査している。その結果からの検討事項としては、①シラバス内容の改善（事前学習の記載、授業回数・内容の改善、評価の充実）、②科目等履修届の時期の改善（前期・後期に分けて登録する）、③倫理審査の時期の見直し（早い時期に計画してほしい）等が挙げられ、それぞれの教員で改善することを教員間で申し合わせた。

また、研究科委員会の委員会組織「学生委員」においては、ハラスメント防止等に関する規程の周知徹底、防止等の取り組みを強化した。

vi) 研究活動

平成27年度より大学院に併設したJBI（The Joanna Briggs Institute）Kobe Linguistic Translation Centerにおいては、オーストラリアのアデレード大学の本部がまとめた英語による情報を日本語に翻訳（助産学領域に特化）し、情報を広く地域に発信する役割も担っている。JBIでは包括的システマティックトレーニングの研修会コースを実施し、研究者や看護職を対象にエビデンスに基づいた健康支援の具現化に向けた啓発活動を行っている。研修会の具体的な内容は、量的・質的研究を用いた研究の質の評価と、システマティックレビュー研究の実践である。特に、JBIが開発、推奨している

SUMARIのソフトウェアを用いて演習を行い、今後、実際にSR研究を行うための知識を教示するものであるが、本学では講習を受けた13名全員がSR国際学会に投稿できるCSRT認定資格を取得した。また、兵庫医療大学の将来構想を見据えた魅力ある研究科にすべく、平成27年度より看護学研究科と医療科学研究科との合同検討会を開催している。

3) 医療科学研究科

i) 医療科学研究科の方針

人口の少子・高齢化や慢性疾患増加に伴う疾病構造の変化、個人の価値観の多様性、社会構造の変化などによる医療に寄せられる期待は高まっている。また、医療科学の急速な発展の下で、さまざまな革新的な医療技術が開発されて臨床応用されている。医療科学研究科では、リハビリテーション学の学問的な発展に寄与するとともに、高度な専門的知識を有する専門職者の育成に寄与することを目標として次の3項目を研究科の方針としている。

- リハビリテーション科学領域における研究の発展と高度実践専門職者の養成を目指す。
- 本学リハビリテーション学部教育の基盤である理学療法士や作業療法士のみならず、リハビリテーションチームを構成する専門職者に対して広く門戸を開放する。
- 医療機関などに在職したまま大学院に進学して学問や研究を行うことができるように配慮した教育を行う。

ii) 医療科学研究科の概要

学校法人兵庫医科大学の建学の精神、兵庫医療大学の教育理念のもとに、科学的思考に支えられた高度な実践力の獲得を目指して、チームを形成して活動する力を養い、リハビリテーション医学・医療に貢献できる人材を育成する。

医療科学研究科では、病態運動学分野と人間活動科学分野を設置し、それぞれの分野において研究志向の強い大学院生はリハビリテーション科学研究コースを、高度実践専門職者を志向する大学院生にはリハビリテーション課題研究コースを開設している。それぞれのコースの詳細は表1のとおりである。いずれのコースにおいても、医療機関などに在職した社会人に配慮して、平日夜間および土日の開講や研究指導を行っている。

表1. 医療科学研究科における研究指導コース

	「リハビリテーション科学研究」コース	「リハビリテーション科学課題研究」コース
アドミッションポリシー	1. リハビリテーション科学領域において、先駆的・学際的・発展的な研究を展開しようとする志向性を有する人 2. 将来、本領域において研究・教育を牽引していこうという意欲にあふれる人	1. 自らの臨床的知識・技術を積極的に高めたい人 2. 臨床的スキルの向上を図り、その結果をリハビリテーション医療の向上に貢献しようとする人

	「リハビリテーション科学研究」コース	「リハビリテーション科学課題研究」コース
カリキュラムポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い教養取得と医療人としてのキャリアアップを目指した共通科目・専門基礎科目の開講 2. 教育論（養成教育・臨床教育）、統計学等の研究者・教育者志向を目指した実践的科目の開講 3. 予備研究、倫理審査会、中間報告を含めた演習、研究指導、研究活動において、適宜、必要な研究組織を構築し、倫理審査会の承認を受けた上で研究活動の展開 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い教養取得と医療人としてのキャリアアップを目指した共通科目・専門基礎科目の開講 2. 鑑別診断学（臨床推論）、症例提示・症例検討実践特論等の臨床能力向上を目的とした実践的科目の開講 3. 臨床研修施設・指導体制について事前審査を行った上で臨床研修を実施
ディプロマポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究計画書に基づいた研究を遂行し、その結果を科学研究論文としてまとめることができる（その後、学術誌等への投稿を目指す）。 2. 修士論文審査会において、研究結果について十分な討議ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目的とした臨床的課題から得られた臨床的推論が、適切かつ十分な症例と科学的根拠に基づいていることを説明できる。 2. 臨床研修で経験した事例について、課題研究論文としてまとめることができる（その後学術誌等への投稿を目指す）。 3. 自己の臨床的推論の裏付けとなる先行研究等をエビデンステーブルとして整理できる。 4. 修士論文審査会において、課題研究論文を報告し、十分な討議ができる。

平成23および24年度には、病態運動学分野のもとに専門分野として運動器系障害治療学、中枢神経系障害治療学、生活活動支援学を、人間活動科学分野の下に身体・認知活動学、精神・心理、摂食嚥下リハビリテーション学を設置して大学院生の指導を行った。平成25年度からは、大学院生のニーズや教員の専門性を勘案して、病態運動学分野の下に専門分野として運動器障害、神経障害、内部障害を、人間活動科学分野の下に身体・認知活動、精神活動、摂食嚥下障害を設置して大学院生の指導を行った。

平成26年度・27年度も同様に病態運動学分野で3つ、人間活動学分野で3つの研究領域により大学院生の指導を行った。

iii) 医療科学研究科の教員一覧

大学院を担当する教員は学部教育も兼ねる本学専任教員を主として構成されている（表2）。専門科目ならびに専門基礎科目なども臨床経験を十分に有する人材を充当している。

表2. 平成26および27年度医療科学研究科教員

氏 名	専 門 分 野	在 職 期 間
藤岡 宏幸（平成26年度研究科長）	病態運動学分野	平成23年4月1日～現在
玉木 彰（平成27年度研究科長）	病態運動学分野	平成23年4月1日～現在
川口浩太郎	病態運動学分野	平成23年4月1日～現在
日高 正巳	病態運動学分野	平成23年4月1日～現在
坂口 顕	病態運動学分野	平成23年4月1日～現在
塚越 累	病態運動学分野	平成26年1月1日～現在
永井 宏達	病態運動学分野	平成26年5月1日～現在
宮本 俊朗	病態運動学分野	平成25年4月1日～現在
森 明子	病態運動学分野	平成23年4月1日～現在
森沢 知之	病態運動学分野	平成23年4月1日～現在

氏 名	専 門 分 野	在 職 期 間
野崎 園子	人間活動科学分野	平成23年 4 月 1 日～平成27年 3 月31日退職
松井 徳造	人間活動科学分野	平成23年10月 1 日～現在
山崎せつ子	人間活動科学分野	平成23年 4 月 1 日～現在
山田 大豪	人間活動科学分野	平成23年 4 月 1 日～現在
伊藤 斉子	人間活動科学分野	平成23年 4 月 1 日～現在
佐野 恭子	人間活動科学分野	平成23年 4 月 1 日～現在
有吉 正則	人間活動科学分野	平成26年 1 月 1 日～現在
櫛邊 勇	人間活動科学分野	平成23年 4 月 1 日～現在
坂本 利恵	人間活動科学分野	平成23年 4 月 1 日～現在
平上 尚吾	人間活動科学分野	平成26年 1 月 1 日～現在

学外から外部の立場で研究指導をしていただく委員として、平成26年度は道免和久先生（兵庫医科大学リハビリテーション医学教授）菅原洋子先生（国際医療福祉大学保健医療学部教授）、吉尾雅春先生（千里リハビリテーション病院）、平成27年度からは菅原洋子先生から酒井ひとみ先生（関西福祉科学大学教授）に交代して御願している（表3）。

表 3．学外の研究指導委員

平成26年度	平成27年度
道免 和久 先生 (兵庫医科大学リハビリテーション医学主任教授)	道免 和久 先生 (兵庫医科大学リハビリテーション医学主任教授)
菅原 洋子 先生 (国際医療福祉大学保健医療学部教授)	吉尾 雅春 先生 (千里リハビリテーション病院副院長)
吉尾 雅春 先生 (千里リハビリテーション病院副院長)	酒井ひとみ 先生 (関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科教授)

平成26年度および27年度の分野別入学者を表4に、平成27年度および28年度入試における受験者数、合格者数などは表5の通りである。

表 4．平成26年度および平成27年度分野別入学者

分 野	専門分野	平成26年度生 (第 4 期生)	平成27年度生 (第 5 期生)
病 態 運 動 学	運動器障害	1	2
	内部障害	2	4
	神経障害	2	2
人間活動科学	身体・認知活動	1	0
	精神活動	2	0
	摂食嚥下障害	1	0
合 計		9	8

表 5. 平成27年度および平成28年度入試

	平成27年度大学院入学試験	平成28年度大学院入学試験
選 抜 方 法	外国語（英語）、専門科目、面接	外国語（英語）、専門科目、面接
試 験 日	平成26年 9 月27日（土）	平成27年 9 月26日（土）
合 格 発 表 日	平成26年10月 8 日（水）	平成27年10月 7 日（水）
募 集 人 員	8	8
出 願 者 数	9	8
受 験 者 数	9	8
合 格 者 数	8	8
入 学 者 数	8	8

iv) 教育・研究活動

各科目の開講、各分野および専門研究グループごとのゼミにおいて、教育・研究指導を行っている。病院などで勤務する社会人に配慮して、各科目の開講および研究指導のゼミは、平日の午後5時以降や土日祝日などを中心に行っている。

科目の開講の特色は次のとおりである。

- 共通科目では、医療科学における科学的根拠ならびに最新の専門的知識を修得し幅広い医療人としての教養を培う。
- 専門基礎科目および専門科目では、専攻する分野における高度な専門知識ならびに技術を修得し、臨床現場で実践できるための素養を培い、臨床研究を遂行する能力を養い、診療現場で後進の指導に役立つ力をつける。

医療科学研究全体で、大学院生の研究の進捗状況を確認し、その後の方針を議論する中間報告会を年に2回行った。平成26年度は平成26年7月10日と平成27年2月5日に、平成27年度は平成27年7月9日と平成28年2月4日に行った。

平成26および27年度の大学院修了者の修士学位論文は表6および7の通りである。これらの修士論文は指導教員の専門性を活かしたものであり、大学院終了後も引き続き研究を行っている者ものも多い。

表 6. 平成26年度修士学位論文

論文題目	氏 名	指導教員
化粧動作に必要な肘関節屈曲角度と動作特性 ―ファンデーション動作に着目して―	梅原 有紗	櫛邊 勇
TENSが月経痛に与える影響	河崎 愛	坂口 顕
歩行時骨盤後方回旋と大殿筋活動の関係 ―大殿筋エクササイズ介入による検討―	北風 浩平	川口浩太郎
肺切除術後の肺機能と運動耐容能との関係性 ―Stair-Climbing testと6分間歩行試験との比較―	久堀 陽平	玉木 彰
重度変形性膝関節症における歩行時膝周囲筋活動の解析 ～健常成人との比較～	瀬戸川 啓	藤岡 宏幸
動的筋収縮時の筋電図周波数解析による筋疲労特性と骨格筋量に関する研究 ～男女間に生じる筋疲労特性および骨格筋量との関係性～	藤沢 千春	玉木 彰
体位の変化が咳嗽・呼吸機能に与える影響	松本 匠平	玉木 彰
大腿四頭筋に対する遠心性収縮ペダリングトレーニング効果について ―従来のペダリング運動との比較検討―	三島 淳一	玉木 彰
ラット皮膚全層欠損モデルにおける微弱電流刺激の創傷治癒効果	吉川 雅夫	坂口 顕

表 7. 平成27年度修士学位論文

論文題目	氏 名	指導教員
パーキンソン病患者における最大舌圧と嚥下動態との関連	齋藤 翔太	野崎 園子
統合失調症患者の主観的ウェルビーイングに対する社会生活技能訓練の影響について	坂本 浩	山田 大豪
慢性腰痛の有無は高齢者の身体活動量に影響を及ぼすか	佐々木拓馬	玉木 彰
回復期脳卒中患者の日常生活活動に関する看護師・理学療法士・作業療法士間の情報需給の状況	大黒 忍	佐野 恭子
理学療法実習生からみた臨床実習の実態と課題 —理学療法の魅力感、ストレスに関わる要因を検討して—	中村 崇秀	日高 正巳
二相性微弱電流刺激の創傷治癒メカニズムの解明 —増殖因子に着目して—	長谷川大祐	坂口 顕
大腿骨近位部骨折患者に対する300段の階段昇降練習の付加が下肢筋肉量と身体機能に及ぼす影響	堀田 旭	玉木 彰
発症後早期の脳卒中患者における身体不活動とその要因	松本 恵実	森 明子

4. 研究施設の活動状況

1) 先端医薬研究センター

i) 施設の概要

研究教育推進を目的にG棟1階に先端医薬研究センターが設置されている。実験室は薬学研究室と同じ研究環境の研究スペースが3室用意されている（約100㎡（93.9～113.5㎡））。

同センターのうち、先端医薬研究センター1では医薬・医療に関する最先端の研究開発を行い、その成果を疾病の治療および予防に反映させることを目的として、医学および薬学等の関連分野の研究推進を図ることを目的とし、独自テーマの発展のみでなく、保有する先端技術の公的活用による社会還元も目的とし、外部研究機関との共同研究も実施している。

先端医薬研究センター2は、学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院の研究部門として中医薬に関する法人内の共同研究活動に使用している。

先端医薬研究センター3は平成27年度の途中から新たなプロジェクト研究室として稼働しはじめた。

ii) 活動内容

先端医薬研究センター1では、いくつかのプロジェクトが展開された。その中の一つとしては、平成27年4月に発足した国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）「創薬支援ネットワーク」の支援の一環として当該研究室が大阪大学、三井化学等が共同で取り組んできた「がん細胞DNA脱メチル化酵素を分子標的とするFirst-in-classの癌治療剤の探索」（研究代表者：辻川教授）が採択され、画期的抗癌剤創出を目指した研究が実施された。その中で、当大学で創製されたHUHS015が有望化合物と認められ製薬企業への導出、あるいは医師主導臨床に向けた構造最適化対象として選定され、AMED支援を受けた検討が行われ、現在も継続している。

先端医薬研究センター2では、漢方薬に関連する研究テーマを中心に学内外との共同研究を含めて複数のプロジェクトを取り込んだ。本学教員主導による「TRPチャネルを標的とする漢方薬成分の探索」に加えて、兵庫医科大学解剖学神経科学部門（野口光一主任教授）との「難治性疼痛に対する漢方薬の治療効果と分子メカニズムの解析」に関する共同研究、兵庫医科大学病院消化器内科（三輪洋人主任教授）との「炎症性腸疾患に伴う免疫異常に対する漢方薬の効果と薬理機序の検討」をテーマとする共同研究が進められた。また、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」（プロジェクト名：難治性疼痛・感覚異常に対する創薬基盤研究）の一部が同センターで展開された。平成26年度、平成27年度の中医薬孔子学院課題公募型若手共同研究課題の一部が同センターで実施された。さらに、平成27年度から国立研究開発法人理化学研究所と「内臓痛の脳内認知機構の解明」に関する共同研究契約が締結され、同センターを動物モデル作製・評価の拠点として新たな研究がスタートした。

先端医薬研究センター3では、新たに研究プロジェクト「自然免疫シグナルによる抗腫瘍免疫チェックポイントの制御」が開始された。本プロジェクトはIL-18を中心とする自然免疫シグナルによる免疫チェックポイント阻害薬の抗腫瘍効果の増強機構の解明とその癌治療への応用を目的とし、本学と兵庫医科大学の共同研究として実施されている。

2) 共同機器室

概 要

本学の研究・教育活動を推進するための共同利用施設として、高度な研究機器を配した共同機器室がG棟に設置されている。核磁気共鳴装置やフローサイトメーターをはじめとする研究機器が導入され、ライフサイエンスを広くカバーする本学の研究・教育の基盤として重要な役割を担っている。

共同機器室は研究活動の場を提供するばかりでなく、本学研究者の活発な交流や次世代の医療科学を担う学生の教育にも重要な役割を担うことが期待されている。共同機器室の管理・運営は共同機器室運営委員会と共同機器室利用者が連携してこれに当たっている。

共同機器室に設置されている主な研究設備機器を表1に示す。また平成27年度より共同機器室4と共同機器室6に私立大学等教育研究活性化設備整備事業補助金（文部科学省）の支援を受けたPBLラボラトリを併設している。

表1. 共同機器室研究設備機器一覧（平成27年10月31日現在）

共同機器室 1	
	超伝導フーリエ変換核磁気共鳴装置（NMR）
	・ NMR system PS600型（600MHz）(Agilent Technologies社)
	・ JNM-ECX400PKS型（400MHz）(日本電子(株))
共同機器室 2	
	・ 生体成分相互作用解析装置 Biacore3000システム（GE Healthcare社）
	・ 走査型電子顕微鏡 SU1510（日立ハイテクノロジーズ社）
共同機器室 3	
	・ 共焦点レーザー顕微鏡 FV1000-D（オリンパス社）
	・ 正立蛍光顕微鏡 BX51-FL（オリンパス社）
	・ Ca2+イメージング装置 Fura2レシオイメージングシステム（浜松ホトニクス社）
	・ マルチガスインキュベーター（TAITEC社）
	・ HSオールインワン蛍光顕微鏡 BZ-9000（キーエンス社）
	・ 実体顕微鏡 SZ61（オリンパス社）SZX10（オリンパス社）
	・ 倒立ルーチン顕微鏡 CKX41（オリンパス社）
	・ 磁気細胞分離システム AutoMACS（ミルテニー社）
	・ 超音波洗浄機 AU-507CB（EYELA社）
	・ セルソーター FACS Aria II（ベクトンディッキンソン社）
	・ フローサイトメーター Accuri C6（ベクトンディッキンソン社）
	・ P2実験室（細胞）
共同機器室 4	
	・ サーマルサイクラー PCR system 9700（Applied Biosystems社）
	・ サーマルサイクラー Veriti（Applied Biosystems社）
	・ RealTime PCR StepOnePlus-01（Applied Biosystems社）
	・ RealTime PCR 7500Fast（Applied Biosystems社）
	・ レーザースキャナ型イメージアナライザー Typhoon Trio（GE Healthcare社）
	・ CCDカメラ型イメージアナライザー ImageQuant400（GE Healthcare社）
	・ 桌上超遠心機 OptimaMax-XP（ベックマン社）
	・ 高速冷却遠心機 Avanti HP-30I（ベックマン社）

	・多本架け冷却遠心機 CF12RX（日立工機社）
	・非観血式自動血圧測定装置（ラット、マウス）BP-98A-L（㈱ソフトロン）
	・クリオスタット HYRAX-C-50（ZEISS社）
	・ABI PRISM 310 GENETIC ANALYZER（Applied Biosystems社）
	・振動刃マイクロトーム VT1200S（ライカ社）
	・ポリトンホモジナイザー PT3100/PT1200E（kinematica社）
	・超音波破碎装置 Model 250D-Advanced（Branson社）
	・遺伝子導入装置 Xcell コンプリートシステム（Bio-Rad社）
	・遺伝子導入装置 スクレオフェクター（Amaxa社）
	・超純水製造装置 Milli-Q Integral（Merck Millipore社）
	・MAXART 大判インクジェットプリンター PX-9550S（EPSON社）
	・分光光度計 Nanodrop1000（Thermo Scientific社）
	・サイトスピン CYTOSPIN4（Thermo Scientific社）
	・クロマトグラフィシステム AKTA prime（GE Healthcare社）
共同機器室 5	
	・低温室
	・P2実験室（微生物）
	・LOCATOR 8 PLUS Rack and Box Systems（Thermo Scientific社）
	・超低温フリーザー（-80℃）MDF-U383（三洋電機社）
共同機器室 6	
	・超高精度 ESI-Q TOF/LC-MS/MSシステム microTOF-Q（Bruker Daltonics社）
	・高速液体クロマトグラフ・三次元分析システム LaChrom Elite 2000 三次元分析システム（日立ハイテック社）
	・高速液体クロマトグラフ・分取分析用システム LaChrom Elite 2000 分取分析用システム（日立ハイテック社） *紫外吸収検出器セットおよび示差屈折検出器セット
	・フーリエ変換赤外分光光度計 FT/IR-4100（日本分光社）
	・旋光度計 P-2100（日本分光社）
	・吸光／蛍光プレートリーダー SpectraMax M2e（Molecular Devices社）
	・発光プレートリーダー SpectraMax L Dual Injectors（Molecular Devices社）
	・ウルトラマイクロ天秤 XP26（メトラートレド社）
	・ロータリーエバポレーター（減圧ポンプ、冷却水循環装置付き）R-210V（ビュッヒ社）
	・接触還元装置（水素発生装置付き）CH-100（石井理化機器社）
	・試料水平型多目的X線回折装置 Ultima IV（リガク社）
	・超純水製造装置 Milli-Q Integral（Merck Millipore社）
	・凍結乾燥装置 FDU-2100（EYELA社）
	・角型ドライチャンバー DRC-1000（EYELA社）

3）動物実験センター

i）概要

動物実験センターおよび同分室は、「動物の愛護及び管理に関する法律」、「動物の愛護及び管理に関する条例」、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」、および「研究機関等にお

ける動物実験等の実施に関する基本指針」を厳密に遵守し、適正な実験動物の飼養と動物実験を行うための支援的機能をもつ施設として運営されている。実験動物学を科学的基盤とした薬理学的実験、生理機能実験、行動実験などのバイオサイエンス研究を行う研究者に利用されており、疾病の病態解明や難病の治療法開発などを支援している。

ii) 活動状況

動物実験センター（センター）、同分室（分室）および動物実験センター運営委員会の活動状況等について、以下の表1～5に示す。

表1．平成26年度活動実績

実施月	活 動 事 項
4月	AP水精製機導入（センター）、パスボックス殺菌灯交換（センター）
5月	オートクレーブ定期点検（日本ボイラ協会）（センター）
6月	公私立大学実験動物施設協議会総会に出席 クリーンラックの自動給水用濾過フィルター交換（センター） 微生物モニタリング（SPFエリア、CONVエリア）（センター）
9月	微生物モニタリング（SPFエリア）（センター）
10月	実験動物管理者のための教育訓練に出席（主催 公私立大学実験動物施設協議会） 動物実験委員会の教育訓練に出席（主催 公私立大学実験動物施設協議会）
11月	第1回動物実験センター運営委員会 空調設備点検に伴う一時空調停止・入室制限（センター・分室）
12月	第7回実験動物慰霊祭 実験動物関係教職員高度技術研修参加（主催 新潟大学） クリーンラックの自動給水用濾過フィルター交換（センター）
1月	実験動物飼養（保管）施設管理責任者講習会出席（神戸市保健所東部衛生監視事務所） 微生物モニタリング（SPFエリア、CONVエリア）（センター）
2月	第2回動物実験センター運営委員会 動物実験センター規程・同運営委員会規程改訂 動物実験に関する教育訓練および動物実験センター利用者講習会、同DVD講習会 動物実験施設の現状調査回答（公私立大学実験動物施設協議会）
3月	特定外来生物（ウシガエル）飼養等をする数量の増加、減少等の届出（近畿地方環境事務所） 特定外来生物の飼養等許可更新申請（近畿地方環境事務所） 空調設備点検およびフィルター交換に伴う一時空調停止・入室制限（センター・分室） 排水管トラップ設置工事（分室） 微生物モニタリング（SPFエリア）（センター）

表2．平成27年度活動実績

実施月	活 動 事 項
4月	排水管トラップ設置工事（分室）、パスボックス殺菌灯交換（センター）
5月	オートクレーブ定期点検（日本ボイラ協会）（センター） 空調器フィルター交換に伴う一時空調停止・入室制限（センター・分室）
6月	第1回動物実験センター運営委員会、緊急時対応マニュアル完成 公私立大学実験動物施設協議会総会に委任状提出 空調器フィルター交換に伴う一時空調停止・入室制限（センター・分室） クリーンラックの自動給水用濾過フィルター交換（センター） 微生物モニタリング（SPFエリア、CONVエリア）（センター）
8月	壁床材補修工事・入室制限（センター）
9月	微生物モニタリング（SPFエリア）（センター）

実施月	活 動 事 項
11月	第2回動物実験センター運営委員会 空調器フィルター交換に伴う一時空調停止・入室制限（センター・分室）
12月	第8回実験動物慰霊祭 排水管補修工事・排水制限（センター）、壁床材補修工事（再）・入室制限（センター） 吸排気口への昆虫侵入防止フィルター設置工事（センター） 微生物モニタリング（SPFエリア、CONVエリア）（センター）
1月	飼育室内温度センサー点検（センター）
2月	第3回動物実験センター運営委員会 動物実験に関する教育訓練および動物実験センター利用者講習会、同DVD講習会 動物実験施設の現状調査回答（公私立大学実験動物施設協議会）
3月	特定外来生物（ウシガエル）飼養等をする数量の増加、減少等の届出（近畿地方環境事務所） 空調設備点検およびフィルター交換に伴う一時空調停止・入室制限（センター・分室） 消防設備点検（センター・分室）、クリーンラックHEPAフィルター交換（センター） クリーンラックの自動給水用濾過フィルター交換（センター） 微生物モニタリング（SPFエリア）（センター）

表3. 動物実験センターおよび同分室の延べ利用者数

年度	動物実験センター延べ利用者数(人)	同分室延べ利用者数（人）	総利用者数
平成26年度	5,742	584	6,326
平成27年度	7,224	778	8,002

表4. 搬入実験動物匹数

（ ）は自家繁殖匹数

年度	SPF マウス	CONV マウス	SPF ラット	CONV ラット	組換え マウス	モル モット	分室 ハムスター	分室 マウス	ウサギ	ウシ ガエル
平成26年度	229	340	0	1,007	(584)	8	0	20	0	59
平成27年度	591	488	0	1,303	(414)	8	12	59	2	73

表5. 使用飼育ケージ数

年度	SPF マウス	CONV マウス	SPF ラット	CONV ラット	組換え マウス	モル モット	分室 ハムスター	分室 マウス	ウサギ	ウシ ガエル
平成26年度	5,543	1,208	0	7,241	26,532	75	0	2,514	0	
平成27年度	7,252	3,447	0	9,479	22,056	68	563	2,731	159	

4) RI実験センター

i) 概要

RI実験センターは放射性同位元素（ラジオアイソトープ）を用いたトレーサー実験を安全に行うための実験施設である。本センターでは³H、¹⁴C、³²Pおよび¹²⁵I等ベータ線またはガンマ線放出各種の使用が許可されており、生化学実験または分析化学実験に対応した実験器具および放射線計測器が設置されている。本センターは平成20年1月に放射線管理区域として認可され、翌年4月に放射線取扱主任者が選任され、同年9月より稼働している。本センターは放射線障害防止について総括的な監督を行う放射線取扱主任者の他、管理区域責任者、安全管理責任者および施設管理責任者より構成された管理組織にて運営されている。この他に各学部より選出された委員で構成された組織として放射線障害予防委員会およびRI実験センター運営委員会を設置している。前者の委員会では放射線予防規

程の改定や放射線管理状況報告書について、後者では本センターの運営および放射線管理に必要な事項についてそれぞれ審議を行っている。

ii) 平成26・27年度の活動記録

1) 点検実施

年2回(3月と9月)施設点検を実施している。平成26年および27年度の施設点検では補修等の措置を講じなければならない不具合の発生は認められなかった。

2) 非密封RIの保管状況

平成26年度のRI保管状況として ^{14}C 標識化合物は18.3MBq、 ^3H 標識化合物14.9MBqを保管していた。平成27年度は新たに各1品目の ^{32}P 、 ^{33}P 、 ^{35}S 、 ^{45}Ca 標識化合物を受け入れた。よって11品目の ^{14}C 標識化合物として計18.3MBq、2品目の ^3H 標識化合物として計106.7MBq、 ^{32}P 標識化合物9.2MBq、 ^{33}P 標識化合物3.5MBq、 ^{35}S 標識化合物9MBq、 ^{45}Ca 標識化合物36.8MBqの放射性同位元素を保管している。

3) 放射線業務従事者数

平成26年および27年度の放射線業務従事者の登録者は9名(含む女子登録者2名)であった。いずれも年間被ばく線量は検出限界未満であり、個人実効線量分布は5mSv/年以下であった。

4) 放射線教育および訓練

前項の放射線業務従事者として登録された9名、新規登録者1名および学外にて放射線取扱作業を行う3名について放射線障害防止のために必要な教育訓練を平成27年度末に実施した。受講者へは予防規程に関する放射線教育およびガイガミューラー(GM)式計数管を用いた自然放射線計測の実技を行った。また教育終了後は確認試験を行い、教育訓練の記録として保管した。

5) 放射線管理状況報告書の提出

前年度の3月31日までの放射線管理の記録類を管理状況報告書(許可届出使用者)として集計し、放射線障害予防委員会の議を経て原子力規制委員会へ提出した。

5) 薬用植物園

1. 薬学部附属薬用植物園整備状況

医療における漢方薬の需要が高まる中、原料として使用される生薬量は年々増加している。また、薬用植物に含有される化合物は現在でも医薬品としての活用が多数見られ、したがって、薬学教育において医薬品原料となる薬用植物や漢方生薬の基原植物を知ることは大変重要である。

本学でも開学時より「薬学部附属薬用植物園」の整備を進め、医療用生薬等の基原植物を観察できる環境を整え学生の教育に寄与している。以下にこれまでの整備状況を記す。

i) 施設

平成26～27年度

猛暑の影響による被害を避けるために、日陰を作る目的で南西側一部花壇を増設して常緑高木を植栽し、その手前にパーゴラと寒冷紗を設置した。

また、数種類の薬用植物を新規購入し、栽培植物の充実を図った。

ii) 植物

平成26～27年度

日本薬局方収載生薬の基原植物を中心に、現在約150種の薬用植物を栽培している。以下にそのリストを示す。(50音順)

アカネ、アカメガシワ、アキノワスレグサ、アジサイ、アシタバ、アセロラ、アフラチャン、アマ、アマチャ、アミガサユリ、アロエ、アンズ、イチヨウ、イブキジャコウソウ、ウイキョウ、ウコン、ウスバサイシン、ウツボグサ、ウド、ウマノスズクサ、ウメ、ウンシュウミカン、エビスグサ、エンジュ、オウレン、オオバコ、オケラ、オタネニンジン、オミナエシ、オリーブ、カカオ、カキ (マメガキ)、ガジュツ、カラスビシャク、カリン、カルダモン、カロライナジャスミン、カワラナデシコ、カワラヨモギ、キキョウ、キク、キササゲ、キハダ、ギボウシ、キンミズヒキ、クコ、クサノオウ、クスノキ、クチナシ、クヌギ、クララ、クリスマスローズ、クロタネソウ、クロモジ、クワ、ケジギタリス、ケツトウ、ゲンノショウコ、コウホネ、コガネバナ、ゴシュユ、コノテガシワ、コンフリー、サイカチ、サクラ、ザクロ、サボンソウ、サラシナショウマ、サンザシ、サンシュユ、サンショウ、ジギタリス、シデコブシ、シナマオウ、シナレンギョウ、シャクナゲ、シャクヤク、ジャノヒゲ、シラン、ジロボウエンゴサク、スイセン、ストロファンツス、セネガ、センキュウ、センダン、センナ、センリョウ、タイサンボク、ダイダイ、タケニグサ、タチバナ、タマスダレ、タムシバ、タラノキ、チガヤ、チャ、チョウセンゴミシ、ツワブキ、テンダイウヤク、トウキ、トウネズミモチ、トキワイカリソウ、トクサ、ドクダミ、トチバニンジン、トチュウ、トリカブト、ナツメ、ナルコユリ、ナ、テン、ニガキ、日本ハッカ、ニラ、ニワトコ、ヌルデ、ノイバラ、ビル、ハゴロモジャスミン、ハ、リドコロ、ハス、ハトムギ、ハナスゲ、バナナ、ハナミョウガ、パパイヤ、ハブソウ、ハマゴウ、ハマナス、ハマボウフウ、ビャクブ、ヒヨス、ビワ、フキノトウ、ヘラオオバコ、ホウノキ、ボタン、マルバアイ、マンゴー、マンリョウ、ミシマサイコ、ミラクルフルーツムラサキ、メハジキ、モモ、ヤブツバキ、ヤマコウバシ、ヤマゴボウ、ヤマザクラ、ヤマノイモ、ヤマボウシ、ヤマモモ、レモングラス、ワタ

(計153種)

6) 学外研究費の取得一覧

i) 概要

(1) 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金／学術研究助成基金助成金)

平成26年度科学研究費助成事業は、44件が採択され総額67,080,000円 (うち直接経費51,600,000円、間接経費15,480,000円) の交付があった。

平成27年度科学研究費助成事業については、35件が採択され総額54,470,000円 (うち直接経費41,900,000円、間接経費12,570,000円) の交付があった。平成26・27年度科研費交付の詳細については、表1～2に示す。

ii) 研究活動の内容

表1. 平成26年度科学研究費補助金交付一覧

研究種目	研究課題名	所属部局	職名	研究代表者	交付額(円)
基盤研究(B)	集団感染予防のための環境を汚染しない陰部洗浄とおむつ交換技術の開発	看護学部	教授	土田 敏恵	2,400,000
基盤研究(B)	病院・在宅療養を支援するリウマチ看護の質を担保するアプローチ方略の開発と促進	看護学部	教授	神崎 初美	2,500,000
基盤研究(C)	疾患による免疫系の活性化が肝薬物代謝酵素の機能に及ぼす影響	薬学部	教授	九川 文彦	500,000
基盤研究(C)	臨床検体に基づく実践的生体分子を標的とする天然由来分子標的抗がん剤の探索	薬学部	教授	青木 俊二	600,000

研究種目	研究課題名	所属部局	職名	研究代表者	交付額(円)
基盤研究(C)	規則性ナノ空間光触媒の創製とラジカル化学的CO2固定化反応への展開	薬学部	准教授	甲谷 繁	700,000
基盤研究(C)	HGFディスプレイ乳酸菌によるGVHDの制御	薬学部	教授	岩崎 剛	800,000
基盤研究(C)	炎症性腸疾患薬のファーマコゲノミック・バイオマーカーの機能的探索および活用法の提案	薬学部	講師	大野 雅子	700,000
基盤研究(C)	慢性心不全における鉄代謝異常の検討	薬学部	教授	辻野 健	1,000,000
基盤研究(C)	慢性閉塞性肺疾患患者の急性増悪の予防・対処行動に関する測定尺度の開発	看護学部	准教授	松本 麻里	900,000
基盤研究(C)	父親・母親に対する産後うつ病予防統合プログラムの開発	看護学部	教授	西村 明子	1,400,000
基盤研究(C)	色弱に配慮した服薬安全に資する「服薬トレー」の開発研究	薬学部	研究員	石崎真紀子	600,000
基盤研究(C)	医療過誤防止と服薬アドヒアランス向上に資する医薬品カラーデザイン戦略の確立	薬学部	教授	前田 初男	1,100,000
基盤研究(C)	定常型社会におけるケアとそのシステム	共通教育センター	教授	紀平 知樹	1,100,000
基盤研究(C)	要介護高齢者の嚥下障害と服薬方法に関する研究	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	1,300,000
基盤研究(C)	ラジカル反応プロセスの触媒化研究	薬学部	教授	宮部 豪人	1,200,000
基盤研究(C)	C型肝炎ウイルスとマラリア原虫の肝特異的発現蛋白質が相互の増殖に及ぼす影響の解析	薬学部	講師	長野 基子	1,300,000
基盤研究(C)	リンパ節特異的な細胞動員シグナルによる免疫細胞の組織特異的動員と自己応答性の制御	薬学部	教授	田中 稔之	1,200,000
基盤研究(C)	神経因性疼痛における新規KチャネルとATPの役割に関する研究	薬学部	教授	山本 悟史	600,000
基盤研究(C)	学童保育における「学童保育版児童虐待対応マニュアル」の開発に関する研究	看護学部	教授	鈴井江三子	1,300,000
基盤研究(C)	在宅呼吸不全患者に対する身体活動量を高めるための新戦略	リハビリテーション学部	教授	玉木 彰	2,300,000
基盤研究(C)	分子ディスプレイを用いたマラリア経口ワクチンの構築とライブラリーの作製	共通教育センター	准教授	芝崎 誠司	1,600,000
基盤研究(C)	ホルモン非依存的前立腺がんにも有効な新規PCA-1阻害剤の探索合成	薬学部	教授	田中 明人	800,000
基盤研究(C)	TRPチャネルを介したAMPキナーゼによる疼痛制御とその分子機構の解明	薬学部	教授	戴 毅	1,500,000
基盤研究(C)	JNCASTで評価した産後1ヵ月の「不妊治療後母子相互作用促進プログラム」開発	看護学部	准教授	齋藤 雅子	1,300,000
基盤研究(C)	中重度要介護者の在宅療養継続に向けた家族支援プログラムパッケージの開発と実用化	看護学部	准教授	堀口 和子	1,400,000
挑戦的萌芽研究	miRNA発現プロファイルを用いた肝薬物代謝能の変動予測	薬学部	助手	森家 望	500,000
挑戦的萌芽研究	まちの保健室ナースの看護力で形成する急病や災害に備えられるまちづくりと効果の検証	看護学部	教授	神崎 初美	1,000,000

研究種目	研究課題名	所属部局	職名	研究代表者	交付額(円)
挑戦的 萌芽研究	コーチングソフトウェアを用いた「見て、 気づき、考える」車椅子移乗技術指導への 挑戦	看護学部	助教	増田富美子	700,000
挑戦的 萌芽研究	サーモグラフィを体温管理に応用した基礎 および感染症看護ケアシステムの構築	薬学部	助手	芝田 宏美	900,000
挑戦的 萌芽研究	脳卒中片麻痺患者のトイレにおける下衣上 げ下げ動作の再獲得過程の解明	リハビリテ ーション学部	講師	平上 尚吾	2,800,000
挑戦的 萌芽研究	母親の語りは家庭内に埋もれた夫婦間の子 育て問題に《光》をもたらし得るか	リハビリテ ーション学部	講師	有吉 正則	500,000
挑戦的 萌芽研究	薬剤師の関与による薬剤投与補助器具の使 用は患者QOLを改善させるか	薬学部	教授	天野 学	2,300,000
挑戦的 萌芽研究	高齢女性尿失禁患者への快適で漏れないお むつ装着技術の開発	看護学部	教授	土田 敏恵	1,300,000
挑戦的 萌芽研究	視線運動分析に基づく難易度の高い看護技 術のトレーニングシステムの開発と評価	看護学部	教授	網島ひづる	1,900,000
若手研究(B)	ベンザイン等の不安定化学種を活用した新 規反応の開発とその応用研究	薬学部	助教	吉岡 英斗	700,000
若手研究(B)	入院している小児の転倒・転落防止プログ ラム改訂版の作成とその効果の検証	看護学部	講師	藤田 優一	600,000
若手研究(B)	老化制御シグナルによるタウリン欠乏セン シング機構とサルコペニアにおける役割の 解明	薬学部	講師	伊藤 崇志	800,000
若手研究(B)	非可逆反応を利用した高感度かつ高選択的 なカドミウムイオン蛍光プローブの開発	薬学部	助教	塚本 効司	1,100,000
若手研究(B)	患者講師による学内教育プログラムの開発 に関する研究	リハビリテ ーション学部	講師	森 明子	200,000
若手研究(B)	高齢者の筋の同時活動戦略に着目した効率 的姿勢制御機構の解明	リハビリテ ーション学部	講師	永井 宏達	2,300,000
若手研究(B)	医療提供体制が医療施設間競争に及ぼす影 響に関する空間計量分析	共通教育 センター	講師	西田喜平次	900,000
研究活動 スタート支援	骨格筋電気刺激による新たな糖尿病運動療 法の確立	リハビリテ ーション学部	講師	宮本 俊朗	1,000,000
研究活動 スタート支援	炎症性腸疾患に伴う内臓痛の発症メカニズ ムにおける免疫調節因子とTRP受容体の 相関	薬学部	助教	王 勝蘭	1,000,000
研究活動 スタート支援	新型出生前診断に直面した女性の自己決定 を支える看護：一般女性のニーズからの検 討	看護学部	助教	片田 千尋	1,000,000
合 計				44件	51,600,000

表 2. 平成27年度科学研究費助成事業交付一覧

研究種目	研究課題名	所属部局	職名	研究代表者	交付額(円)
基盤研究(B)	病院・在宅療養を支援するリウマチ看護の 質を担保するアプローチ方略の開発と促進	看護学部	教授	神崎 初美	3,400,000
基盤研究(C)	要介護高齢者の嚥下障害と服薬方法に関す る研究	リハビリテ ーション学部	教授	野崎 園子	1,400,000
基盤研究(C)	ラジカル反応プロセスの触媒化研究	薬学部	教授	宮部 豪人	1,200,000

研究種目	研 究 課 題 名	所属部局	職名	研究代表者	交付額(円)
基盤研究(C)	C型肝炎ウイルスとマラリア原虫の肝特異的発現蛋白質が相互の増殖に及ぼす影響の解析	薬学部	講師	長野 基子	1,200,000
基盤研究(C)	リンパ節特異的な細胞動員シグナルによる免疫細胞の組織特異的動員と自己応答性の制御	薬学部	教授	田中 稔之	1,200,000
基盤研究(C)	神経因性疼痛における新規KチャネルとATPの役割に関する研究	薬学部	教授	山本 悟史	600,000
基盤研究(C)	学童保育における「学童保育版児童虐待対応マニュアル」の開発に関する研究	看護学部	教授	鈴井江三子	500,000
基盤研究(C)	在宅呼吸不全患者に対する身体活動量を高めるための新戦略	リハビリテーション学部	教授	玉木 彰	500,000
基盤研究(C)	分子ディスプレイを用いたマラリア経口ワクチンの構築とライブラリーの作製	共通教育センター	准教授	芝崎 誠司	1,400,000
基盤研究(C)	ホルモン非依存的前立腺がんにも有効な新規PCA-1阻害剤の探索合成	薬学部	教授	田中 明人	1,500,000
基盤研究(C)	TRPチャネルを介したAMPキナーゼによる疼痛制御とその分子機構の解明	薬学部	教授	戴 毅	1,200,000
基盤研究(C)	中重度要介護者の在宅療養継続に向けた家族支援プログラムパッケージの開発と実用化	看護学部	准教授	堀口 和子	1,000,000
基盤研究(C)	災害時有効な直感で薬効がイメージできる薬剤色彩設計の考察－色彩連想調査から検証－	薬学部	研究員	石崎真紀子	1,200,000
基盤研究(C)	二重活性型ベンザイン発生法の開発と不安定化学種を活用した連続反応の展開	薬学部	助教	吉岡 英斗	1,700,000
基盤研究(C)	PCA-1阻害薬の臨床応用に向けた創薬研究	薬学部	研究員	所(馬淵)美雪	800,000
基盤研究(C)	HGF受容体アゴニスト・アンタゴニストとIL-2を用いた免疫反応の制御	薬学部	教授	岩崎 剛	1,900,000
基盤研究(C)	抗がん剤分解のための高活性な可視光応答型光触媒の開発	薬学部	准教授	甲谷 繁	1,500,000
基盤研究(C)	慢性心不全における貧血と炎症に交感神経と酸化ストレスは関与するか	薬学部	教授	辻野 健	1,400,000
基盤研究(C)	サーモグラフィを看護業務に応用するための画像転送および判定システムの開発	薬学部	助手	芝田 宏美	2,200,000
基盤研究(C)	妊娠高血圧症候群予防のための妊娠期における睡眠教育が血圧に与える効果の検証	看護学部	准教授	岡田 公江	900,000
挑戦的萌芽研究	脳卒中片麻痺患者のトイレにおける下衣上げ下げ動作の再獲得過程の解明	リハビリテーション学部	講師	平上 尚吾	100,000
挑戦的萌芽研究	母親の語りは家庭内に埋もれた夫婦間の子育て問題に《光》をもたらし得るか	リハビリテーション学部	講師	有吉 正則	600,000
挑戦的萌芽研究	薬剤師の関与による薬剤投与補助器具の使用は患者QOLを改善させるか	薬学部	教授	天野 学	600,000
挑戦的萌芽研究	高齢女性尿失禁患者への快適で漏れないおむつ装着技術の開発	看護学部	教授	土田 敏恵	1,200,000
挑戦的萌芽研究	視線運動分析に基づく難易度の高い看護技術のトレーニングシステムの開発と評価	看護学部	教授	網島ひづる	800,000

研究種目	研 究 課 題 名	所属部局	職名	研究代表者	交付額(円)
若手研究(B)	老化制御シグナルによるタウリン欠乏センシング機構とサルコペニアにおける役割の解明	薬学部	講師	伊藤 崇志	800,000
若手研究(B)	患者講師による学内教育プログラムの開発に関する研究	リハビリテーション学部	講師	森 明子	400,000
若手研究(B)	高齢者の筋の同時活動戦略に着目した効率的姿勢制御機構の解明	リハビリテーション学部	講師	永井 宏達	600,000
若手研究(B)	医療提供体制が医療施設間競争に及ぼす影響に関する空間計量分析	共通教育センター	講師	西田喜平次	800,000
若手研究(B)	認知機能の維持・改善に対する新たな運動手法の確立	リハビリテーション学部	講師	宮本 俊朗	800,000
若手研究(B)	高品質トウキの安定供給を指向した育成環境構築と品質評価	薬学部	助教	岩岡恵実子	2,000,000
若手研究(B)	免疫細胞分化制御に関与するmicroRNAの機能解明と関節リウマチ治療への応用	薬学部	助手	森家 望	1,400,000
若手研究(B)	呼吸トレーニングによる妊婦の冷え改善および異常分娩予防効果	看護学部	講師	飯尾 祐加	2,100,000
若手研究(B)	TRPA1を標的とする漢方薬含有化合物データベースの構築とその薬理機序の解明	薬学部	助教	王 勝蘭	2,200,000
若手研究(B)	動作解析・筋活動分析を用いた変形性膝関節症の進行要因の解明	リハビリテーション学部	講師	塚越 累	800,000
合 計				35件	41,900,000

(iii) その他、平成26・27年度研究助成金・寄付金

その他財団法人および企業等からの受託研究、共同研究など学外研究費の取得については、平成26年度では取得件数10件、総額19,469,200円、平成27年度の取得件数は7件、総額42,389,571円であった。学外研究費の詳細な取得状況については表5～10に示す。

表5. 平成26年度研究助成金

財 団 名	所属部局	職名	研究代表者	助成額(円)
大阪ガスグループ福祉財団	リハビリテーション学部	講 師	宮本 俊朗	1,000,000
古川医療福祉設備振興財団	リハビリテーション学部	講 師	森 明子	1,350,000
古川医療福祉設備振興財団	リハビリテーション学部	講 師	森沢 知之	1,250,000
中富健康科学振興財団	リハビリテーション学部	講 師	永井 宏達	1,000,000
(社)日本私立看護系大学協会	看護学部	講 師	飯尾 祐加	300,000
(社)日本私立看護系大学協会	看護学部	准教授	岡田 公江	300,000
(社)日本理学療法士協会	リハビリテーション学部	講 師	森沢 知之	500,000
(社)日本損害保険協会	リハビリテーション学部	講 師	坂口 顕	820,000
合 計			8 件	6,520,000

表 6. 平成27年度研究助成金

財 団 名	所属部局	職 名	研究代表者	助成額 (円)
大阪ガスグループ福祉財団	リハビリテーション学部	講 師	森沢 知之	700,000
大阪ガスグループ福祉財団	リハビリテーション学部	教 授	野崎 園子	700,000
公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団	リハビリテーション学部	准教授	佐野 恭子	300,000
一般社団法人 古川医療福祉設備振興財団	リハビリテーション学部	講 師	塚越 累	1,300,000
一般社団法人 日本損害保険協会	リハビリテーション学部	講 師	塚越 累	840,000
合 計			5 件	3,840,000

表 7. 平成26年度受託研究

委託企業等	所属部局	職 名	研究代表者	委託費 (円)
(独) 医薬基盤研究所	薬学部	教 授	田中 明人	11,869,200
合 計			1 件	11,869,200

表 8. 平成27年度受託研究

委託企業等	所属部局	職 名	研究代表者	委託費 (円)
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	薬学部	教 授	田中 明人	37,399,571
合 計			1 件	37,399,571

表 9. 平成26年度共同研究

共同研究先企業等	所属部局	職 名	研究代表者	共同研究費 (円)
大正製薬(株)	薬学部	教 授	東 純一	3,000,000
合 計			1 件	3,000,000

表10. 平成27年度共同研究

共同研究先企業等	所属部局	職 名	研究代表者	共同研究費 (円)
サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社	共通教育センター	講 師	土江 伸誉	1,150,000
合 計			1 件	1,150,000

7) 教育・研究・社会活動における報道

表 1. 平成26年度 (平成26年4月～27年3月)

月 日	掲出媒体		掲 出 内 容	学 部	職 位	氏 名
5 月13日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ 4 大学連携講座 「親子相互作用とこころの発達」	看護学部	准教授	齋藤 雅子
5 月18日	読売	朝	5 月24日開催 (公開講座) 「知って得する薬剤師活用術」の案内			
5 月20日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ 4 大学連携講座 「気付きにくいCOPD」	看護学部	准教授	松本 麻里

月 日	掲出媒体		掲 出 内 容	学 部	職 位	氏 名
5月27日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「少子高齢社会の介護」	看護学部	准教授	堀口 和子
5月29日	産経	朝	6月8日開催 「薬剤師への道」の案内			
6月3日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「関節リウマチの治療」	看護学部	教 授	神崎 初美
6月6日	神戸	朝	「兵庫の大学へ行こう2015」兵庫医科大学や 病院と連携し次代の医療人を育成する兵庫医 療大学について掲載			
6月10日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「外来のがん患者増加」	看護学部	准教授	笹川 寿美
6月13日	神戸	朝	6月22日開催 「看護職への道」の案内			
7月26日	読売	朝	「大学の實力」において、兵庫医科大学と兵 庫医療大学の実績（2013年5月1日）が掲載			
8月29日	神戸	朝	災害時の対応や被災地支援のノウハウを学ぶ 研修会についてコメント掲載	総 務 G	事務員	有賀 悠歩
9月9日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「認知症と生活習慣病」	薬 学 部	教 授	安屋敷和秀
9月24日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「臨床系教員」	薬 学 部	教 授	天野 学
9月30日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「生活習慣病」	薬 学 部	教 授	清宮 健一
11月25日	産経	朝	兵庫医療大学の教育内容や学長挨拶		学 長	馬場 明道
11月29日	産経	朝	兵庫医療大学の薬学部の教育内容や学部長挨 拶	薬 学 部	教 授	西山 信好
12月2日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「大きな災害へ備える」	リハ学部	教 授	藤岡 宏幸
12月3日	神戸	朝	兵庫医療大学と神戸ポートピアホテルが共同 企画 「嚥下障害の人のためのランチ」	リハ学部	教 授	野崎 園子
12月9日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「防災グッズ」	リハ学部	教 授	山崎せつ子
12月16日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「大災害に負けない実践」	共通教育 センター	准教授	賀屋 光晴
12月24日	神戸	朝	災害医療に携わる専門家による阪神・淡路大 震災の経験	看護学部	教 授	神崎 初美
1月6日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「お薬に関心と愛着を！」	薬 学 部	教 授	前田 初男
1月17日	神戸	朝	災害時の衛生管理に関して、阪神・淡路大震 災や東日本大震災の避難所の様子について	看護学部	教 授	神崎 初美
2月3日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「減災のための心がけ」	看護学部	教 授	細見 明代
2月10日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「災害も病も自助共助必要 公助の限界」	看護学部	教 授	神崎 初美
2月17日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「災害の経験を日常生活に活かすこと」	薬 学 部	講 師	桂木 聡子
2月18日	産経	朝	2月27日開催 「看護ケア」の案内			

月 日	掲出媒体		掲 出 内 容	学 部	職 位	氏 名
2月24日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座 「災害時の弱者支援」	リハ学部	教 授	日高 正巳
3月23日	神戸	朝	3月29日開催 「未来医XPO'15 兵庫医療大学アカデミー ツアー」の案内			

表 2. 平成27年度（平成27年4月～28年3月）

月 日	掲出媒体		掲 出 内 容	学 部	職 位	氏 名
5月25日	神戸	朝	6月6日開催（公開講座） 「血圧が高いといわれたら」の案内			
6月1日	大学 Times	朝	「医療現場から見る大卒医療従事者の現状と 今後の展望」について掲載	看護学部	教 授	竹田千佐子
6月4日	神戸	朝	「兵庫の大学へ行こう2016」兵庫医科大学や 病院と連携して次代の医療人を育成する兵庫 医療大学について掲載			
6月25日	毎日	朝	キャンパス通信 ポーアイ4大学連携講座 「国際大会と理学療法士」	リハ学部	教 授	川口浩太郎
7月7日	毎日	朝	キャンパス通信 ポーアイ4大学連携講座 「身体活動量」	リハ学部	講 師	森沢 知之
7月14日	毎日	朝	キャンパス通信 ポーアイ4大学連携講座 「なぜ筋肉が重要か」	リハ学部	講 師	宮本 俊朗
7月28日	毎日	朝	キャンパス通信 ポーアイ4大学連携講座 「職場のうつ病」	リハ学部	教 授	松井 徳造
8月4日	毎日	朝	キャンパス通信 ポーアイ4大学連携講座 「障がい児童の支援」	リハ学部	講 師	有吉 正則
9月13日	産経	朝	9月12日に開催した公開講座「急病・災害時 に自助共助で近所の底力を発揮するための ノウハウ」について掲載	看護学部	教 授	神崎 初美
9月29日	毎日	朝	キャンパス通信 ポーアイ4大学連携講座 「低栄養 胎児に悪影響」	看護学部	准教授	岡田 公江
10月6日	毎日	朝	キャンパス通信 ポーアイ4大学連携講座 「子どもの虐待予防」	看護学部	准教授	石原 あや
10月11日	神戸	朝	ノーベル医学生理学賞の受賞が決まった大村 智・北里大学特別栄誉教授の教え子としてコ メントが掲載	薬 学 部	教 授	清宮 健一
10月20日	毎日	朝	キャンパス通信 ポーアイ4大学連携講座 「早期発見へ定期検診を」	看護学部	准教授	田中 登美
10月27日	毎日	朝	キャンパス通信 ポーアイ4大学連携講座 「その人らしく生きる」	看護学部	講 師	貞永千佳生
1月18日	産経	朝	阪神大震災の特集記事にて、震災2日後に生 まれ兵庫医療大の学生について掲載	看護学部	学 生	大橋 奈央
1月24日	関西 テレビ		「カンテレ通信」 兵庫医療大学の手話サークル「かめさん」が 出場した「ソーシャルパフォーマンス5 手 話エンターテインメント ～With Festa 15～」 の様子が放送	手 話 サークル		学 生
1月29日	神戸 朝日 産経 毎日 読売	朝	兵庫医科大学と兵庫医療大学の新学長就任に 関する記事が掲載			

月 日	掲出媒体		掲 出 内 容	学 部	職 位	氏 名
2月3日	NHK 総合		「ためしてガッテン」 「あなたのせきをチェック！止め方&見分け方SP」において、たんを出しやすくする新しい方法”パフイング”について、放送	リハビリテーション学部 理学療法学科	教 授 (学科長)	玉木 彰
2月16日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ 4 大学連携講座 「健康食品で不健康に!？」	薬 学 部	教 授 (学部長)	西山 信好
2月23日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ 4 大学連携講座 「関節リウマチ」	薬 学 部	教 授	岩崎 剛
3月1日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ 4 大学連携講座 「サイエンスの使命」	薬 学 部	教 授	上田 晴康
3月8日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ 4 大学連携講座 「消毒剤をうまく使おう」	薬 学 部	准教授	前田 拓也
3月12日	神戸	朝	「ひょうごの医療」コーナーにて、心臓リハビリについて掲載	リハ学部	講 師	森沢 知之
3月15日	毎日	朝	キャンパス通信ボーアイ 4 大学連携講座 「家電に活用・薬も可能性」	薬 学 部	准教授	甲谷 繁
3月16日	産経	朝	妊婦の超音波診断のメリット・デメリットについて	看護学部	教 授	鈴井江三子

8) 学術講演会等（学術講演会、全学教職員集会）

i) 概要

学術講演会は、兵庫医療大学における3学部と共通教育センターにより教員の研究面での交流を深めるため、情報交換を行いお互いに相手を知ることが重要である趣旨から、当初より学部交代で開催することとし継続している。平成26・27年度の兵庫医療大学学術講演会の活動状況の詳細を表1に示す。

ii) 活動状況

表1. 学術講演会

【平成26年度】

回	開催日	場所	講演テーマ	講演担当	参加者
第1回	10月2日(木)	オクタホール	大地の動きから探る南海トラフ巨大地震	京都大学 防災研究所 准教授 西村卓也	120名
第2回	10月9日(木)	M113	産学連携による「ふきん絞り器」開発の過程と性能評価調査	兵庫医療大学 看護学部 教授 神崎初美	34名
第3回	12月25日(木)	M203	薬と嚥下障害 —医師と薬学*看護*リハビリの連携—	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 教授 野崎園子	40名
第4回	2月27日(金)	オクタホール	「基礎となる看護ケアの再生と再定義」 —患者と看護師とのケアリング形成に与える影響因子—	オーストラリア 国立アデレード大学 看護学部長 Alison Lydia Kitson, PhD	210名

【平成27年度】

回	開催日	場所	講演テーマ	講演担当	参加者
第1回	10月22日(木)	オクタホール	『サルコペニアと生活習慣病』 ～健やかな100歳を迎えるためには～	第二協立病院 院長 福田能啓	271名
第2回	11月8日(日)	M112	これからの「薬剤師活用法」 ～かかりつけ薬剤師の見つけ方～	神戸大学医学部附属病院 薬剤部長 平井みどり	105名
第3回	11月16日(月)	M111	「天然物ケミカルバイオロジーによる高等 生物遺伝子発現機構の解明」	理化学研究所基幹研究所 部門長 吉田稔	40名
第4回	3月5日(土)	オクタホール	『「熟年夫婦の体調不良“夫源病”」 ～こんな私に誰がした～』	大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 教授 石蔵文信	150名
第5回	3月18日(金)	オクタホール	「地方・小規模大学の教職/地学一体の 大学・教育改革」 ～共愛学園 前橋国際大学が取り組む GGJ・AP・COC・COC+～	共愛学園前橋国際大学 副学長 大森昭生	139名

兵庫医療大学全学教職員集会

i) 概要

全学教職員集会は、大学の教育や運営における全学的な取り組みを推進する目的で毎年2回実施している。

ii) 活動状況

【平成26年度】

司会者：副学長 前田初男

回	開催日	場所	内 容	担当者
第1回	4月3日(木)	M113	1. 新任教員の紹介	
			2. 今年度の重要課題、「教育の質の転換」に向けた取り組み	学長 馬場 明道
			3. 学部・研究科等の現状と展望	薬学部長・大学院薬学科長 西山信好
				看護学部長 竹田千佐子
				大学院看護学研究科長 網島ひづる
				リハビリテーション学部長・ 大学院医療科学研究科長 藤岡宏幸
				共通教センター長 伊東久男

司会者：副学長 前田初男

回	開催日	場所	内 容	担当者
第 2 回	12月26日(金)	M113	全体説明	学長 馬場明道
			1.「学校教育法等改正の考え方について」	ゼネラルマネージャー 岩佐義久
			2.「教育の諸問題等について」	副学長 末廣謙
			3.「社会学連携と研究推進について」	副学長 前田初男
			4.「同窓会設立・キャリア支援・保護者会について」	副学長 藤田幸久
			5.「地域連携実践センターの地域貢献活動について」	地域連携実践センター長 清宮健一

【平成27年度】

司会者：ゼネラルマネージャー 岩佐義久

回	開催日	場所	内 容	担当者
第 1 回	4月3日(日)	M113	1. 新任執行部メンバー、新任教員とあいさつ	副学長 藤岡宏幸 地域連携実践センター長 神崎初美
			2.「兵庫医療大3ヵ年計画の進捗と今後の展望」	学長 馬場明道
			3. 学部・研究科の課題と取り組み状況	薬学部長・大学院研究科長 西山信好
				看護学部長 網島ひづる
				リハビリテーション学部長 山崎せつ子
			4. 教育におけるアクションプラン ・授業評価と「ベストレクチャー賞」 ・学生カルテを用いた履修支援制度	共通教育センター長 伊東久男
				副学長 末廣謙
			フリーディスカッション	

司会者：ゼネラルマネージャー 岩佐義久

回	開催日	場所	内 容	担当者
第 2 回	12月22日(火)	オクタ ホール	1.「神戸の都心の未来の姿〔将来ビジョン〕および三宮周辺地区の『再整備基本構想』の策定について」	神戸市住宅都市局 計画部計画課 将来ビジョン推進担当係長 秋田大介
			2.「大学運営3年間の総括について」	学長 馬場明道
			3.「平成27年度私立大学等改革総合支援事業に係る採択について」 ・タイプ1 ・タイプ2・3	副学長 末廣謙 副学長 前田初男

Ⅲ 管理・運営活動

1. 学生の受け入れ

1) 入学試験状況

i) 概要

平成27年度入学試験、平成28年度入学試験の日程および募集人員等は次のとおりである。平成27・28年度入学試験の結果については、表1～10に示す。

(1) 平成27年度入学試験

①推薦入学試験（専願公募制）

募集人員：薬学部 20名

看護学部 25名

リハビリテーション学部理学療法学科 10名

リハビリテーション学部作業療法学科 13名

選抜方法：薬学部（外国語、理科、調査書）

看護学部・リハビリテーション学部（外国語、小論文、調査書）

試験日：平成26年11月1日（土）

合格発表日：平成26年11月11日（火）

②推薦入学試験（薬学部指定校推薦入学制度）

募集人員：薬学部 10名

合格発表日：平成26年11月11日（火）

③推薦入学試験（公募制A日程）

募集人員：薬学部 15名

看護学部 10名

選抜方法：薬学部（外国語、理科、調査書）

看護学部（外国語、調査書）

試験日：平成26年11月2日（日）

合格発表日：平成26年11月11日（火）

④推薦入学試験（公募制B日程）

募集人員：薬学部 10名

選抜方法：薬学部（理科、調査書）

試験日：平成26年11月29日（土）

合格発表日：平成26年12月5日（金）

⑤一般入学試験（前期A日程）

募集人員：薬学部 35名

リハビリテーション学部理学療法学科 20名

リハビリテーション学部作業療法学科 17名

選抜方法：薬学部（外国語、数学、理科）

リハビリテーション学部理学療法学科（外国語、数学、理科）

リハビリテーション学部作業療法学科（外国語、国語、理科）

試験日：平成27年1月29日（木）

合格発表日：平成27年2月6日（金）

⑥一般入学試験（前期日程）

募集人員：看護学部 50名

選抜方法：看護学部（外国語、国語、理科）

試験日：平成27年1月30日（金）

合格発表日：平成27年2月6日（金）

⑦一般入学試験（前期B日程）

募集人員：薬学部 25名

リハビリテーション学部理学療法学科 8名

リハビリテーション学部作業療法学科 8名

選抜方法：薬学部（外国語、理科）

リハビリテーション学部理学療法学科（外国語、数学）

リハビリテーション学部作業療法学科（外国語、数学）

試験日：平成27年1月30日（金）

合格発表日：平成27年2月6日（金）

⑧一般入学試験（前期C日程）

募集人員：薬学部 15名

選抜方法：薬学部（外国語、数学、理科）

試験日：平成27年2月15日（日）

合格発表日：平成27年2月20日（金）

⑨一般入学試験（後期日程）

募集人員：薬学部 10名

看護学部 7名

選抜方法：薬学部（外国語、理科）

看護学部（外国語、国語、理科）

試験日：平成27年2月28日（土）

合格発表日：平成27年3月6日（金）

⑩大学入試センター試験利用入学試験（前期日程）

募集人員：薬学部 7名

看護学部 6名

リハビリテーション学部理学療法学科 2名

リハビリテーション学部作業療法学科 2名

選抜方法：薬学部（外国語、理科）

看護学部（外国語、国語、理科）

リハビリテーション学部理学療法学科（外国語、数学、理科、国語）

リハビリテーション学部作業療法学科（外国語、数学、理科、国語）

試験日：本学独自の学力試験はなし

合格発表日：平成27年2月6日（金）

⑪大学入試センター試験利用入学試験（後期日程）

募集人員：薬学部 3名

看護学部 3名

選抜方法：薬学部（理科）

看護学部（外国語、国語、理科）

試 験 日：本学独自の学力試験はなし

合格発表日：平成27年 3 月25日（水）

表 1．平成27年度薬学部推薦入学試験

薬 学 部	専願公募制	指定校推薦	公募制 A 日程	公募制 B 日程	計
募 集 人 員	20	10	15	10	55
出 願 者 数	52	7	221	100	380
受 験 者 数	51	7	220	100	378
合 格 者 数	20	7	58	22	107
入 学 者 数	20	6	25	14	65

表 2．平成27年度薬学部一般入学試験

薬 学 部	一般入試				大学入試センター試験利用		計
	前期 A 日程	前期 B 日程	前期 C 日程	後期日程	前期日程	後期日程	
募 集 人 員	35	25	15	10	7	3	95
出 願 者 数	392	213	186	156	61	4	1,012
受 験 者 数	380	207	173	147	60	4	971
合 格 者 数	106	46	25	29	12	3	221
入 学 者 数	31	18	16	17	4	2	88

表 3．平成27年度看護学部推薦入学試験・一般入学試験

看 護 学 部	推薦入試		一般入試		大学入試センター試験利用		計
	専願公募制	公募制 A	前期日程	後期日程	前期日程	後期日程	
募 集 人 員	25	10	50	7	5	3	100
出 願 者 数	184	319	425	75	63	11	1,077
受 験 者 数	184	318	416	73	62	11	1,064
合 格 者 数	26	37	118	8	11	5	205
入 学 者 数	26	20	51	6	0	1	104

表 4．平成27年度リハビリテーション学部理学療法学科推薦入学試験・一般入学試験

リハビリテーション学部 理 学 療 法 学 科	推薦入学試験	一般入学試験		大学入試センター 試験利用前期日程	計
	専願公募制	前期 A 日程	前期 B 日程		
募 集 人 員	10	20	8	2	40
出 願 者 数	122	193	153	40	508
受 験 者 数	122	193	152	40	507
合 格 者 数	12	46	23	9	90
入 学 者 数	12	25	9	0	46

表 5. 平成27年度リハビリテーション学部作業療法学科推薦入学試験・一般入学試験

リハビリテーション学部 理 学 療 法 学 科	推薦入学試験	一般入学試験		大学入試センター 試験利用前期日程	計
	専願公募制	前期 A 日程	前期 B 日程		
募 集 人 員	13	17	8	2	40
出 願 者 数	48	54	62	21	185
受 験 者 数	48	53	60	21	182
合 格 者 数	13	30	23	6	72
入 学 者 数	13	19	11	1	44

(2) 平成28年度入学試験

①推薦入学試験（専願公募制）

募 集 人 員：薬学部 20名

看護学部 25名

リハビリテーション学部理学療法学科 10名

リハビリテーション学部作業療法学科 13名

選 抜 方 法：薬学部（外国語、理科、調査書）

看護学部・リハビリテーション学部（外国語、小論文、調査書）

試 験 日：平成27年11月3日（火・祝）

合格発表日：平成27年11月10日（火）

②推薦入学試験（薬学部指定校推薦入学制度）

募 集 人 員：薬学部 10名

合格発表日：平成27年11月10日（火）

③推薦入学試験（公募制 A 日程）

募 集 人 員：薬学部 15名

看護学部 10名

選 抜 方 法：薬学部（外国語、理科、調査書）

看護学部（外国語、調査書）

試 験 日：平成27年11月1日（日）

合格発表日：平成27年11月10日（火）

④推薦入学試験（公募制 B 日程）

募 集 人 員：薬学部 10名

選 抜 方 法：薬学部（理科、調査書）

試 験 日：平成27年11月28日（土）

合格発表日：平成27年12月4日（金）

⑤一般入学試験（前期 A 日程）

募 集 人 員：薬学部 35名

リハビリテーション学部理学療法学科 20名

リハビリテーション学部作業療法学科 17名

選 抜 方 法：薬学部（外国語、数学、理科）

リハビリテーション学部理学療法学科（外国語、数学、理科）

リハビリテーション学部作業療法学科（外国語、国語、理科）

試 験 日：平成28年1月28日（木）

合格発表日：平成28年2月5日（金）

⑥一般入学試験（前期日程）

募集人員：看護学部 50名

選抜方法：看護学部（外国語、国語、理科）

試験日：平成28年1月29日（金）

合格発表日：平成28年2月5日（金）

⑦一般入学試験（前期B日程）

募集人員：薬学部 25名

リハビリテーション学部理学療法学科 8名

リハビリテーション学部作業療法学科 8名

選抜方法：薬学部（外国語、理科）

リハビリテーション学部理学療法学科（外国語、数学）

リハビリテーション学部作業療法学科（外国語、数学）

試験日：平成28年1月29日（金）

合格発表日：平成28年2月5日（金）

⑧一般入学試験（前期C日程）

募集人員：薬学部 15名

選抜方法：薬学部（外国語、数学、理科）

試験日：平成28年2月14日（日）

合格発表日：平成28年2月19日（金）

⑨一般入学試験（後期日程）

募集人員：薬学部 10名

看護学部 7名

選抜方法：薬学部（外国語、理科）

看護学部（外国語、国語、理科）

試験日：平成28年2月27日（土）

合格発表日：平成28年3月4日（金）

⑩大学入試センター試験利用入学試験（前期日程）

募集人員：薬学部 7名

看護学部 5名

リハビリテーション学部理学療法学科 2名

リハビリテーション学部作業療法学科 2名

選抜方法：薬学部（外国語、理科）

看護学部（外国語、国語、理科）

リハビリテーション学部理学療法学科（外国語、数学、理科、国語）

リハビリテーション学部作業療法学科（外国語、数学、理科、国語）

試験日：本学独自の学力試験はなし

合格発表日：平成28年2月5日（金）

⑪大学入試センター試験利用入学試験（後期日程）

募集人員：薬学部 3名

看護学部 3名

選抜方法：薬学部（理科）

看護学部（外国語、国語、理科）

試験 日：本学独自の学力試験はなし

合格発表日：平成28年 3 月25日（金）

表 6．平成28年度推薦入学試験

薬 学 部	専願公募制	指定校推薦	公募制 A 日程	公募制 B 日程	計
募集人員	20	10	15	10	55
出願者数	96	5	282	141	524
受験者数	96	5	279	138	518
合格者数	28	5	77	29	139
入学者数	27	5	18	22	72

表 7．平成28年度一般入学試験

薬 学 部	一般入試				大学入試センター試験利用		計
	前期 A 日程	前期 B 日程	前期 C 日程	後期日程	前期日程	後期日程	
募集人員	35	25	15	10	7	3	95
出願者数	383	237	161	159	29	2	971
受験者数	380	235	155	155	28	2	955
合格者数	117	70	26	32	7	1	253
入学者数	29	21	15	15	0	1	81

表 8．平成28年度推薦入学試験・一般入学試験

看護学部	推薦入試		一般入試		大学入試センター試験利用		計
	専願公募制	公募制 A	前期日程	後期日程	前期日程	後期日程	
募集人員	25	10	50	7	5	3	100
出願者数	173	315	430	73	59	10	1,060
受験者数	172	314	425	70	59	10	1,050
合格者数	26	42	126	8	13	3	218
入学者数	26	22	59	6	2	1	116

表 9．平成28年度推薦入学試験・一般入学試験

リハビリテーション学部 理 学 療 法 学 科	推薦入学試験	一般入学試験		大学入試センター 試験利用前期日程	計
	専願公募制	前期 A 日程	前期 B 日程		
募集人員	10	20	8	2	40
出願者数	93	181	143	35	452
受験者数	93	180	143	34	450
合格者数	13	43	25	9	90
入学者数	13	21	13	1	48

表10. 平成28年度推薦入学試験・一般入学試験

リハビリテーション学部 理 学 療 法 学 科	推薦入学試験	一般入学試験		大学入試センター 試験利用前期	計
	専願公募制	前期 A 日程	前期 B 日程		
募 集 人 員	13	17	8	2	40
出 願 者 数	48	58	54	16	176
受 験 者 数	48	57	54	16	175
合 格 者 数	13	29	25	5	72
入 学 者 数	13	18	10	1	42

2) 学生数の修学状況

表 1. 平成26年度学生数（4月1日現在）

学 部	学 科	第1 学年次	第2 学年次	第3 学年次	第4 学年次	第5 学年次	第6 学年次	計
薬 学 部	医療薬学科	168	202	162	133	101	174	940
看 護 学 部	看護学科	108	106	102	103	—	—	419
リハビリテー ション学部	理学療法学科	46	44	42	47	—	—	179
	作業療法学科	49	51	48	47	—	—	195
計		371	403	354	330	101	174	1,733

表 2. 平成27年度学生数（4月1日現在）

学 部	学 科	第1 学年次	第2 学年次	第3 学年次	第4 学年次	第5 学年次	第6 学年次	計
薬 学 部	医療薬学科	161	185	150	150	119	139	904
看 護 学 部	看護学科	108	109	98	99	—	—	414
リハビリテー ション学部	理学療法学科	47	45	42	41	—	—	175
	作業療法学科	46	47	54	47	—	—	194
計		362	386	344	337	119	139	1,687

3) 入学試験関連の広報活動

■平成26年度 会場進学相談会一覧

	開催日	ガイダンス名称	主催業者名	都道府県	会 場	担当スタッフ
1	2014-04-13	ココロとカラダを考える進学相談会2014 (大阪北会場)	ライオン企画	大阪府	梅田スカイビル	赤井一之/松原洋平/ 館谷聖子
2	2014-04-15	マイナビ進学FESTA（岡山会場）	マイナビ	岡山県	岡山コンベンショ ンセンター	南部拓也/中原由貴
3	2014-04-16	篠山地区合同ガイダンス	昭栄広報	兵庫県	篠山市民センター	赤井一之
4	2014-04-19	看護系学校合同説明会in中・西播磨	東山学館	兵庫県	イーグレひめじ	赤井一之/加藤律子

	開催日	ガイダンス名称	主催業者名	都道府県	会 場	担当スタッフ
5	2014-04-20	ココロとカラダを考える進学相談会2014 (神戸会場)	ライオン企画	兵庫県	三宮研修センター	南部拓也/中西智子
6	2014-04-22	医歯薬・看護・医療系進学相談会(天王寺)	さんぽう	大阪府	天王寺都ホテル	松原洋平/飴谷聖子
7	2014-04-26	医歯薬・看護・医療系進学相談会(高松)	さんぽう	香川県	サンポートホール 高松	中原由貴
8	2014-04-28	会場形式進学相談会(福山)	さんぽう	広島県	福山ニューキャッ スルホテル	南部拓也
9	2014-04-30	明石地区合同ガイダンス	昭栄広報	兵庫県	明石市立産業交流 センター	播磨麻美
10	2014-05-07	三田地区合同ガイダンス	昭栄広報	兵庫県	キッピーモール	飴谷聖子
11	2014-05-08	大学・短期大学進学相談会(岡山)	栄美通信	岡山県	岡山コンベンショ ンセンター	中西智子
12	2014-05-10	ココロとカラダを考える進学相談会2014 (京都会場)	ライオン企画	京都府	メルパルク京都	南部拓也
13	2014-05-10	医歯薬・看護・医療系進学相談会(神戸)	さんぽう	兵庫県	神戸国際会館	中西智子/播磨麻美
14	2014-05-11	ココロとカラダを考える進学相談会2014 (大阪南会場)	ライオン企画	大阪府	天王寺MIO	松原洋平/飴谷聖子
15	2014-05-28	大学・短期大学進学相談会(姫路)	栄美通信	兵庫県	ホテル日航姫路	中西智子/播磨麻美
16	2014-05-29	大学・短期大学進学相談会(福山)	栄美通信	広島県	福山ニューキャッ スルホテル	飴谷聖子
17	2014-05-30	大学・短期大学進学相談会(奈良)	栄美通信	奈良県	なら100年会館	松原洋平
18	2014-06-03	看護・医療系 進学相談会(明石会場)	ケーホウ	兵庫県	明石市生涯学習 センター	赤井一之/高倉徹
19	2014-06-03	大学・短期大学進学相談会(高松)	栄美通信	香川県	JRホテルクレメン ト高松	飴谷聖子
20	2014-06-06	看護・医療系 進学説明会(姫路会場)	ケーホウ	兵庫県	じばさんセンター	飴谷聖子
21	2014-06-08	第18回薬学部進学説明会	秋田県薬剤師会	秋田県	秋田県総合保健セ ンター2F大会議室	藤野秀樹
22	2014-06-11	大学・短期大学進学相談会(高知)	栄美通信	高知県	ザ クラウンパレス 新阪急高知	松原洋平
23	2014-06-12	大学・短期大学進学相談会(徳島)	栄美通信	徳島県	ホテルクレメント 徳島	松原洋平
24	2014-06-15	医歯薬・看護・医療系進学相談会(梅田)	さんぽう	大阪府	梅田スカイビルタ ワーウエスト	松原洋平/加藤律子
25	2014-06-16	会場形式進学相談会(堺)	さんぽう	大阪府	堺市産業振興セン ター	高倉 徹
26	2014-06-18	看護・医療系 進学相談会(住吉会場)	昭栄広報	大阪府	住吉区民センター	高倉 徹
27	2014-06-21	医歯薬・看護・医療系進学相談会(岡山)	さんぽう	岡山県	岡山国際交流 センター	松原洋平
28	2014-06-21	医歯薬・看護・医療系進学相談会(姫路)	さんぽう	兵庫県	じばさんビル	飴谷聖子/播磨麻美
29	2014-06-21	夢ナビライブ2014	フロムページ	大阪府	インテックス大阪	南部拓也/中原由貴/ 高倉徹/中西智子
30	2014-06-21	薬学部進学相談会	貿易広告社	大阪府	梅田スカイビル タワーウエスト	赤井一之/加藤律子
31	2014-06-23	看護・医療系 進学相談会(姫路会場)	昭栄広報	兵庫県	じばさんびる	南部拓也
32	2014-06-24	大学・短期大学進学相談会(神戸)	栄美通信	兵庫県	生田神社会館	高倉 徹/中西智子
33	2014-06-25	看護・医療系 進学相談会(神戸会場)	昭栄広報	兵庫県	生田神社会館	加藤律子
34	2014-06-28	医歯薬・看護・医療系進学相談会(広島)	さんぽう	広島県	広島サンプラザ	南部拓也
35	2014-07-07	高等学校教員対象 大学タイムズセミナー	さんぽう	大阪府	大阪マーチャング イズマートOMMビル	赤井一之
36	2014-07-11	学び博(明石)	さんぽう	兵庫県	明石市立産業交流 センター	中原由貴
37	2014-07-11	学び博(明石)	さんぽう	兵庫県	明石市立産業交流 センター	飴谷聖子
38	2014-07-12	医療系学部・大学セミナー&進学ガイ ダンス	広告社	大阪府	梅田スカイビル タワーウエスト	南部拓也/播磨麻美
39	2014-07-12	学び博(南大阪)	さんぽう	大阪府	波切ホール	飴谷聖子

	開催日	ガイダンス名称	主催業者名	都道府県	会 場	担当スタッフ
40	2014-07-12	看護医療系学校合同説明会	東京アカデミー	兵庫県	東京アカデミー 神戸校	中西智子
41	2014-07-13	大学フェア（大阪会場）	ライオン企画	大阪府	グランフロント大 阪コングレコンベン ションセンター	中原由貴／高倉徹
42	2014-07-15	マイナビ進学FESTA（大阪会場）	マイナビ	大阪府	インテックス大阪	南部拓也／中原由貴／ 高倉 徹
43	2014-07-18	東加古川地区合同ガイダンス	昭栄広報	兵庫県	加古川総合文化 センター	播磨麻美
44	2014-07-20	全国国公立・有名私大相談会2014	大学通信	大阪府	大阪・ 大阪国際会議場	南部拓也／播磨麻美
45	2014-07-25	高松高等予備校主催進学ガイダンス	ア ス ミ ル（旧： ヒューマンステージ）	香川県	高松高等予備校 （藤塚校舎）	南部拓也／中原由貴
46	2014-07-26	看護系進学相談会	兵庫県看護協会	兵庫県	兵庫県看護協会	松原洋平
47	2014-07-27	薬学進学セミナー	社団法人和歌山 薬剤師会	和歌山県	和歌山ビッグ愛	藤野秀樹
48	2014-09-07	大学・短期大学進学相談会（天王寺）	栄美通信	大阪府	天王寺	赤井一之／松原洋平
49	2014-09-10	医歯薬・看護医療系進学相談会（天王寺）	さんぽう	大阪府	あべのハルカス	中原由貴／高倉 徹
50	2014-09-10	会場ガイダンス（須磨会場）	ライセンス アカデミー	兵庫県	須磨パティオ 健康館	飴谷聖子
51	2014-09-11	大学・短期大学進学相談会（姫路）	栄美通信	兵庫県	ホテル日航姫路	南部拓也／中西智子
52	2014-09-17	大学・短期大学進学相談会（高松）	栄美通信	香川県	アルファあなぶき ホール	高倉 徹
53	2014-09-19	大学・短期大学進学相談会（広島）	栄美通信	広島県	基町クレド	南部拓也
54	2014-09-22	大学・短期大学進学相談会（福山）	栄美通信	広島県	福山ニューキャッ スルホテル	中西智子
55	2014-09-28	看護・医療系 5 大学合同入試相談会	看護・医療系大学 入試広報連絡会	兵庫県	兵庫医療大学	赤井一之／中原由貴／ 松原洋平／飴谷聖子
56	2014-09-30	大学・短期大学進学相談会（岡山）	栄美通信	岡山県	岡山コンベンシ ョンセンター	中原由貴
57	2014-10-04	全国医歯薬科大学受験相談会	代々木ゼミナ ール	大阪府	大阪城ホール東側 城見ホール	高倉 徹
58	2014-10-10	看護・医療系 進学説明会（姫路会場）	ケーホウ	兵庫県	姫路・西はりま地 場産業センター	南部拓也
59	2014-10-29	看護・医療系 進学相談会（西宮会場）	昭栄広報	兵庫県	西宮市民会館	中西智子
60	2014-11-14	看護・医療系 進学相談会（奈良会場）	昭栄広報	奈良県	奈良商工会議所	高倉 徹
61	2014-11-14	大学・短期大学進学相談会（高松）	栄美通信	香川県	高松商工会議所	中西智子
62	2014-11-19	大学・短期大学進学相談会（岡山）	栄美通信	岡山県	岡山コンベンシ ョンセンター	中原由貴
63	2014-11-20	看護・医療系 進学相談会（泉南会場）	昭栄広報	大阪府	貝塚市民会館	高倉 徹
64	2014-11-20	大学・短期大学進学相談会（広島）	栄美通信	広島県	基町クレド	南部拓也
65	2014-11-21	大学・短期大学進学相談会（福山）	栄美通信	広島県	福山商工会議所	南部拓也
66	2014-12-10	看護・医療系 進学相談会（京都会場）	昭栄広報	京都府	メルパルク京都	高倉 徹
67	2014-12-11	看護・医療系 進学相談会（堺会場）	昭栄広報	大阪府	堺商工会議所	中西智子
68	2014-12-16	大学入試・入学説明会	ライセンス アカデミー	兵庫県	姫路じばさんビル	播磨麻美
69	2014-12-18	看護・医療系 進学相談会（和歌山会場）	昭栄広報	和歌山県	和歌山JAビル	中西智子
70	2014-12-19	看護・医療系 進学相談会（高槻会場）	昭栄広報	大阪府	高槻	高倉 徹
71	2014-12-22	高砂地区合同ガイダンス	昭栄広報	兵庫県	高砂市福祉保健 センター	高倉 徹
72	2015-02-03	合同進学説明会（須磨会場）	ライセンス アカデミー	兵庫県	須磨パティオ健康 館	中西智子
73	2015-02-13	尼崎地区進学相談会	昭栄広報	兵庫県	尼崎市中小企業 センター	播磨麻美
74	2015-02-16	合同進学説明会（姫路会場）	ライセンス アカデミー	兵庫県	姫路・西はりま 地場産業センター	南部拓也
75	2015-02-17	合同進学説明会（三宮会場）	ライセンス アカデミー	兵庫県	生田神社会館	高倉 徹

	開催日	ガイダンス名称	主催業者名	都道府県	会 場	担当スタッフ
76	2015-02-19	鈴蘭台地区合同ガイダンス	昭栄広報	兵庫県	すずらんホール	中西智子
77	2015-03-05	宝塚地区合同ガイダンス	昭栄広報	兵庫県	アピアホール	播磨麻美
78	2015-03-09	看護・医療系 進学相談会（伊丹会場）	昭栄広報	兵庫県	いたみホール	播磨麻美
79	2015-03-10	看護・医療系 進学相談会（大阪会場）	昭栄広報	大阪府	難波御堂筋ホール	播磨麻美
80	2015-03-14	阪神南圏域における看護系大学・看護学校進学セミナー	兵庫県看護協会	兵庫県	西宮市庁舎東館 8階	中西智子
81	2015-03-15	看護系大学進学相談会	貿易広告社	大阪府	グランフロント大阪 ナレッジキャピタル コングレコンベン ションセンター	松原洋平 / 木下裕加子
82	2015-03-20	看護・医療系会場説明会（姫路）	ケーホウ	兵庫県	西播地域地場産業 振興センター	播磨麻美
83	2015-03-24	看護・医療系会場説明会（明石）	ケーホウ	兵庫県	明石生涯学習 センター	播磨麻美
84	2015-03-27	進学相談会（神戸会場）	さんぽう	兵庫県	神戸市産業振興 センター	播磨麻美

■平成26年度 高校内ガイダンス一覧

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
1	2014-04-15	姫路市立琴丘高等学校	学校別 / 3 年生	播磨麻美
2	2014-04-21	兵庫県立伊川谷高等学校	学校別 / 3 年生	播磨麻美
3	2014-04-23	兵庫県立西宮北高等学校	学校別 / 3 年生	松原洋平
4	2014-04-25	兵庫県立東播磨高等学校	学校別 / 3 年生	播磨麻美
5	2014-04-30	大阪府立山田高等学校	学校別オープン形式 / 3 年生	加藤律子
6	2014-05-13	兵庫県立北須磨高等学校	3 年生 / 薬学分野別	藤野秀樹
7	2014-05-14	兵庫県立三木東高等学校	模擬授業 / 2 年生 / リハビリテーション分野別	有吉正則
8	2014-05-15	金蘭会高等学校	学校別 / 3 年生 / 2 年生	加藤律子
9	2014-05-15	兵庫県立加古川南高等学校	学校別 / 3 年生	播磨麻美
10	2014-05-22	兵庫県立西宮高等学校	学校別 / 3 年生	松原洋平
11	2014-05-28	兵庫県立伊川谷北高等学校	学校別 / 3 年生	南部拓也
12	2014-05-28	兵庫県立尼崎北高等学校	学校別 / 3 年生	加藤律子
13	2014-05-29	兵庫県立北須磨高等学校	3 年生 / リハビリテーション分野別	有吉正則
14	2014-05-30	兵庫県立高砂南高等学校	学校別 / 3 年生	中原由貴 / 高倉 徹
15	2014-06-03	兵庫県立北須磨高等学校	3 年生 / リハビリテーション分野別	有吉正則
16	2014-06-05	兵庫県立北須磨高等学校	3 年生 / リハビリテーション分野別	宮本俊朗
17	2014-06-12	大阪高等学校	学校別 / 3 年生 / 薬学分野別	高倉徹
18	2014-06-13	松蔭高等学校	学校別 / 3 年生	松原洋平
19	2014-06-13	兵庫県立赤穂高等学校	学校別 / 3 年生 / 2 年生	南部拓也
20	2014-06-13	兵庫県立豊岡高等学校	薬学分野別 / 2 年生 / 1 年生	藤野秀樹
21	2014-06-18	兵庫県立香寺高等学校	学校別 / 3 年生	播磨麻美
22	2014-06-18	兵庫県立宝塚東高等学校	学校別 / 3 年生	赤井一之
23	2014-06-19	兵庫県立加古川南高等学校	2 年生 / 看護分野別	山田千春
24	2014-06-19	兵庫県立三田西陵高等学校	学校別 / 3 年生	中西智子
25	2014-06-20	神戸市立六甲アイランド高等学校	模擬授業 / 2 年生 / リハビリテーション分野別	坂口 顕
26	2014-06-24	兵庫県立北須磨高等学校	3 年生 / 2 年生 / 1 年生 / 看護分野別 / リハビリテーション分野別	藤岡宏幸
27	2014-06-24	兵庫県立北須磨高等学校	3 年生 / 看護分野別	西村明子
28	2014-06-25	滝川第二高等学校	学校別 / 3 年生	南部拓也
29	2014-06-25	兵庫県立伊丹高等学校	学校別 / 3 年生	中原由貴
30	2014-06-25	兵庫県立三木北高等学校	学校別 / 3 年生	中西智子
31	2014-06-25	兵庫県立宝塚西高等学校	1 年生 / 看護分野別 / 職業理解	鈴木みゆき
32	2014-06-26	姫路市立飾磨高等学校	学校別 / 3 年生	播磨麻美
33	2014-06-26	兵庫県立北須磨高等学校	2 年生 / 看護分野別	西村明子

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
34	2014-06-27	兵庫県立網干高等学校	学校別／3年生	播磨麻美
35	2014-06-30	芦屋学園高等学校	学校別オープン形式／3年生	高倉 徹
36	2014-07-04	福知山成美高等学校	1年生／看護・医療系	赤井一之
37	2014-07-07	兵庫県立川西明峰高等学校	学校別／3年生	高倉 徹
38	2014-07-08	兵庫県立柏原高等学校	学校別／3年生	中西智子
39	2014-07-09	兵庫県立川西緑台高等学校	模擬授業／2年生／薬学分野別	上田晴康
40	2014-07-10	愛徳学園高等学校	1年生／中学生／リハビリテーション分野別	奥谷 研
41	2014-07-10	大阪府立池田高等学校	2年生／看護分野別	田中登美
42	2014-07-10	兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校	学校別／3年生	播磨麻美
43	2014-07-10	兵庫県立西宮南高等学校	学校別／3年生	松原洋平
44	2014-07-10	兵庫県立明石北高等学校	1年生／リハビリテーション分野別	平上尚吾
45	2014-07-11	兵庫県立須磨友が丘高等学校	模擬授業／2年生／リハビリテーション分野別	坂本利恵
46	2014-07-11	兵庫県立生野高等学校	学校別／3年生	播磨麻美
47	2014-07-11	兵庫県立尼崎北高等学校	2年生／リハビリテーション分野別	奥谷 研
48	2014-07-11	兵庫県立明石清水高等学校	2年生／薬学分野別	青木俊二
49	2014-07-14	兵庫県立伊丹高等学校	1年生／リハビリテーション分野別	有吉正則
50	2014-07-14	兵庫県立猪名川高等学校	1年生／看護分野別	細見明代
51	2014-07-14	兵庫県立明石北高等学校	模擬授業／2年生	上田晴康
52	2014-07-14	兵庫県立有馬高等学校	2年生／リハビリテーション分野別	坂本 浩
53	2014-07-15	兵庫県立加古川北高等学校	学校別／3年生／2年生	播磨麻美
54	2014-07-15	兵庫県立高砂南高等学校	2年生／リハビリテーション分野別	平上尚吾
55	2014-07-15	兵庫県立神戸高塚高等学校	2年生／看護分野別	府川晃子
56	2014-07-15	兵庫県立神戸高塚高等学校	2年生／薬学分野別	上田晴康
57	2014-07-15	兵庫県立川西北陵高等学校	2年生／リハビリテーション分野別	坂本利恵
58	2014-07-16	兵庫県立芦屋高等学校	学校別／3年生	中原由貴
59	2014-07-16	兵庫県立神戸高塚高等学校	学校別／3年生	中西智子
60	2014-07-16	兵庫県立西宮甲山高等学校	学校別／3年生	松原洋平
61	2014-07-16	兵庫県立西脇高等学校	模擬授業／2年生／リハビリテーション分野別	山田大豪
62	2014-07-16	兵庫県立東播磨高等学校	2年生／リハビリテーション分野別	山崎せつ子
63	2014-07-16	兵庫県立宝塚高等学校	2年生／リハビリテーション分野別	坂本 浩
64	2014-07-17	兵庫県立尼崎高等学校	学校別／3年生	高倉 徹
65	2014-07-17	兵庫県立福崎高等学校	学校別／3年生	南部拓也
66	2014-07-22	姫路市立姫路高等学校	模擬授業／2年生／リハビリテーション分野別	坂本 浩
67	2014-07-22	兵庫県立明石城西高等学校	1年生／リハビリテーション分野別	櫛辺 勇
68	2014-09-08	兵庫県立明石清水高等学校	1年生／リハビリテーション分野別	山田大豪
69	2014-09-11	伊丹市立伊丹高等学校	1年生／看護・医療系	奥谷 研
70	2014-09-17	兵庫県立西宮北高等学校	模擬授業／1年生／薬学分野別	青木俊二
71	2014-09-18	兵庫県立伊丹高等学校	2年生／リハビリテーション分野別	奥谷 研
72	2014-09-26	兵庫県立尼崎稲園高等学校	1年生／薬学分野別／職業理解	上田晴康
73	2014-09-26	夢野台高等学校	模擬授業／2年生／看護・医療系	中原由貴
74	2014-09-29	兵庫県立柏原高等学校	模擬授業／3年生／2年生／1年生／薬学分野別	藤野秀樹
75	2014-10-01	西宮市立西宮東高等学校	2年生／1年生／リハビリテーション分野別	櫛辺 勇
76	2014-10-08	兵庫県立神戸甲北高等学校	模擬授業／1年生／薬学分野別	青木俊二
77	2014-10-17	福知山成美高等学校	模擬授業／2年生／薬学分野別	青木俊二
78	2014-10-17	兵庫県立相生高等学校	2年生／1年生／看護分野別	岡野明美
79	2014-10-17	兵庫県立相生高等学校	2年生／1年生／リハビリテーション分野別	坂口 顕
80	2014-10-27	兵庫県立伊川谷高等学校	合同相談会／1年生	播磨麻美
81	2014-10-27	兵庫県立東播磨高等学校	2年生／薬学分野別	青木俊二
82	2014-10-31	兵庫県立網干高等学校	模擬授業／2年生／リハビリテーション分野別	有吉正則
83	2014-11-05	兵庫県立尼崎小田高等学校	模擬授業／2年生／1年生／リハビリテーション分野別	櫛辺 勇
84	2014-11-13	姫路市立飾磨高等学校	学校別／2年生	播磨麻美
85	2014-11-14	兵庫県立高砂南高等学校	1年生／リハビリテーション分野別	坂本利恵

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
86	2014-11-17	芦屋学園高等学校	1年生/リハビリテーション分野別	有吉正則
87	2014-11-17	姫路市立琴丘高等学校	2年生/1年生/薬学分野別	青木俊二
88	2014-11-19	兵庫県立三木北高等学校	模擬授業/2年生/薬学分野別	青木俊二
89	2014-11-20	金蘭会高等学校	1年生/看護分野別	播磨麻美
90	2014-11-20	松蔭高等学校	学校別/2年生	中西智子
91	2014-11-20	神戸市立葺合高等学校	模擬授業/2年生/1年生/薬学分野別	上田晴康
92	2014-11-20	兵庫県立芦屋高等学校	模擬授業/2年生/1年生/リハビリテーション分野別	坂本 浩
93	2014-11-27	兵庫県立尼崎稲園高等学校	2年生/看護・医療系	山田千春
94	2014-12-09	兵庫県立西宮今津高等学校	模擬授業/1年生/リハビリテーション分野別	佐野恭子
95	2014-12-10	兵庫県立有馬高等学校	2年生/リハビリテーション分野別	有吉正則
96	2014-12-15	兵庫県立福崎高等学校	模擬授業/2年生/薬学分野別	上田晴康
97	2014-12-15	兵庫県立宝塚東高等学校	学校別/2年生/薬学分野別/看護・医療系	南部拓也
98	2014-12-17	兵庫県立高砂南高等学校	模擬授業/2年生/リハビリテーション分野別	山田大豪
99	2014-12-17	兵庫県立三田西陵高等学校	1年生/リハビリテーション分野別	平上高吾
100	2014-12-17	兵庫県立西宮南高等学校	模擬授業/1年生/薬学分野別	藤野秀樹
101	2014-12-17	兵庫県立津名高等学校	模擬授業/2年生/1年生/リハビリテーション分野別	森 明子
102	2014-12-17	兵庫県立明石高等学校	学校別	播磨麻美
103	2014-12-18	尼崎市立尼崎高等学校	模擬授業/1年生/リハビリテーション分野別	永井宏達
104	2014-12-18	兵庫県立神戸高塚高等学校	学校別/2年生	播磨麻美
105	2014-12-18	兵庫県立舞子高等学校	学校別/2年生	南部拓也
106	2014-12-19	兵庫県立淡路三原高等学校	2年生/リハビリテーション分野別	坂本利恵
107	2014-12-19	兵庫県立尼崎北高等学校	模擬授業/2年生/薬学分野別	青木俊二
108	2014-12-22	兵庫県立尼崎高等学校	1年生/リハビリテーション分野別	永井宏達
109	2015-02-05	兵庫県立神戸甲北高等学校	2年生/学校別	高倉 徹
110	2015-02-23	芦屋学園高等学校	2年生/リハビリテーション分野別	坂本利恵
111	2015-03-03	兵庫県立武庫荘総合高等学校	2年生/学校別	高倉 徹
112	2015-03-04	兵庫県立三田西陵高等学校	模擬授業/2年生/薬学分野別	青木俊二
113	2015-03-04	兵庫県立須磨友が丘高等学校	学校別/2年生	中西智子
114	2015-03-04	兵庫県立東播磨高等学校	学校別/2年生	播磨麻美
115	2015-03-04	兵庫県立明石清水高等学校	模擬授業/2年生/1年生/薬学分野別	上田晴康
116	2015-03-06	兵庫県播磨高等学校	2年生/薬学分野別	上田晴康
117	2015-03-06	兵庫県立伊丹西高等学校	学校別/2年生	高倉 徹
118	2015-03-06	兵庫県立神戸高塚高等学校	模擬授業/1年生/リハビリテーション分野別	坂本 浩
119	2015-03-06	兵庫県立尼崎北高等学校	学校別/2年生	南部拓也
120	2015-03-09	伊丹市立伊丹高等学校	2年生/リハビリテーション分野別	宮本俊朗
121	2015-03-09	兵庫県立西宮今津高等学校	学校別/2年生	南部拓也
122	2015-03-09	兵庫県立尼崎北高等学校	1年生/薬学分野別/職業理解	藤野秀樹
123	2015-03-09	兵庫県立北条高等学校	1年生/リハビリテーション分野別	坂本 浩
124	2015-03-09	兵庫県立明石西高等学校	学校別/2年生	高倉 徹
125	2015-03-09	兵庫県立鳴尾高等学校	学校別/看護・医療系/2年生	中西智子
126	2015-03-10	兵庫県立加古川北高等学校	2年生/1年生/リハビリテーション分野別	佐野恭子
127	2015-03-10	兵庫県立加古川北高等学校	模擬授業/2年生/1年生/薬学分野別	上田晴康
128	2015-03-10	兵庫県立有馬高等学校	2年生/学校別	中西智子
129	2015-03-16	早稲田摂陵高等学校	2年生/学校別	高倉 徹

■平成26年度 大学見学会一覧

	開催日	ガイダンス名称	主催業者名	都道府県	担当スタッフ
1	2014-07-04	東百舌鳥高校PTA 見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	中原由貴
2	2014-07-09	県立西宮今津高校 見学会	昭栄広報	兵庫県	中原由貴/高倉 徹/ 宮本俊朗
3	2014-07-11	県立加古川南高校 見学会	昭栄広報	兵庫県	中西智子/高倉 徹

	開催日	ガイダンス名称	主催業者名	都道府県	担当スタッフ
4	2014-07-11	府立桜塚高校見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	中原由貴／高倉 徹／ 土田敏恵／宮本俊朗
5	2014-07-14	県立鳴尾高校見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	中西智子／播磨麻美／ 斉藤雅子
6	2014-07-14	府立生野高校 大学見学会	さんぽう	兵庫県	中原由貴／高倉 徹
7	2014-07-16	兵庫県立西宮北高等学校見学会	さんぽう	兵庫県	播磨麻美／高倉 徹／ 岡田公江／工藤里香
8	2014-07-23	東灘高校 見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	中西智子／高倉 徹
9	2014-07-24	府立東淀川高校 見学会	TAP	兵庫県	中原由貴／高倉 徹
10	2014-07-25	県立宝塚高校 見学会	さんぽう	兵庫県	播磨麻美／高倉 徹
11	2014-08-27	大阪国際滝井高等学校 見学会	さんぽう	兵庫県	播磨麻美／高倉 徹
12	2014-10-03	加古川北高校 見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	中原由貴／高倉 徹／ 石原あや
13	2014-10-10	大阪府立堺東高等学校 大学見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	播磨麻美／高倉 徹／ 工藤里香
14	2014-10-20	夙川学院高校 見学会	ライセンスアカデミー	兵庫県	中西智子／高倉 徹／ 藤井真理子
15	2014-10-23	県立伊丹北高校見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	中原由貴／中西智子／ 鈴木江三子／ 塚越 累
16	2014-10-23	高砂高校大学見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	播磨麻美／高倉 徹／ 松本麻里
17	2014-10-24	県立西宮高等学校 大学見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	中原由貴／高倉 徹／ 土井有羽子
18	2014-10-27	県立伊川谷高校 見学会	さんぽう	兵庫県	中原由貴／高倉 徹
19	2014-11-14	和歌山信愛高等学校 大学見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	中原由貴／播磨麻美／ 府川晃子
20	2014-11-19	神戸常盤女子高等学校 見学会	昭栄広報	兵庫県	播磨麻美／高倉 徹
21	2014-11-20	県立六甲アイランド高校SSH 大学見学	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	中原由貴／松原洋平
22	2014-12-15	県立鳴尾高校見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	中原由貴／中西智子／ 藤田優一
23	2014-12-15	市立神港高校見学会	本学（高校直接依頼分）	兵庫県	播磨麻美／高倉 徹／ 櫛辺 勇／藤田優一
24	2015-03-05	桜宮高等学校 大学見学会	さんぽう	兵庫県	中西智子／高倉 徹
25	2015-03-06	和田山高校 見学会	ライセンスアカデミー	兵庫県	播磨麻美

■平成26年度 地方説明会

	開催日	ガイダンス名称	主催業者名	都道府県	担当スタッフ
1	2014-08-02	兵庫医療大学大学説明会（岡山）	本学	岡山県	赤井一之
2	2014-11-23	兵庫医療大学入試説明会（岡山）	本学	岡山県	赤井一之

■平成26年度 高大連携一覧

＜帝塚山学院高等学校＞

	開催日	ガイダンス名称	主催業者名	都道府県	会場	分類タグ	担当スタッフ
1	2014-04-19	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	薬学入門講座 (薬学って、どんな学問？)	本学（高校 直接依頼分）	大阪府	1年生／薬学分野別／ 高大連携	青木俊二
2	2014-04-26	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	薬学入門講座 (薬学について職業紹介)	本学（高校 直接依頼分）	大阪府	1年生／薬学分野別／ 高大連携	上田晴康
3	2014-05-10	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	「錠剤の溶け方」講義・実験	本学（高校 直接依頼分）	大阪府	2年生／薬学分野別／ 高大連携	青木俊二／ 上田晴康
4	2014-05-31	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	医療従事者の講演(作業療法士)	本学（高校 直接依頼分）	大阪府	1年生／リハビリテー ション分野別／高大 連携	有吉正則

	開催日	ガイダンス名称		主催業者名	都道府県	会場	分類タグ	担当スタッフ
5	2014-06-07	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	医療従事者の講演（薬剤師）	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		1年生/薬学分野別/ 高大連携	桂木聡子
6	2014-06-14	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	「生薬について」講義・実験＋ 中間リポート課題説明	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		2年生/薬学分野別/ 高大連携	青木俊二/ 上田晴康
7	2014-06-14	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	医療従事者の講演（看護師）	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		1年生/看護分野別/ 高大連携	土田敏恵
8	2014-09-06	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	ディベートのための話題提供 講演（臓器移植と免疫抑制剤）	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		1年生/薬学分野別/ 高大連携	青木俊二/ 上田晴康
9	2014-09-27	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	中間リポート発表会	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		2年生/薬学分野別/ 高大連携	青木俊二/ 上田晴康
10	2014-10-11	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	薬学入門講座 (薬学について職業紹介)	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		1年生/薬学分野別/ 高大連携	上田晴康
11	2014-10-25	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	薬学入門講座 (薬学って、どんな学問？)	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		1年生/薬学分野別/ 高大連携	青木俊二
12	2014-11-01	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	「医薬品に含まれる無機物質」 講義・実験	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		2年生/薬学分野別/ 高大連携	青木俊二/ 上田晴康
13	2014-11-22	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	医療従事者の講演（看護師）	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		1年生/看護分野別/ 高大連携	石原あや
14	2014-11-29	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	医療従事者の講演（薬剤師）	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		1年生/薬学分野別/ 高大連携	桂木聡子
15	2015-01-10	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	医療従事者の講演（作業療法士）	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		1年生/リハビリテー ション分野別/高大 連携	有吉正則
16	2015-01-24	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	「糖について」講義・実験	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		2年生/薬学分野別/ 高大連携	青木俊二/ 上田晴康
17	2015-01-31	(高大連携) 帝塚山学院 高等学校	ディベートのための話題提供 講演（臓器移植と免疫抑制剤）	本学（高校 直接依頼分）	大阪府		1年生/薬学分野別/ 高大連携	青木俊二/ 上田晴康

〈兵庫県立伊丹西高等学校〉

	開催日	ガイダンス名称		主催業者名	都道府県	会場	分類タグ	担当スタッフ
1	2014-06-03	(高大連携) 兵庫県立伊丹西 高等学校	講義「看護とは」	本学（高校 直接依頼分）	兵庫県		1年生/看護分野別/ 高大連携	岡田公江
2	2014-06-05	(高大連携) 兵庫県立伊丹西 高等学校	講義 「看護・医療の仕事について」	本学（高校 直接依頼分）	兵庫県		2年生/看護・医療 系/高大連携	赤井一之
3	2014-07-28	(高大連携) 兵庫県立伊丹西 高等学校	兵庫医療大学リハビリテー ション学部 施設見学および 体験学習	本学（高校 直接依頼分）	兵庫県	兵庫 医療大学	1年生/リハビリテー ション分野別/高大 連携/体験実習	宮本俊朗
4	2014-10-23	(高大連携) 兵庫県立伊丹西 高等学校	兵庫医療大学看護学部 施設 見学および体験学習	本学（高校 直接依頼分）	兵庫県	兵庫 医療大学	1年生/高大連携/体 験実習	岸あゆみ
5	2014-11-04	(高大連携) 兵庫県立伊丹西 高等学校	講義「運動麻痺と理学療法」	本学（高校 直接依頼分）	兵庫県		2年生/リハビリテー ション分野別/高大 連携	森 明子

＜兵庫県立東灘高等学校＞

	開催日	ガイダンス名称		主催業者名	都道府県	会場	分類タグ	担当スタッフ
1	2014-05-28	(高大連携) 兵庫県立東灘 高等学校	講義「看護とは」	本学（高校 直接依頼分）	兵庫県		2年生/高大連携	岸あゆみ
2	2014-06-24	(高大連携) 兵庫県立東灘 高等学校	講義「リハビリテーションとは」	本学（高校 直接依頼分）	兵庫県		2年生/高大連携	山田大豪

■平成27年度 会場進学相談会一覧

	開催日	ガイダンス名称	会 場	担当スタッフ
1	2015-04-18	【ディスコ】看護進学相談会 in 大阪	グランフロント大阪ナレッジ キャピタル コングレコンベン ションセンター	松原洋平/木下裕加子
2	2015-04-18	【東山学館】看護系学校合同説明会 in 中・西播磨	イーグレひめじ	播磨麻美/高倉徹
3	2015-04-22	【昭栄広報】篠山地区合同ガイダンス	篠山市民センター	南部拓也
4	2015-04-22	【さんぽう】医歯薬・看護・医療系進学相談会（天王寺）	天王寺都ホテル	飴谷聖子/木下裕加子
5	2015-04-22	【さんぽう】医歯薬・看護・医療系進学相談会（岡山）	岡山コンベンションセンター	中西智子
6	2015-04-23	【ライセンスアカデミー】合同進学説明会（須磨会場）	須磨パティオ健康館	加藤慎司
7	2015-04-24	【さんぽう】会場形式進学相談会（神戸西代会場）	兵庫県立文化体育館	高倉 徹
8	2015-04-25	【さんぽう】医歯薬・看護・医療系進学相談会（京都）	きらっ都プラザ（京都産業会館）	飴谷聖子
9	2015-04-25	【ライオン企画】ココロとカラダを考える進学相談会2015 （三宮）	三宮研修センター	南部拓也/中西智子
10	2015-04-26	【ライオン企画】ココロとカラダを考える進学相談会2015 （梅田）	AP大阪梅田茶屋町 ABC-MART 梅田ビル8F	赤井一之/加藤慎司
11	2015-04-28	【マイナビ】マイナビ進学FESTA2015（岡山会場）	ママカリフォーラム （岡山コンベンションセンター）	赤井一之
12	2015-04-28	【昭栄広報】明石地区合同ガイダンス	明石市立産業交流センター	播磨麻美
13	2015-04-29	【ライオン企画】ココロとカラダを考える進学相談会2015 （京都）	メルパルク京都	南部拓也
14	2015-04-30	【アスミル】進路・進学ガイダンス（加古川）	加古川市民会館	木下裕加子
15	2015-05-01	【アスミル】進路・進学ガイダンス（檀原）	檀原文化会館	赤井一之
16	2015-05-01	【昭栄広報】三田地区合同ガイダンス	キッピーモール	高倉 徹
17	2015-05-07	【アスミル】進路・進学ガイダンス（尼崎）	尼崎中小企業センター	高倉 徹
18	2015-05-07	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（岡山）	岡山コンベンションセンター	飴谷聖子
19	2015-05-08	【アスミル】進路・進学ガイダンス（伊丹）	伊丹市立文化会館	南部拓也
20	2015-05-09	【さんぽう】医歯薬・看護・医療系進学相談会（神戸）	神戸国際会館	播磨麻美/高倉 徹
21	2015-05-09	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（天王寺）	天王寺ミオ	松原洋平/飴谷聖子
22	2015-05-10	【ライオン企画】ココロとカラダを考える進学相談会2015 （天王寺）	Mio ホール	加藤慎司/木下裕加子
23	2015-05-16	【さんぽう】医歯薬・看護・医療系進学相談会（高松）	サンポートホール高松	高倉 徹
24	2015-05-17	【アクセスリード】進学ラボフェア 医・歯・薬・看護分野大学進学説明会	アクセス梅田フォーラム	南部拓也/中西智子
25	2015-05-25	【アスミル】進路・進学ガイダンス（三木）	三木市民活動センター	飴谷聖子
26	2015-05-26	【さんぽう】会場形式進学相談会（津山）	津山国際ホテル	加藤慎司
27	2015-05-27	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（姫路）	ホテル日航姫路	高倉 徹
28	2015-05-28	【日本ドリコム】医療・教育・福祉・健康系進学ガイダン ス（高松）	高松商工会議所	中西智子
29	2015-05-28	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（福山）	福山ニューキャッスル	松原洋平
30	2015-05-29	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（奈良）	なら100年会館	松原洋平
31	2015-06-03	【ケーホウ】看護・医療系会場説明会	西播磨地域産業振興センター （じばさんビル）9F	播磨麻美
32	2015-06-04	【日本ドリコム】医療・教育・福祉・健康系進学ガイダン ス（天王寺）	天王寺ミオ	松原洋平/飴谷聖子
33	2015-06-05	【ケーホウ】看護・医療系会場説明会	明石市生涯学習センター7F 学習室 1	播磨麻美

	開催日	ガイダンス名称	会 場	担当スタッフ
34	2015-06-08	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（徳島）	ホテルクレメント徳島	松原洋平
35	2015-06-08	【さんぽう】会場形式進学相談会（堺）	堺市産業振興センター	南部拓也
36	2015-06-09	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（高知）	ザ・クラウンパレス新阪急高知	松原洋平
37	2015-06-10	【マイナビ】マイナビ進学FESTA2015（高松会場）	高松市総合体育館	木下裕加子
38	2015-06-13	【日本ドリコム】医療・教育・福祉・健康系進学ガイダンス（梅田）	阪急うめだホール （阪急百貨店うめだ本店）	中西智子/高倉 徹
39	2015-06-13	【貿易広告社】薬学部進学相談会	梅田スカイビルタワーウエスト アウラホール	松原洋平
40	2015-06-14	【さんぽう】医歯薬・看護・医療系進学相談会（梅田）	梅田スカイビルタワーウエスト	鮎谷聖子/木下裕加子
41	2015-06-14	【東京アカデミー】看護医療系学校合同説明会	東京アカデミー神戸校	加藤慎司
42	2015-06-14	【秋田県薬剤師】第19回薬学部進学説明会	秋田県総合保健センター	藤野秀樹
43	2015-06-15	【アスミル】進路・進学ガイダンス（堺・泉北）	パンジョーホール	高倉 徹
44	2015-06-16	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（神戸）	生田神社会館	中西智子
45	2015-06-17	【マイナビ】マイナビ進学FESTA2015（広島会場）	グリーンアリーナ広島	中原由貴
46	2015-06-18	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（住吉）	住吉区民センター	高倉 徹
47	2015-06-20	【さんぽう】医歯薬・看護・医療系進学相談会（姫路）	ビオレ姫路	加藤慎司/鮎谷聖子
48	2015-06-20	【フロムページ】夢ナビライブ（インテックス大阪）	インテックス大阪	田中明人/川口浩太郎/ 田中登美 赤井一之/南部拓也/ 中原由貴/中西智子/ 播磨麻美/高倉 徹/
49	2015-06-23	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（姫路）	じばさんびる	南部拓也
50	2015-06-24	【日本ドリコム】医療・教育・福祉・健康系進学ガイダンス（岡山）	岡山コンベンションセンター	木下裕加子
51	2015-06-28	【さんぽう】医歯薬・看護・医療系進学相談会（広島）	TKPガーデンシティ広島	南部拓也
52	2015-06-30	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（神戸）	生田神社会館	中西智子
53	2015-07-08	【さんぽう】看護・医療系大学タイムズセミナー（天満橋）	OMMビル	竹田千佐子/赤井一之
54	2015-07-10	【さんぽう】学び博（明石）	明石市立産業交流センター	木下裕加子
55	2015-07-11	【広告社】医療系学部・大学セミナー&進学ガイダンス	梅田スカイビルタワーウエスト3F	赤井一之/木下裕加子
56	2015-07-14	【マイナビ】マイナビ進学FESTA2015（大阪会場）	インテックス大阪	赤井一之/中原由貴/ 中西智子/加藤慎司/ 木下裕加子
57	2015-07-18	【大学通信】全国国公立・有名私大相談会2015	大阪国際会議場 （グランキューブ大阪）	中西智子/加藤慎司
58	2015-07-19	【和歌山薬剤師会】薬学部進学セミナー	和歌山ビック愛	藤野秀樹/南部拓也
59	2015-07-19	【ライオン企画】大学フェア2015（福岡会場）	福岡国際センター	中原由貴
60	2015-07-24	【アスミル】高松高等予備校主催進学ガイダンス（高松）	高松高等予備校内	松原洋平
61	2015-07-25	【兵庫県看護協会】進学説明会	兵庫県看護協会会館	赤井一之
62	2015-07-26	【ライオン企画】大学フェア2015（大阪会場）	グランフロント大阪ナレッジ キャピタル コングレコンベン ションセンター	播磨麻美/高倉 徹
63	2015-09-05	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（天王寺）	天王寺ミオ	加藤慎司/松原洋平
64	2015-09-05	看護・医療系7大学合同入試相談会	きらっ都プラザ 京都産業会館 4階	赤井一之
65	2015-09-06	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（三宮）	生田神社会館	中西智子/鮎谷聖子
66	2015-09-07	【ドリコム】進学ガイダンス（三宮）	生田神社会館	赤井一之/森岡 恵/ 高倉 徹
67	2015-09-09	【さんぽう】医歯薬・看護・医療系進学相談会（天王寺）	あべのハルカス	高倉 徹
68	2015-09-09	【ライセンスアカデミー】会場ガイダンス（須磨会場）	須磨パティオ健康館	中西智子
69	2015-09-25	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（徳島）	あわぎんホール	南部拓也
70	2015-09-28	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（福山）	福山ニューキャッスルホテル	木下裕加子
71	2015-09-30	【昭栄広報】東加古川地区合同ガイダンス	加古川総合文化センター	中西智子
72	2015-10-06	【さんぽう】会場形式進学相談会（加古川）	加古川プラザホテル	南部拓也
73	2015-10-09	【ケーホウ】看護・医療系会場説明会（姫路会場）	姫路・西はりま地場産業セ ンター9F	鮎谷聖子
74	2015-10-09	【さんぽう】会場形式進学相談会（神戸）	神戸市産業振興センター	赤井一之

	開催日	ガイダンス名称	会 場	担当スタッフ
75	2015-11-04	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（奈良）	奈良商工会議所	中西智子
76	2015-11-06	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（西宮）	西宮市民会館	森岡 恵
77	2015-11-12	【昭栄広報】鈴蘭台地区合同ガイダンス	すずらんホール	中西智子
78	2015-11-16	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（泉南）	貝塚市民会館	中西智子
79	2015-11-17	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（広島）	基町クレド	高倉 徹
80	2015-11-17	【昭栄広報】小野地区合同ガイダンス	小野商工会議館	赤井一之
81	2015-11-19	【栄美通信】大学・短期大学進学相談会（岡山）	イオンモール岡山	中西智子
82	2015-11-19	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（高槻）	高槻市民会館	森岡 恵
83	2015-11-25	【昭栄広報】地区別進学相談会（洲本会場）	洲本市文化体育館	赤井一之
84	2015-11-29	【鳥取県薬剤師会】高校生のための薬学部進学セミナー 2015 in 鳥取	とりぎん文化会館 第一会議室	藤田幸久／赤井一之
85	2015-12-09	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（京都）	メルパルク京都	高倉 徹
86	2015-12-14	【さんぽう】進路フェスタ2015（神戸会場）	神戸国際展示場	森岡 恵／高倉 徹
87	2015-12-14	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（和歌山）	和歌山JAビル	中西智子
88	2016-02-04	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（堺）	堺商工会議所	森岡 恵
89	2016-02-13	【関西看護予備校】看護・医療系学校説明会	関西看護医療予備校天王寺校	中西智子
90	2016-03-03	【昭栄広報】宝塚地区合同ガイダンス	アピアホール	南部拓也
91	2016-03-07	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（大阪地区）	難波御堂筋ホール	中西智子
92	2016-03-10	【昭栄広報】看護・医療・福祉系進学相談会（伊丹地区）	いたみホール	赤井一之
93	2016-03-12	【貿易広告社】看護職フェア	京セラドーム大阪	森岡 恵／中西智子
94	2016-03-22	【ケーホウ】看護・医療系会場説明会（姫路会場）	姫路・西はりま地場産業センター 9F	森岡 恵
95	2016-03-23	【ケーホウ】看護・医療系会場説明会（明石会場）	明石生涯学習センター	中西智子

■平成27年度 高校内ガイダンス一覧

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
1	2015-04-13	兵庫県立尼崎高等学校	2年生／リハビリテーション分野別／職業理解	宮本俊朗
2	2015-04-14	姫路市立琴丘高等学校	学校別／3年生	播磨麻美
3	2015-04-20	兵庫県立伊川谷高等学校	学校別／3年生	播磨麻美
4	2015-04-22	兵庫県立西宮北高等学校	3年生	松原洋平
5	2015-04-23	松蔭高等学校	学校別	中原由貴
6	2015-04-23	兵庫県立西宮甲山高等学校	学校別／3年生	高倉 徹
7	2015-04-27	福知山成美高等学校	学校別／3年生	中西智子
8	2015-04-30	大阪府立阪南高等学校	模擬授業／2年生／薬学分野別	青木俊二
9	2015-05-08	兵庫県立北須磨高等学校	模擬授業／3年生／薬学分野別	藤野秀樹
10	2015-05-12	愛徳学園高等学校	学校別／3年生／2年生	南部拓也
11	2015-05-12	兵庫県立尼崎北高等学校	学校別／3年生	中原由貴
12	2015-05-13	大阪府立桜塚高等学校	3年生／リハビリテーション分野別	奥谷 研
13	2015-05-14	金蘭会高等学校	学校別／3年生／2年生	中西智子
14	2015-05-14	兵庫県立加古川南高等学校	学校別／3年生	播磨麻美
15	2015-05-14	兵庫県立柏原高等学校	学校別／3年生／2年生	赤井一之
16	2015-05-15	兵庫県立北須磨高等学校	3年生／看護分野別	細見明代
17	2015-05-22	兵庫県立川西緑台高等学校	3年生／リハビリテーション分野別	佐野恭子
18	2015-05-22	兵庫県立尼崎高等学校	学校別／3年生	播磨麻美
19	2015-05-26	梅花高等学校	学校別／3年生	播磨麻美
20	2015-05-26	兵庫県立北須磨高等学校	3年生／薬学分野別	楠辺 勇
21	2015-05-27	兵庫県立三木東高等学校	模擬授業／2年生	坂本利恵
22	2015-06-01	芦屋学園高等学校	学校別／3年生	中西智子
23	2015-06-04	大阪高等学校	学校別／3年生	高倉 徹
24	2015-06-05	兵庫県立北須磨高等学校	3年生／看護分野別	鈴木千枝
25	2015-06-10	松蔭高等学校	学校別／3年生	中西智子

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
26	2015-06-10	大阪青凌高等学校	学校別 / 3 年生	高倉徹
27	2015-06-15	浪速高等学校	学校別 / 3 年生	南部拓也
28	2015-06-17	兵庫県立香寺高等学校	学校別 / 3 年生	播磨麻美
29	2015-06-17	兵庫県立三木北高等学校	2 年生 / リハビリテーション分野別	坂本利恵
30	2015-06-17	兵庫県立宝塚東高等学校	学校別 / 3 年生	赤井一之
31	2015-06-18	松蔭高等学校	1 年生 / 看護・医療系	平上尚吾
32	2015-06-18	兵庫県立加古川南高等学校	学校別 / 2 年生	播磨麻美
33	2015-06-18	兵庫県立三田西陵高等学校	学校別 / 3 年生	南部拓也
34	2015-06-19	神戸市立六甲アイランド高等学校	模擬授業 / 2 年生 / リハビリテーション分野別	坂口 顕
35	2015-06-19	兵庫県立高砂南高等学校	学校別 / 3 年生	播磨麻美
36	2015-06-19	兵庫県立川西明峰高等学校	模擬授業 / 2 年生 / リハビリテーション分野別	塚越 累
37	2015-06-22	伊丹市立伊丹高等学校	学校別 / 3 年生	中原由貴
38	2015-06-23	兵庫県立加古川北高等学校	1 年生 / リハビリテーション分野別	櫛辺 勇
39	2015-06-23	兵庫県立西宮今津高等学校	1 年生 / 看護分野別 / 職業理解	岡田公江
40	2015-06-23	兵庫県立北須磨高等学校	3 年生 / リハビリテーション分野別	山田大豪
41	2015-06-24	甲南女子高等学校	模擬授業 / 2 年生 / 1 年生 / リハビリテーション分野別	坂本利恵
42	2015-06-24	兵庫県立三木北高等学校	学校別 / 3 年生	高倉 徹
43	2015-06-24	兵庫県立尼崎小田高等学校	学校別 / 3 年生	中西智子
44	2015-06-25	姫路市立飾磨高等学校	学校別 / 3 年生	播磨麻美
45	2015-06-25	兵庫県立伊丹高等学校	学校別 / 3 年生	中原由貴
46	2015-06-26	兵庫県立網干高等学校	学校別 / 3 年生	南部拓也
47	2015-06-27	甲南女子高等学校	学校別 / 3 年生 / 2 年生 / 1 年生	中原由貴
48	2015-06-30	兵庫県立北須磨高等学校	3 年生 / リハビリテーション分野別	宮本俊朗
49	2015-07-08	兵庫県立西宮今津高等学校	学校別 / 2 年生	木下裕加子
50	2015-07-08	兵庫県立川西北陵高等学校	学校別 / 3 年生 / 看護・医療系	中西智子
51	2015-07-09	兵庫県立伊川谷北高等学校	学校別 / 3 年生	播磨麻美
52	2015-07-09	兵庫県立西宮南高等学校	学校別 / 3 年生	松原洋平
53	2015-07-09	兵庫県立明石城西高等学校	1 年生 / リハビリテーション分野別	奥谷 研
54	2015-07-10	愛徳学園高等学校	1 年生 / 中学生 / リハビリテーション分野別	坂本利恵
55	2015-07-10	愛徳学園高等学校	1 年生 / 中学生 / 薬学分野別	上田晴康
56	2015-07-10	大阪府立桜塚高等学校	学校別 / 2 年生	中原由貴
57	2015-07-10	兵庫県立加古川西高等学校	2 年生 / リハビリテーション分野別	伊藤斉子
58	2015-07-10	兵庫県立生野高等学校	学校別 / 3 年生	南部拓也
59	2015-07-13	兵庫県立須磨友が丘高等学校	模擬授業 / 2 年生 / リハビリテーション分野別	山田大豪
60	2015-07-13	兵庫県立尼崎北高等学校	2 年生 / リハビリテーション分野別	有吉正則
61	2015-07-13	兵庫県立明石北高等学校	模擬授業 / 2 年生 / リハビリテーション分野別	佐野恭子
62	2015-07-14	兵庫県立加古川北高等学校	学校別 / 3 年生 / 2 年生	南部拓也
63	2015-07-14	兵庫県立神戸高塚高等学校	2 年生 / 薬学分野別	青木俊二
64	2015-07-14	兵庫県立川西北陵高等学校	2 年生 / リハビリテーション分野別	山崎せつ子
65	2015-07-15	神戸高塚高等学校	学校別 / 3 年生	中西智子
66	2015-07-15	兵庫県立芦屋高等学校	学校別 / 3 年生	中原由貴
67	2015-07-15	兵庫県立高砂南高等学校	1 年生 / リハビリテーション分野別	坂本 浩
68	2015-07-15	兵庫県立武庫荘総合高等学校	学校別 / 2 年生	松原洋平
69	2015-07-15	兵庫県立舞子高等学校	1 年生 / リハビリテーション分野別	有吉正則
70	2015-07-16	兵庫県立東播磨高等学校	2 年生 / リハビリテーション分野別	坂本 浩
71	2015-09-04	兵庫県立須磨友が丘高等学校	1 年生 / 薬学分野別	青木俊二
72	2015-09-07	兵庫県立明石清水高等学校	1 年生 / 看護分野別	貞永千佳生
73	2015-09-09	兵庫県立宝塚西高等学校	1 年生 / リハビリテーション分野別	佐野恭子
74	2015-09-10	伊丹市立伊丹高等学校	1 年生 / リハビリテーション分野別	奥谷 研
75	2015-09-16	兵庫県立西宮北高等学校	模擬授業 / 1 年生 / 薬学分野別	青木俊二
76	2015-09-25	兵庫県立尼崎稲園高等学校	1 年生 / 薬学分野別	青木俊二
77	2015-09-28	兵庫県立伊川谷高等学校	模擬授業 / 2 年生 / 薬学分野別	上田晴康

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
78	2015-09-28	兵庫県立尼崎北高等学校	1年生/薬学分野別	青木俊二
79	2015-09-29	兵庫県立柏原高等学校	模擬授業/3年生/2年生/1年生/リハビリテーション分野別	坂本利恵
80	2015-09-30	兵庫県立明石高等学校	2年生/薬学分野別	青木俊二
81	2015-10-05	神戸市立須磨翔風高等学校	模擬授業/1年生/薬学分野別	青木俊二
82	2015-10-05	神戸市立須磨翔風高等学校	模擬授業/1年生/リハビリテーション分野別	坂本 浩
83	2015-10-05	西宮市立西宮東高等学校	2年生/1年生/看護分野別	鈴井江三子
84	2015-10-08	夢野台高校 出張講義	模擬授業/看護・医療系	藤岡宏幸
85	2015-10-09	大阪女学院高等学校	学校別/2年生	南部拓也
86	2015-10-15	大阪府立吹田東高等学校	学校別	高倉 徹
87	2015-10-21	兵庫県立相生高等学校	2年生/1年生/リハビリテーション分野別	平上尚吾
88	2015-10-26	兵庫県立伊川谷高等学校	学校別オープン形式/1年生	中西智子
89	2015-10-28	神戸山手女子高等学校	2年生/看護・医療系	佐野恭子
90	2015-11-10	神戸常盤女子高等学校	学校別オープン形式/2年生/1年生	森岡 恵
91	2015-11-11	兵庫県立尼崎小田高等学校	模擬授業/2年生/1年生/リハビリテーション分野別	櫛辺 勇
92	2015-11-12	姫路市立飾磨高等学校	学校別/2年生	高倉 徹
93	2015-11-13	兵庫県立網干高等学校	模擬授業/2年生/リハビリテーション分野別	佐野恭子
94	2015-11-19	神戸市立葺合高等学校	模擬授業/2年生/1年生/薬学分野別	上田晴康
95	2015-11-20	梅花高等学校	1年生/薬学分野別	青木俊二
96	2015-11-20	兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校	模擬授業/2年生/薬学分野別	上田晴康
97	2015-12-01	兵庫県立猪名川高等学校	2年生/看護分野別	細見明代
98	2015-12-09	芦屋学園高等学校	学校別/2年生	中西智子
99	2015-12-11	兵庫県立高砂南高等学校(保護者対象)	学校別/2年生	南部拓也
100	2015-12-15	兵庫県立三木高等学校	模擬授業/2年生	伊藤斉子
101	2015-12-15	兵庫県立福崎高等学校	模擬授業/2年生/リハビリテーション分野別	坂本 浩
102	2015-12-15	兵庫県立宝塚西高等学校	2年生/1年生	青木俊二
103	2015-12-16	兵庫県立舞子高等学校	2年生/1年生/リハビリテーション分野別	永井宏達
104	2015-12-16	兵庫県立明石高等学校	学校別/2年生	中西智子
105	2015-12-17	尼崎市立尼崎高等学校	学校別/2年生	中西智子
106	2015-12-17	兵庫県立高砂高等学校	模擬授業/2年生/看護分野別	田中登美
107	2015-12-17	兵庫県立舞子高等学校	学校別/2年生	南部拓也
108	2015-12-18	兵庫県立伊川谷北高等学校	模擬授業/2年生/リハビリテーション分野別	坂本利恵
109	2015-12-18	兵庫県立伊川谷北高等学校	模擬授業/2年生	上田晴康
110	2015-12-18	兵庫県立三田西陵高等学校	学校別/2年生	森岡 恵
111	2015-12-21	兵庫県立宝塚高等学校	模擬授業/2年生/リハビリテーション分野別	櫛辺 勇
112	2015-12-22	兵庫県立篠山鳳鳴高等学校	学校別/2年生	南部拓也
113	2016-02-08	創志学園高等学校	1年生/看護・医療系	南部拓也
114	2016-02-08	兵庫県立伊川谷高等学校	1年生/リハビリテーション分野別/体験実習	坂本利恵
115	2016-02-10	兵庫県立高砂南高等学校	2年生/リハビリテーション分野別	坂本 浩
116	2016-03-02	大阪府立山田高等学校	学校別/2年生	高倉 徹
117	2016-03-03	兵庫県立西宮南高等学校	2年生/看護分野別	府川晃子
118	2016-03-04	兵庫県立三木東高等学校	2年生/看護・医療系	山田大豪
119	2016-03-04	兵庫県立西宮甲山高等学校	1年生/リハビリテーション分野別	坂本利恵
120	2016-03-04	兵庫県立東播磨高等学校	学校別オープン形式/2年生	中西智子
121	2016-03-07	報徳学園高等学校	学校別/2年生	高倉 徹
122	2016-03-08	兵庫県立伊丹西高等学校	学校別/2年生	中西智子
123	2016-03-08	兵庫県立神戸高塚高等学校	模擬授業/1年生/リハビリテーション分野別	奥谷 研
124	2016-03-08	兵庫県立明石南高等学校	1年生/薬学分野別	上田晴康
125	2016-03-08	兵庫県立鳴尾高等学校	模擬授業/2年生/1年生/看護分野別	堀口和子
126	2016-03-08	兵庫県立有馬高等学校	1年生/リハビリテーション分野別	坂口 顕
127	2016-03-08	兵庫県立有馬高等学校	学校別/2年生	南部拓也
128	2016-03-09	兵庫県立須磨友が丘高等学校	学校別/2年生	中西智子

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
129	2016-03-09	兵庫県立西宮今津高等学校	学校別 / 2 年生	高倉 徹
130	2016-03-10	兵庫県立尼崎北高等学校	学校別 / 2 年生	高倉 徹
131	2016-03-16	兵庫県立伊丹北高等学校	学校別 / 2 年生	森岡 恵
132	2016-03-17	兵庫県立相生高等学校	学校別 / 2 年生	南部拓也
133	2016-03-22	兵庫県立神戸甲北高等学校	1 年生 / 薬学分野別	上田晴康
134	2016-03-30	大阪国際滝井高等学校	学校別 / 2 年生 / 1 年生 / 保護者	高倉 徹

■平成27年度 大学見学会一覧

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
1	2015-05-11	夕陽丘学園高校 見学会	模擬授業 / 2 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	播磨麻美 / 高倉 徹 / 上田晴康
2	2015-05-22	神戸市立 六甲アイランド高校 見学会	2 年生 / 看護・医療系 / 施設見学 (学校説明含む)	中西智子 / 高倉 徹 / 松本麻里
3	2015-06-11	福知山成美高等学校 見学会	2 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	播磨麻美 / 高倉 徹 / 長野基子 / 藤野秀樹
4	2015-06-23	兵庫県立高砂南高等学校 見学会	2 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	中西智子 / 播磨麻美 / 飯尾祐加
5	2015-06-23	兵庫県立東播磨高等学校 見学会	2 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	中原由貴 / 高倉徹
6	2015-07-08	兵庫県立西宮今津高等学校 見学会	2 年生 / 看護・医療系 / 施設見学 (学校説明含む)	播磨麻美 / 高倉 徹 / 土田敏恵
7	2015-07-10	兵庫県立加古川南高等学校 見学会	1 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	播磨麻美 / 高倉 徹
8	2015-07-10	兵庫県立北条高等学校 見学会	模擬授業 / 2 年生 / 看護・医療系 / 施設見学 (学校説明含む)	中西智子 / 高倉 徹 / 山田千春
9	2015-07-13	兵庫県立生野高等学校 見学会	2 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	播磨麻美 / 高倉 徹
10	2015-07-14	兵庫県立神戸高塚高等学校 見学会	1 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	播磨麻美 / 高倉 徹
11	2015-07-21	兵庫県立東灘高等学校 見学会	2 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	中西智子 / 高倉 徹
12	2015-07-22	県立高砂南高等学校 P T A 見学会	保護者 / 施設見学 (学校説明含む)	南部拓也 / 中西智子
13	2015-07-22	兵庫県立社高等学校 見学会	施設見学 (学校説明含む)	播磨麻美 / 高倉 徹
14	2015-07-24	兵庫県立宝塚高等学校 見学会	1 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	高倉 徹
15	2015-09-30	大阪府立高槻北高等学校 見学会	1 年生 / 看護・医療系 / 施設見学 (学校説明含む)	播磨麻美 / 高倉 徹
16	2015-10-02	兵庫県立播磨南高等学校 見学会	2 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	森岡 恵 / 高倉 徹
17	2015-10-06	兵庫県立北条高等学校 見学会	1 年生 / 施設見学 (学校説明含む) / 体験実習	森岡 恵 / 高倉 徹 / 鈴木みゆき
18	2015-10-09	兵庫県立香寺高等学校 見学会	模擬授業 / 1 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	森岡 恵 / 高倉 徹 / 佐野恭子
19	2015-10-19	夙川学院高等学校 見学会	2 年生 / 1 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	中西智子 / 森岡 恵
20	2015-10-22	鳥取県立倉吉西高等学校 見学会	施設見学 (学校説明含む)	中西智子 / 高倉 徹
21	2015-10-26	兵庫県立伊川谷高校 見学会	1 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	森岡 恵 / 高倉 徹
22	2015-10-27	仁川学院高等学校 見学会	模擬授業 / 2 年生 / 看護・医療系 / 施設見学 (学校説明含む)	中西智子 / 高倉 徹 / 石原あや
23	2015-10-28	神戸常盤女子高等学校 見学会	2 年生 / 看護・医療系 / 施設見学 (学校説明含む) / 体験実習	中西智子 / 森岡 恵
24	2015-11-06	和歌山信愛高等学校 見学会	2 年生 / 1 年生 / 施設見学 (学校説明含む) / 体験実習	中西智子 / 高倉 徹 / 立垣祐子
25	2015-11-17	兵庫県立高砂高等学校 見学会	模擬授業 / 1 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	中西智子 / 森岡 恵 / 藤井加那子
26	2015-12-10	兵庫県立三木北高等学校 見学会	1 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	森岡 恵 / 高倉 徹
27	2015-12-15	神戸市立神港高等学校 見学会	2 年生 / 施設見学 (学校説明含む) / 体験実習	森岡 恵 / 高倉 徹 / 岸あゆみ
28	2015-05-11	夕陽丘学園高校 見学会	模擬授業 / 2 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	播磨麻美 / 高倉 徹 / 上田晴康
29	2015-06-11	福知山成美高等学校 見学会	2 年生 / 施設見学 (学校説明含む)	播磨麻美 / 高倉 徹 / 長野基子 / 藤野秀樹
30	2015-05-22	神戸市立 六甲アイランド高校 見学会	2 年生 / 看護・医療系 / 施設見学 (学校説明含む)	中西智子 / 高倉 徹 / 松本麻里

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
31	2015-06-23	兵庫県立高砂南高等学校 見学会	2年生/施設見学（学校説明含む）	中西智子/播磨麻美/ 飯尾祐加
32	2015-07-08	兵庫県立西宮今津高等学校 見学会	2年生/看護・医療系/施設見学（学校説明含む）	播磨麻美/高倉 徹/ 土田敏恵
33	2015-07-10	兵庫県立北条高等学校 見学会	模擬授業/2年生/看護・医療系/施設見学（学校説明含む）	中西智子/高倉 徹/ 山田千春
34	2015-10-06	兵庫県立北条高等学校 見学会	1年生/施設見学（学校説明含む）/体験実習	森岡 恵/高倉 徹/ 鈴木みゆき
35	2015-10-27	仁川学院高等学校 見学会	模擬授業/2年生/看護・医療系/施設見学（学校説明含む）	中西智子/高倉 徹/ 石原あや
36	2015-11-06	和歌山信愛高等学校 見学会	2年生/1年生/施設見学（学校説明含む）/体験実習	中西智子/高倉 徹/ 立垣祐子
37	2015-11-17	兵庫県立高砂高等学校 見学会	模擬授業/1年生/施設見学（学校説明含む）	中西智子/森岡 恵/ 藤井加那子
38	2015-12-15	神戸市立神港高等学校 見学会	2年生/施設見学（学校説明含む）/体験実習	森岡 恵/高倉 徹/ 岸あゆみ
39	2015-10-09	兵庫県立香寺高等学校 見学会	模擬授業/1年生/施設見学（学校説明含む）	森岡 恵/高倉 徹/ 佐野恭子

■平成27年度 地方説明会

	開催日	ガイダンス名称	会 場	担当スタッフ
1	2015-08-02	兵庫医療大学大学説明会（岡山）	ホテルグランヴィア岡山	赤井一之/青木俊二
2	2015-11-15	兵庫医療大学大学説明会（広島）	ホテルグランヴィア広島	赤井一之/南部拓也
3	2015-11-23	兵庫医療大学大学説明会（岡山）	ホテルグランヴィア岡山	赤井一之/青木俊二

■平成27年度 高大連携一覧

＜帝塚山学院高等学校＞

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
1	2015-04-18	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/薬学分野別/高大連携	青木俊二
2	2015-04-25	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/薬学分野別/高大連携	上田晴康
3	2015-05-09	（高大連携）帝塚山学院高等学校	2年生/薬学分野別/高大連携	青木俊二/上田晴康
4	2015-05-16	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/リハビリテーション分野別/高大連携	有吉正則
5	2015-05-30	（高大連携）帝塚山学院高等学校	2年生/薬学分野別/高大連携	青木俊二/上田晴康
6	2015-05-30	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/薬学分野別/高大連携	桂木聡子
7	2015-06-06	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/看護分野別/高大連携	笹川寿美
8	2015-06-27	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/薬学分野別/高大連携	青木俊二/上田晴康
9	2015-10-03	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/薬学分野別	青木俊二
10	2015-10-24	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/薬学分野別/高大連携	上田晴康
11	2015-10-31	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/薬学分野別/高大連携	青木俊二/上田晴康
12	2015-11-14	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/薬学分野別/高大連携	桂木聡子
13	2015-11-28	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/看護分野別/高大連携	神崎初美
14	2016-01-09	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/リハビリテーション分野別/高大連携	有吉正則
15	2016-01-23	（高大連携）帝塚山学院高等学校	2年生/薬学分野別/高大連携	青木俊二/上田晴康
16	2016-01-30	（高大連携）帝塚山学院高等学校	1年生/薬学分野別/高大連携	青木俊二/上田晴康
17	2016-02-20	（高大連携）帝塚山学院高等学校	2年生/高大連携	青木俊二/上田晴康

＜兵庫県立伊丹西高等学校＞

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
1	2015-05-26	（高大連携）兵庫県立伊丹西高等学校	2年生/看護分野別	土井有羽子
2	2015-06-04	（高大連携）兵庫県立伊丹西高等学校	1年生/看護・医療系	佐野恭子
3	2015-07-27	（高大連携）兵庫県立伊丹西高等学校	1年生/リハビリテーション分野別/体験実習	宮本俊朗
4	2015-10-22	（高大連携）兵庫県立伊丹西高等学校	1年生/看護分野別/体験実習	西村明子
5	2015-11-10	（高大連携）兵庫県立伊丹西高等学校	2年生/リハビリテーション分野別	宮本俊朗

〈(SSH) 神戸市立六甲アイランド高等学校〉

	開催日	ガイダンス名称	分類タグ	担当スタッフ
1	2015-11-05	(SSH) 六甲アイランド高校 特別講義	模擬授業 / 2 年生 / 薬学分野別	前田初男
2	2015-11-12	(SSH) 六甲アイランド高校 特別授業 ; 実験①	2 年生 / 薬学分野別 / 体験実習	南部拓也 / 森岡 恵 / 三浦大作
3	2015-11-19	(SSH) 六甲アイランド高校 特別授業 ; 実験②	2 年生 / 薬学分野別 / 体験実習	三浦大作

2. 学生の福利厚生

1) 奨学金の貸与状況

i) 奨学金制度の概要

本学における各種奨学金（兵庫医療大学貸与奨学金、兵庫医科大学病院奨学金、兵庫医科大学ささやま医療センター奨学金）および日本学生支援機構奨学金の貸与を受けている学生の割合は、平成26年度は全学生の51%、平成27年度は全学生の52%となっている。

また、平成21年度より、日本学生支援機構奨学金において奨学金高額貸与者に対して減額指導する制度が始まったことにより、貸与額の確認や学生委員による面談、卒業後の返還対応などのサポートを行っている。

平成26・27年度における奨学金制度の利用状況を図1～2に示す。

ii) 入学生・在学生特別奨学金について

平成23年度に導入した入学生・在学生特別奨学金制度は、学生全体の学習意欲を高め、優秀な学生を輩出し、次代の医療をリードする人材の育成を目指すことを目的とし、入学試験の成績上位者に対する初年度学費の全額免除または入学後に優秀な成績修め、他の模範となる資質を有すると認められる在学生に対する学費の全額免除もしくは半額免除をする制度であり、平成26年度については、入学生4名、在学生60名が採用され、平成27年度については、入学生6名、在学生67名が採用されている。

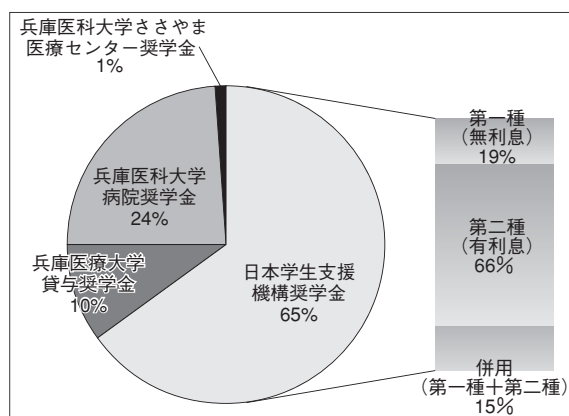


図1. 平成26年度奨学金採用者種類別割合（延人数）

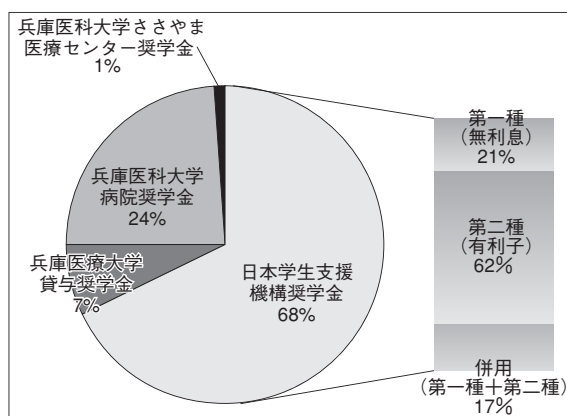


図2. 平成27年度奨学金採用者種類別割合（延人数）

2) 学生会活動

i) 概要

課外活動の参加状況については、平成26年度では1,036名、27年度は995名の学生が参加しており、公認活動団体における学部別の参加人数では、薬学部の学生が多いが、在 student 数の比率からではリハビリテーション学部理学療法学科の学生が一番多い結果となっている。また、学年別では、第1～3学年次の学生が多い結果となった。学生の課外活動状況の詳細を図1～3に示す。

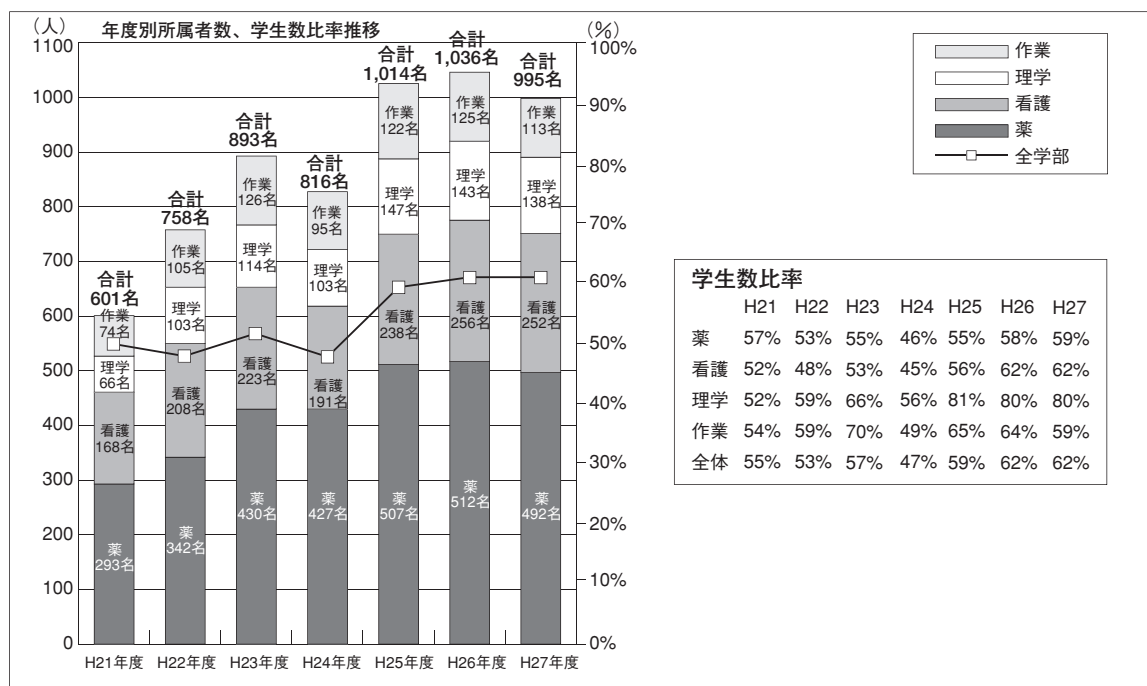


図 1. 年度別課外活動所属者数、学生数比率推移

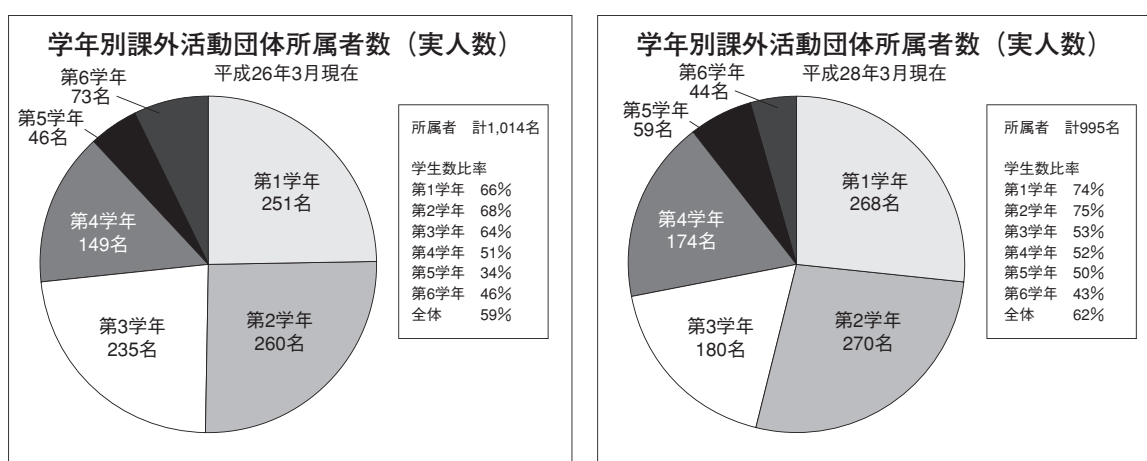


図 2. 学年別課外活動所属者人数（実人数）

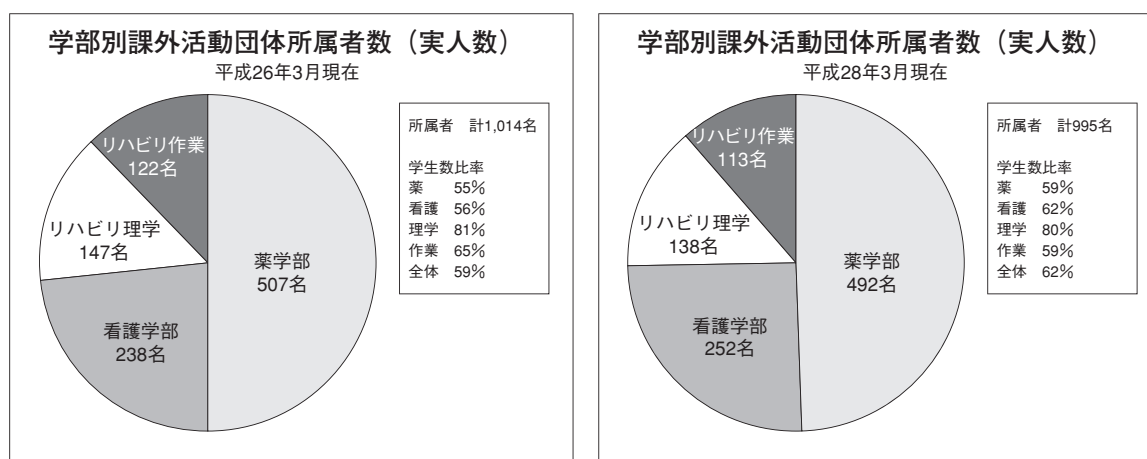


図 3. 学部別課外活動団体所属者人数（実人数）

ii) 課外活動の状況

平成27年度時点で、学生組織3団体、部活動8団体、同好会活動3団体、サークル団体23団体の計37団体が公認を受けて活動している。平成26年度に2団体、27年度には6団体が新たに公認課外活動団体へと昇格が認められている。大学公認課外活動団体の一覧および顧問（指導者）を表1に示す。なお、登録団体（サークル活動）については、顧問の選任は任意のものとする。

表1. 大学公認課外活動団体一覧

団体区分	団 体 名 称	所属人数	顧 問（指導者）		
学生会組織	兵庫医療大学 学生会	31			
	兵庫医療大学 大学行事実行委員会	23			
	兵庫医療大学 部会	25			
小 計		79			
部活動団体	兵庫医療大学 バスケットボール部	30	リハビリテーション学部 (共通教育センター)	講師 (准教授)	森 明子 (賀屋 光晴)
	兵庫医療大学 バドミントン部	54	共通教育センター	教授	伊東 久男
	兵庫医療大学 野球部	42	薬学部	教授	前田 初男
	兵庫医療大学 硬式テニス部	41	薬学部	教授	青木 俊二
	兵庫医療大学 サッカー部	39	薬学部	教授	田中 稔之
	兵庫医療大学 卓球部	35	リハビリテーション学部	教授	日高 正巳
	兵庫医療大学 軽音楽部	166	薬学部	教授	上田 晴康
	兵庫医療大学 Jazzバンド部	77	看護学部 (共通教育センター)	准教授 (准教授)	岡田 公江 (芝崎 誠司)
小 計		484			
同好会団体	兵庫医療大学 アーチェリー同好会	19	薬学部	教授	田中 明人
	兵庫医療大学 バレーボール同好会	90	看護学部	教授	西村 明子
	兵庫医療大学 剣技同好会	22	リハビリテーション学部	講師	永井 宏達
小 計		131			
サークル団体	HUHS バスケットボールサークル	75	リハビリテーション学部	講師	森沢 知之
	兵庫医療大学 フットサルサークル	65	リハビリテーション学部	教授	山田 大豪
	兵庫医療大学 ダンスサークル	92	リハビリテーション学部	准教授	佐野 恭子
	兵庫医療大学 ソフトボールサークル	49	リハビリテーション学部	教授	山崎せつ子
	兵庫医療大学 ハンドボールサークル	11			
	兵庫医療大学 フットサルサークル	38	共通教育センター	教授	紀平 知樹
	兵庫医療大学 陸上競技サークル	35	薬学部	講師	中野 博明
	兵庫医療大学 ヨガサークル	29	薬学部	講師	長野 基子
	兵庫医療大学 柔道サークル	2	共通教育センター	准教授	賀屋 光晴
	HUHS ソフトテニスサークル	51	リハビリテーション学部	講師	有吉 正則
	兵庫医療大学 アウトドアサークル	107	共通教育センター	講師	常見 幸
	兵庫医療大学 ダーツサークル	25	薬学部	講師	清水 忠
	兵庫医療大学 水泳サークル	25	薬学部	講師	伊藤 崇志
	兵庫医療大学 コピーダンスサークル	14			
	兵庫医療大学 バドミントンサークル	54			
	兵庫医療大学 漫画研究サークル	25			
	兵庫医療大学 天文サークル	15	共通教育センター	教授	加藤 精一
	兵庫医療大学 写真サークル	63	薬学部	教授	山本 悟史
	兵庫医療大学 医療研究サークル	27	共通教育センター	教授	柏村信一郎
	兵庫医療大学 書道華道茶道サークル	13	リハビリテーション学部	准教授	伊藤 斉子
	兵庫医療大学 室内楽団サークル	11	共通教育センター	准教授	芝崎 誠司
	兵庫医療大学 手話サークル	29	看護学部	准教授	土井有羽子
	兵庫医療大学 ボランティアサークル	20			

団体区分	団 体 名 称	所属人数	顧問（指導者）
	小 計	875	
	総 合 計	1,569	

iii) 公認課外活動団体の活動場所

体育館（G棟アリーナ）を中心とした学内の各施設（講義室、オクタホール、ミニグラウンド等）の使用については、毎月開催する学内施設使用者会に利用計画を提出し、協議したうえで公認課外活動団体が優先し使用している。

学内に活動施設を持たない団体（アーチェリー同好会等）については、公認団体が個別に学外施設を確保契約して活動を行っており、以前より制度化している学外施設利用に対する補助制度により、各部活動団体および同好会団体への活動支援を実施している。平成27年度には、ミニグラウンドの整備およびバッティングゲージの設置を行った。また、サッカーゴールをフットサル用のものから11人制のものに買い替えた。公認課外活動団体の主な活動場所を表2に示す。

表2. 公認課外活動団体活動場所一覧

施設区分	施 設 名	
学 内 施 設	Garden Wing Arena	アリーナ、多目的ホール1・2
		スタジオ
		工作室、アトリエ
		共同施設（ミーティングルーム・ピロティ）
	テニスコート	
	グラウンド	ミニグラウンド（サッカーゴール・バッティングゲージ）
	バスケットゴール（野外）	センタープラザ
	講義室	
	オクタホール	461席
	実習室	
	学内構内スペース	図書館、M棟4Fバルコニー、芝生広場（レストラン前）
学 外 施 設	兵庫医科大学	鳴尾浜グラウンド、平成記念会館、アリーナ、トレーニングルーム
	学外屋内施設	スタジオ（三宮近辺）
		プール（ポートアイランド島内）
		体育館（三宮近辺）
		公民館（三宮近辺）
	学外屋外施設	テニスコート
		グラウンド
		フットサルコート
		アーチェリー場
	その他	個人制作、海・山・川

iv) 学生会行事・イベントの活動状況

平成26・27年度には、4月に新入生歓迎会、6月には学生総会、10月には海祭祭、11月に臨時学生総会および次年度学生会等役員選挙、12月にはクリスマスイルミネーション点灯式を開催した。

また、学生会活動や課外活動における学生会、大学行事实行委員会、公認課外活動団体としてのあ

り方について理解を深め、各々の役割を認識するとともに学生会を中心とした組織作りを行うことを目的に、学生会執行部、大学行事实行委員会および公認課外活動団体所属学生を対象に、1泊2日の課外活動リーダーズキャンプを実施している。平成26・27年度に学生会等が実施した行事の詳細を表3に示す。

表3. 平成26・27年度学生会および課外活動関連行事

平成26年度		行事内容	平成27年度		行事内容
4月	7日	新入生歓迎会	4月	5日	新入生歓迎会
5月			5月	13日	スポーツ大会
6月	14～15日 27日	課外活動リーダーズキャンプ 学生総会	6月	27～28日 24日	課外活動リーダーズキャンプ 学生総会
7月			7月		
8月			8月		
9月			9月		
10月	12～13日	第7回兵庫医療大学大学祭 (海祭祭)	10月	11～12日	第8回兵庫医療大学大学祭 (海祭祭)
11月	28日	臨時学生総会 学生会等役員選挙公示	11月	30日	臨時学生総会 学生会等役員選挙公示
12月	12日 17日	クリスマスイルミネーション点灯式 臨時学生総会	12月	14日	クリスマスイルミネーション点灯式
1月			1月		
2月			2月		
3月	3～5日 15日	公認課外活動団体更新・昇格ヒアリング 卒業記念パーティー	3月	2～4日 15日	公認課外活動団体更新・昇格ヒアリング 卒業記念パーティー

また、課外活動功労賞については、学生が在学期間を通じて他の学生の模範となり、学生会活動やクラブ活動、課外活動および人道活動等の諸活動を通じて、兵庫医療大学の発展に功労のあった学生を讃えるとともに、積極的に取り組む風土を育てることを目的として設け、平成22年度第1回卒業式より表彰しており、平成26年度には2名、平成27年度には1名の学生を表彰している。

表4. 平成26年度 課外活動奨励賞受賞対象者

※団体名称順に記載しています

対 象 者	表 彰 理 由
兵庫医療大学 アーチェリー部	西日本医科学生アーチェリー大会男子個人で優秀な成績を修めた。
兵庫医療大学 バスケットボール部	フレンズ杯、近畿医歯薬学生バスケットボール大会、春季石神杯において優秀な成績を修めた。また、近畿医歯薬学生バスケットボール大会および春季石神杯では優秀選手賞を獲得した。
兵庫医療大学 野球部	関西医歯薬連盟春季リーグにおいて優秀な成績を修め、1部に昇格した。

表5. 平成27年度 課外活動奨励賞受賞対象者

※団体名称順に記載しています

対 象 者	表 彰 理 由
兵庫医療大学 野球部所属部員	関西地区大学準硬式野球連盟の代表メンバーとして、台湾遠征選抜メンバーに選出された部員を表彰した。
兵庫医療大学 卓球部	第69回関西薬学生卓球大会男子個人で優秀な成績を修めた。
兵庫医療大学 バドミントン部	第41回近畿医歯薬バドミントン秋季リーグにて、女子が1部に昇格した。また、上級生も試合に出場するなど、積極的に活動に参加していた。

3) 保健管理センター

i) 施設の概要

保健管理センターは、保健室と学生相談室の2部門より構成され、学生を対象として体調の変化や心の悩みの相談に応じている。定期健康診断や予防接種などが主な業務であるが、学内の感染症の集団発生や事故の予防、学生の健康管理やメンタルヘルスケアの積極的支援を心がけている。病気や事故の際には、当センターを当然利用することになるが、本来これらの事柄は発生しないことが望ましい。病気になるまでに、何らかの徴候を自覚した時点で気楽に相談してもらえるように努めている。

ii) 保健室の活動状況

スタッフ：医師1名、保健師3名

(1) 健康診断

健康診断については、近畿健康管理センターに委託して学内において実施した。健康診断の検査項目を表1に示す。

表1. 学生健康診断の検査項目

学年	第2～6学年次	新入生
検査項目	身体計測（身長・体重・BMI）、血圧測定、視力検査、内科診察、胸部X線デジタル撮影	身体計測（身長・体重・BMI）、腹囲測定、血圧測定、視力検査、聴力検査、内科診察、尿検査（糖・蛋白・潜血）、胸部X線デジタル撮影、心電図検査、血液検査（RBC・Hb・Ht・WBC、AST・ALT・ γ -GTP、TG・HDL-CHO・LDL-CHO、GLU）

健康診断では、「健康調査票」を学生に提出させ、既往歴、現病歴、アレルギー等と学生生活での支障や医師・保健師との相談希望の有無を調査した。記載内容から面談が必要と医師が判断した学生については、掲示板で呼び出し、医師・保健師による面談を行い、学生生活での健康管理に役立つように指導や助言を行った。また、新入生については、大学生活を始めるに際し、健康状態を把握して運動許容を決める安全配慮目的と生活習慣を見直して健康増進を支援するように努めている。

「健康診断結果のお知らせ」（個人票）の返却は、保健室で行った。胸部X線デジタル撮影検査結果で要精密検査の場合は、「健康診断結果のお知らせ」と近畿健康管理センターからの「紹介状（診療情報提供書）」と画像データを渡し、医療機関の受診と精密検査を勧めた。他の検査項目で要治療・要精密検査の場合は、「健康診断結果のお知らせ」を渡して医療機関の受診を勧めた。また、医療機関を受診した学生からは、診断結果と検査結果、医師の指示や指導内容を確認した。健康診断の身体計測や血液検査、血圧測定結果から、生活習慣を改善する必要がある学生には、保健師から保健指導をした。学生定期健康診断の実施状況は、表2に示す。受診者数と受診率は、表3・4に示す。

表 2. 平成26・27年度学生定期健康診断の実施状況

年度	日 時	対 象 学 生		
平成 26 年度	4月1日(火)	9:30～11:30 13:00～16:30	看護学部 リハビリテーション学部	第2～4学年次
	4月2日(水)	9:00～11:30 13:00～16:30	薬学部	第2～6学年次
	4月12日(土)	9:00～12:10 13:10～16:20	全学部	新入生
平成 27 年度	4月1日(水)	9:00～11:30 13:00～16:30	看護学部 リハビリテーション学部	第2～4学年次
	4月2日(木)	9:00～11:30 13:00～16:30	薬学部	第2～6学年次
	4月11日(土)	9:00～12:30 13:30～17:00	全学部	新入生

※会 場：多目的ホール1、体育館（G棟アリーナ1階、2階）
健康診断実施機関：近畿健康管理センター

表 3. 平成26年度学生定期健康診断実施者数

学 部	在学生数	健康診断		胸部X線デジタル撮影	
		実施者数	受診率	実施者数	受診率
薬学部	931	923	99.1	923	100.0
看護学部	417	415	99.5	414	99.8
リハビリテーション学部	371	371	100.0	371	100.0

※休学者を除く

表 4. 平成27年度学生定期健康診断実施者数

学 部	在学生数	健康診断		胸部X線デジタル撮影	
		実施者数	受診率	実施者数	受診率
薬学部	896	892	99.6	892	100.0
看護学部	409	408	99.8	408	100.0
リハビリテーション学部	368	368	100.0	368	100.0

※休学者を除く

(2) 抗体検査とワクチン予防接種

病院実習での感染予防対策として、本学では抗体検査とワクチン予防接種を近畿健康管理センターに委託し、学内において実施した。平成26・27年度の新入生に対し、これまでと同じ麻疹・風疹・水痘・ムンプスの4種ウイルスのEIA法によるIgG抗体検査を実施した。予防接種もこれまでと同じ生ワクチンを接種した。抗体検査の結果、陰性者および擬陽性者には、早期臨床体験実習までに学内においてワクチンを接種した（表5）。体調不良等の理由で接種できなかった学生は、医療機関で個別にワクチン接種した。接種後の確認抗体検査については、統一した基準で確認するため学内で行っている。

第1学年次のワクチン接種により抗体を獲得できなかった場合、第2学年次に再度ワクチン接種を実施した。2回接種しても陽性とならなかった場合は、第3学年次において、希望者にワクチン接種を実施した。学年が上がるごとに抗体陽性率が上昇していることから、ワクチン接種が有用で

あると考えられる。ワクチン接種後の抗体陽性状況について表6・7に示す。なお、麻疹と風疹についてワクチン接種が必要と判定する実習医療機関の基準は、本学基準よりも高い場合があり、抗体陽性であっても基準を満たしていない場合は、実習医療機関からワクチン接種を要望されることもあるので、平成28年度から「医療関係者のためのワクチンガイドライン 第2版」に沿って実施することになった。

表5. 平成26・27年度 抗体検査およびワクチン予防接種

年度	日	時	抗体検査、予防接種	対象学生
平成26年度	4月12日(土)	9:00～12:10 13:10～16:20	抗体検査 (健康診断時の採血)	全学部 新入生
	5月22日(木)	12:30～16:10	ワクチン予防接種	第1・2学年次 接種対象者 第3学年次 希望者
	6月19日(木)	12:30～15:20	ワクチン予防接種	第1・2学年次 接種対象者 第3学年次 希望者
	7月17日(木)	12:30～13:40	ワクチン予防接種	第1・2学年次 接種対象者
	7月17日(木)	13:10～13:40	確認抗体検査	看護学部・リハビリテーション学部 第3学年次 ワクチン接種者
	10月7日(火)	11:00～16:30	確認抗体検査	看護学部 第1・2学年次 ワクチン接種者
	10月16日(木)	11:00～16:30	確認抗体検査	薬学部 第1～3学年次 ワクチン接種者
	10月27日(月)	11:00～16:30	確認抗体検査	リハビリテーション学部 第1・2学年次 ワクチン接種者
平成27年度	4月11日(土)	9:00～12:30 13:30～17:00	抗体検査 (健康診断時の採血)	全学部 新入生
	5月14日(木)	12:30～16:10	ワクチン予防接種	第1・2学年次 接種対象者 第3学年次 希望者
	6月11日(木)	12:30～15:20	ワクチン予防接種	第1・2学年次 接種対象者 第3学年次 希望者
	7月9日(木)	12:30～13:40	ワクチン予防接種	第1・2学年次 接種対象者
	7月9日(木)	13:10～13:40	確認抗体検査	看護学部・リハビリテーション学部 第3学年次 ワクチン接種者
	10月6日(火)	11:00～16:30	確認抗体検査	看護学部 第1・2学年次 ワクチン接種者
	10月15日(木)	11:00～16:30	確認抗体検査	薬学部 第1～3学年次 ワクチン接種者
	10月28日(水)	11:00～16:30	確認抗体検査	リハビリテーション学部 第1・2学年次 ワクチン接種者

会 場：多目的ホール1、体育館（G棟アリーナ1階、2階）
健康診断実施機関：近畿健康管理センター

表 6. 平成26年度 各学年のワクチン接種後の抗体陽性率

(平成27年 3 月末現在)

	麻 疹	風 疹	水 痘	ムンプス
第 1 学年次 (平成26年度入学)	100.0 (95.2)	96.9 (87.9)	99.2 (95.5)	89.5 (61.9)
第 2 学年次 (平成25年度入学)	100.0 (96.7)	98.1 (90.2)	98.9 (95.1)	95.0 (68.0)
第 3 学年次 (平成24年度入学)	100.0 (97.2)	97.9 (91.6)	99.4 (95.0)	98.8 (62.8)

※ () は各学年の入学時の抗体陽性率

表 7. 平成27年度 各学年のワクチン接種後の抗体陽性率

(平成28年 3 月末現在)

	麻 疹	風 疹	水 痘	ムンプス
第 1 学年次 (平成27年度入学)	98.8 (96.0)	97.7 (88.7)	97.7 (92.8)	91.3 (63.3)
第 2 学年次 (平成26年度入学)	100.0 (95.2)	98.6 (87.9)	99.1 (95.5)	96.0 (61.9)
第 3 学年次 (平成25年度入学)	100.0 (96.7)	98.5 (90.2)	99.7 (95.1)	98.2 (68.0)

※ () は各学年の入学時の抗体陽性率

(3) 保健室の利用状況

保健室利用者は新年度が始まる 4・5 月が多い。この時期は抗体検査やワクチン接種関連の説明および健康診断の結果説明や要医療・要精密検査対象学生への保健指導が多い。また、「健康調査票」の記載内容に応じ、学業上の配慮が必要な学生に対する医師、保健師の「面談・説明」の件数も多い。新生活に慣れずに体調不良となり、ベッドを利用する学生もこの時期に多い。また、10月から翌年 1 月の時期は、発熱や上気道感染症状、消化器症状など内科症状の利用者が多くなり、検温や問診結果により早期受診勧奨や感染拡大防止（手洗い・うがい・マスク装着）の指導を行っている。平成26・27年度における保健室利用状況を表 8・9 に示す。

表 8. 平成26年度症状別保健室利用者数

利用内容	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
内科	40	39	22	32	6	13	26	19	19	13	8	7	244
外科	22	21	16	17	4	8	17	10	8	3	1	3	130
その他診療科	6	10	23	10	7	4	6	8	8	4	0	3	89
(ベッド休養)	10	12	13	13	3	6	10	7	4	1	3	1	83
(医療機関タクシー搬送)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
(救急車搬送)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相談	16	54	7	4	5	1	3	0	1	0	2	0	93
面談・説明	349	430	211	82	84	100	155	66	86	128	46	55	1,792
測定	15	16	15	12	8	7	29	21	16	6	3	0	148
その他	26	28	18	23	5	6	11	13	12	2	1	3	148
合 計	474	598	312	180	119	139	247	137	150	156	61	71	2,644

※ベッド休養は内科の再掲

※医療機関タクシー搬送・救急車搬送は内科あるいは外科の再掲

表 9. 平成27年度症状別保健室利用者数

利用内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	32	29	31	21	8	9	29	18	23	6	7	7	220
外科	15	9	15	20	7	6	10	4	10	9	1	4	110
その他診療科	7	13	6	12	3	3	5	7	2	1	3	2	64
(ベッド休養)	14	12	14	9	7	3	11	10	9	0	4	1	94
(医療機関タクシー搬送)	0	0	2	3	0	0	1	0	1	0	0	0	7
(救急車搬送)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相談	9	48	7	9	4	2	5	0	1	2	0	0	87
面談・説明	333	250	151	95	70	69	91	68	73	54	82	57	1,393
測定	2	2	19	7	11	21	8	9	3	1	3	0	86
その他	26	17	21	16	5	6	13	9	5	3	0	1	122
合 計	424	368	250	180	108	116	161	115	117	76	96	71	2,082

※ベッド休養は内科の再掲

※医療機関タクシー搬送・救急車搬送は内科あるいは外科の再掲

(4) インフルエンザの出席停止措置について

①「感染症罹患報告受付」状況

インフルエンザに罹患した学生の保健室への報告については、平成26年度は35名（A型23名、B型5名、型不明7名）、平成27年度では21名（A型5名、B型8名、型不明8名）であった。

②「出席停止措置」の状況

学校保健安全法に定める感染症に罹患した学生については、登校許可日に保健室へ提出した「感染症罹患届」（診断書添付）を保健管理センター長が確認して出席停止期間を認定し、教務部長に報告している。認定者は、平成26年度で31名、平成27年度で18名であった。

(5) その他

①「熱中症予防講習会」

熱中症に対する意識を高め予防や対処法について周知するため、賀屋准教授（共通教育センター）が講演し、オクタホールで開催した。平成26年5月23日は学生191名、平成27年5月22日は学生176名が参加した。

②「自分のからだを知ろう」

性に伴う基本的なからだのしくみや避妊、性感染症、性暴力についてわかりやすく周知するため、平成26年7月4日にM112講義室で開催した。助産師の鈴木教授（看護学部）が講演し学生7名、教職員14名が参加した。

③「あなたは、お酒が飲める人？ 飲めない人？ アルコールパッチテストで確かめよう」

飲酒に関する注意喚起と適正飲酒について周知するため、平成26年11月28日にM204講義室において、保健管理センター長による「飲酒と健康」の講演とアルコールパッチテストを実施した。学生25名、教職員15名の参加があった。開催後も希望者にはアルコールパッチテストを保健室で実施し、平成27年度は学生17名がテストを受けた。

④体組成測定

体組成測定と結果説明を保健室で実施した。平成26年度は、学生94名、平成27年度は、学生61名、教職員6名が測定した。

⑤保健だより

「保健だより」を有志の学生スタッフが協力し、年４回（春・夏・秋・冬）発行を続けている。
学生スタッフが健康に関するテーマを自主的に選び、調べた記事や保健管理センター長の健康に関する記事、保健管理センター行事等を掲載した。

⑥証明書発行（健康診断証明書、抗体検査および予防接種証明書）

薬学部５年生の実務実習や他学部の学外実習で必要となる「健康診断証明書」（平成26年度217通、平成27年度279通）と「抗体検査および予防接種証明書」（平成26年度230通、平成27年度309通）を発行した。また、就職関連で必要となる「健康診断証明書」（平成26年度137通、平成27年度114通）も発行した。

iii) 学生相談室の活動状況

スタッフ：医師１名、相談員（臨床心理士）２名

(1) 学生相談室利用状況

学生相談室は、医師１名、相談員２名体制、開室日は月・火・木・金の週４日である。平成26年度の相談室の学生利用件数は437件で、平成27年度は477件であった。また、教職員・保護者とのコンサルテーション件数は、平成26年度が117件、平成27年度は780件であった。

相談室では、新入学オリエンテーション時において、パワーポイントでの施設案内や相談員の紹介および学生相談室春のイベント案内など相談室の広報活動を行っている。

相談内容を区分的にみると「性格」、「友人等との対人関係」、「授業などの学業」が上位に位置している。大学時代は社会に出る一歩手前の自分自身の将来について考える時期でもあり、今の自分に不適応感を感じて、「性格」の問題が浮かび上がってくると思われる。また、医療専門職を目指す大学であることから、グループワークや実技実習、学部学科の学生同士が同じ講義を受講する中で、学業に関する様々な問題や人間関係に関する悩みが生じやすいといえる。社会性の発達に関してサポートを必要としている学生の場合、教職員とのコミュニケーションの問題が見られる。

また、学生を取り巻く関係者（教職員・保護者）とのコンサルテーションを中心とした支援では、発達障がい学生支援のキャンパスネットワークの拠点としての機能を継続して担い、連携を行っている。さらに、学生の守秘を守り、学生や保護者の同意を得ながら教職員と連携を行い支援していくケースが増加している。

表10. 平成26年度相談内容別件数

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就職や将来の進路										3	4		7
異性問題		2			3				1				6
授業など学業	8	6	5	12	7	14	5	13	10	7	5	1	93
友人等との対人関係	5	8	11	10			13	5	4	4	3	7	70
性格	14	23	29	22	5	10	21	13	16	5	13	5	176
経済問題 (家計・学費・ローン)													
価値観													
健康							4						4
課外活動													
家族や家庭内のこと			1	3	1								5
その他	7	9	5	7	2	6	10	3	9	7	6	5	76
合 計	34	48	51	54	18	30	53	34	40	26	31	18	437

表11. 平成26年度コンサルテーション件数

	教 職 員	保 護 者	そ の 他	合 計
件 数	78	39	0	117

表12. 平成27年度相談内容別件数

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就職や将来の進路					2	2					1		5
異性問題											2		2
授業など学業	9	8	12	10	7	9	18	13	12	15	12	7	132
友人等との対人関係	14	15	17	12	10	8	8	3	1	3			91
性格	16	12	16	7	8	4	11	9	8	2	1	2	96
経済問題 (家計・学費・ローン)													
価値観													
健康													
課外活動						1	2	3	2				8
家族や家庭内のこと										1			1
電話	1	1	2	12	1	1	3	2	3	6	3	1	36
メール	3	5	10	11	4	12	7	3	4	4	6	3	72
その他	3	4	3	4	6	2	2	1	5	2		2	34
合 計	46	45	60	56	38	39	51	34	35	33	25	15	477

※前年度まで「その他」に含めていた電話とメールでの学生対応を平成27年度より別項目としている。

表13. 平成27年度コンサルテーション件数

	教 職 員	保 護 者	そ の 他	合 計
件 数	745	35	0	780

(2) 学生相談室イベントの開催

学生相談室主催のイベントを平成26年度、平成27年度ともに春と秋と冬に年4回行った。イベント開催は、学生が、学生生活において、悩んだり困ったりしたときに相談室に来談しやすいように、相談員との交流を図り、相談室の敷居を低くする広報活動の一環として行っている。また、過密なスケジュールの医療系大学のキャンパスライフの中で、学生たちが心休まる一時を過ごせるように、このようなイベントを提供している。

表14. 平成26 27年度学生相談室イベント開催状況

年度	月日	時 間	場 所	内 容	参加者
平成26年度	6月24日 (火)	12:50～14:00	くつろぎスペース ひだまり	自分を知らう～仲間作りのヒント発見～	16名
	11月18日 (火)	12:45～13:35		手話でコミュニケーションを楽しもう	9名
	1月13日 (火)	12:50～14:00		アロマキャンドル作りとフルーツティーのお茶会	21名
	2月3日 (火)	12:50～14:30		デコチョコ作り	21名

年度	月日	時 間	場 所	内 容	参加者
平成 27 年度	5月26日 (火)	12:50～14:30	くつろぎスペース ひだまり	自分を知ろう～仲間づくりのヒント発見～	18名
	11月17日 (火)	12:45～13:35		コミュニケーションを楽しもう ～手話でティーパーティー～	20名
	12月22日 (火)	12:50～14:30		クリスマスアロマキャンドルIN2015	21名
	2月2日 (火)	12:50～14:00		デコチョコ作り	26名

(3) 保健管理センター便り

保健管理センター便り「ばたばた幸せふくろう便」を保健管理センターから年間4回（春・夏・秋・冬）発行した。

(4) 発達障がい学生支援

相談窓口を当該学生に伝えるための「発達障がい学生支援のしおり」と、支援実施のための「発達障がい学生支援フローチャート」を作成しており、入学時相談にも対応した。

3. 学内広報

1) 学内広報紙「HUHS NOW」の発行

学生・教職員・保護者の3者それぞれに対する広報媒体として、発行責任者の馬場学長の下、その時節に発信すべく情報を編集・制作（広報・情報グループが担当）し、現状認識を共有化することを目的にインナーコミュニケーションの充実を図っている。

平成26年度と27年度の発行実績は、表1のとおりである。

表1. HUHS NOWの発行状況

版 名	Vol.	発 行 日	主なコンテンツ
教職員版	3	平成26年11月1日	・学長挨拶「厳しくも面倒見の良い大学へ」
			・チーム医療の定義
			・グローバル教育への取り組み
			・男女共同参画推進計画について
			・ホームカミングディ・同窓会・保護者会の開催報告
			・推薦入試出願状況
			・新任教員紹介
	4	平成27年5月25日	・学長挨拶「2015年度のスタートに」
			・副学長就任挨拶
			・教育支援室の支援体制と取組
			・薬学部東洋医薬部門設立
			・JBIセンター活動状況
			・新任教職員紹介
	5	平成28年4月25日	・学長挨拶「次なる10年に向けて」
			・新任役職者挨拶
			・社会学連携事業報告
			・SD・FD報告
			・1日体験入学イベント開催報告
			・新任教職員紹介
			・国家試験結果
			・入試出願状況/就職状況
学 生 版	2	平成26年7月14日	・課外活動結果
			・看護学部欧州研修報告
			・アデレード大学との交換留学について契約を締結
			・ソロプチミストルビー賞受賞
			・リーダーズキャンプ報告
			・オープンキャンパススタッフ募集
			・大学院案内
	3	平成27年2月9日	・アデレード大学への短期留学報告
			・課外活動奨励賞決定
			・神戸マラソンボランティア報告
			・キャリアデザインセンターの活用法
			・同窓会開催報告

版 名	Vol.	発 行 日	主なコンテンツ
	4	平成27年11月18日	・平成27年度 4 月の主なスケジュール
			・課外活動奨励賞決定
			・ミニグラウンドの整備完了
			・アデレード大学への短期留学報告
			・海祭祭報告
			・同窓会開催報告
			・通学経路の注意事項
			・学生相談室イベント開催の案内
保護者版	2	平成26年 8 月21日	・自動車保険加入の徹底
			・学長挨拶「大学教育と国家試験」
			・教育への取り組みと今後の展望
			・国際交流への取り組み
			・在学生特別奨学金制度について
			・同窓会の設立
			・地域連携実践センターの活動報告
			・保護者懇談会開催の案内
	3	平成27年 8 月 1 日	・学長挨拶「厳しくも面倒見の良い大学へ」
			・副学長就任挨拶
			・各学部長・共通教育センター長による「今後の展望」
			・教育支援室の新体制について
			・社会学連携機構の発足
			・看護学研究科 科目等履修生度の導入
			・保護者会よりゴニオメーターの贈呈
			・入学生・在学生特別奨学生の決定

2) IB（インフォメーションボード）からの情報発信

学内用電子掲示板を平成25年 4 月から設置し、多機能・高画質のインフォメーションボードとして、在学生・教職員間の情報伝達および情報の共有化のために活用している。

また、本キャンパスへの日常的来訪者やオープンキャンパス等のイベント来訪者などの学外者に対する本学へのイメージ訴求媒体としても利用している。

運用状況は、下図 1 ～ 3 のとおりである。



図 1. インフォメーションボード設置箇所

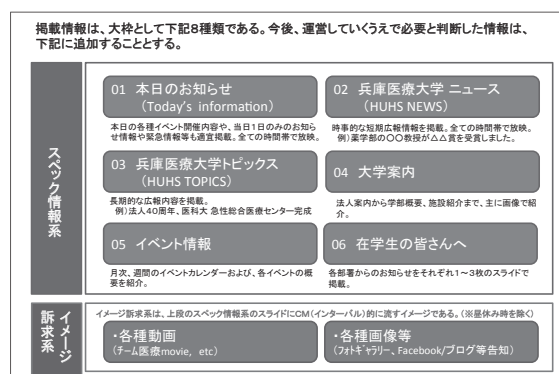


図 2. 発信情報（コンテンツ）について

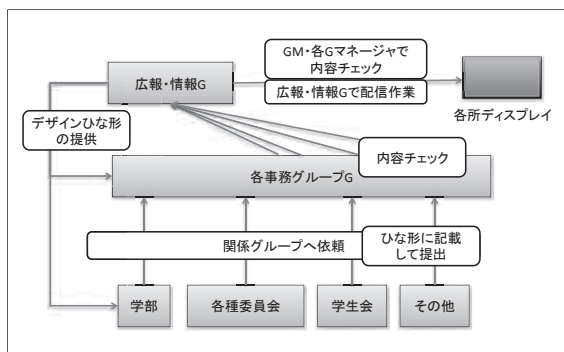


図 3．運用体制

4. 付属施設・活動状況

1) 図 書 館

i) 施設概要

(1) 設備（平成27年度末現在）

図書館面積	2,305㎡
グループ学習室面積	437㎡
閲覧席	408席
グループ学習室	20室
情報端末	22台
蔵書検索専用端末	2 台
視聴覚機器	4 台
コイン式コピー機	2 台
複合機	1 台

(2) 所蔵資料数

	平成26年度末現在	平成27年度末現在
図書（冊）	27,685	28,684
雑誌（種）	448	452
視聴覚資料（タイトル）	1,590	1,626
電子ジャーナル（利用可能種数）	3,950	4,036
電子書籍（タイトル）	54	54

(3) 年間受入数

	平成26年度実績	平成27年度実績
図書（冊）	2,545	1,082
雑誌（種）	291	277
視聴覚資料（タイトル）	49	36

（文部科学省 学術情報基盤実態調査回答より）

ii) 特記すべき図書館の動き

(1) 平成26年度

- ・私立大学図書館協会に加盟した。
- ・監視カメラを設置した。
- ・(株)エイチ・アイより医学古書（医心方・解體新書・蔵志）と展示ケースが寄贈され、贈呈式が行われた。
- ・兵庫医科大学図書館より製本雑誌340冊を管理換えで受け入れた。
- ・兵庫医科大学病院看護部より製本雑誌を受け入れた。
- ・蔵書点検を行った。
- ・入館ゲートの故障に伴い、修理を依頼した。

(2) 平成27年度

- ・私立大学図書館協会阪神地区協議会研究会幹事校を担当することとなった。
(平成27年度～28年度)
- ・図書館システム「CARIN-i」のバージョンアップを行った。
- ・「研究業績プロ」のバージョンアップを行った。
- ・3月よりコピー機1台を増設した。
- ・ホームページから図書館に係る統計を公開した。
- ・ブックポストの運用を変更した。
- ・防火シャッターの工事が行われた。

iii) 利用状況

(1) 入館者数・貸出冊数

	平成26年度実績	平成27年度実績
開館日数	307	307
入館者数 (延数)	140,139	123,183
貸出冊数 (延数)	12,692	13,249

(2) グループ学習室 (20室)

	平成26年度実績	平成27年度実績
利用総時間数 (時間)	7,130	5,498
講義利用数 (コマ)	148	154

iv) 学習支援

(1) 平成26年度

全学部1学年次生「アカデミックリテラシー」、看護学部「研究方法論」等7コマに加え、リハビリテーション学部作業療学科から要請のあった「文献説明会」(2コマ)を実施した。また、認定看護師教育課程の「文献検索・文献講読」4コマについて文献情報検索の講義を実施した。

(2) 平成27年度

全学部1学年次生「アカデミックリテラシー」2コマ、看護学部「研究方法論」2コマ、リハビリテーション学部作業療学科から要請のあった「文献説明会」2コマを実施した。また、認定看護師教育課程の「文献検索・文献講読」4コマについて文献情報検索の講義を実施した。

v) 研究支援

図書館では研究支援の一環として、本学に所蔵のない文献の複写や図書を他機関に依頼して取り寄せたり、逆に、他機関から文献複写や図書の貸出希望を受付ける相互利用サービスを行っている。実績統計を以下に示す。

		平成26年度実績		平成27年度実績	
		件数	複写枚数	件数	複写枚数
依頼	文献複写	353	1,646	342	1,717
	貸借 (図書の借受)	2	—	4	—
受付	文献複写	591	2,742	506	2,325
	貸借 (図書の貸出)	3	—	0	—

(文部科学省 学術情報基盤実態調査回答より)

vi) 図書館職員研修

文部科学省や国立情報学研究所、企業等が主催する研修・セミナーに参加し、学術情報の最新動向を知り、専門知識を習得するため研鑽している。

(1) 平成26年度

研修テーマ	主 催	場 所
学術情報ソリューションセミナー2014 in 大阪： 学術情報の現在・過去・未来	株式会社サンメディア	ナレッジキャピタル
第75回私立大学図書館協会研究大会： 大学図書館と電子資料	私立大学図書館協会	岡山理科大学
京セラ丸善図書館システムユーザー会	京セラ丸善システムインテグレーション株式会社	愛知学院大学図書館情報センター
学術情報リテラシー教育担当者研修	国立情報学研究所	国立情報学研究所
看護図書館員のための文献検索教育セミナー： 看護図書館員による文献検索の教育を考える	日本看護図書館協会	京都橘大学

(2) 平成27年度

研修テーマ	主 催	場 所
私立大学図書館協会学習支援プロジェクト研修： 大学図書館と出版社の現場から	私立大学図書館協会阪神地区協議会学習支援プロジェクト	武庫川女子大学
学術情報ソリューションセミナー2015 in 大阪： Next-D～データが創り出す新たな世界～	株式会社サンメディア	ナレッジキャピタル
JUSTICE電子資料契約実務研修会in京都	大学図書館コンソーシアム 連合JUSTICE	キャンパスプラザ京都
日本看護図書館協会第48回研究会： 看護図書館員としてのステップ・アップ～分類・著作権・ILL～	日本看護図書館協会	日本図書館協会
2015年度第1回阪神地区研究会： 今、あらためて大学図書館職員の働き甲斐を問う	私立大学図書館協会阪神地区協議会	梅花女子大学
医中誌Web管理者向け講習会	医学中央雑誌刊行会	京都大学医学部
京都大学図書館機構講演会： デジタル化資料の公開にかかわる権利処理を学ぶ ～基礎知識から実践まで～	京都大学図書館機構	京都大学附属図書館
看護図書館員のための文献検索教育セミナー2015： 看護図書館員による文献検索の教育を考える Part2	日本看護図書館協会	京都府立医科大学附属図書館
2015年度第2回阪神地区研究会： 図書館ガイダンスの工夫と実際	私立大学図書館協会阪神地区協議会	本学
日本薬学図書館協議会中堅職員研修会： 電子ジャーナルのゆくえ Part2	日本薬学図書館協議会	全国婦人会館

2) 情報センター

i) 施設の概要

情報センターは平成21年1月に学長直轄の組織として出発し、各学部・共通教育センターからそれぞれ1名選出された教員、広報・情報グループ（平成27年度時点、現入試・広報課）の事務職員で構成される組織である。本センターは、兵庫医療大学の情報ネットワークを含む情報システムの企画・

整備・運用により、本学の教育・研究を支援し、本学の発展に資することを目的としている。平成26年7月に情報センター運営委員会の規程が変更され、情報センター運営委員会に情報センター教員も参加することとなったため、それまで行っていた情報センター会議は廃止された。

ii) 活動状況

平成26・27年度においては引き続き学内ネットワークや各種業務系情報システムのサーバ管理・運用、ホームページの作成支援、情報処理演習室の管理・運用、情報システムの利用に関する教職員・学生のサポート等を行った。情報処理演習室の利用マナーが悪化していることから、見回りを強化すると共に複数回違反する者については、改めて罰則を設けた。また、平成28年3月でリプレイスを行う必要があったネットワーク、電話、AV等について、リプレイス案、予算案の作成を行い、リプレイス後には利用者説明会を行った。また、これらのリプレイスに必要な予算の一部は助成金獲得によって大部分をまかなうことができた。

iii) 平成26・27年度に実行した案件

- ・情報システムのリプレイスの予算立案、計画、実施
- ・Microsoft Office やウイルス対策ソフトウェア等のライセンス契約
- ・インフォメーションボード運用サポート
- ・ディスカッションボード運用サポート
- ・名誉教授、卒業生へのメールアドレス付与
- ・新生、新規教職員に対する情報システム関連の説明
- ・全学情報システム・サービス運用、利用者支援
- ・情報処理演習室の見回り
- ・プリンタポイント購入関連の整備
- ・助成金申請補助

3) キャリアデザインセンター

i) 施設の概要

社会に有用な卒業生の排出を目指す専門職業教育支援の拠点とするため、平成21年4月からキャリアデザインセンターをM棟1階に設置している。また、その目的達成のためキャリアデザイン委員会を制定し、毎月委員会を開催している。卒業年次を対象とした病院・企業説明会、各種ガイダンス・講座、求人情報の提供、応募書類の作成、面接指導などの「就職支援」および、進路を考え、キャリアデザインの基盤作りとなる「キャリア支援」を行うことにより、学生の卒業後の充実した進路選択をサポートしている。活動状況については、表1～14に示す。

ii) 活動内容

(1) キャリア支援

- ・仕事研究セミナー（表1、表8）
- ・病院・施設等職場見学
- ・合同病院説明会（「学校法人兵庫医科大学連携病院の会」）（表2、表9）

(2) 就職支援

- ・ 求人票案内
- ・ 就職相談、求人紹介
- ・ 面接対策（講座、模擬面接）
- ・ 書類の書き方指導、添削
- ・ 学内合同病院説明会（表2、表9）
- ・ 薬学部 企業説明会・就職・実習説明会（表3、表10）
- ・ 社会人スキル対策講座（表4、表11）
- ・ 社会人スキルガイダンス（表5、表12）
- ・ 公務員採用試験ガイダンス・保健師ガイダンス（表6、表13）
- ・ グループディスカッション講座（表7、表14）
- ・ 求人開拓

(3) その他

- ・ 新学期オリエンテーション
- ・ オープンキャンパスでのキャリア、就職支援の紹介
- ・ キャリアデザイン委員会の運営
- ・ PI 4 大学連携キャリア実務者会議

〈平成26年度〉

表1. 仕事研究セミナー

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第29回	7月16日（水）	がん看護CNSの役割と活動	看護学部（全学年）	11名
第30回	8月8日（金）	卒業生からのメッセージ	薬学部（全学年）	86名
第31回	11月17日（月）	選手を守る ～スポーツ現場にいる理学療法士の実際の仕事～	理学療法学科（全学年）	67名
第32回	12月1日（月）	卒業生からのメッセージ	看護学部（全学年）	5名
第33回	12月17日（水）	卒業生からのメッセージ	薬学部（全学年）	9名

表2. 学内合同病院説明会

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第5回	4月26日（土）	学校法人兵庫医科大学連携病院の会	全学部（全学年）	210名
第5回	7月27日（月）	兵庫医科大学病院・兵庫医科大学ささやま医療センター	看護学部（3年生）	98名

表3. 薬学部 企業説明会・就職・実習説明会

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第4回	3月21日（土）	薬学部 企業説明会（学外）	薬学部（5年生）	70名
第5回	2月24日（火）	就職・実務実習説明会	薬学部（4年生）	130名

表 4. 社会人スキル対策講座

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第13回	4月3日(木)	就職試験対策(履歴書の書き方、面接対策、マナー)	看護学部(4年生)	85名
第14回	4月4日(金)			89名
第15回	8月18日(月)		リハビリテーション学部(4年生)	90名

表 5. 社会人スキルガイダンス

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第11回	9月3日(水)	接遇・マナー講座	看護学部(3年生)	67名
第12回	12月26日(金)	接遇・マナー講座	リハビリテーション学部(3年生)	86名
第13回	2月23日(月)	就職ガイダンス(年間スケジュール、試験対策、ビジネスマナー等) 就職関係手続き説明 就活メイク講座(印象の良いメイク法)	看護学部(3年生)	81名

表 6. 公務員採用試験・保健師ガイダンス

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第7回	8月7日(木)	保健師の採用状況、試験内容、対策ポイント	看護学部(全学年)	25名
第8回	12月24日(水)	公務員の採用状況、試験内容、対策ポイントおよび資格職の採用状況、必要な公務員試験の勉強方法の具体的な説明	全学部(全学年)	20名

表 7. グループディスカッション対策講座

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第4回	8月20日(水)	グループディスカッション対策講座	全学部(全学年)	13名

〈平成27年度〉

表 8. 仕事研究セミナー

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第34回	4月10日(金)	卒業生からのメッセージ	薬学部(全学年)	117名
第35回	6月1日(月)	作業療法士として学生時代から現在まで	作業療法学科(全学年)	29名
第36回	7月2日(木)	卒業生からのメッセージ	看護学部(全学年)	18名
第37回	11月9日(月)	総合病院で働く理学療法士の魅力	理学療法学科(全学年)	104名
第38回	12月16日(水)	児童発達支援・放課後等デイサービスのおしごととは？	作業療法学科(全学年)	18名
第39回	12月18日(金)	進学という選択	理学療法学科(全学年)	23名

表 9. 学内合同病院説明会

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第6回	4月25日(土)	学校法人兵庫医科大学連携病院の会	全学部(全学年)	383名
第6回	2月24日(水)	兵庫医科大学病院・兵庫医科大学ささやま医療センター	看護学部(3年生)	88名

表10. 薬学部 企業説明会・就職・実習説明会

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第5回	3月6日(日)	薬学部 企業説明会(学外)	薬学部(5年生)	94名
第6回	2月22日(月)	就職・実務実習説明会	薬学部(4年生)	144名
	2月23日(火)			144名

表11. 社会人スキル対策講座

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第16回	4月2日(木)	就職試験対策(履歴書の書き方、面接対策、マナー)	看護学部(4年生)	95名
第17回	8月10日(月)		リハビリテーション学部(4年生)	81名

表12. 社会人スキルガイダンス

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第14回	9月9日(水)	接遇・マナー講座	看護学部(3年生)	94名
第15回	1月7日(木)	接遇・マナー講座	リハビリテーション学部(3年生)	89名
第16回	2月24日(水)	就職ガイダンス(年間スケジュール、試験対策、ビジネスマナー等) 就職関係手続き説明 就活メイク講座(印象の良いメイク法)	看護学部(3年生)	88名

表13. 公務員採用試験・保健師ガイダンス

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第8回	8月6日(木)	保健師の採用状況、試験内容、対策ポイント	看護学部(全学年)	25名
第9回	8月6日(木)	保健師の採用状況、試験内容、対策ポイントおよび資格職の採用状況、必要な公務員試験の勉強方法の具体的な説明	全学部(全学年)	30名

表14. グループディスカッション対策講座

回	開催日	テーマ	対象	参加数
第5回	8月7日(金)	グループディスカッション対策講座	ポートアイランド4大学(全学年)	26名

4) 地域連携実践センター

i) 施設の概要

地域連携実践センターは、本学の開学と同時にP棟の2階に設置され、地域連携推進委員会を中心に、本学教員がそれぞれの専門分野に則して、地域住民の方々が参加しやすい公開講座や健康相談事業などを実施している。平成20年度からは「ポーアイ4大学連携事業」の一つとして本学に設置された「ポーアイ健康・生活支援ステーション」と連動する実践活動と地域連携実践センター独自の活動を行っている。

ii) 社会との連携・協力に関する方針

本学の特色として、教育研究分野すべてが生活と密接にかかわる分野であることから、地域連携を重視し、地域連携を推進するため「地域連携推進委員会」を組織、「地域連携実践センター」をその活動主体としている。本委員会は地域連携実践センターの運営および本学の地域連携に関する企画を立案し、本学教員による市民健康公開講座の開催および個別の健康相談事業、地域交流プロジェクト等を実施している。

iii) 地域連携実践センターの活動

地域連携実践センターでは、「公開講座・健康相談」、「地域交流プロジェクト」、「講演会・ワークショップ」の3つのカテゴリーの企画を実施している。また、イベント開催時以外にも地域住民に同センターを開放し、本学教員の教育研究活動成果のポスター、漢方薬処方や生薬標本も展示して、医療に関するさまざまな情報を公開している。また、医療関係から子供の絵本に至るまで200冊以上の書籍を購入し、地域住民の方々が閲覧できるように図書を開架している。ホームページ上に蔵書リストを公開し、蔵書の貸出しやコピーサービスも行っている。この他、健康や医療などに関する情報検索ができるようにインターネットに接続した2台のパソコンを設置したり、子供が自由に遊べるように玩具を備えた部屋を設置したりしている。

全国有数の「大学都市」神戸の魅力をより多くの方に知って貰うため、神戸の大学と神戸市共同での「大学都市KOBELIFE発信プロジェクト」を実施し、2014年度にはナレッジキャピタルでの展示・体験イベントがスタートし、本学も担当校の一つとして教員の日頃の研究や教育内容についての展示および講演会の開催などに取り組んだ。

平成27年度には、私立大学等改革総合支援事業に採択され、Inbody（体成分分析装置）、Achilles（超音波踵骨密度測定装置）、Astrim（ヘモグロビン測定装置：貧血度測定に応用）、Actiband（リストバンド型活動量計）、iPad、血圧計などの測定機器を新たに導入し、地域住民への健康相談を行うなど、学生の地域におけるアクティブラーニングに活用している。

学生については、地域住民の皆さんに提供できるボランティアの会「ボーアイ多職種連携学生ネットワーク」を結成し、健康相談の方法を学ぶなどの活動を行っておりメンバー募集を続けている。

iv) 公開講座および健康相談

薬学部、看護学部、リハビリテーション学部、共通教育センターが各々企画し、この2年間で6回開催した。また、各公開講座のテーマに関連した参加者の健康相談を併せて実施した。受講者に対するアンケート調査を取り入れ、情報の発信だけにとどまらず、参加者の意見を取り入れるなど参加者に密着した運営に取り組んでいる。参加者は、平成26年度は166名（3回開催）、平成27年度は240名（3回開催）であり、1講座当りの参加者は平均80名と、毎年参加人数が着実に増加し、地域における認知度が高く維持されるようになった。

「全国同時七夕記念講演会」、「HIV講演会」については、平成21年度から継続して、各々年1回ずつ、2年間で計4回開催し、本学の学生も多く参加した。

平成25年度からは、コムスタこうべ 神戸市生涯学習支援センターが開催する「こうべ生涯学習カレッジ」に参画し、健康と生活をテーマにしたセミナーを実施している。

v) 地域交流プロジェクト

地域交流プロジェクトは、地域住民の健康の維持・増進・回復のために、本学教員の専門領域に即したテーマについて、受講者を募集し、双方向での数回の講義を実施するもので、平成20年度より実

施している。平成26年度は4つのプロジェクトを、平成27年度は8つのプロジェクトを採択し、実施した。延参加人数は、平成26年度では136名、平成27年度では328名であり、参加者からは好評を得ている。

vi) 教員教育研究活動の展示

地域連携実践センター内のロビーの掲示板に、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部、共通教育センターの教員の教育研究活動成果のポスターなどを展示し、医療に関するさまざまな情報を公開している。

vii) PR活動

公開講座などの広報先は、これまでのポートアイランド内の神戸新聞1紙の折り込みから新聞6紙に増やし、配布地域をポートアイランドに加えて神戸市内中央区まで拡大した。

本学のホームページに地域連携センターの活動を掲載した。公開講座や地域交流プロジェクトの前には案内を掲載し、事後には講座の内容や反響の様子を掲載した。

表1. 平成26年度 活動報告

○ナレッジキャピタル事業

[アクティブラボ イベント]

期間：平成26年4月22日（火）～5月20日（火）

イベント名	開催日	参加人数
漢方茶試飲会	4月27日（日） 5月4日（日） 5月6日（火・祝） 5月11日（日） 5月18日（日）	650
体内組成測定	4月27日（日） 5月4日（日） 5月6日（火・祝） 5月11日（日） 5月18日（日）	180
リハビリチェック （認知機能チェック） （ロコモチェック）	4月26日（土） 4月29日（火・祝） 5月3日（土） 5月5日（月・祝） 5月10日（土） 5月17日（土）	50
乳房セルフチェック	4月26日（土） 5月5日（月・祝）	30
子どもの事故防止	4月29日（火・祝）	5
下肢筋力測定	5月3日（土）	155
運動習慣、食習慣チェック	5月10日（土）	25
手洗いの見直し	5月17日（土）	35

期間：平成27年 3 月23日（月）～ 4 月21日（火）

イベント名	開催日	参加人数
漢方茶試飲会	3 月29日（日） 4 月 5 日（日） 4 月12日（日） 4 月19日（日）	367
体内組成測定	3 月29日（日） 4 月 5 日（日） 4 月12日（日） 4 月19日（日）	189
乳房セルフチェック	3 月28日（土） 4 月 4 日（土） 4 月11日（土） 4 月18日（土）	231
ボードトレーナー	3 月28日（土） 4 月 4 日（土） 4 月11日（土） 4 月18日（土）	503

〔アクティブスタジオ イベント〕

開催日	イベント名	担当者	参加人数
5 月 3 日（土・祝）	親子体験教室 「光と色の不思議な世界へようこそ！」	薬学部 教授 前田初男 非常勤講師 石崎真紀子	119
6 月10日（火）	公開セミナー 「知って得する薬剤師活用術」	薬学部 教授 天野 学	
6 月13日（金）	ワークショップ 「ポーポキ、元気って、なに色？」	薬学部 講師 桂木聡子	
	ワークショップ 「自分のからだを知り自分の力で整えよう」		
7 月 3 日（木）	第 1 回月経をコントロールしよう	看護学部 講師 工藤里香	
7 月10日（木）	第 2 回妊娠前から知って得する私のできること	看護学部 講師 岡田公江	
7 月17日（木）	第 3 回遺伝って何？楽しみながら学びましょう！	看護学部 助教 片田千尋	
7 月24日（木）	第 4 回これって「うつ」？	看護学部 准教授 西村明子	
10月25日（土）	ワークショップ 「家庭でできる癒しの技術—ツボと養生（健康法）—」	看護学部 基礎看護学教員 孔子学院 邬 継紅	
1 月26日（月）	公開セミナー 「肺年齢を知ろう！」	リハビリテーション学部 教授 玉木 彰	
2 月 3 日（火）	公開セミナー 「現代型うつ病とは？」	リハビリテーション学部 教授 松井徳造	

○平成26年度 地域交流プロジェクト

(1) 健康みなおしプロジェクト ～トイレに悩む前に～

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
9月10日	リハビリテーション学部 講師 森 明子	①尿失禁について学ぶ	21
10月8日		②骨盤底筋体操について学ぶ ③骨盤底筋体操を習得する（実技練習）	

(2) ポーポキ・ピース・ネットワーク

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
10月5日	薬学部 講師 桂木聡子	健康って、なに色？	20

(3) がんグループサポートプログラム「語りあい・学びあい・支えあい」

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
11月22日	看護学部 講師 府川晃子	がんの体験と私の気持ち	34
11月30日		日々の健康と生活への対応	
12月13日		さまざまな資源と役立つ情報	

(4) 食の楽しみをささえるために～摂食嚥下ケアのポイント～

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
10月31日	リハビリテーション学部 教授 野崎園子	摂食嚥下のメカニズムとケアのコツ 薬の飲ませ方、姿勢や食具の工夫 医療相談：食生活について（無料）	61
11月15日		介助者へのサポート、食事介助、嚥下体操、インボディによる健康チェック（実践含む） 医療相談：食生活について（無料）	
12月15日		家族で楽しむクリスマス～ホテルのやわらかコース料理～	

(5) 全国同時七夕講演会2014

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
7月11日	共通教育センター 教授 加藤精一	宇宙と生命	64

○「ポーアイ4大学による連携事業」

(1) 公開講座・個別健康相談

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
5月24日	薬学部 教授 天野 学	知って得する薬剤師活用術	75
9月20日	看護学部 教授 藤井真理子 准教授 石原あや 講師 藤田優一	家族で子育て	14
2月22日	共通教育センター 准教授 芝崎誠司	やさしいライフサイエンス	77

(2) 介護支援プログラム～健康・生活・安心サポート～

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
10月4日	看護学部 講師 堀口和子	エイジングセルフケア	65
11月15日	看護学部 講師 堀口和子	介護すること、されること～茶話会～	21
2月8日	看護学部 講師 堀口和子	超高齢化社会での生老病死	95

(3) 花倶楽部2014

担 当 者	リハビリテーション学部 准教授 伊藤 斉子		
開 催 日	7月25日、9月5日、10月24日、11月7日、11月14日、12月19日、1月23日、3月6日 ※三宮会場 2月8日		
テ ー マ	高齢者の健康増進やストレス緩和等を目的に、緑や花にふれる		
参 加 人 数	延べ178		

(4) ポーアイ65歳大学2014

担 当 者	リハビリテーション学部 講師 有吉 正則		
開 催 日	10月5日～3月1日（全15回）		
テ ー マ	介護予防・生きがいづくりを応援する。自己再発見		
参 加 人 数	延べ499		

(5) 禁煙地区を目指した禁煙支援活動

担 当 者	共通教育センター 教授 賀屋 光晴		
吸殻収集日	4月24日、5月15日、6月19日、7月17日、9月25日、10月2日、11月20日、12月18日、1月26日		
テ ー マ	クリーンなキャンパス地区を目指してポイ捨て吸殻収集活動		
参 加 人 数	延べ207		

(6) ユーザー参加型医療デザインワークショップ

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
12月13日	薬学部 教授 前田 初男	いつももしものために医療品の情報管理をデザインするの巻	45

平成26年度 こうべ生涯学習カレッジ

大学連携セミナー 8月20日	お薬の正しい飲み方について	薬学部	藤野 秀樹	約100名
-------------------	---------------	-----	-------	-------

表 2. 平成27年度 活動報告

○ナレッジキャピタル事業

〔アクティブラボ イベント〕

期間：平成27年 4 月22日（水）～ 5 月21日（木）

イベント名	開催日	参加人数
血管年齢測定	4 月25日（土） 4 月29日（水・祝） 5 月 2 日（土） 5 月 6 日（水・祝） 5 月 9 日（土） 5 月16日（土）	561
ボードトレーナー	4 月25日（土） 4 月29日（水・祝） 5 月 2 日（土） 5 月 6 日（水・祝） 5 月 9 日（土） 5 月16日（土）	680
からだ成分分析 （インボディ）	4 月26日（日） 5 月 3 日（日・祝） 5 月 4 日（月・祝） 5 月 5 日（火・祝） 5 月10日（日） 5 月17日（日）	340
漢方茶試飲会	4 月26日（日） 5 月 3 日（日・祝） 5 月 4 日（月・祝） 5 月 5 日（火・祝） 5 月10日（日） 5 月17日（日）	660

期間：平成27年10月19日（月）～11月17日（火）

イベント名	開催日	参加人数
からだ成分分析 （インボディ）	10月24日（土） 10月31日（土） 11月14日（土）	84
ボードトレーナー	10月24日（土） 10月25日（日） 10月31日（土） 11月 1 日（日） 11月 3 日（火） 11月 7 日（土） 11月 8 日（日） 11月14日（土） 11月15日（日）	744
血管年齢測定	10月24日（土） 11月14日（土）	119
ロコモチェック	10月25日（日） 11月 8 日（日）	160
漢方茶試飲会	11月 1 日（日） 11月 3 日（火） 11月15日（日）	277

[アクティブスタジオ イベント]

開催日	イベント名	担当者	参加人数
7月25日（土）	知って得する薬剤師活用術 —薬剤師が変えるくすりの使い方	薬学部 教授 天野 学	291
7月26日（日）	気をつけよう！夏の事故防止と対処	看護学部 教授 網島 ひづる	
7月26日（日）	がんの予防と早期発見	看護学部 教授 田中 登美	
7月26日（日）	「これってうつ？」うつうつする前に知っておくこと	看護学部 教授 西村 明子	
8月27日（木）	服薬トレー「掌」制作体験プログラム	薬学部 教授 前田 初男	
8月28日（金）	親子で参加 夏休み制作体験プログラム	薬学部 教授 前田 初男	
9月5日（土）	姿勢を見直して肩こり・腰痛を予防しよう	リハビリテーション学部 教授 川口 浩太郎	
9月5日（土）	安全な妊娠・出産にむけて妊娠前からできること～ご存知ですか？自分の血圧～	看護学部 准教授 岡田 公江	
9月12日（土）	光と色の不思議な世界へようこそ！ —虹色、猫の目、まぜまぜ博士—	薬学部 非常勤講師 石崎 真紀子 (前田 初男)	
9月19日（土）	急病・災害時にも生き延びる方法と知恵	看護学部 教授 神崎 初美	
9月19日（土）	転倒なく、健康に歩き続けるために	リハビリテーション学部 教授 日高 正巳	
9月20日（日）	作業のチカラ —知ってほしい！作業療法のこと—	リハビリテーション学部 准教授 佐野 恭子	
10月2日（金）	薬学部生涯学習セミナー 薬のカタチを楽しもう！	薬学部 教授 天野 学	
1月11日（月・祝）	薬学部生涯学習セミナー 軽—中等度アルツハイマー病、ビタミンEで進行抑制！？	薬学部 講師 清水 忠	

○平成27年度 地域交流プロジェクト

(1) 健康みなおしプロジェクト ～トイレに悩む前に～

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
7月3日 8月7日 8月26日 9月11日 9月30日 10月28日	リハビリテーション学部 講師 森 明子	①尿失禁について学ぶ ②骨盤底筋体操について学ぶ ③骨盤底筋体操を習得する（実技練習）	70

(2) ポーポキ・ピース・ネットワーク

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
10月5日	薬学部 講師 桂木聡子	あなたも平和のねこと一緒に健康・安全・安心と平和について感じたり、考えたりしませんか？	10

(3) がんグループサポートプログラム「おしゃべりカフェ」

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
8月22日	看護学部 講師 府川晃子	がんの体験と私の気持ち	31
8月29日		日々の健康と生活への対応	
9月5日		さまざまな資源と役立つ情報	

(4) 食の楽しみをささえるために～摂食嚥下ケアのポイント～

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
10月30日	リハビリテーション学部 教授 野崎園子	摂食嚥下のメカニズム、嚥下体操、服薬のコツと災害	68
11月20日		姿勢や食具の工夫、災害時要擁護者の平素の構え	
12月12日		家族で楽しむクリスマス～ホテルのやわらかコース料理～	

(5) 歩数を増やして健康になりましょう！

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
7月2日	リハビリテーション学部 講師 森沢知之	身体活動量増加プロジェクト	
10月1日			
1月14日			

(6) クリニカル・カフェ：対話の中で考える生老病死

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
7月25日	共通教育センター 教授 紀平知樹	健康ってどういうこと？	59
10月31日		老いること	
12月12日		病むこと	
2月13日		生きることの意味	

(7) いつまでもキレイにあるきましょう！

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
9月12日	リハビリテーション学部 講師 塚越果	股関節手術後のセルフトレーニング	10

(8) 地域における介護予防推進リーダーの養成プロジェクト

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
2月11日	リハビリテーション学部 講師 永井宏達	介護予防概論 介護予防のために知っておきたい体力の知識 講師：永井宏達	80
2月18日		介護予防のための知っておきたい生活習慣病の知識 講師：宮本俊朗	
3月3日		介護予防のための知っておきたい認知症とうつの知識 講師：松井徳造	
3月10日		介護予防のための知っておきたい関節痛の知識 講師：藤岡宏幸	
3月17日		介護予防のための知っておきたい心肺機能の知識 講師：玉木彰	

(9) 全国同時七夕講演会2014

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
7月10日	共通教育センター 教授 加藤精一	宇宙からの光	68

○「ボーアイ4大学による連携事業」

(1) 公開講座・個別健康相談

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
6月6日	薬学部 教授 辻野 健	血圧が高いといわれたら	81
9月12日	看護学部 教授 神崎初美 他教員	急病・災害時に自助共助でご近所の底力（そこちから）を発揮するためのノウハウ	58
11月28日	リハビリテーション学部 講師 永井宏達	いつまでも転ばない、若々しい身体を手に入れるためのヒント	101

(2) 介護支援プログラム～健康・生活・安心サポート～

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
7月18日	看護学部 准教授 土井有羽子	ふえるといいね、貯筋 今からはじめる筋力（体力）づくり	110
11月21日	看護学部 准教授 土井有羽子	認知症になってもできるだけ自分らしく過ごすために —早期に気づくには、地域で支えるには—	33
2月6日	看護学部 准教授 土井有羽子	元気で長生きに向けて一本人とケア提供者のコラボ	49

(3) 花倶楽部2014

担 当 者	リハビリテーション学部 准教授 伊藤 斉子
大学会場開催日	7月24日、9月4日、10月30日、11月6日、11月20日、12月18日、1月22日、3月18日
三宮会場開催日	5月2日、6月6日、7月11日、9月19日、10月17日、11月7日、12月19日、2月6日
テ ー マ	高齢者の健康増進やストレス緩和等を目的に、緑や花にふれる
参 加 人 数	延べ336

(4) ボーアイ65歳大学2015

担 当 者	リハビリテーション学部 講師 有吉 正則
開 催 日	10月24日～2月20日（全15回）
テ ー マ	介護予防・生きがいづくりを応援する。自己再発見
参 加 人 数	延べ507

(5) 禁煙地区を目指した禁煙支援活動

担 当 者	共通教育センター 教授 賀屋 光晴
吸 殻 収 集 日	4月23日～2月8日（全10回）
テ ー マ	クリーンなキャンパス地区を目指してポイ捨て吸殻収集活動
参 加 人 数	延べ195

(6) ユーザー参加型医療デザインワークショップ

開催日	担 当 者	テ ー マ	参加人数
12月12日	薬学部 教授 前田 初男	残薬問題をデザインで解決するの巻	22

平成27年度 こうべ生涯学習カレッジ

大学連携セミナー 8月21日	アタマとカラダを刺激して若々しい身体を手に入れよう	リハビリテーション学部	永井 宏達	約100名
-------------------	---------------------------	-------------	-------	-------

港島あんしんすこやかセンター連携セミナー

地域包括連携セミナー 5月・9月・12月・2月 第三金曜日	いきいき体操	リハビリテーション学部	永井 宏達	各回約30名
-------------------------------------	--------	-------------	-------	--------

表 3. 公開講座広報先

方 法	配布先・掲示先	部数 2012.04～	部数 2014.03～
新聞折込	神戸新聞（ポートアイランド内）	2,300	
	ポートアイランド内（6紙）	5,900	5,900
	神戸新聞葺合東専売所（神戸市中央区全域）		19,500
ポートアイランド内	ふれあいセンター（港島自治連合協議会）	100	100
	兵庫県退職公務員連盟	5	5
	「新老人の会」兵庫支部 世話人 ひまわりの会	5	5
	神戸ポートビレジ管理組合生活クラブ	5	5
医療機関	藤本内科クリニック	10	10
	神戸市立医療センター中央市民病院	50	50
	兵庫医科大学病院	100	100
その他	神戸学院大学	50	50
	神戸女子大学・短期大学	70	50
	夙川短期大学		50
	他講座開催時	50	50
	過去参加者・案内希望者へ郵送・FAX・メール（※）		168
	ニュースリリース（ボーアイ4大学連携推進センターから）		各新聞紙
	合 計	8,645	26,043

5) 事務部門（神戸キャンパスオフィス）

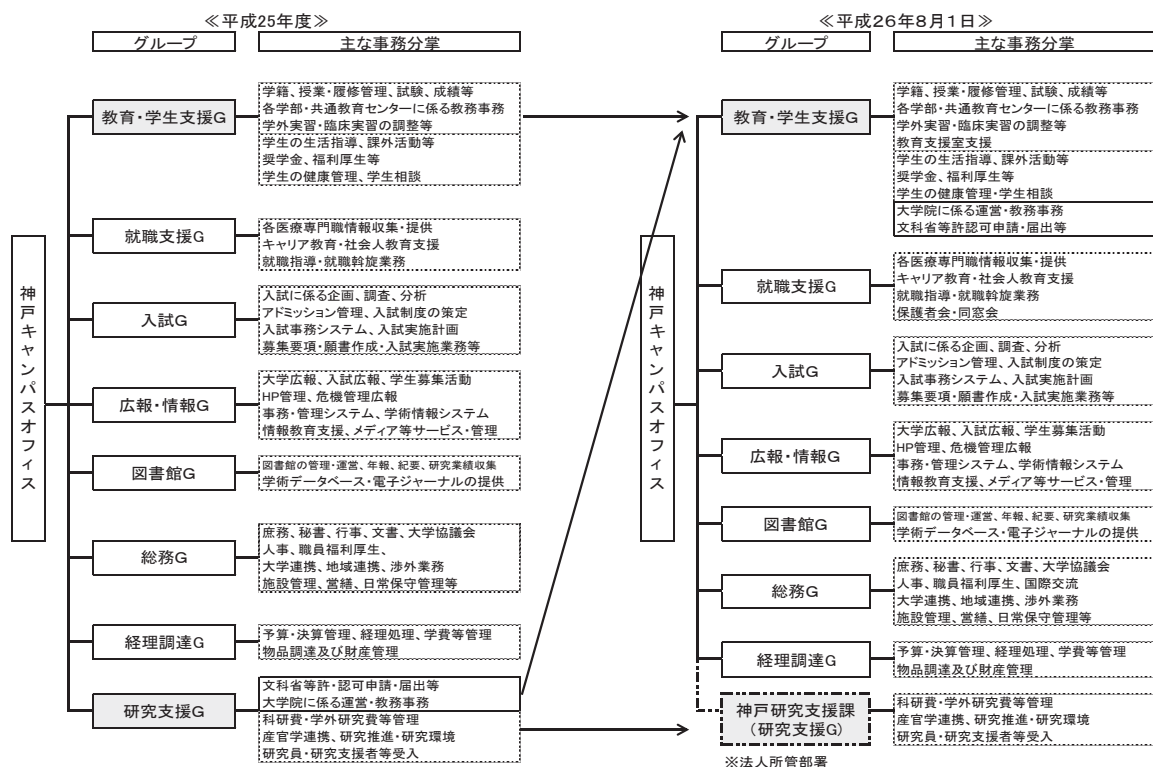
i) 概要

本学の事務組織は、開学時より縦割り組織（部課係制）ではなく、類似性のある業務を横断的かつ機動的に遂行していくグループ制を取り入れ、当初は4グループ（教育・学生支援、入試・広報、図書館・情報、管理・運営）でスタートした。その後、学年進行、教学組織の拡大、教育研究活動の展

開等に合わせて組織再編を行い、平成26・27年度では8グループ（教育・学生支援、入試、広報・情報、図書館、総務、経理・調達、研究支援、就職支援）編成により、本学の教育研究活動および管理運営を支援してきた。

ii) 平成26・27年度の主な動き

- (1) 平成26年8月1日付の事務局組織の再編により、法人部門に学術研究支援部が新設され、本学の研究支援グループ所管の研究に関する業務が同部に包含されたため、教育・学生支援グループが学部教育に加えて大学院教育の業務を所管することに変更した。（下図参照）



- (2) 学校教育法および同施行規則の改正（平成27年4月1日施行）の公布に伴い、文部科学省から、大学の内部規則等の総点検・見直しの実施が求められた。法改正の目的である学長リーダーシップの確立、副学長の権限の強化、教授会の役割等について、大学のガバナンス体制の整備を含めて学則をはじめとする主要規程等の見直し、改正作業を大学執行部（大学協議会構成員）と協働して、平成27年4月1日付で主要な規程等の改正を終えた。
- (3) 文部科学省私立大学等改革総合支援事業のタイプ1（教育の質的転換）、タイプ2（地域発展）、タイプ3（産業界・他大学等との連携）の各取組みについて、関係教員と協働して推進してきたが、平成27年度では申請した3つのタイプ全てが選定された。

5. 神戸ポートアイランド4大学連携事業 ー安全・安心・健康のための総合プログラムを軸としてー

1) ポーアイ健康・生活支援ステーション

平成20年10月に文部科学省「戦略的大学連携支援事業」の第1期事業として実施してきた神戸学院大学、神戸女子大学、兵庫医療大学および神戸女子短期大学の4大学の取組む総合的連携事業「ポーアイ4大学連携事業」は、平成22年度末にて文部科学省の支援事業としての活動は終了した。その連携事業の一つとして、地域住民の健康維持・増進活動や生活支援活動そして病気の予防推進を目的として、「ポーアイ健康・生活支援ステーション」が健康に強みのある本学内に設置された。

平成23年度以降は新たな局面として、本ステーションがこの3年間の経験を礎に、啓蒙活動、リカレント教育、情報公開等に取組んできた。

平成26年度および平成27年度の事業については、地域連携実践センターの活動の一環として実施した。活動内容は、Ⅲー4. ー4) 地域連携実践センターの項（198～206頁参照）に掲載する。

2) 実務者会議

i) 概要

ポートアイランド4大学連携事業では、神戸市ポートアイランドにキャンパスを置く神戸学院・神戸女子大学・神戸女子短期大学・兵庫医療大学の4大学は、隣接しているという利点と各大学の特色を活かしつつ、高度な教育・研究活動で連携し、さらには地域・企業・自治体などとも交流を図ることとで、地域社会に貢献することを目的としている。

この4大学連携事業は、具体的には「縦軸のプロジェクト連携」と「横軸のベース連携」のコンセプトから構成されている。

大学の使命である「研究」、「教育」、「学生支援」、「社会貢献」、「生涯学習」も各フェイズにおいても有効に機能して行くことを目指しており、縦軸に4大学共通の課題、地域社会からの要請に沿ったプロジェクト「ポーアイ健康推進プロジェクト」と「ポーアイ防災推進プロジェクト」の2つの事業を立ち上げている。横軸には各大学連携ベースとなる「入試広報」、「図書館」、「学生支援」、「教務」、「エクステンション」、「社会貢献」といった専門部会を立ち上げている。

表1. 平成26年度 実務者会議

	日 時	開催場所
第82回	平成26年4月22日（火）	神戸女子・短期大学
第83回	平成26年5月27日（火）	神戸学院大学
第84回	平成26年6月23日（火）	神戸夙川学院大学
第85回	平成26年7月22日（火）	兵庫医療大学
第86回	平成26年9月30日（火）	神戸女子・短期大学
第87回	平成26年10月21日（火）	神戸学院大学
第88回	平成26年11月28日（金）	神戸夙川学院大学
第89回	平成26年12月22日（月）	兵庫医療大学

	日 時	開催場所
第90回	平成27年 1 月27日 (火)	神戸女子・短期大学
第91回	平成27年 2 月27日 (金)	神戸学院大学
第92回	平成27年 3 月24日 (火)	神戸夙川学院大学

表 2. 平成27年度 実務者会議

	日 時	開催場所
第93回	平成27年 4 月28日 (火)	兵庫医療大学
第94回	平成27年 5 月26日 (火)	神戸女子・短期大学
第95回	平成27年 6 月23日 (火)	神戸学院大学
第96回	平成27年 7 月28日 (火)	夙川学院短期大学
第97回	平成27年 9 月29日 (火)	兵庫医療大学
第98回	平成27年10月28日 (水)	神戸女子・短期大学
第99回	平成27年11月24日 (火)	神戸学院大学
第100回	平成27年12月24日 (木)	夙川学院短期大学
第101回	平成28年 1 月26日 (火)	兵庫医療大学
第102回	平成28年 2 月23日 (火)	神戸女子・短期大学
第103回	平成28年 3 月22日 (火)	神戸学院大学

3) 部会活動

(1) 入試広報部会

i) 概要

ポートアイランド内にある4大学が連携して、学生募集広報、オープンキャンパスおよび大学説明会等を合同で実施することについて協議を行う目的で、入試広報部会が設置された。

ii) 開催状況

平成26年度・27年度において、表1のとおり入試広報部会を開催し、オープンキャンパス同時開催等について協議を行うとともに、広報イベントの内容、参加実績等に関して情報交換を行った。

表 1. 平成26・27年度 4 大学入試広報部会の開催日時

回 数	日 時	開催場所
第38回	平成26年 4 月23日 (水) 15:00～16:30	兵庫医療大学
第39回	平成26年11月21日 (木) 15:00～16:00	神戸夙川学院大学
第40回	平成27年 5 月11日 (月) 15:00～16:30	神戸女子大学・神戸女子短期大学
第41回	平成27年11月27日 (金) 15:00～16:00	神戸学院大学

iii) 活動状況

現状、本部会では入試情報やオープンキャンパス等の広報活動についての情報交換を中心に活動を

行っている。

毎年オープンキャンパスの同時開催の実現にむけて、各大学の開催日程を基に検討を行っているが、日程が合わず同時開催には至っていない。

オープンキャンパス合同告知については、例年どおり4大学合同により開催案内チラシを制作し、近畿、中国、四国地方の高等学校に配布を行っている。

(2) 教務部会

i) 概要

神戸ポートアイランド4大学連携協定書に基づく連携活動の一環として、交流と充実を図る目的で「神戸ポートアイランド4大学連携」単位互換制度および「ポーアイ教養科目」単位互換制度が実施されている。神戸ポートアイランド4大学連携教務部会は当該制度の事務を担当している。

ii) 活動状況（教務部会開催実績）

平成26年度

開 催 日	会 議 名	当 番 校
平成26年5月29日	第44回4大学教務部会	神戸夙川学院大学
平成26年7月9日	第45回4大学教務部会（事務WG）	神戸女子大学
平成26年10月3日	第46回4大学教務部会（事務WG）	神戸学院大学
平成26年11月10日	第47回4大学教務部会	兵庫医療大学
平成26年12月22日	第48回4大学教務部会（事務WG）	神戸夙川学院大学
平成27年1月26日	第49回4大学教務部会（事務WG）	神戸女子大学

平成27年度

開 催 日	会 議 名	当 番 校
平成27年5月21日	第50回4大学連携教務部会	神戸学院大学
平成27年6月18日	第51回4大学連携教務部会（事務WG）	兵庫医療大学
平成27年10月9日	第52回4大学連携教務部会（事務WG）	夙川学院短期大学
平成27年11月18日	第53回4大学連携教務部会	神戸女子大学
平成27年12月14日	第54回4大学連携教務部会（事務WG）	神戸学院大学
平成28年1月25日	第55回4大学連携教務部会（事務WG）	兵庫医療大学

iii) 神戸ポートアイランド4大学連携本学提供科目

平成26年度

提 供 科 目	授業担当者	単位数	開講期
医療概論	末廣 謙、他	1	前期
心理学	土江 伸誉	2	前期
生物学	伊東 久男、柏村信一郎	2	後期
化学入門	芝崎 誠司	2	前期
生命・医療倫理学	紀平 知樹	2	後期
哲学	紀平 知樹	2	前期

提 供 科 目	授業担当者	単位数	開講期
人間発達学	土江 伸誉	2	前期
臨床心理学（カウンセリング論を含む）	土江 伸誉	2	後期
リハビリテーション概論	野崎 園子、山崎せつ子、他	1	前期
運動発達論	有吉 正則	1	前期
漢方医学入門	戴 毅	1	後期
災害看護	細見 明代、他	1	後期
認知障害治療学	山崎せつ子	1	前期

平成27年度

提 供 科 目	授業担当者	単位数	開講期
医療概論	末廣 謙、他	1	前期
心理学	土江 伸誉	2	前期
生物学	伊東 久男、柏村信一郎	2	後期
化学入門	芝崎 誠司	2	前期
生命・医療倫理学	紀平 知樹	2	後期
哲学	紀平 知樹	2	前期
人間発達学	土江 伸誉	2	前期
臨床心理学（カウンセリング論を含む）	土江 伸誉	2	後期
リハビリテーション概論	野崎 園子、山崎せつ子、他	1	前期
運動発達論	有吉 正則	1	前期
東洋医学入門	戴 毅	1	後期
災害看護	神崎 初美、千島佳也子	1	後期
認知障害治療学	山崎せつ子	1	前期

iv) ポーアイ教養科目

平成26年度

科 目	授業担当者	単位数	開講期
健康づくり・生活支援入門	奥野 直	2	前期
健康づくり・生活支援ワークショップ	藤井真理子 工藤 里香	2	後期
健康・生活支援指導論実習	賀屋 光晴	1	後期

平成27年度

科 目	授業担当者	単位数	開講期
健康づくり・生活支援入門	奥野 直	2	前期
健康づくり・生活支援ワークショップ	石原 あや 岡田 公江、片田 千尋	2	後期
健康・生活支援指導論実習	賀屋 光晴	1	後期

(3) 学生部会

i) 概要

ポートアイランド内の4大学学生部会の連携により、4大学に関連した学生生活環境の改善、学生会活動および課外活動を含む学生生活に関することを協議し、問題の解決に当たっている。

ii) 平成26・27年度4大学学生部会の開催状況

表1、2のとおり、4大学学生部会を年4回開催し、協議・報告・情報交換を実施している。

表1. 平成26年度4大学学生部会の開催日時

回数	日時	開催場所
第32回	平成26年4月25日（金）10:00～11:45	兵庫医療大学
第33回	平成26年6月13日（金）10:00～11:20	神戸女子大学・神戸女子短期大学
第34回	平成26年10月10日（金）10:00～11:32	神戸学院大学
第35回	平成27年2月13日（金）15:00～16:30	神戸夙川学院大学

表2. 平成27年度4大学学生部会の開催日時

回数	日時	開催場所
第36回	平成27年4月24日（金）10:00～11:25	兵庫医療大学
第37回	平成27年6月8日（月）10:00～11:00	神戸女子大学・神戸女子短期大学
第38回	平成27年10月5日（月）10:00～11:25	神戸学院大学
第39回	平成28年2月8日（月）10:00～11:00	神戸夙川学院大学

iii) 4大学学生部会の活動状況

(1) 平成26年度連携した活動

①ポアイ4大学連携事業・活動〈留学生異文化体験プログラム〉（年3回）

神戸学院大学の協力の下に留学生異文化体験ツアーを実施

- ・明石海峡大橋 参加者 41名（6 / 1）
- ・ポートアイランド 参加者 24名（12 / 7）
- ・須磨 参加者 22名（2 / 9）

②合同スポーツ大会

神戸学院大学の協力によるマラソン大会・駅伝大会（11/30）。参加者410名

- ・第35回尾上杯マラソン大会
- ・第23回学長杯駅伝大会

③交通信号機交差点歩行者横断状況と信号無視学生への啓発・指導

- ・立哨場所（港島中町4丁目交差点、港島中町5丁目交差点）
- ・春期および秋期啓発指導立哨の期間

平成26年4月14日～18日	兵庫医療大学
平成26年4月21日～25日	神戸夙川学院大学・夙川学院短期大学、 神戸女子大学・神戸女子短期大学
平成26年4月28日～5月2日	神戸学院大学
平成26年10月27日～31日	神戸夙川学院大学・夙川学院短期大学

平成26年11月4日～7日 兵庫医療大学
 平成26年11月10日～14日 神戸学院大学
 平成26年11月17日～21日 神戸女子大学・神戸女子短期大学

④ポータライナーでの乗車マナーの注意喚起

(2) 平成27年度連携した事業・活動

①ボーアイ4大学連携事業〈留学生異文化体験プログラム〉(年2回)

神戸学院大学の協力の下に留学生異文化体験ツアーを実施。

- ・六甲ガーデンテラス、六甲山高山植物園 参加者 31名(6/7)
- ・人と防災未来センター、兵庫県立美術館、王子動物園、白鶴美術館
参加者 40名(11/29)

②合同スポーツ大会

神戸学院大学の協力の下、マラソン大会・駅伝大会を開催した。(12/13) 参加者476名

- ・第36回尾上杯マラソン大会
- ・第24回学長杯駅伝大会

③交通信号機交差点歩行者横断状況と信号無視学生への啓発・指導

- ・立哨場所(港島4丁目交差点、港島5丁目交差点)
- ・春期および秋期啓発指導立哨の期間

平成27年4月8日～14日 神戸学院大学
 平成27年4月20日～24日 夙川学院短期大学、神戸女子大学・神戸女子短期大学
 平成27年4月27日～5月1日 兵庫医療大学
 平成27年10月26日～30日 神戸学院大学
 平成27年11月2日～6日 兵庫医療大学
 平成27年11月9日～13日 夙川学院短期大学
 平成27年11月16日～20日 神戸女子大学・神戸女子短期大学

(4) 図書館部会

i) 活動状況

4大学間で、来館利用および資料の貸出等相互利用を行っており、6月～12月には合同巡回展示を開催している。また、平成25年度からは、4大学の学生がお互いに他の連携大学図書館を知るための取り組みとして、スタンプラリー(スタンプを4つ集めれば大学グッズと交換)を開始した。

ii) 4大学間相互利用状況

(1) 登録者数・入館者数

	平成26年度	平成27年度
登録者数	29	43
入館者数(延数)	144	116

(参考：他の連携大学実績)

	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス図書館		神戸女子大学・神戸女子短期大学図書館(ポートアイランド)		神戸夙川学院大学図書館 夙川学院短期大学図書館	
	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度
登録者数	139	169	2	9	10	6
入館者数 (延数)	329	409	8	21	34	69

(2) 貸出人数・貸出冊数

	平成26年度	平成27年度
貸出人数 (延数)	34	38
貸出冊数 (延数)	55	61

(参考：他の連携大学実績)

	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス図書館		神戸女子大学・神戸女子短期大学図書館(ポートアイランド)		神戸夙川学院大学図書館 夙川学院短期大学図書館	
	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度
貸出人数 (延数)	83	120	3	10	27	4
貸出冊数 (延数)	129	202	7	16	37	8

(3) スタンプラリー

	平成26年度	平成27年度
スタンプカード発行数	5	7
スタンプ押印数	5	24
グッズ交換数	0	1

(参考：他の連携大学実績)

	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス図書館		神戸女子大学・神戸女子短期大学図書館(ポートアイランド)		神戸夙川学院大学図書館 夙川学院短期大学図書館	
	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度
スタンプカード発行数	59	102	35	32	15	13
スタンプ押印数	9	15	42	37	27	10
グッズ交換数	3	7	4	0	14	3

iii) 巡回展示

自館で6月に展示した後、10月～12月にかけて1ヵ月ずつ、他の連携大学図書館において合同巡回展示を開催。

(1) 平成26年度

	出展テーマ
兵庫医療大学附属図書館	お酒と健康ライフ～お酒の一気飲みの追放～
神戸学院大学ポートアイランドキャンパス図書館	港のある町 神戸 そのあゆみ
神戸女子大学・神戸女子短期大学図書館 (ポートアイランド)	女性視点で知っておきたい 災害に学ぶ“防災の知恵”
神戸夙川学院大学・夙川学院短期大学図書館	宮沢賢治の世界を知る

(2) 平成27年度

	出展テーマ
兵庫医療大学附属図書館	国際医療交流～北京中医薬大学とアデレード大学～
神戸学院大学ポートアイランドキャンパス図書館	薬になる植物
神戸女子大学・神戸女子短期大学図書館 (ポートアイランド)	薬食同源
夙川学院短期大学図書館	荒井良二の世界

(5) キャリア部会

i) 概要

当初は就職対象の学年が在籍しておらず、エクステンション（課外）講座を中心にエクステンション部会として資格取得を共同で実施する目的で結成された。他大学からも受講可能な独自資格講座（資格取得やキャリアアップの講座）として設置し、連携を進めていった。その後、平成21年度末より就職対象の学年の在籍に伴いキャリア支援の内容も議論されるようになり、平成22年度よりキャリア支援部会という名称に変更。部会は隔月の第2、3週の火曜日に4大学が順番で幹事を行い開催している。部会では主に各校の予定行事や資格講座を報告した後に、連携可能なもの（事業）を検討している。将来的には生涯学習やインターンシップに関しても、共同で取り組もうという方向で検討をかさねている。

ii) キャリア支援専門部会の開催

表1. 平成26年度キャリア支援部会

	日 時	開催場所
第38回	平成26年 5月13日（火）	神戸学院大学
第39回	平成26年 7月 8日（火）	兵庫医療大学
第40回	平成26年 9月 9日（火）	神戸夙川学院大学
第41回	平成26年11月 4日（火）	神戸女子・短期大学
第42回	平成27年 2月10日（火）	神戸学院大学

表2. 平成27年度キャリア支援部会

	日 時	開催場所
第43回	平成27年 5月12日（火）	兵庫医療大学
第44回	平成27年 7月 7日（火）	夙川学院短期大学
第45回	平成27年 9月 8日（火）	神戸女子・短期大学
第46回	平成27年11月10日（火）	神戸学院大学
第47回	平成28年 2月15日（月）	兵庫医療大学

iii) 4 大学連携事業の活動状況

(1) 平成26年度連携した事業

- ①姫路地域合同就職説明会 inKOBÉ 9/27（土）10:30～
- ②神戸学院大学による

- a. 4年生向け学内合同企業説明会 5/17（土）13:30～ 9/4（木）、9/5（金）12:45～、
11/22（土）13:00～

②神戸夙川学院大学による

- a. グループディスカッション 12/17（水）、1/16（水）各15:00～

(2) 平成27年度連携した事業

①神戸学院大学による

- a. 学内合同企業説明会 5/23（土）、7/4（土）各13:30～

②兵庫医療大学による

- a. グループディスカッション 8/7（金）13:40～

(6) 社会貢献部会

i) 概要

ポーアイ4大学連携事業の一環として、ポートアイランド地域住民を中心とした社会貢献を軸とし、神戸マラソンのボランティア、環境整備、地域に対する安全や安心、健康生活に関するボランティア活動や講演会などを実施している。

表1. 平成26年度社会貢献部会

	日 時	開催場所
第26回	平成26年5月15日（木）	神戸学院大学
第27回	平成26年6月19日（木）	兵庫医療大学
第28回	平成26年9月9日（火）	神戸夙川学院大学
第29回	平成26年12月2日（火）	神戸女子・短期大学
第30回	平成27年3月4日（水）	神戸学院大学

表2. 平成27年度社会貢献部会

	日 時	開催場所
第31回	平成27年5月19日（火）	兵庫医療大学
第32回	平成27年6月2日（火）	夙川学院短期大学
第33回	平成27年10月28日（木）	神戸女子・短期大学
第34回	平成27年12月18日（火）	神戸学院大学
第35回	平成28年2月18日（木）	兵庫医療大学

iii) 4大学連携事業の活動状況

(1) 平成26年度連携した事業

- ・10月18日（土）ポーアイ4大学公開セミナー開催

テーマ：「健康と安全を考える」

（兵庫医療大学）

肺年齢を若く保つための秘訣～あなたの肺は健康ですか～

講師：リハビリテーション学部 玉木彰教授

(神戸学院大学)

防災川柳～17文字から防災・減災を考えよう～

講師：神戸学院大学 現代社会学部 中山久憲教授

- ・第4回神戸マラソンのボランティア学生72名参加

(2) 平成27年度連携した事業

- ・ボーアイ4大学 クリーン作戦

11月12日（木）神戸マラソンに向けてキャンパス周辺のゴミ拾いを開催

- ・第5回神戸マラソンのボランティア学生112名参加

各学部や研究科、委員会など本学の教職員のみなさまのご協力を賜り、平成26・27年度版兵庫医療大学年報を完成することができました。特に、図書館の皆様には、編集作業において多大なご尽力をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

現在、開学10年目の平成28年度が進行しており、次回の年報は開学10周年を迎えてからの発行になると思います。これまで以上に本学が発展し、医療総合大学として確固たる立ち位置を確保できるように、教職員が一丸となって努力していきたいと思っています。

兵庫医療大学年報（平成26・27年度）

編集・発行 兵庫医療大学

〒650-8530 神戸市中央区港島1丁目3番6
TEL 078-304-3000 FAX 078-304-2700

Hyogo University of Health Sciences



学校法人 兵庫医科大学

西宮市武庫川町1丁目1番 TEL.0798-45-6111